

# 令和7年度 第1回 龍ヶ崎市行政経営評価委員会

## 次 第

日時：令和7年8月8日(金)  
午後2時から午後4時まで(予定)  
場所：龍ヶ崎市役所5階 全員協議会室

1 開 会

2 あいさつ (総合政策部長)

3 議 題

(1) 会長及び副会長の選出について

(2) 令和6年度「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for 2030」に係る  
進捗状況評価について

(3) 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金実績報告  
「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」推進事業

4 そ の 他

(1) 令和7年度事務事業の見直しに係る取組について

5 閉 会

# 「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」に係る進捗状況評価について

総合政策部企画課

# 1 評価の目的

## 「龍ヶ崎みらい創造ビジョン for2030」とは

### まちづくりの基本方向を示す最上位計画として策定

3層で構成

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」と「行政改革に関する計画」を包括

#### 将来ビジョン

内 容：中期的に目指していくまちの姿やそれを具体化するための政策の柱などを示すもの  
計画期間：2023（令和5）年1月から2031（令和13）年3月までの概ね8年間

#### 基本計画

内 容：将来ビジョンに基づき、基本的な施策の方向と体系、リーディングプロジェクトなどを示すもの  
計画期間：前期基本計画 2023（令和5）年1月から2027（令和9）年3月までの概ね4年間  
後期基本計画 2027（令和9）年4月から2031（令和13）年3月までの4年間

#### 実施計画（アクションプラン）

内 容：基本計画に定めた施策の効果的な推進と年度ごとの取組の方針について、具体的な取組内容や事業費を示すもの  
計画期間：毎年度策定

### まちづくりのキャッチフレーズ

クリエイション

「Creation-ともに創るまち・龍ヶ崎-」

笑顔が続く 幸せが続く  
住み続けたいまち 龍ヶ崎  
そんなまちを みんなで創るために  
始めよう そして 動き出そう  
一人ひとりの Creation

# 1 評価の目的

## 実現に向けた政策の体系

政策

「7つの政策の柱」と「政策実現に向けた横断的取組」の8つの政策の柱を設定

施策

それぞれの政策の柱に紐づく30の施策を設定 **リーディングプロジェクト**

施策の展開方向

それぞれの施策に紐づく99の施策の展開方向を設定

## リーディングプロジェクト

### 未来創造プロジェクト

～子どもの笑顔が続くまちを創る～

- ◆ 新婚カップルの本市への定住をゴールに掲げ、出会いの場や機会の創出といった結婚支援、市内への居住サポートなどの取組を推進します。
- ◆ 子育て世帯の定住促進に向けて、子育て世代のライフスタイルに応じた支援メニューを提供し、安心して楽しく子育てができる環境づくりを推進します。
- ◆ 英語教育やICT教育など、特色ある先進教育を推進し、子どもたち一人ひとりの夢や希望を大切に育む教育環境を創出します。

### 魅力創造プロジェクト

～もっと魅力が感じられるまちを創る～

- ◆ 牛久沼や森林公園をはじめとする大規模公園の魅力を高め、市内外から人を呼び込む交流拠点としての活用を推進します。
- ◆ 本市の充実したスポーツ施設を活用したイベント開催、本市にゆかりのあるスポーツ選手やプロスポーツ選手を多く輩出している流通経済大学との連携によるスポーツを通じたにぎわいづくりを推進します。
- ◆ 積極的にシティプロモーション活動を展開するとともに、ふるさと納税の拡充を図り、本市の魅力を広く発信します。

### 幸せ創造プロジェクト

～日常を豊かに、快適に過ごせるまちを創る～

- ◆ 高齢になっても医療や介護に依存することなく、自立した生活を送ることができるよう市民の健康寿命延伸に向けた取組を幅広く支援します。
- ◆ 子どもから高齢者まで、市民の移動ニーズを支える便利で快適な地域公共交通網を構築し、市民の交流や社会参画を推進します。
- ◆ 首都圏中央連絡自動車道(圏央道)にアクセスする幹線道路沿道などをターゲットに、周辺の土地利用状況などを勘案しながら、まちの活力につながる、地域特性に応じた土地利用を促進します。

# 1 評価の目的

## 評価の目的

PDCAサイクルに基づき、

重要業績成果指標（KPI）の達成状況を把握

現状分析等を踏まえた事業の進捗状況を評価

前年度の施策（事業）に対する評価を…

当該年度の事業の推進に反映

翌年度の企画の立案、予算編成等に反映

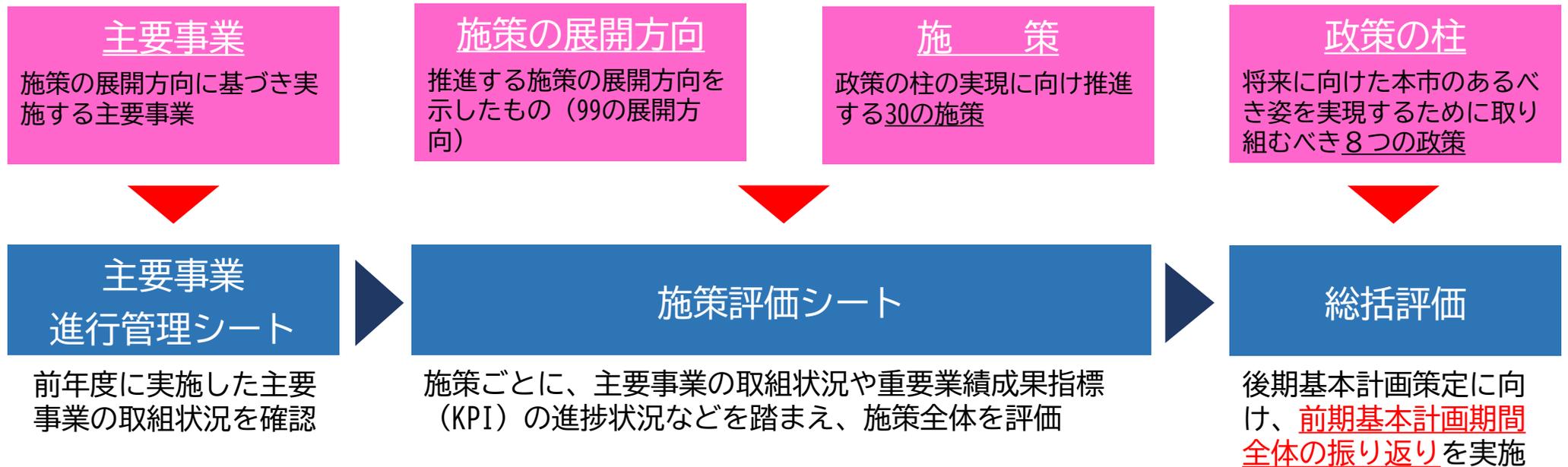
市公式ホームページ等で公表し、市民と情報を共有

着実な実行による  
将来に向けた  
本市のあるべき姿の実現

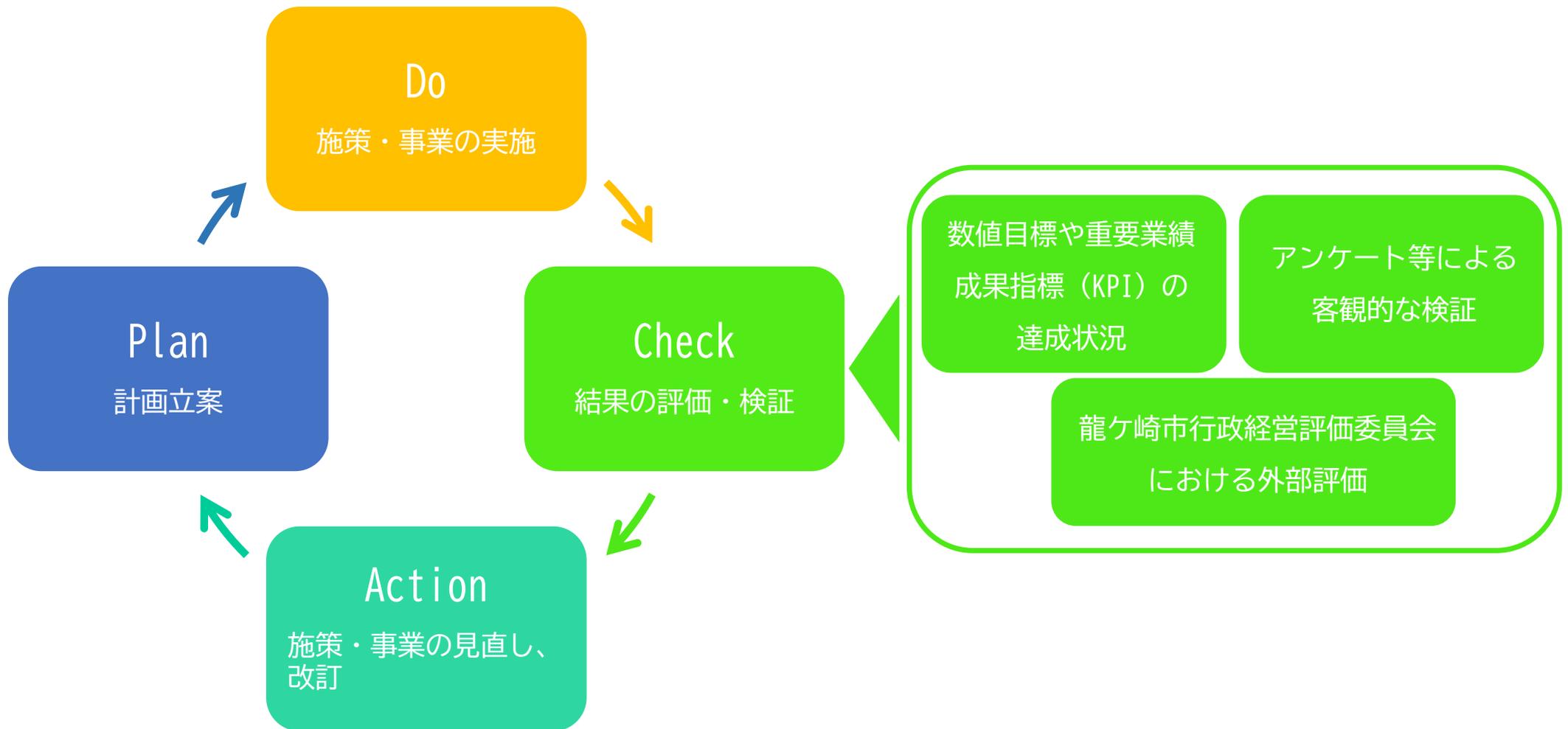
## 2 評価の対象

- ① 「施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ」の実現に向けて具体的に推進していく **30の施策**
- ② 「施策」及び「施策の展開方向」に基づき実施される主要事業（アクションプラン掲載事業）

## 3 評価の体系



## 4 PDCAに基づく進行管理



## 5 評価の方法

### (1) 主要事業進行管理シートによる点検・確認

主要事業ごとに進行管理シートを作成、事業の取組状況に基づき当該年度の進捗について点検・確認し、事業に対して分析を行い、今後の方向性を検証

### (2) 施策評価シートによる評価

進行管理シートで作成した主要事業の取組状況や、各施策に掲げている重要業績成果指標(KPI)の進捗状況を踏まえて現状分析等を行い、進捗状況評価を行う。

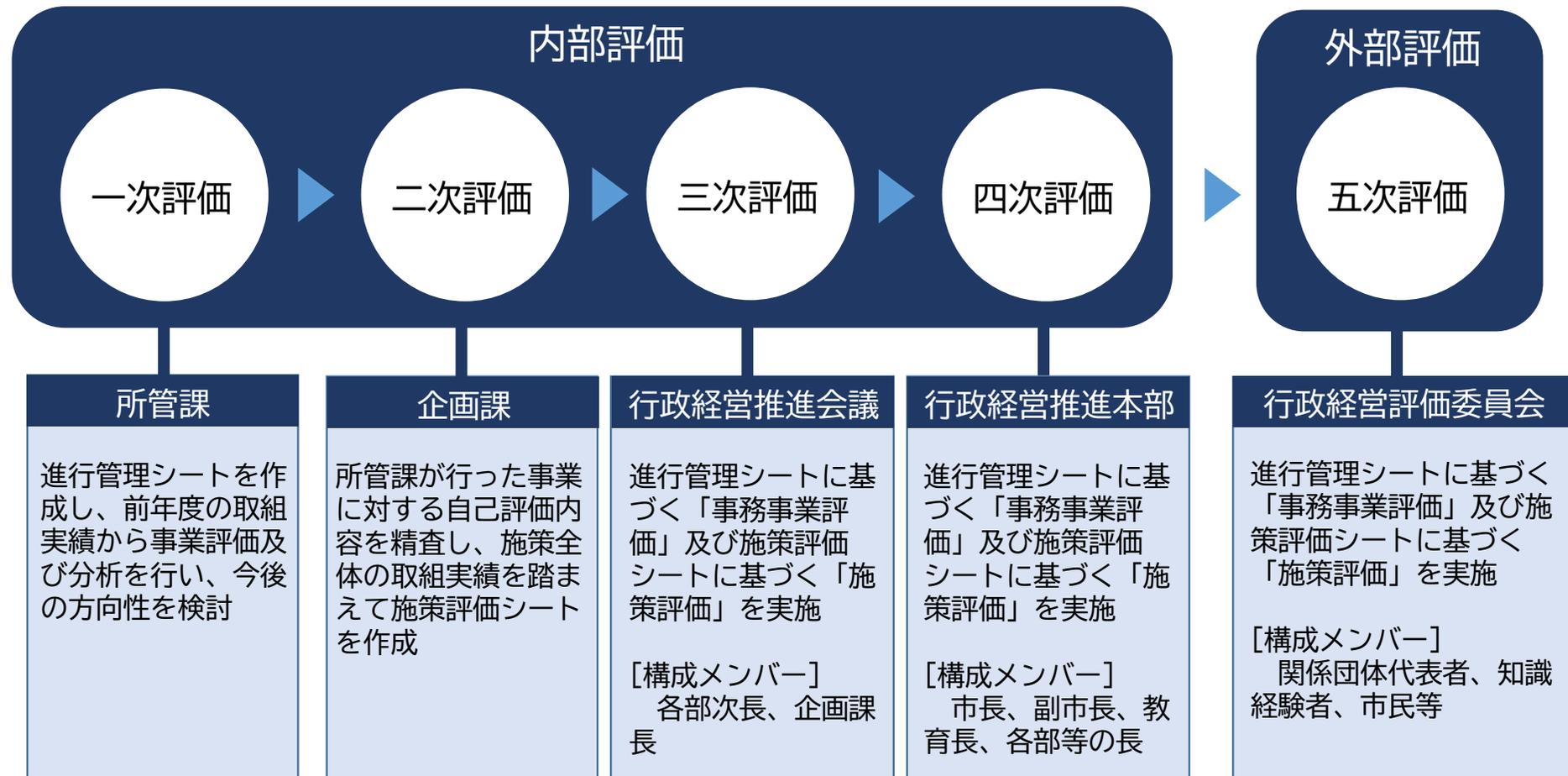
それらの進捗状況評価を踏まえ、今後の施策・事業展開の方向性等を示していく。

#### 事業評価における進捗状況評価の判断基準

進捗状況	判断基準
A 達成されている	施策全体として重要業績成果指標（KPI）の目標値達成に向けて課題がないこと
B 一部課題がある	施策全体として重要業績成果指標（KPI）の目標値達成に向けて一部課題があり、遅れが見られている
C 課題がある	施策全体として重要業績成果指標（KPI）の目標値達成に向けて大きな課題があり、事業の内容や方向性の見直しを検討する必要がある

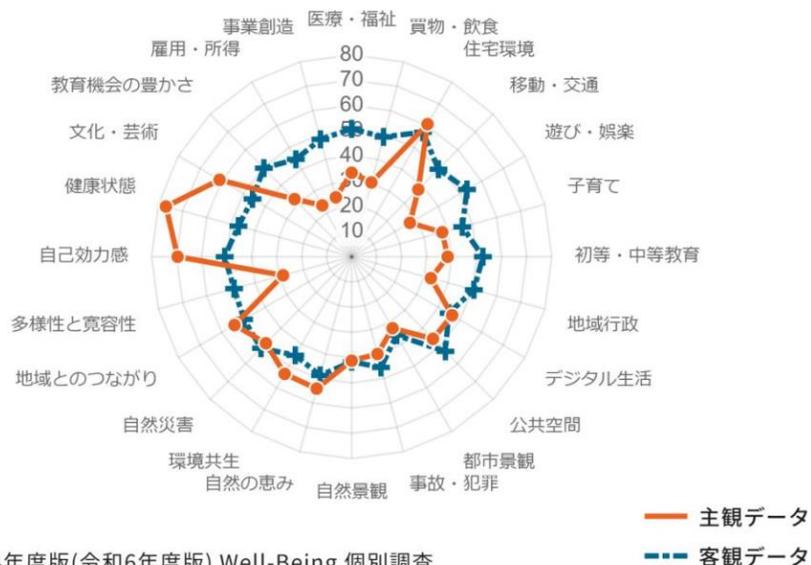
## 5 評価の方法

### 評価の流れ



# 【参考】地域幸福度（Well-Being）指標の因子群とカテゴリー

## カテゴリー別



【出典】2024年度版(令和6年度版) Well-Being 個別調査

カテゴリー名称		
生活環境(16)		地域の人間関係 (2)
<都市環境>	デジタル生活	地域とのつながり
医療・福祉	公共空間	多様性と寛容性
買物・飲食	都市景観	自分らしい生き方 (6)
住宅環境	事故・犯罪	自己効力感
移動・交通	<自然環境>	健康状態
遊び・娯楽	自然景観	文化・芸術
子育て	自然の恵み	教育機会の豊かさ
初等・中等教育	環境共生	雇用・所得
地域行政	自然災害	事業創造

# 「龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030」 令和6年度施策評価シート



# 目次

## 政策の柱1 子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり

- 施策1 子ども・子育て支援の充実【未来創造プロジェクト】 … 1
- 施策2 「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進【未来創造プロジェクト】 … 2
- 施策3 若者世代の活躍支援と定住促進【未来創造プロジェクト】 … 3

## 政策の柱2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり

- 施策1 地域経済の活性化 … 4
- 施策2 多様な働き方と働く場の創出 … 5
- 施策3 地域資源を活用した観光まちづくりの推進【魅力創造プロジェクト】 … 6
- 施策4 流通経済大学との連携の推進 … 7

## 政策の柱3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり

- 施策1 支え合う地域福祉の実現 … 8
- 施策2 健康長寿社会の実現【幸せ創造プロジェクト】 … 9
- 施策3 地域医療体制・感染症対策の強化 … 10
- 施策4 社会保障制度の適正な運営 … 11

## 政策の柱4 誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり

- 施策1 誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現【魅力創造プロジェクト】 … 12
- 施策2 暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進 … 13
- 施策3 多様性を認め尊重し合う、共生社会の実現 … 14

## 政策の柱5 安全・安心が実感できるまちづくり

- 施策1 防災・減災対策の推進 … 15
- 施策2 消防・救命体制の充実 … 16
- 施策3 暮らしの安全・安心の確保 … 17

## 政策の柱6 機能的で、利便性が高いまちづくり

- 施策1 魅力ある都市拠点の形成【幸せ創造プロジェクト・魅力創造プロジェクト】 … 18
- 施策2 快適でシームレスな移動環境の構築【幸せ創造プロジェクト】 … 19
- 施策3 良好な住環境の維持・創出【未来創造プロジェクト】 … 20

## 政策の柱7 環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり

- 施策1 環境負荷の少ない地域社会の形成 … 21
- 施策2 自然環境の保全と環境美化の推進 … 22
- 施策3 機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備 … 23

## 政策の柱8(横断的取組) 市民と共に育む持続可能なまちづくり

- 施策1 市民主体のまちづくりの推進 … 24
- 施策2 SDGsの推進 … 25
- 施策3 効率的で透明性の高い市政運営 … 26
- 施策4 効果的なシティプロモーション【魅力創造プロジェクト】 … 27
- 施策5 公共施設の「縮充」の推進 … 28
- 施策6 電子自治体の推進 … 29
- 施策7 持続可能な財政運営 … 30

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		1 子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり								
施策		1 子ども・子育て支援の充実			リーディングプロジェクト(未来創造)					
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの成長と子育て世代を地域全体で応援する環境が整っています。</li> <li>喜びを実感しながら安心して子どもを産み育てることができるまち、というイメージが定着しています。</li> </ul>								
(1) 主要事業の状況	事業名	産前産後家事支援事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○妊産婦のいる世帯を対象に家事支援等サービス(家事支援・育児支援)に係る費用を助成(直接児童に接する支援は除く。) ・1日2時間まで、上限40時間(多胎妊婦は上限60時間) ・1時間あたり500円(生活保護世帯は無料)				利用件数	活動	件	55	40
	事業名	児童通所支援事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○「こども発達センターつぼみ園」に児童発達支援センターとしての機能を持たせ、子どもたちの発達の中核的な拠点として再スタート ・こどもを通所させ療育を行うことに加え、関連機関との連携づくりや援助、助言などの地域支援を行う ・心理職を常勤化し、個別療育の受け入れ枠を拡大(前年度比1.6) ・新規事業として「保育所等訪問支援事業」、「相談事業」を開始				保護者向け児童発達支援評価結果「事業所の支援に満足しているか」	成果	%	60	78
	事業名	乳児委託健康診査等事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○1か月健康診査に係る費用の助成 ・対象者は、すべての1か月児 ・自己負担額なし(助成額は5,605円) ・県外医療機関で受診した場合は、償還払いで対応				1か月健康診査受診率	成果	%	95	89
	その他の取組	保育所等施設整備事業、産後ケア事業、子育てスマイルパスポート事業								
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)		
	子育てしやすいまちであると感じる市民の割合(18歳~49歳)		54.3 % (R3) 増加目標	37.8 % 目標まであと 27.2 %	- %				65.0 %	
	妊娠・出産の支援に対し満足している市民の割合		82.6 % (R3) 増加目標	86.5 % 目標達成 6.5 %	86.9 % 目標達成 6.9 %				80.0以上を維持 %	
	小学校入学前の子どもたちへの教育内容・施設への満足度(18歳~49歳)		41.5 % (R3) 増加目標	25.3 % 目標まであと 18.7 %	- %				44.0 %	
	保育所の待機児童数(毎年4月1日現在)		0 (R3) 減少目標	0 目標達成 0	0 目標達成 0				毎年0を維持	
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方					
	C	重点分野として幅広い支援策を展開しており、利用者からは感謝の声も届いているが、サービス利用方法や周知等に課題があり、「子育てしやすいまち」のイメージ定着までには至っていないため。			土台となる経済的支援や預かり支援などの取組を継続しながら、多様な子育て世代のニーズを的確に見極め、切れ目ない支援を提供していく。					

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		1 子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり								
施策		2 「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進					リーディングプロジェクト(未来創造)			
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒一人ひとりが夢や目標に向かって努力する力を身につけています。</li> <li>時代の変化に対応できる「生きる力」を育むための環境が学校や地域全体で整っており、魅力ある教育が行われています。</li> </ul>								
(1) 主要事業の状況	事業名	地域と学校の連携体制構築事業			指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置した学校)の導入を推進 ・1小学校をモデル校として、協議会の会議を3回開催 ・令和7年度モデル中学校を1校選定 ・令和6年11月、市PTA連絡協議会と市教育委員会合同でCSマイスターによる研修会を実施				学校運営協議会委員のコミュニティ・スクールへの理解度	成果	%	70	74
		事業名	大宮小学校・龍ヶ崎小学校統合整備事業			指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○大宮小学校との統合に向けた、龍ヶ崎小学校の施設整備の実施 ・黒板張替 ・渡り廊下鉄部塗装修繕 ・空調機改修工事 ・スクールバス駐車場整備工事・カーテン交換 ・令和7年度実施予定工事の実施設計			指標名	区分	単位	目標	実績	
		事業名	適応指導教室体制推進事業			指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○校内適応指導教室運営員を3中学校に配置し、教室担当教職員のサポートの実施 ・不登校生徒及び教室での生活に困難さをもつ生徒に対する、個の実態に応じた教育相談、自立支援、学習支援をサポート ・教室担当教職員との連携による、教室利用生徒の社会的自立をサポート			支援によって在籍教室に戻る頻度が増えた生徒の割合	成果	%	10	39	
		その他の取組	小中一貫校施設整備事業、教科専科指導員配置事業、県産献立「いばっごはんの日」実施事業、中学校部活動指導員配置事業、地域部活動推進事業、中学校英語検定料助成事業							
(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)		
	小中学校の教育内容・施設への満足度(18歳～49歳)		42.1 % (R3) 増加目標	28.9 % 目標まであと 16.1 %	— %			45.0 %		
	若者が健全に育つ環境や若者の活動を支援する機会・サービスの満足度(18歳～39歳)		23.8 % (R3) 増加目標	16.8 % 目標まであと 17.2 %	— %			34.0 %		
	将来の夢や目標を持っている児童(小学生)の割合		78.8 % (R3) 増加目標	80.0 % 目標まであと 7.0 %	84.5 % 目標まであと 2.5 %			87.0 %		
	将来の夢や目標を持っている生徒(中学生)の割合		69.5 % (R3) 増加目標	63.2 % 目標まであと 14.8 %	66.1 % 目標まであと 11.9 %			78.0 %		
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方					
	C	小中一貫教育や適正規模適正配置による学習環境の整備を図るなど、多様な施策展開に努めているが、学校の学習環境改善に対する市民の期待は高く、KPIの改善までは見込まれないため。			小中学校の適正規模・適正配置による環境整備と、教員の働き方改革にも留意しながら、ICTや地域資源を活用し、児童生徒の主体的な学びにつながる教育環境を提供していく。					

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり								
施策	3	若者世代の活躍支援と定住促進			リーディングプロジェクト(未来創造)					
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>若者が地域社会の一員として様々な地域活動に主体的に取り組み、活躍しています。</li> <li>若者にとって魅力のあるまちになっており、「住んでみたい」と感じる人が増えています。</li> </ul>									
(1) 主要事業の状況	事業名	たつのこワクワクワーク事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○シビックプライドの醸成や子どもたち(若者)の活躍促進を図るため、子ども向け職業体験イベント「たつのこワクワクワーク」を開催 ・開催期間を夏休み期間に設定(8月19日から25日) ・カフェや農家など、13事業者での職場体験を実施 ・参加者166人				職業体験スポット数	活動	箇所	15	14
	事業名	高校生探究活動支援事業				指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○包括連携協定を締結した市内4つの高等学校の高校生が取り組む探究活動を支援 ・出前授業による市の取組紹介や地域団体等を招いた講義を実施 ・活動のテーマに応じた市職員と意見交換や質問に対する情報提供を行う。 ○地域課題の解決につながる活動を行う際の補助制度要綱を制定			支援に関わった市内の延べ課等数	活動	課等	20	27	
	事業名	若者・子育て世代賃貸住宅延長補助事業			指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○若者子育て世代の定住を促進するため、35歳未満子育て世帯が賃貸住宅の契約を更新した際に補助金を交付 ・35歳未満の0～4歳以下の子がいる世帯が、現住所の賃貸住宅で契約の更新、または、市内の賃貸住宅へ転居した場合を対象とする。 ・1世帯あたり、最大7万円(基本額5万円+加算額2万円)			補助金交付件数	活動	件	50	42	
	その他の取組	青少年リーダー育成推進事業、若者結婚新生活応援事業、ウェルカムチケット交付事業								
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)		
		若者が健全に育つ環境や若者の活動を支援する機会・サービスの満足度(18歳～39歳)	23.8 % (R3) 増加目標	16.8 % 目標まであと 17.2 %	-			34.0 %		
		龍ヶ崎の魅力を勧める意欲(推奨意欲)(18歳～39歳)	-52.4 (R3) 増加目標	-58.6 目標まであと 16.6	-			-42.0		
	龍ヶ崎をよくする活動に参加したい意欲(参画意欲)(18歳～39歳)	-46.8 (R3) 増加目標	-33.4 目標達成 2.6	-			-36.0			
	「住み続けたい」と感じる市民の割合(18歳～39歳)	72.3 % (R3) 増加目標	70.4 % 目標まであと 8.6 %	-			79.0 %			
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方					
A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	B	若者はまちに期待し、自ら行動することで魅力を知り、高めたい思いに変化は無いと考えるが、参画機会や情報提供の在り方に課題があり、チャレンジしやすい雰囲気醸成できていないため。			出会いから結婚、定住に至る取組のさらなる推進と合わせ、こども・若者世代のまちづくりへの参画機会を創出し、まちを知り、魅力を感じ、定住につながる取組を推進していく。					

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり						
施策		1 地域経済の活性化						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		・ 事業者・農業者の安定した経営基盤が整っており、活発な経済活動が行われています。						
(1) 主要事業の状況	事業名	市制施行70周年記念プレミアム付き商品券事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○プレミアム付き商品券による市民等の経済的支援、消費の喚起 ・発行及び販売を龍ヶ崎市商工会に業務委託 ・発行総額 2億4千万円 ・販売冊数 2万冊(完売) ・購入者数 10,294人 ・換金額 239,256,500円(換金率99.7%)		販売冊数	活動	冊	20,000	20,000
				指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	畑作農業ステップアップ支援事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○畑作農業ステップアップチャレンジ事業による農業用機械、施設等の導入にかかる費用の一部補助 ・ハウスカーテン更新、配管更新、加湿器購入(トマト) ・ハウス屋根、ハウスガラス更新(いちご) ・農業用ドローン等購入(大豆、かぼちゃ)		補助金交付件数	活動	件	7	8
				指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	スマート農業支援事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	・営農支援システムの導入を支援(補助率100%、上限30万円) 事業活用人数:12名 ・農業用ドローン活用を支援(補助率50%、上限20万円又は30万円) 事業活用人数:10名 ・センサーによる圃場管理システムの導入を支援(補助率50%、上限20万円又は30万円) 事業活用人数:4名		補助金交付件数	活動	件	40	26
				指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組	街なか元気アップ支援、新規就農者経営支援事業、企業立地促進奨励事業						
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
	事業商店街への支援や商業の活性化への満足度		20.1 % (R3) 増加目標	21.7 % 目標まであと 10.3 %	- %			32.0 %
	農業の振興への満足度		15.9 % (R3) 増加目標	15.0 % 目標まであと 9.0 %	- %			24.0 %
	市の物足りないところ、嫌いなところとして「活気とにぎわいが無い」と回答した割合		26.8 % (R3) 減少目標	30.1 % 目標まであと 11.1 %	- %			19.0 %
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方			
	B	民間企業と連携したメニュー開発や情報発信、イベント開催によるにぎわいの創出に加え、各種補助金や商品券事業等の事業者支援など、多岐にわたる施策を展開しているが、KPIの改善までは見込まれないため。			産業のブランド化やイベントなどを通じた周知・PRを継続し、にぎわいを創出していくとともに、スマート農業の推進など、産業のアナログからデジタルへの転換や企業誘致につながる取組をさらに推進していく。			

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり						
施策		2 多様な働き方と働く場の創出						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な場所に選択が可能な魅力ある働く場が提供されています。</li> <li>まちに多様な人たちの交流機会の場が創られており、市内に新たなビジネスが生まれています。</li> </ul>						
(1) 主要事業の状況	事業名	若者世代等就職支援事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○若者世代をメインとした地元就職機会の促進及び支援 ・市内高等学校(公立3・私立1)及び流通経済大学の進路状況について、聞き取りなどにより把握 ・地元企業をメインとした就職イベントをハローワーク龍ヶ崎と連携して開催(市内の参加企業数:28社 参加者数:61名 採用状況:選考8名、採用3名)		就職イベントの開催	活動	回	1	1
				指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	保育士等支援事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○修学資金貸付け制度の運用(月額上限5万円、最長2年間) ・令和5年度からの継続3名。令和6年度新規2名。 ○保育士等家賃補助制度の運用(月額上限3万円、最長5年間補助) ・15名への補助(うち市内在住10名) ○保育所等との合同就職説明会を開催(来場者延べ16人)		修学資金貸付け者数	活動	人	9	5
				指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	創業支援事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○創業支援等事業計画に基づく起業・創業支援 ・「創業スクール」(計6回、30名受講、22名へ修了証書発行) ・「若者起業家発掘セミナー」、「女性の創業スクール」、「起業家サロン龍ヶ崎」の開催 ・龍ヶ崎起業家情報誌「Match-46」発行(年2回) ・「創業促進事業補助金」(11件)		創業スクールの開催回数	活動	回	6	6
				指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組							
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	就労支援や企業誘致など雇用の創出への満足度	9.8 % (R3) 増加目標	8.9 % 目標まであと 5.1 %	- %			14.0 %	
	創業スクール受講者の5年以内の創業率	22.4 % (R3) 増加目標	21.5 % 目標まであと 3.5 %	22.9 % 目標まであと 2.1 %			25.0 %	
	市の物足りないところ、嫌いなところとして「多種多様な働く場がない」と回答した割合	12.2 % (R3) 減少目標	15.9 % 目標まであと 9.9 %	- %			6.0 %	
(3) 総合評価	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	創業支援に一定の効果は出ているが、若者世代のニーズにあった働く場の提供やマッチング支援に課題があり、KPIの改善までは見込まれないため。		創業支援や地元企業との連携を強化し、多様な働く場を提供することにより、若者世代が本市を離れず地元で活躍できる好循環を生み出す取組を行っていく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり								
施策		3 地域資源を活用した観光まちづくりの推進			リーディングプロジェクト(魅力創造)					
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>市の持つ様々な地域資源が活用され、多くの人を訪れるまちになっています。</li> <li>市民一人ひとりが龍ヶ崎の魅力を伝えることができます。</li> </ul>								
(1) 主要事業の状況	事業名	市制施行70周年記念全国コロッケフェスティバル開催事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○龍ヶ崎市商工会及びコロッケクラブ龍ヶ崎と連携して企画し、実行委員会の決定を受け開催 ・来場者数:20,000人 ・出店舗数:コロッケ店28店舗 その他飲食店・事業PR等42店舗 ・内容:コロッケNo.1コンテスト、ステージイベント、市内飲食店等による販売・事業PRなど				出店イベント件数(市外)	活動	件	8	21
	事業名	観光PRイベント等開催事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○市観光物産協会と連携した観光PRの実施 ・市内外で開催される各種イベント(MOCOフェス、松戸まつり、シン・いばらきメシ総選挙2024等)における観光PR ○観光アンバサダーの活動におけるSNSを利用した観光PRの強化				イベント来場者数	成果	人	30,000	20,000
	事業名	まちなか再生推進事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○まちなか再生ワークショップの開催(講師 合同会社LOCUS BRIDGE) ・「まちなか再生に取り組みやすい環境と体制づくり」(全3回) 参加者数:6名 ・「「ここにしかない」魅力の形成と多様な交流によるにぎわいの創出」(全3回) 参加者数:15名				PRを実施したイベント等件数	活動	件	28	76
	その他の取組	伝統芸能伝承事業、牛久沼活用事業				指標名	区分	単位	目標	実績
					開催回数	活動	回	3	6	
					指標名	区分	単位	目標	実績	
					提案のあった事業件数	成果	件	3	20	
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)		
	地域資源を活用した観光の推進への満足度		14.2 % (R3) 増加目標	11.0 % 目標まであと 12.0 %	- %			23.0 %		
	市外在住者の本市への来訪経験		40.4 % (R2) 増加目標	42.1 % 目標まであと 17.9 %	- %			60.0 %		
	市外在住者の本市への来訪意向		14.8 % (R2) 増加目標	15.7 % 目標まであと 9.3 %	- %			25.0 %		
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方					
	B	多様なイベントを展開しており、本市への来訪経験や来訪意向に変化は無いと考えるが、牛久沼などの地域資源の活用について、検討から実行への移行に課題があり、KPIの改善までは見込まれないため。			イベントの展開を継続していくとともに、牛久沼やリニューアルした森林公園など、本市の魅力である場所や環境を活かした施策を展開し、市内外から多くの人を呼び込んでいく。					

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり									
施策	4	流通経済大学との連携の推進									
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民が「大学のあるまち」の様々なメリットを享受しています。</li> </ul>										
(1) 主要事業の状況	事業名	流通経済大学連携事業(龍・流連携)			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○市内小中学校学生派遣事業 ・実施校:小学校11校、中学校5校 参加学生:延べ451名 ○市民大学講座の開催(3回、受講者延べ100名) ○龍・流協定締結20周年記念事業として、「つくばね祭」の開催支援、学生と共に「龍・流連携ロゴマーク」を作成 ○学割サービスの展開(加盟店:75店舗)				指標名	区分	単位	目標	実績	
	事業名				指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容					指標名	区分	単位	目標	実績	
	事業名				指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容					指標名	区分	単位	目標	実績	
	その他の 取組										
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)		
		流通経済大学との連携事業や大学生との交流機会の創出への満足度		26.1 % (R3) 増加目標	24.6 % 目標まであと 4.4 %	- %			29.0 %		
		龍・流連携事業の認知度		36.6 % (R3) 増加目標	37.8 % 目標まであと 3.2 %	- %			41.0 %		
龍・流連携事業や大学が開催するイベント等へ参加したことがある市民の割合		13.9 % (R3) 増加目標	11.5 % 目標まであと 11.5 %	- %			23.0 %				
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方						
	B	市民大学講座の新たな視点での実施やロゴマークの作成により、KPIの改善が見込まれるが、さらなる学生のまちづくりへの参画機会や市民と大学のつながりを深める機会の提供が求められるため。			豊富な知的・人的資源を持つ大学と連携し、地域課題の解決やまちの活気につなげるとともに、「大学のあるまち」として市民がその恩恵を享受し誇れる取組を推進していく。						

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり						
施策		1 支え合う地域福祉の実現						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		・ 全ての人が支え合いながら、誰もが住み慣れた地域で、いきいきとした自分らしい生活ができています。						
(1) 主要事業の状況	事業名	生活支援コーディネーター事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○(社福)龍ヶ崎市社会福祉協議会への業務委託により生活支援コーディネーターを配置 ・高齢者のニーズや地域資源の状況把握を行う協議体への参加 ・高齢者等の居場所づくりを目的にサロン活動を行っている団体を把握 ・高齢者地域ふれあいサロン等の開設に関する相談対応・助言 等		第2層協議体の設置箇所数	活動	箇所	13	13
	事業名	生活支援サポーター活用事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○生活支援サポーター養成研修修了者等と家事支援を必要としている市民をマッチングさせるサービスを提供 ・NPO法人ユアアンドアイに委託し、「龍ヶ崎市生活支援サポートセンター」設置 ・サポーターと家事支援等を必要とする高齢者等をマッチング ・サポーター養成研修を実施し、新たに2名が登録		生活支援サポーター登録者数	成果	人	25	12
	取組内容	家事支援依頼件数		成果	件	120	96	
	事業名	要支援者移送事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○社会福祉協議会と連携した移送サービスを提供 ・対象者:「①在宅」「②要介護3以上若しくは下肢・体幹機能障害又は視覚障害3級以上」「③座位保持が可能」のいずれにも該当する方 ・目的地:社協事務所を起点として、概ね25km以内の市外かつ県内の医療機関 ・利用料:実費ガソリン代のみ		利用回数(延べ)	成果	回	60	29
その他の取組	災害時一時宿泊費助成事業							
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	お年寄りが生活しやすい施設・サービスへの満足度(65歳～)	27.9 % (R3) 増加目標	20.0 % 目標まであと 13.0 %	- %			33.0 %	
	障がいのある人が生活しやすい施設・サービスへの満足度	15.0 % (R3) 増加目標	12.1 % 目標まであと 5.9 %	- %			18.0 %	
	地域での支え合いやボランティア活動への満足度	27.6 % (R3) 増加目標	21.9 % 目標まであと 9.1 %	- %			31.0 %	
	生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所への満足度(65歳～)	29.6 % (R3) 増加目標	25.4 % 目標まであと 11.6 %	- %			37.0 %	
(3) 総合評価	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	C	引き続き、地域との関わりや自立をサポートする事業を展開したが、全国的な傾向として、ニーズの多様化や福祉・介護福祉人材の不足の影響により、KPIの改善までは見込めないため。		高齢者や障がい者などすべての人が住み慣れた地域で安心して社会と関わりながら生活できるよう、相談体制の充実をはじめ、生活支援などニーズを捉えた支援策の展開に取り組んでいく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり				リーディングプロジェクト(幸せ創造)			
施策		2 健康長寿社会の実現							
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		・誰もが主体的に健康づくりに取り組んでおり、健康寿命が延伸し、健康でいきいきとした生活が営まれています。							
(1) 主要事業の状況	事業名	高齢者補聴器購入支援事業		指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○高齢者の社会参加を促進することを目的に、補聴器の購入費用を一部助成 ・助成人数:121人			助成制度利用人数	活動	人	100	121
					指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	コンディショニングサポートプログラム事業(介護)		指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○コンディショニング・サポート講座の開催 ・対象者:受講を希望する市民(65歳以上) ・内容:まいん健康サポートセンターを会場に運動機能維持・介護予防等に効果的とされる講座を開催(全4回) ・参加申込人数 延べ72名			参加して良かったと思う講座参加者の割合	成果	%	60	94
					指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	新保健福祉施設建設事業		指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○健康づくりや子育ての総合的な支援、福祉機能を集約し、「市民が生涯にわたり健康で安心して暮らし続けるための支援拠点」となることを基本理念とする新保健福祉施設を整備 ・庁内の検討会議において、グループアドレス等新しい働き方の取組、備品の選定等を協議・報告 ・多世代交流センター(3階部分)の指定管理者の選定			指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組	がん予防・検診受診促進事業							
(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	健康診査などの受けやすさや健康づくりのしやすさへの満足度		52.9 % (R3) 増加目標	45.2 % 目標まであと 11.8 %	- %			57.0 %	
	お年寄りが生活しやすい施設・サービスへの満足度(65歳~)		27.9 % (R3) 増加目標	20.0 % 目標まであと 13.0 %	- %			33.0 %	
	特定健康診査の受診率(国民健康保険加入者)		23.4 % (R3) 増加目標	33.8 % 目標まであと 1.2 %	32.7 % 目標まであと 2.3 %			35.0 %	
	住民検診におけるがん検診の受診率(5項目平均)		8.7 % (R3) 増加目標	8.9 % 目標まであと 3.1 %	9.6 % 目標まであと 2.4 %			12.0 %	
	幸福感の高い高齢者の割合		46.8 % (R3) 増加目標	42.2 % 目標まであと 4.6 %	- %			46.8以上 %	
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方				
	B	保健福祉棟の整備も完了し、新たな補聴器購入支援なども好評であることから、一定の評価はできる。一方、多様な健診メニューの提供等を継続しているものの、受診率の安定した上昇にはつながっていないため。			病気の早期発見や生活習慣病の予防につなげる健診や講座の充実を図っていくとともに、動ける身体を維持し、健康寿命の延伸につながる取組を行っていく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり							
施策		3 地域医療体制・感染症対策の強化							
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>病气やけが、感染症などに際して、迅速で適切な医療をはじめとするサービスが提供されています。</li> </ul>							
(1) 主要事業の状況	事業名	医療対策事業		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○休日・夜間における小児救急医療輪番制、病院群輪番制などの展開による医療体制の充実 ・小児救急医療輪番制(6市町村、協力4医療機関と連携) ・病院群輪番制(構成5市町村、協力4医療機関と連携) ・市内医療機関における休日緊急診療の実施			市内休日診療(休日当番医)医療機関数(1日あたり)	活動	医療機関	2	2
					指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	HPVワクチン任意接種助成事業		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○男性のHPVワクチン予防接種費用の助成 ・対象者:小学6年生～高校1年生に相当する男性 ・助成額:全額(上限16,690円) ・接種件数:延べ60件 ・市内委託医療機関:60件 償還払い:0件			男性HPV予防接種接種率	成果	%	1	1
					指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	带状疱疹ワクチン接種助成事業		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○带状疱疹予防接種費用の助成 ・対象者:50歳以上 ・助成額(1回あたり):生ワクチン4,000円 不活化ワクチン10,000円 ・接種件数:延べ1,844件			带状疱疹予防接種接種率	成果	%	3	3
					指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組	おたふくかぜ予防接種助成事業、小児インフルエンザ予防接種助成事業							
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	病院等の数と夜間・休日等の医療サービス体制への満足度		42.2 % (R3) 増加目標	38.6 % 目標まであと 11.4 %	- %				50.0 %
	人口10万人当たりの医師の数		133.5 人 (R2) 増加目標	136.2 人 目標達成 2.7 人	- 人				133.5以上を維持 人
	市内の医療機関の診療科目の数		30 科目 (R2) 増加目標	29 科目 目標まであと 1 科目	- 科目				30以上を維持 科目
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方				
	B	新たに带状疱疹ワクチン接種の助成を開始する等、多様な接種機会の提供は評価できる。一方、医師の働き方改革等による将来不安が継続し、医療サービス体制への満足度の改善までは見込まれないため。			小児、大人ともに感染症の発症や重症化を予防する定期接種や接種の助成を継続していくほか、夜間・休日等の医療における広域連携の維持や市医師会との連携の中で、医療の充実を検討していく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり						
施策		4 社会保障制度の適正な運営						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		・ 誰もが平等で安定した生活が営まれています。						
(1) 主要事業の状況	事業名		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	主要事業アクションプランに掲載している事業はありませんが、社会インフラを支える必要不可欠な分野であり、各種制度の適正な運営を図っています。		指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組							
	(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		国民健康保険などの生活保障への満足度	24.7 % (H30) 増加目標	30.7 % 目標達成 3.7 %	- %			27.0 %
		後発医薬品(ジェネリック医薬品)利用率(後期高齢者)	79.4 % (R3) 増加目標	82.2 % 目標達成 2.2 %	88.2 % 目標達成 8.2 %			80.0超 %
(3) 総合評価	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	A	社会保障制度の適切な運営により、満足度の大幅な減少が見込まれないため。		社会保障分野は、セーフティーネットとして必要な方に支援が届くよう今後も制度の適正な運営を図っていく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		4 誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり									
施策		1 誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現			リーディングプロジェクト(魅力創造)						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが気軽にスポーツ・運動に親しめる環境が整っています。</li> <li>スポーツ・運動を通じて心身ともに健全で充実した暮らしができています。</li> </ul>									
(1) 主要事業の状況	事業名	マラソン大会開催事業			指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○全てのスポーツの基礎である「走る」ことや、チームで楽しみながら「絆を深める」ことへのきっかけづくりとともに、市民の運動実施率向上を図るため、リレーマラソン大会を開催 ・親子ラン68組、ジュニアラン153人、リレーマラソンの部76組、招待チーム7組が参加、売店等5店舗出店				参加者数	成果	人	800	810	
						指標名	区分	単位	目標	実績	
	事業名	プロスポーツ連携事業			指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○産学官連携によるスポーツイベントの開催 ・プロ野球イースタンリーグ茨城シリーズを開催、放課後PLAYパーク「投げる大作戦」の成果報告会 ○プロスポーツ連携事業 ・茨城アストロプラネッツ、鹿島アントラーズ、茨城ロボッツと連携した取組の実施(市民DAYの開催等)				イースタンリーグ観戦者数	成果	人	2,000	1,979	
						指標名	区分	単位	目標	実績	
	事業名	オリンピック応援事業			指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○市にゆかりのあるスポーツ選手を市民一丸となり応援することで、シビックプライドの醸成を図る。 対象選手: 檜崎智亜選手(スポーツクライミング)、齊藤真理菜選手(陸上競技(やり投げ)) 実施内容: 特別奨励金の交付、壮行会開催、パブリックビューイング開催(中止)、オリンピック出場報告会開催				パブリックビューイング観戦者数	成果	人	450	0	
						指標名	区分	単位	目標	実績	
	その他の取組	スポーツによる自己実現支援事業、たつのこアリーナ管理事業、たつのこスタジアム管理事業									
(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)			
	体を動かし、スポーツ等に親しむ機会・施設への満足度		47.7 % (R3) 増加目標	45.5 % 目標まであと 6.5 %	- %				52.0 %		
	たつのこアリーナ(メインアリーナ)の稼働率		65.0 % (R3) 増加目標	72.0 % 目標まであと 14.0 %	77.0 % 目標まであと 9.0 %				86.0 %		
	たつのこフィールドの稼働率		62.0 % (R3) 増加目標	70.0 % 目標達成 7.0 %	74.0 % 目標達成 11.0 %				63.0 %		
	たつのこスタジアムの稼働率		35.0 % (R3) 増加目標	33.0 % 目標まであと 7.0 %	35.0 % 目標まであと 5.0 %				40.0 %		
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方						
	A	KPIに設定している各施設の稼働率が、目標値に向けて順調に増加しており、様々なイベントの開催を通じて、運動やスポーツを楽しむ方が増え、スポーツ等に親しむ機会・施設への満足度の上昇が見込まれるため。			スポーツクライミングまち龍ヶ崎を推進していくとともに、官民が連携して、多世代がスポーツ・運動に触れ合う機会の提供や個性のある多様なイベントを開催するなど、にぎわい創出や地域活性化につなげていく。						

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		4 誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり						
施策		2 暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>それぞれのニーズにあった学習の機会が提供されています。</li> <li>文化や芸術、歴史に触れる機会が増えており、愛着や誇りが育まれています。</li> </ul>						
(1) 主要事業の状況	事業名	文化会館管理事業	指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○利用者の快適性・安全性の向上と施設の長寿命化を図るため、老朽化した設備を計画的に改修する。 ・大ホール舞台幕閉装置更新工事 ・大ホール2階・ホワイエ空調設備更新工事 ・その他、緊急に改修・修繕を要する設備への対応		利用者数	成果	人	120,000	96,606
	事業名		指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名		指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組							
	(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
芸術や文化に触れ親しむ機会・施設への満足度		26.9 % (R3) 増加目標	26.5 % 目標まであと 5.5 %	- %			32.0 %	
生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所への満足度		26.7 % (R3) 増加目標	23.7 % 目標まであと 8.3 %	- %			32.0 %	
文化財や市民遺産を活用したイベントの件数		3 件 (R3) 増加目標	4 件 目標達成 1 件	4 件 目標達成 1 件			毎年3以上 件	
文化芸術フェスティバルの延べ来場者数		12,096 人 (R3) 増加目標	17,248 人 目標まであと 4,745	14,696 人 目標まであと 7,297 人			21,993以上 人	
(3) 総合評価	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	文化財等を活用したイベントの開催や、様々な文化団体への補助を通じた講座等の着実な開催により、一定程度、生涯学習や文化芸術に触れる機会を提供できているが、KPIの改善までは見込まれないため。		本市の貴重な歴史的資源を保護・活用するとともに、コミュニティセンターや市民交流プラザなど、市民に身近な公共施設を積極的に活用し、ライフステージに応じた多様な学習や活動ニーズに応えていく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	4	誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり							
施策	3	多様性を認め尊重し合う、共生社会の実現							
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>国籍や性別、文化や価値観などの違いを対等な立場でお互いに理解し合い、誰もが自分らしく幸せに暮らすことができます。</li> </ul>								
(1) 主要事業の状況	事業名	多文化共生社会構築事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○市公式ホームページに「りゅうがさきおやくだちカード」サイトを公開 ・サイトへの二次元コードを印刷した「りゅうがさきおやくだちカード」3,000枚を配布 ・主な行政情報を「やさしい日本語」、4か国語(英語、ベトナム語、タガログ語、中国語簡体)で掲載		カード作成枚数	活動	枚	3,000	3,000	
	事業名		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績	
	事業名		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績	
	その他の取組								
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		男女の平等意識、性の差を感じずに活躍できる環境への満足度		22.7 % (R3) 増加目標	19.1 % 目標まであと 4.9 %	- %			24.0 %
		諸外国や異文化との交流の機会への満足度		12.6 % (R3) 増加目標	9.4 % 目標まであと 9.6 %	- %			19.0 %
普段から自分の気持ちを分かろうとしてくれる友人がいる児童生徒の割合		81.5 % (R3) 増加目標	85.0 % 目標達成 5.0 %	89.5 % 目標達成 9.5 %			80.0以上を維持 %		
(3) 総合評価	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方					
	C	小中学校では多様性を尊重する意識の向上や浸透が見られるが、増加傾向の外国籍の住民との交流や支援の取組が必要であり、男女平等や異文化交流機会等の満足度の改善までは見込まれないため。		性別や国籍に関係なく、誰もが平等に活躍し、暮らしやすく生きやすい市を目指し、意識啓発に継続して取り組んでいくほか、外国籍の住民との多様な交流機会の創出や生活支援などに幅広く取り組んでいく。					

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		5 安全・安心が実感できるまちづくり						
施策		1 防災・減災対策の推進						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの防災意識が高まっており、有事の際の備えができています。</li> <li>災害時に社会インフラなどが維持される「強さ」と迅速な復旧・復興ができる「しなやかさ」を持った、災害に強いまちになっています。</li> </ul>						
(1) 主要事業の状況	事業名	住宅・建築物耐震改修促進事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○備蓄品更新計画の更新</li> <li>・地震災害時の避難者見込数分の備蓄食料品及び飲料水を確保</li> <li>・消費期限が迫っているものは、防災意識の向上等を目的に訓練参加者や学校などへ供与するほか、生活困窮者や子ども食堂などへ供与</li> <li>○計画に基づく、備蓄食糧及び飲料水購入契約を締結</li> </ul>		補助金交付件数	活動	件	10	1
	事業名	防災備蓄施設改修事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○旧学校給食センター第一調理場を防災備蓄倉庫とする改修を完了</li> <li>○防災備蓄倉庫へ集中保管する備蓄品について、防災資機材移管作業計画を作成し、計画に基づく配備を実施</li> </ul>		防災備蓄施設改修	活動	%	100	100
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○龍ヶ崎中学校体育館の柔剣道場のエアコン設置工事の実施</li> <li>○柔剣道場における避難所開設訓練</li> <li>・「パーテーションテント」や「段ボールベット」等を配備し、エアコンを作動した避難所環境を確認する訓練を実施</li> </ul>		感染症対策備蓄品の適正管理	活動	%	100	100
	事業名	避難所環境改善事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○龍ヶ崎中学校体育館の柔剣道場のエアコン設置工事の実施</li> <li>○柔剣道場における避難所開設訓練</li> <li>・「パーテーションテント」や「段ボールベット」等を配備し、エアコンを作動した避難所環境を確認する訓練を実施</li> </ul>		柔剣道場における避難所開設訓練の実施回数	活動	回	1	0
その他の取組	非常災害用備蓄整備事業、水防対策費							
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	台風や地震など自然災害対策への満足度	38.8 % (R3) 増加目標	33.5 % 目標まであと 7.5 %	- %			41.0 %	
	災害時応援協定等の締結件数(民間企業・団体など)	47 件 (R3) 増加目標	51 件 目標まであと 6 件	51 件 目標まであと 6 件			57 件	
	住宅の耐震化率	95.9 % (H30) 増加目標	- %	- %			95.9以上 %	
(3) 総合評価	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	地域と連携した防災訓練の実施や資機材の整備など、着実に取組を展開しているが、激甚化する自然災害への不安などの影響により、自然災害対策への満足度の改善までは見込まれないため。		激甚化している自然災害に備え、市民、職員双方の意識啓発や訓練、食糧等の備蓄などに継続して取り組んでいくほか、インフラの復旧体制など、現場の状況に合わせて即応できる体制整備に取り組んでいく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		5 安全・安心が実感できるまちづくり						
施策		2 消防・救命体制の充実						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		・ 市民レベルでの消火活動や救命活動が迅速で的確に行われています。						
(1) 主要事業の状況	事業名	消防施設整備事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○消防団車両の計画的更新 ・龍ヶ崎市消防団車両更新計画に基づき、更新時期を過ぎた消防車両を故障等の不具合が発生する前に2台更新		小型動力ポンプ付積載車の更新台数	活動	台	2	2
	事業名	AED設置推進事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○公共施設及びコンビニエンスストアへのAED設置 ・リース契約により機器を更新し、公共施設に75台(予備機1台含む。)、コンビニエンスストアに26台、計101台設置 ・公共施設の再編成やコンビニエンスストアの開店、閉店の際は速やかに再配置(設置又は撤去)		不特定多数の市民が集まる公共施設のAED設置割合	活動	%	100	100
	取組内容			市内コンビニエンスストアのAED設置割合	活動	%	100	100
	事業名		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組							
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		火災への安全対策や万が一の場合の救急救助体制への満足度	35.6 % (H30) 増加目標	28.1 % 目標まであと 10.9 %	- %			39.0 %
消防団員の団員数及び定数(団員数/定数)(4月1日現在)		460/500 人 (R4) 増加目標	416/500 人	406/430 人			モニタリング(確証数不明) 人	
(3) 総合評価	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	消防団員の減少が進んでおり、火災の安全対策等について、身近に感じる機会が減少したほか、全国的に災害が多発している影響もあり、救急救助体制への満足度の改善までは見込まれないため。		減少傾向にある消防団組織の維持・支援や消防・救命資機材の整備を計画的に行い、市民の安全・安心につなげていく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		5 安全・安心が実感できるまちづくり							
施策		3 暮らしの安全・安心の確保							
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 犯罪が未然に防がれ、誰もが平穏で安全・安心な生活を営むことができます。</li> <li>・ 一人ひとりが交通ルールとマナーを遵守し、市内の交通事故が減少しています。</li> </ul>							
(1) 主要事業の状況	事業名	防犯カメラ等設置事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○安全・安心なまちづくり推進のための防犯カメラ設置、運用</li> <li>・設置済み街頭防犯カメラの保守点検により、動作、記録機能を維持</li> <li>・龍ヶ崎市防犯カメラ等設置事業補助金の交付:1件</li> </ul>		地域団体へ補助金を交付した防犯カメラ台数	活動	台	5	1	
	事業名	交通安全施設整備事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○交通事故の防止を目的とした交通安全施設の整備</li> <li>・舗装維持修繕計画の対象となった路線の調査結果に応じて、対象路線等を決定し、区画線設置工事を実施</li> <li>・地域からの要望や点検結果等に基づき、カーブミラー新設や区画線再設置を行うほか、防護柵、転落防止柵及び交通安全施設を整備</li> </ul>		区画線の引き直し延長	活動	m	16,500	0	
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通学路の安全を確保するため、スクールゾーンやグリーンバルト等の路面標示を設置</li> </ul>		カーブミラーの新規設置数	活動	基	30	18	
	事業名	通学路安全対策事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○通学路の安全を確保するため、スクールゾーンやグリーンバルト等の路面標示を設置</li> </ul>		グリーンバルト設置	活動	m	760	760	
	その他の取組	防犯活動事業		指標名	区分	単位	目標	実績	
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		犯罪や非行防止などの治安対策への満足度		32.7 % (R3) 増加目標	22.9 % 目標まであと 16.1 %	- %			39.0 %
交通安全対策への満足度		39.1 % (R3) 増加目標	30.3 % 目標まであと 12.7 %	- %			43.0 %		
消費者問題の相談体制への満足度		12.7 % (R3) 増加目標	12.3 % 目標まであと 2.7 %	- %			15.0 %		
人口1,000人当たりの交通事故発生件数		1.7 件 (R3) 減少目標	2.4 件 目標まであと 0.7 件	2.2 件 目標まであと 0.5 件			1.7以内 件		
人口1,000人当たりの刑法犯の認知件数		4.9 件 (R3) 減少目標	8.7 件 目標まであと 3.8 件	7.9 件 目標まであと 3.0 件			4.9以内 件		
(3) 総合評価	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方					
	C	交通事故や刑法犯の認知件数は減少傾向にあるものの、全国的に特殊詐欺や強盗等が発生している影響で、治安対策や交通安全対策の満足度の改善までは至っていないと考えられるため。		防犯カメラや交通安全施設の整備を促進し、犯罪や交通事故の発生の抑制につなげていくことで、市民の心理的不安感を取り除き、安心して生活できる環境整備を行っていく。					

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		6 機能的で、利便性が高いまちづくり									
施策		1 魅力ある都市拠点の形成			リーディングプロジェクト(幸せ創造)						
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>4つの住宅系市街地それぞれに、商業・サービス機能など、日常生活に必要な機能が身近に確保されています。</li> <li>民間や他自治体などと連携した牛久沼の活用に向けた動きが生まれています。</li> </ul>									
(1) 主要事業の状況	事業名	若柴長山前南部地区地区計画策定事業 ○若柴長山前南部地区における地区計画の策定			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容					地区計画策定面積	活動	ha	11	11	
	事業名	森林公園リニューアル事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○公募設置管理制度「Park-PFI」を用いた事業推進 ・令和6年7月13日、第一弾がオープン。同年10月12日、第二弾がオープン。令和7年3月22日グランドオープン ・にぎわい創出のためのイベントを実施				指標名	区分	単位	目標	実績	
	事業名				指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容					指標名	区分	単位	目標	実績	
	その他の取組										
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)			
	駅や大規模商業施設などを中心にしたまちづくりへの満足度		20.5 % (R3) 増加目標	14.1 % 目標まであと 13.9 %	- %				28.0 %		
	工業用地の確保や企業誘致など工業の振興への満足度		16.1 % (R3) 増加目標	13.6 % 目標まであと 6.4 %	- %				20.0 %		
	市外在住者の本市への来訪意向		14.8 % (R2) 増加目標	15.7 % 目標まであと 9.3 %	- %				25.0 %		
	市の物足りないところ、嫌いなところとして「活気とにぎわいが無い」と回答した割合		26.8 % (R3) 減少目標	30.1 % 目標まであと 11.1 %	- %				19.0 %		
	市の物足りないところ、嫌いなところとして「都市としての個性や特徴が無い」と回答した割合		25.6 % (R3) 減少目標	28.4 % 目標まであと 6.4 %	- %				22.0 %		
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方						
	C	多世代交流センター「Rink」など拠点整備が進んだ一方で、北竜台市街地では、イトーヨーカドー龍ヶ崎店閉店による生活利便性の低下もあり、KPIの改善までは見込まれないため。			龍ヶ崎市駅東口駅前広場の改修のほか、北竜台市街地地域生活拠点の機能向上、主要地方道美浦栄線バイパス沿道等の土地活用について検討していく。						

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり						
施策	2	快適でシームレスな移動環境の構築			リーディングプロジェクト(幸せ創造)			
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰もが利用しやすく、便利な移動が可能になっています。</li> </ul>							
(1) 主要事業の状況	事業名	コミュニティバス運行事業	指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用状況の分析、利用促進、公共交通ネットワークの再編成</li> <li>・運行事業者からの月次事業報告を確認し、利用状況を分析</li> <li>・市内小学校4校を対象としてモビリティ・マネジメントを実施</li> <li>・令和7年4月再編の運行計画案を作成し、地域公共交通協議会において了承</li> </ul>		モビリティマネジメント等の実施回数	活動	回	12	14
				指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	乗合タクシー運行事業	指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用状況の分析と利用促進</li> <li>・運行事業者からの月次事業報告を確認し、利用状況を分析</li> <li>・市内小学校4校を対象としてモビリティ・マネジメントを実施</li> <li>・地域公共交通シンポジウムにおいて当事業を紹介</li> </ul>		乗合率(2人以上)	成果	%	30	26
				指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	公共交通再編成事業	指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○AIオンデマンド交通実証実験の結果等を検証し、令和7年4月1日からのコミュニティバス等の再編及びAIオンデマンド交通の本格運行を決定</li> </ul>		住民向け説明会の開催	活動	回	20	14
				指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組	路線バス昼間割引事業						
(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
	市内の公共交通機関での移動の利便性への満足度		28.0 % (R3) 増加目標	19.5 % 目標まであと 14.5 %	- %			34.0 %
	都心など市外への公共交通機関での移動の利便性への満足度		35.4 % (R3) 増加目標	32.9 % 目標まであと 8.1 %	- %			41.0 %
	路上駐車や放置自転車への対策への満足度		33.8 % (R3) 増加目標	26.3 % 目標まであと 10.7 %	- %			37.0 %
(3) 総合評価	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	C	AIオンデマンド交通の導入など持続可能な地域公共交通の検討や、再編の準備に取り組んだものの、市民の期待との乖離が大きく、移動の利便性への満足度の改善までは至っていないと考えられるため。		地域公共交通再編の効果検証を行いながら、引き続き、公共交通全体の最適化を図り、市民の移動利便性を確保した、持続可能な公共交通の実現に取り組んでいく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり								
施策	3	良好な住環境の維持・創出			リーディングプロジェクト(未来創造)					
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様なニーズに応じた、安全で快適に住み続けることができる住環境が整っています。</li> </ul>									
(1) 主要事業の状況	事業名	空家等対策事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○空家等所有者等への情報提供及び協力要請等 ・文章や電話に加え、面会による対面での機会を増加(改善件数: 51件、改善率:66.2%) ・生前整理講演会を開催(全4回、計97人参加) ・管理不全空家等17件を新規に認定、特定空家等4件を追加で認定				生前整理講演会の開催回数	活動	回	4	4
	事業名	空家バンク活用事業				指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○空家バンクの利用促進、相談会の開催等 ・登録27件(空家22件、空地5件)、成約15件(空家12件、空地3 件) ・家財処分で1件、改修工事で3件の補助金を交付 ・茨城県宅地建物取引業協会との共催により、不動産相談会をサブ プラで2回開催(合計37組参加)に開催			空家バンク活用促進事業補助金交付 件数	活動	件	3	4	
	事業名				指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容				住まい相談会等の開催回数	活動	回	2	2	
	事業名				指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容				指標名	区分	単位	目標	実績	
	その他の 取組				指標名	区分	単位	目標	実績	
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)									
		指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)		
		街並みの美しさへの満足度	51.6 % (R3) 増加目標	43.9 % 目標まであと 10.1 %	— %			54.0 %		
		空家の撤去、活用などの空家対策への満足度	6.9 % (R3) 増加目標	6.7 % 目標まであと 5.3 %	— %			12.0 %		
		適正管理を促した空家等のうち改善された空家の割合	72.4 % (R3) 増加目標	71.2 % 目標達成 1.2 %	66.2 % 目標まであと 3.8 %			70.0以上を維持 %		
		空家バンク登録物件の活用件数	6 件 (R3) 増加目標	11 件 目標達成 5 件	15 件 目標達成 9 件			毎年6以上 件		
(3) 総合評価										
A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある		評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方				
		B	適正管理を促した空家等の改善や空家バンクの活用による売買など、空家等の流動化は進んでいるが、老朽化している空家等の改善が課題となっており、KPIの減少につながっているため。			景観を阻害する空家等の適正管理や活用を促す取組を継続するとともに、空家にさせないための意識啓発や周知を図っていく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり						
施策		1	環境負荷の少ない地域社会の形成						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりが環境に配慮した循環型社会を創ることに関心を持ち、実現に向け取り組んでいます。</li> </ul>							
(1) 主要事業の状況	事業名	自立・分散型エネルギー設備導入促進事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○住宅等における再生可能エネルギーの導入促進を図るため、蓄電システム設置費用の一部を補助 ・補助金額:100,000円/件(市補助50,000円+県補助50,000円) ・補助件数:30件		補助金交付件数	活動	件	30	30	
	事業名	公共施設太陽光発電設備等導入可能性調査事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○市公共施設への太陽光発電設備等導入調査の実施 ・最優先導入施設10施設を選定。導入手法を比較検討し、導入設備の設置場所・配置・目安出力・導入効果等に、初期投資額を加えた導入基本計画(案)を施設別に作成 ・2030年度の削減目標に向けて、12施設に新たに設備を導入する年次計画案を作成		調査施設数	活動	施設	32	32	
	事業名	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス導入促進事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績	
	取組内容	○ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの新築費用等に対する補助金の交付 ・補助金額:200,000円/件 ・補助件数:3件		補助金交付件数	活動	件	10	3	
	その他の取組	PPAモデル導入事業							
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	再生可能エネルギーの活用など環境負荷低減の取組への満足度		35.0 % (R3) 増加目標	14.9 % 目標まであと 23.1 %	- %				38.0 %
	ごみ収集サービスや資源リサイクルへの満足度		75.1 % (R3) 増加目標	74.0 % 目標まであと 4.0 %	- %				78.0 %
	市民一人が1日に出す家庭系ごみの量		661.0 g (R3) 減少目標	623.0 g 目標まであと 73.0 g	627.0 g 目標まであと 77.0 g				550.0 g
	ごみの総資源化率		13.2 % (R3) 増加目標	13.0 % 目標まであと 9.0 %	14.0 % 目標まであと 8.0 %				22.0 %
			[参考値]ごみの総資源化率(溶融スラグを含む) R5実績:20.3% R6実績:21.5% ※ごみ処理基本計画の改定により、R6分から算出根拠変更						
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方				
	B	家庭系ごみは微増となっているものの、ごみの総資源化率は上昇が見られ、ごみ収集やリサイクルの取組は、引き続き一定の評価が見込まれるが、脱炭素に対する市民の期待との乖離が見られるため。			ゼロカーボンシティ宣言を契機に、脱炭素の取組を加速化させ、取組の拡充や見える化に積極的に取り組んでいくほか、ごみの減量やリサイクル推進の取組を継続していく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		7 環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり						
施策		2 自然環境の保全と環境美化の推進						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>水や緑に恵まれた豊かな自然を守り、育み、自然と共生したまちが実現できています。</li> </ul>						
(1) 主要事業の状況	事業名		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	<div style="border: 1px solid gray; border-radius: 15px; padding: 5px;">                     主要事業アクションプランに掲載している事業はありませんが、市の魅力の一つである「豊かな自然」の保全などの取組について、事業を展開しています。                 </div>		指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組							
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
空気のきれいさや緑の豊かさなどの自然環境への満足度		74.4 % (R3) 増加目標	76.0 % 目標まであと 5.0 %	- %			81.0 %	
地域をきれいにする活動や公衆衛生への満足度		57.0 % (R3) 増加目標	56.0 % 目標まであと 4.0 %	- %			60.0 %	
市の良いところ、好きなどころとして「豊かな自然がある」と回答した割合		46.3 % (R3) 増加目標	48.0 % 目標まであと 2.0 %	- %			50.0 %	
(3) 総合評価	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	本市の自然環境は評価が高く、KPIの減少は見込まれないが、個別には牛久沼の水質改善や特定外来生物等への対応が必要であり、環境美化においてもポイ捨て等の改善に課題があるため。		本市の魅力の一つである自然環境の保全に努めるとともに、市内一斉清掃などを通じて、市民とともに連携・協力しながら、環境美化に取り組んでいく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり					
施策		3	機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備					
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>道路、公園、下水道など誰もが安全・安心で快適に利用できる環境が整っています。</li> </ul>						
(1) 主要事業の状況	事業名	道路改良事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○道路改良工事及び舗装修繕工事 ・地域からの要望等を受け、市内全域のうち1路線の道路改良工事を実施 ・舗装維持修繕計画等に基づき、市内全域のうち9路線の舗装修繕工事を実施		道路改良延長	活動	m	450	167
	事業名	橋梁維持補修事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○橋梁の維持、補修(補修工事2橋、工事設計2橋) ・健全度をもとに修繕対象の優先順位を設定し、損傷が深刻となる前に修繕を行う予防保全型修繕を実施 ・橋梁の長寿命化及びコスト縮減を推進 ・日常点検として、目視による道路パトロールで安全性を確認 ※危険性がある場合は、通行制限や損傷箇所を補修		舗装修繕延長	活動	m	1,830	2,143
	事業名	幹線道路除草事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○道路利用者の視界を良好に保ち、交通事故を防止するとともに良好な景観を維持するため、幹線道路の除草を実施 ・小中学校付近の除草回数を2回から3回へ増やして実施 ・直営で行っていた除草作業の一部を外部委託により実施		修繕設計した橋梁の数	活動	橋	2	2
	その他の取組	市道第1-45号線整備事業、市道第Ⅱ-18号線外整備事業、市道第1-380号線(佐貫3号線)整備事業、市道第3-373号線外整備事業、下水道事業内水浸水想定区域図策定事業						
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	上下水道の整備への満足度	63.9 % (R3) 増加目標	59.4 % 目標まであと 6.6 %	- %			66.0 %	
	地域と地域を結ぶ幹線道路の整備への満足度	40.7 % (R3) 増加目標	47.5 % 目標達成 0.5 %	- %			47.0 %	
	身近な生活道路の整備への満足度	49.5 % (R3) 増加目標	49.2 % 目標まであと 2.8 %	- %			52.0 %	
(3) 総合評価	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	道路等のインフラは、長寿命化計画等に基づき計画的な維持管理に努めており、KPIの大幅な減少は見込まれないが、道路側溝の排水の問題など、課題があるため。		インフラは市民生活や経済活動を支える重要な施設であり、災害時に果たす役割も大きいことから、安全・安心で快適な利用に資するよう、計画的な維持管理や整備を行っていく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		8 市民と共に育む持続可能なまちづくり								
施策		1 市民主体のまちづくりの推進								
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>市民と市の役割を一人ひとりが理解し、「パートナー」として信頼し合いながら、自発的な市民活動が実践されています。</li> <li>分かりやすく市の情報が発信され、市民との活発な意見交換がされており、「開かれた市役所」が実現できています。</li> </ul>								
(1) 主要事業の状況	事業名	市民活動サポート推進事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○市民活動団体に対する財政的支援として、市民活動初期を支援する「スタートダッシュ支援(設立補助)」、市民活動拡充期に行う事業を支援する「ジャンプアップ支援(事業補助)」により、活発な市民活動を促進する。				スタートダッシュ支援の申請件数	活動	件	3	2
						指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	新長戸コミュニティセンター建設事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○長戸地区において、地域活動の拠点や防災拠点となる新たなコミュニティセンターを整備 ・令和7年2月建設工事仮契約締結				指標名	区分	単位	目標	実績
						指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名				指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容					指標名	区分	単位	目標	実績
						指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組									
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)		
	まちづくりに気軽に参加できる機会への満足度		22.4 % (R3) 増加目標	19.3 % 目標まであと 5.7 %	- %			25.0 %		
	市民活動への支援や参加できる機会への満足度		23.3 % (R3) 増加目標	21.3 % 目標まであと 5.7 %	- %			27.0 %		
	必要とする行政情報が得られていると回答した市民の割合		67.5 % (R3) 増加目標	64.2 % 目標まであと 4.8 %	- %			69.0 %		
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方					
	B	広報紙等を通じて、一定程度市民団体の活動やまちづくりに関する情報発信ができていますが、そこから行動に移るための支援や活動できる場所・機会の提供に課題があるため。			市民活動やコミュニティ活動への支援を通じて、無理なく気軽にまちづくりに参加できる機会や場所を提供していくほか、情報発信や市民の意見表明機会の提供により、市民とともに創るまちを実現していく。					

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		8 市民と共に育む持続可能なまちづくり								
施策		2 SDGsの推進								
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		・SDGsの市民の認知度が向上しており、持続可能なまちづくりが実践されています。								
(1) 主要事業の状況	事業名	龍ヶ崎市SDGsパートナーシップ制度運用事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○龍ヶ崎市SDGsパートナーシップ制度の運用 ・パートナーを対象に、マッチングによる連携強化や事例共有を目的としたイベントを開催 ・市民向けSDGsフェアで、パートナー企業等によるワークショップ、パネル展示等を実施 ・市広報紙でパートナーの取組紹介、連携事業の紹介記事を掲載				龍ヶ崎市SDGsパートナー登録件数	活動	件	80	76
	事業名				指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容					龍ヶ崎市SDGsパートナー同士による連携事業数	成果	件	8	16
	事業名				指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容					指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名				指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容					指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組									
	(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
SDGsの認知度		31.7 % (R3) 増加目標	61.1 % 目標達成 22.1 %	- %			39.0 %			
SDGsを生活・行動変容へつなげる意識をいつも持つ市民の割合		7.4 % (R3) 増加目標	12.8 % 目標達成 2.8 %	- %			10.0 %			
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方					
	A	広報紙等やイベントを通じた地道な取組により認知度が向上しており、身近な取組からはじめることの大切さを伝えることで、行動変容にもつながっていることから、KPIの減少が見込まれないため。			持続可能な地域・社会づくりに取り組む企業等の制度への参加を積極的に呼び掛けるとともに、市民への周知・意識啓発により行動変容を促すなど、官民連携でSDGsの推進を加速させていく。					

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		8 市民と共に育む持続可能なまちづくり								
施策		3 効率的で透明性の高い市政運営								
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>効率的で質の高い行政運営が行われています。</li> <li>行政運営に必要な知識やスキル、モチベーションを兼ね備えた人材が確保できています。</li> </ul>								
(1) 主要事業の状況	事業名	行政経営推進事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○事務事業の見直し、補助金等の適正化 ・個人提案の募集、補助金の見直しガイドラインの策定 ・外部評価に基づく改善事項を設定(方向性:廃止14件、縮小8件、統合6件) ○外郭団体の今後のあり方検討 ・「外郭団体のあり方に関する基本方針」を策定				見直し方針が決定した項目数	活動	件	53	54
						指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	ごみ処理広域化推進事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○茨城県ごみ処理広域化ブロック6会議での基礎調査の実施 ・ごみ処理の現状及びごみ処理広域化に向けての課題を整理 ・広域化のメリット・デメリット、整備パターン別の経済性を比較検討 ・最適なごみ処理広域化の組み合わせ及びその手法について検討				指標名	区分	単位	目標	実績
						指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	職員のスキル・モチベーションアップ事業			指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○職員の能力向上及び組織力の向上に繋がる研修の実施、受講機会の拡大 ・人材育成基本計画改定プロジェクト会議の実施(2回) ・ファシリテーション研修(2回)、クリエイティブ人材育成研修(8回)の実施 ・専門実務研修の受講機会拡大の実施				職員研修の延べ受講者数	活動	人	250	176
						指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組	申告相談事前予約コールセンター運営費								
(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)		
	行政サービスの民間委託への満足度		18.5 % (R3) 増加目標	15.7 % 目標まであと 5.3 %	- %			21.0 %		
	市役所の仕事ぶりへの満足度		38.4 % (R3) 増加目標	40.1 % 目標まであと 1.9 %	- %			42.0 %		
	龍ヶ崎市役所の男性職員の育児休業取得率		100.0 % (R3) 増加目標	100.0 % 目標達成 0.0 %	100.0 % 目標達成 0.0 %			毎年100.0維持 %		
	龍ヶ崎市役所の女性職員の育児休業取得率		100.0 % (R3) 増加目標	100.0 % 目標達成 0.0 %	100.0 % 目標達成 0.0 %			毎年100.0維持 %		
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方					
	B	人材育成により培った知識や接遇を通じて、様々な場面での市民対応が評価されている一方で、事務事業の見直しや民間委託による市民サービスの向上等が求められているため。			働き方改革と合わせ、時代に合った持続可能な市政運営を行っていくため、補助金の適正化など個別事業の見直しに加え、デジタル技術の活用や職員・組織の意識や能力の向上を図っていく。					

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		8 市民と共に育む持続可能なまちづくり							
施策		4 効果的なシティプロモーション		リーディングプロジェクト(魅力創造)					
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ひとりの龍ヶ崎市に対する推奨・参画意欲が向上しています。</li> <li>積極的なシティプロモーション活動が行われており、多くの人が市の「ファン」になっています。</li> </ul>							
(1) 主要事業の状況	事業名	定住促進プロモーション事業		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内外でのプロモーション活動、子育て情報誌への広告掲載等</li> <li>・住まいの相談会の開催(2回)、JOIN移住フェア2024に出展(1回)</li> <li>・クールいばらき版(9・10月号)、10月にあんふあん千葉版(11月号)へ広告掲載</li> <li>・PR冊子「#龍ヶ崎で暮らす」リニューアル</li> </ul>			イベント開催回数	活動	回	3	3
	事業名	龍ヶ崎ファンクラブ事業		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会員募集キャンペーン、ファンクラブ公式LINE等での情報発信</li> <li>・市内市外でのイベント等に参加し、会員募集キャンペーンを実施</li> <li>・公式LINEで毎月3回程度、本市の出来事を発信</li> <li>・本市の資源を題材にしたクイズイベントを会員向けに3回実施</li> <li>○会員向けの民間事業者サービスの運用</li> <li>・事業者登録制度を構築し、7月からサービスの運用開始</li> </ul>			会員募集キャンペーン	活動	回	3	7
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民間人材の活用</li> <li>・地域資源及びマーケティング調査、市事業へのブランディングやデザインアドバイスのほか、ワークショップを開催</li> <li>・関係団体(商工会・観光物産協会など)を対象に地域ブランディングセミナーを開催</li> <li>・地域ブランディング事業方針策定</li> </ul>			龍ヶ崎ファンクラブ会員数	成果	人	1,000	966
	事業名	地域活性化起業人派遣事業(地域ブランディング支援)		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○民間人材の活用</li> <li>・地域資源及びマーケティング調査、市事業へのブランディングやデザインアドバイスのほか、ワークショップを開催</li> <li>・関係団体(商工会・観光物産協会など)を対象に地域ブランディングセミナーを開催</li> <li>・地域ブランディング事業方針策定</li> </ul>			ブランディングに関するセミナー及びワークショップの開催回数	活動	回	5	6
	その他の取組	ふるさと龍ヶ崎応援事業			指標名	区分	単位	目標	実績
(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)	
	龍ヶ崎の魅力をお勧めする意欲(推奨意欲)		-50.8 (R3) 増加目標	-61.3 目標達成 21.3	-			-40.0	
	龍ヶ崎をよくする活動に参加したい意欲(参画意欲)		-38.6 (R3) 増加目標	-57.7 目標達成 29.7	-			-28.0	
	龍ヶ崎ファンクラブ会員が市をお勧めする意識(推奨意欲)		39.8 % (R4) 増加目標	56.3 % 目標達成 11.3 %	59.1 % 目標達成 14.1 %			45.0 %	
	シティプロモーション活動への満足度		15.4 % (R3) 増加目標	23.3 % 目標達成 3.3 %	- %			20.0 %	
	市外在住者の本市の認知度		72.2 % (R2) 増加目標	70.3 % 目標達成 16.7 %	- %			87.0 %	
				【R5実績訂正】龍ヶ崎ファンクラブ会員が市をお勧めする意識(推奨意欲) 37.5%→56.3% 会員向けアンケート結果を記載すべきところ、入会時アンケートの結果を記載していたため。					
(3) 総合評価	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方					
	B	ファンクラブ会員の推奨意欲が着実に上昇しているほか、広報紙の見せ方の工夫やふるさと納税の取組の強化などにより、認知度等、KPIに一定の改善が見込まれるが、ブランディングなど課題があるため。		地域ブランディングにより「龍ヶ崎らしさ」を定め、プロモーション活動などを通じて本市の魅力を発信し、市民が誇れる・住み続けたいまち、そして、市外在住者の来訪や定住につながる取組を行っていく。					

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		8 市民と共に育む持続可能なまちづくり						
施策		5 公共施設の「縮充」の推進						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利便性の高い魅力的な公共施設が整っています。</li> <li>・ 公共施設が担うべき必要性の高い機能を確保しつつ、施設配置・総量の最適化が図られています。</li> </ul>						
(1) 主要事業の状況	事業名	公共施設再編成事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○公共施設が担うべき必要性の高い機能を確保しつつ、財政状況の悪化を回避して、施設配置・総量の最適化を図る ・旧城南中学校の跡地活用の優先交渉権者を決定 ・松葉小学校・長山小学校の跡地活用への保健所移転を決定 ・その他、市有地の売却		公共施設の施設数	活動	施設	86	87
	事業名	大宮小学校跡地活用検討事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○地域の実情に即した活用方法の検討 ・地元協議会と活用方法について協議 ・コミュニティセンター(新築又は既存校舎の改修)コスト検討		指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容			指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組							
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名	ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
		公共施設の総量最適化について理解している市民の割合	4.4 % (R4) 増加目標	2.9 % 目標まであと 4.1 %	- %			7.0 %
		公共施設等の現状や課題について関心を持っている市民の割合	53.7 % (R4) 増加目標	60.9 % 目標達成 3.9 %	- %			57.0 %
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由		今後の施策展開の考え方				
	B	学校跡地等の活用について、旧城南中学校の優先交渉権者が決定するなど、着実に地域住民との意見交換等を通じて取組が進んでいるものの、総量の最適化の進展や住民理解などに課題があるため。		持続可能なカタチで次世代へつないでいくため、市民との対話を通じて理解を得ながら、公共施設の質と量の最適化を図っていく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱		8	市民と共に育む持続可能なまちづくり						
施策		6	電子自治体の推進						
施策が目指す龍ヶ崎の姿・イメージ		<ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルトランスフォーメーション(DX)により、効率的で便利な行政運営が実践できています。</li> </ul>							
(1) 主要事業の状況	事業名	DX(デジタルトランスフォーメーション)推進事業		指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進 ・「自治体専用ビジネスチャットツール」、「ノーコードツール」、「公務員専用AIマサルくん」の本格・試験導入 ・LINEによるオンライン手続を拡充し、コミュニティセンター予約等に新たに導入 ・階層別職員研修にてデジタル人材育成研修を実施			職員からのDX発案件数	活動	件	15	13
					指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	道路・下水道台帳デジタル化事業		指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○道路台帳図及び下水道台帳図のデジタル化 ・道路管理システム及び下水道管理システムを構築 ○オープンデータ化 ・道路台帳図及び下水道台帳情報を搭載した公開型システムを構築 ・令和7年4月1日より、スマートフォン、PCに対応したホームページを公開			公開システムのアクセス数	成果	件	200	-
					指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名	スマートフォン教室開催事業		指標(R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○デジタルデバイス解消に向けた市民向けスマートフォン教室開催(計22回) ・基本講座(電源の入れ方等)をコミュニティセンター11か所で計16回開催 ・応用講座(スマートフォンを使った税の申告方法)を計6回開催			延べ参加者数	成果	人	200	173
					指標名	区分	単位	目標	実績
その他の取組									
(2) 重要業績成果指標(KPI)	指標名			ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績	目標値(R8)
	行政手続のオンライン化の件数			83 件 (R4) 増加目標	144 件 目標まであと 6 件	212 件 目標達成 62 件			150以上 件
(3) 総合評価	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方				
	A	KPIの達成状況のほか、デジタル技術を活用した市民の利便性向上につながる幅広い取組を進め、市民にも幅広く活用されているため。			費用対効果を踏まえながらDXを推進し、市民・事業者にとって効率的で利便性が高いだけでなく、市の業務効率化にも資する電子自治体を推進していく。				

令和6年度 龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030[前期基本計画] 施策評価シート



政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり						
施策	7	持続可能な財政運営						
施策が目指す 龍ヶ崎の姿・イメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民ニーズや社会経済情勢の変化に対応した、次世代においても持続可能な財政運営が行われています。</li> </ul>							
(1) 主要事業の状況	事業名	財政健全化推進事業	指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容	○中期的な視点から課題を的確に捉え、持続可能な財政運営に取組む。また、予算編成等の分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と協力を得るとともに、透明性及び説明責任を確保する。 ・予算要求基準の見直しの検討 ・財務書類作成早期化及び活用の検討		経常収支比率	成果	%	90	93
	事業名			指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	事業名			指標名	区分	単位	目標	実績
	取組内容		指標 (R6)	指標名	区分	単位	目標	実績
	その他の取組			指標名	区分	単位	目標	実績
	(2) 重要業績成果指標 (KPI)	指標名		ベース値	R5実績	R6実績	R7実績	R8実績
市税等の収納率		98.2 % (R2) 増加目標	98.5 % 目標達成 0.5 %	98.5 % 目標達成 0.5 %			98.2以上を維持 %	
経常収支比率		93.2 % (R2決算) 減少目標	92.9 % 目標達成 0.2 %	92.6 % 目標達成 -0.1 %			92.7 %	
積立金残高比率		34.6 % (R2決算) 増加目標	41.6 % 目標達成 6.6 %	38.2 % 目標達成 3.2 %			35.0 %	
基礎的財政収支		黒字 (R2決算) 増加目標	赤字 目標達成 赤字	-			黒字	
実質債務残高比率		181.3 % (R2決算) 減少目標	169.9 % 目標達成 12.6 %	185.1 % 目標達成 27.8 %			157.3 %	
社会資本形成の将来世代負担比率		11.6 % (R2決算) 減少目標	13.6 % 目標達成 3.4 %	-			10.2 %	
(3) 総合評価 A:達成されている B:一部課題がある C:課題がある	評価	評価の理由			今後の施策展開の考え方			
	B	市税の収納率は維持しており、財務指標は施設整備により増減はあるものの、概ね良い結果となっているが、歳入では自主財源の確保、歳出では社会保障費の増加や物価高騰の影響への対応が課題であるため。			財源の確保に向けて引き続き、収納率の向上に努めるとともに、中期的な財政収支見通しを勘案しながら、人口減少や少子高齢化など社会経済情勢の変化に対応できる持続可能な財政運営に取り組んでいく。			

「龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030」令和6年度 施策評価一覧

資料3

政策の柱	施策	施策の展開方向	事業名	所管課等	今後の方向性	集計											総合評価							
						事業数	今後の方向性																	
							継続		見直し				廃止			R6	R5							
							現状維持	方法改善	内容拡充	内容縮小	外部委託	終期設定	事業統合	事業休止	事業完了									
子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育みまわす	子ども・子育て支援の充実 【未来創造プロジェクト】	1	質の高い幼児教育・保育の確保																					
		2	地域での子育て環境の充実	保育所等施設整備事業	保育課	継続	現状維持																	
		3	すべての子どもが健やかにいきいきと育つ環境づくり	産前産後家事支援事業	こども家庭課	見直し	内容拡充																	
				産後ケア事業	こども家庭課	継続	現状維持	6	4	3	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	C	C	
				児童通所支援事業	障がい福祉課	見直し	内容拡充																	
		4	子育て世代への経済的支援	乳児委託健康診査等事業	こども家庭課	継続	現状維持																	
	5	少子化対策の強化	子育てスマイルパスポート事業	こども家庭課	継続	方法改善																		
	2 「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進 【未来創造プロジェクト】	1	確かな学力を育み、信頼される学校づくりの推進	小中一貫校施設整備事業	教育総務課・管財課	継続	現状維持																	
				教科専科指導員配置事業	指導課	継続	方法改善																	
				地域と学校の連携体制構築事業	文化・生涯学習課	継続	方法改善																	
				大宮小学校・龍ヶ崎小学校統合整備事業	教育総務課・管財課	継続	現状維持																	
		2	共生社会に向けた教育活動の充実	適応指導教室体制推進事業	教育センター	見直し	内容拡充	9	8	3	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	C	C	
		3	健康で健全な心身を育む教育の推進	県産献立「いばっぺごはんの日」実施事業	学校給食センター	継続	現状維持																	
				中学校部活動指導員配置事業	指導課	継続	方法改善																	
				地域部活動推進事業	文化・生涯学習課	継続	方法改善																	
	4	新時代に活躍する人材の育成	中学校英語検定料助成事業	教育総務課	継続	方法改善																		
	3 若者世代の活躍支援と定住促進 【未来創造プロジェクト】	1	青少年の健全育成	青少年リーダー育成推進事業	文化・生涯学習課	継続	現状維持																	
		2	若者世代の活躍支援	たつのこワクワクワーク事業	まちの魅力創造課	見直し	内容拡充																	
				高校生探究活動支援事業	企画課	見直し	内容拡充	6	4	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B	
		3	若者世代の定住促進	若者結婚新生活応援事業	まちの魅力創造課	継続	方法改善																	
ウェルカムチケット交付事業				まちの魅力創造課	継続	方法改善																		
			若者・子育て世代賃貸住宅延長補助事業	まちの魅力創造課	継続	現状維持																		

政策の柱	施策	施策の展開方向	事業名	所管課等	今後の方向性		集計											総合評価						
							今後の方向性																	
							事業数	継続		見直し				廃止			R6	R5						
								現状維持	方法改善	内容拡充	内容縮小	外部委託	終期設定	事業統合	事業休止	事業完了								
2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり	1 地域経済の活性化	1 商工業・サービスの振興と中小企業への支援	市制施行70周年記念プレミアム付き商品券事業	商工観光課	継続	現状維持	6	6	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B	
			街なか元気アップ支援事業	商工観光課	継続	現状維持																		
		2 農業の振興	畑作農業ステップアップ支援事業	農業政策課	継続	現状維持																		
			新規就農者経営支援事業	農業政策課	継続	現状維持																		
			スマート農業支援事業	農業政策課	継続	方法改善																		
		3 企業誘致の推進	企業立地促進奨励事業	商工観光課	継続	方法改善																		
	2 多様な働き方と働く場の創出	1 雇用の場の確保と地元就職の促進	若者世代等就職支援事業	商工観光課	廃止	事業休止	3	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	B	B
			保育士等支援事業	保育課	継続	現状維持																		
		2 創業・起業への支援	創業支援事業	商工観光課	見直し	内容拡充																		
		3 多様な働き方に向けた場の創出																						
	4 企業と連携した雇用創出の推進																							
	3 地域資源を活用した観光まちづくりの推進 【魅力創造プロジェクト】	1 観光・にぎわいづくりの推進	市制施行70周年記念全国コロッケフェスティバル開催事業	商工観光課	継続	現状維持	5	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B
			伝統芸能伝承事業	商工観光課	継続	現状維持																		
			観光PRイベント等開催事業	商工観光課	継続	現状維持																		
			まちなか再生推進事業	商工観光課	継続	現状維持																		
		2 交流の拠点としての牛久沼の有効活用	牛久沼活用事業	まちの魅力創造課	継続	現状維持																		
	3 大規模公園の活用																							
	4 流通経済大学との連携の推進	1 龍・流連携事業の推進	流通経済大学連携事業（龍・流連携）	まちの魅力創造課	継続	方法改善	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B
		2 大学（学生）と市民の交流促進																						
		3 学生の住みごこちの向上と愛着の醸成																						

政策の柱	施策	施策の展開方向	事業名	所管課等	今後の方向性		集計											総合評価																								
							今後の方向性																																			
							事業数	継続			見直し				廃止					R6	R5																					
								現状維持	方法改善		内容拡充	内容縮小	外部委託	終期設定	事業統合	事業休止	事業完了																									
3	1	1	支え合う地域福祉の推進	生活支援コーディネーター事業	福祉総務課	継続	現状維持	4	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C	C																			
				生活支援サポーター活用事業	福祉総務課	継続	方法改善																																			
				要支援者移送事業	福祉総務課	継続	現状維持																																			
				災害時一時宿泊費助成事業	福祉総務課	継続	現状維持																																			
		2	障がい者福祉の充実																																							
		3	高齢者福祉の充実																																							
	2	健康長寿社会の実現 【幸せ創造プロジェクト】	1	市民の健康寿命の延伸	高齢者補聴器購入支援事業	福祉総務課	継続	現状維持	4	3	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	B	B																		
					コンディショニングサポートプログラム事業（介護）	健康増進課	継続	現状維持																																		
			2	生活習慣病発症者と重症者の減少																																						
			3	健康づくり基盤の強化	がん予防・検診受診促進事業	健康増進課	継続	方法改善																																		
					新保健福祉施設建設事業	管財課	廃止	事業完了																																		
	3	地域医療体制・感染症対策の強化	1	地域医療体制の充実	医療対策事業	医療対策課	継続	現状維持	5	5	1	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B																
					おたふくかぜ予防接種助成事業	医療対策課	継続	方法改善																																		
			2	予防接種・感染症対策の強化	小児インフルエンザ予防接種助成事業	医療対策課	継続	方法改善																																		
					帯状疱疹ワクチン接種助成事業	医療対策課	継続	方法改善																																		
					HPVワクチン任意接種助成事業	医療対策課	継続	方法改善																																		
	4	社会保障制度の適正な運営	1	社会保障制度の健全な運営																																						
			2	医療費の適正化																																						
			3	生活の安定化と向上																																						

政策の柱	施策	施策の展開方向	事業名	所管課等	今後の方向性		集計													総合評価																				
							今後の方向性																																	
							事業数	継続			見直し				廃止																									
								現状維持	方法改善		内容拡充	内容縮小	外部委託	終期設定	事業統合	事業休止	事業完了	R6	R5																					
4	1	誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現 【魅力創造プロジェクト】	1	スポーツ・運動を通じた生きがいづくり	マラソン大会開催事業	スポーツ推進課	継続	方法改善	6	5	3	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	A	B																	
				スポーツによる自己実現支援事業	スポーツ推進課	継続	現状維持																																	
			2	競技スポーツの推進																																				
				3	スポーツによるにぎわいづくり	プロスポーツ連携事業	スポーツ推進課	継続																方法改善																
			オリンピック応援事業			スポーツ推進課	廃止	事業完了																																
			4	スポーツ環境の充実	たつのアリーナ管理事業	スポーツ推進課	継続	現状維持																																
	たつのコスタジアム管理事業	スポーツ推進課			継続	現状維持																																		
	2	暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進	1	市民の学びの機会の充実						1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B														
			2	暮らしを豊かにする文化芸術活動の促進	文化会館管理事業	文化・生涯学習課	継続	現状維持																																
			3	歴史的文化的遺産の保存と地域資源としての活用促進																																				
	3	多様性を認め尊重し合う、共生社会の実現	1	男女共同参画社会・女性活躍社会の実現						1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C	C														
			2	多文化共生社会の構築	多文化共生社会構築事業	地域づくり推進課	継続	現状維持																																
3			人権を尊重して多様性を認め合う社会の構築																																					

政策の柱	施策	施策の展開方向	事業名	所管課等	今後の方向性		集計											総合評価							
							今後の方向性													R6	R5				
							事業数	継続			見直し				廃止										
								現状維持	方法改善		内容拡充	内容縮小	外部委託	終期設定		事業統合	事業休止	事業完了							
5	1	1	防災力・減災力の強化	非常災害用備蓄事業	防災安全課	継続	現状維持	5	4	4	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B		
				住宅・建築物耐震改修促進事業	都市計画課	見直し	内容拡充																		
				水防対策費	防災安全課	継続	現状維持																		
				防災備蓄施設改修事業	防災安全課	継続	現状維持																		
				避難所環境改善事業	防災安全課	継続	現状維持																		
		2	地域の防災活動の充実																						
	3	国土強靱化の推進																							
	2	1	消防・救命体制の充実	消防団を中核とした地域防災力の向上	消防施設整備事業	防災安全課	継続	現状維持	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B
				2	安心の救命体制の充実	AED設置推進事業	防災安全課	継続																	
	3	暮らしの安全・安心の確保	1	地域の防犯体制の充実	防犯活動事業	防災安全課	継続	現状維持	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	C	C	
					防犯カメラ等設置事業	防災安全課	継続	現状維持																	
			2	交通安全環境の向上	交通安全施設整備事業	道路公園課	継続	現状維持																	
					通学路安全対策事業	道路公園課	継続	現状維持																	
3			消費者教育の充実																						

政策の柱	施策	施策の展開方向	事業名	所管課等	今後の方向性		集計											総合評価						
							今後の方向性																	
							継続			見直し				廃止										
							事業数	現状維持	方法改善	内容拡充	内容縮小	外部委託	終期設定	事業統合	事業休止	事業完了	R6	R5						
6	1	魅力ある都市拠点の形成 【幸せ創造プロジェクト】 【魅力創造プロジェクト】	1	生活を支える地域生活拠点と魅力を生み出す都市拠点の形成																				
			2	活力と雇用を生み出す産業拠点の形成	若柴長山前南部地区地区計画策定事業	都市計画課	廃止	事業完了	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	2	C	C	
			3	にぎわいのある交流拠点の整備	森林公園リニューアル事業	道路公園課	廃止	事業完了																
	2	快適でシームレスな移動環境の構築 【幸せ創造プロジェクト】	1	基幹公共交通の利便性向上と活性化	路線バス昼間割引事業	都市計画課	継続	現状維持																
			2	コミュニティバスと乗合タクシーの運行	コミュニティバス運行事業	都市計画課	見直し	内容縮小																
				乗合タクシー運行事業	都市計画課	継続	現状維持																	
			3	新たな公共交通ネットワークの構築	公共交通再編成事業	都市計画課	廃止	事業完了	4	2	2	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	C	C	
			4	公共交通利用の促進																				
	5	自転車利用の促進と放置自転車対策																						
	3	良好な住環境の維持・創出 【未来創造プロジェクト】	1	多様なニーズに対応した住宅地の供給と魅力ある住環境形成の促進																				
			2	空家等対策の推進	空家等対策事業	まちの魅力創造課	継続	方法改善	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B
					空家バンク活用事業	まちの魅力創造課	継続	現状維持																
3	市営住宅の計画的な予防保全と長寿命化																							

政策の柱	施策	施策の展開方向	事業名	所管課等	今後の方向性		集計											総合評価																												
							今後の方向性																																							
							事業数	継続			見直し				廃止																															
								現状維持	方法改善		内容拡充	内容縮小	外部委託	終期設定	事業統合	事業休止	事業完了	R6	R5																											
7	環境負荷の少ない地域社会の形成	1	自立・分散型エネルギー設備導入促進事業	生活環境課	継続	現状維持	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B																							
			公共施設太陽光発電設備等導入可能性調査事業	生活環境課	継続	現状維持																																								
			ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス導入促進事業	生活環境課	継続	現状維持																																								
			PPAモデル導入事業	管財課	継続	現状維持																																								
		2	循環型社会構築に向けたごみの発生抑制とリサイクルの推進																																											
		3	環境学習の推進																																											
	2	自然環境の保全と環境美化の推進	1	自然環境と里山の保全				0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B																				
			2	水辺環境の保全																																										
			3	特定外来生物への適切な対応																																										
			4	環境美化の推進																																										
	3	機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備	1	道路改良事業	道路公園課	継続	現状維持	8	5	5	0	0	0	0	0	0	0	3	2	0	1	B	B																							
				市道第1-45号線整備事業	道路公園課	継続	現状維持																																							
				市道第1-380号線（佐貫3号線）整備事業	道路公園課	継続	現状維持																																							
				橋梁維持補修事業	道路公園課	継続	現状維持																																							
				市道第Ⅱ-18号線外整備事業	道路公園課	廃止	事業統合																																							
				市道第3-373号線外整備事業	道路公園課	廃止	事業統合																																							
				幹線道路除草事業	道路公園課	継続	現状維持																																							
2			市民に愛される公園の整備・活用・維持																																											
3			汚水処理施設の計画的な維持管理	下水道事業内水浸水想定区域図策定事業	下水道課	廃止	事業完了																																							

政策の柱	施策	施策の展開方向	事業名	所管課等	今後の方向性		集計											総合評価							
							事業数	今後の方向性							R6	R5									
								継続		見直し				廃止											
								現状維持	方法改善	内容拡充	内容縮小	外部委託	終期設定	事業統合			事業休止	事業完了							
8 市民と共に育む持続可能なまちづくり	1 市民主体のまちづくりの推進	1	市民と行政の相互理解・情報共有の強化																						
		2	市民自らが考え、行動する、活発な市民活動の促進	市民活動サポート推進事業	地域づくり推進課	継続	現状維持	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B	
		3	地域における市民活動の活性化	新長戸コミュニティセンター建設事業	地域づくり推進課	継続	現状維持																		
	2 SDGsの推進	1	SDGsによるまちづくり	龍ヶ崎市SDGsパートナーシップ制度運用事業	企画課	継続	方法改善	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	A	A	
		2	SDGsの機運醸成																						
	3 効率的で透明性の高い市政運営	1	事務事業の見直し	行政経営推進事業	企画課	継続	方法改善																		
		2	機能的な組織体制の構築																						
		3	民間サービスの活用	申告相談事前予約コールセンター運営費	税務課	継続	現状維持	4	4	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B	
		4	行政サービスの広域化の推進	ごみ処理広域化推進事業	生活環境課	継続	現状維持																		
		5	人材の確保と育成	職員のスキル・モチベーションアップ事業	人事行政課	継続	現状維持																		
	4 効果的なシティプロモーション 【魅力創造プロジェクト】	1	定住促進などに向けたプロモーション活動の展開	定住促進プロモーション事業	まちの魅力創造課	継続	現状維持																		
		2	関係人口の創出	龍ヶ崎ファンクラブ事業	まちの魅力創造課	見直し	内容拡充	4	2	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1			B	B	
		3	シビックプライドを向上させるシティプロモーションの展開	地域活性化起業人派遣事業(地域ブランディング支援)	秘書広聴課	廃止	事業完了																		
		4	ふるさと納税制度の活用促進	ふるさと龍ヶ崎応援事業	商工観光課	継続	現状維持																		
	5 公共施設の「縮充」の推進	1	効果的・効率的な維持管理の推進																						
		2	機能(行政サービス)・事業運営の最適化の推進																						
		3	施設配置・総量の最適化	公共施設再編成事業	管財課	継続	現状維持																		
	大宮小学校跡地活用検討事業			管財課	継続	現状維持	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B	

政策の柱	施策	施策の展開方向	事業名	所管課等	今後の方向性		集計											総合評価																								
							今後の方向性																																			
							事業数	継続			見直し				廃止																											
								現状維持	方法改善		内容拡充	内容縮小	外部委託	終期設定	事業統合	事業休止	事業完了	R6	R5																							
8 市民と共に育む持続可能なまちづくり	6 電子自治体の推進	1	デジタルトランスフォーメーションの推進体制の構築	DX(デジタルトランスフォーメーション)推進事業	デジタル都市推進課	継続	現状維持	3	2	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	A	A																				
		2	自治体情報システムの標準化・共通化																																							
		3	行政手続のオンライン化	道路・下水道台帳デジタル化事業	都市計画課・道路公園課・下水道課	廃止	事業完了																																			
		4	デジタルバイド対策	スマートフォン教室開催事業	デジタル都市推進課	継続	現状維持																																			
	7 持続可能な財政運営	1	中期的な視点による財政運営	財政健全化推進事業	財政課	継続	現状維持	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	B	B																	
		2	市税等の適正課税の推進と納税環境の整備																																							
		3	分かりやすい財政状況の情報発信																																							

年度	事業数	集計											
		今後の方向性											
		継続			見直し				廃止				
		現状維持	方法改善		内容拡充	内容縮小	外部委託	終期設定	事業統合	事業休止	事業完了		
R6	105	85	63	22	9	8	1	0	0	11	2	1	8
R5	90	78	61	17	9	7	1	0	1	3	0	0	3

年度	施策数	集計		
		総合評価		
		A	B	C
R6	30	4	19	7
R5	30	3	20	7



まいりゅう  
MAIRYU

© 龍ヶ崎市



龍ヶ崎市

# 目 次

## 政策の柱1 子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり

### 施策1 子ども・子育て支援の充実【未来創造プロジェクト】

▶ 保育所等施設整備事業	1
▶ 産後ケア事業	2
▶ 児童通所支援事業	3
▶ 産前産後家事支援事業	4
▶ 乳児委託健康診査等事業	5
▶ 子育てスマイルサポート事業	6

### 施策2 「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進【未来創造プロジェクト】

▶ 地域と学校の連携体制構築事業	7
▶ 教科専科指導員配置事業	8
▶ 小中一貫校施設整備事業	9
▶ 大宮小学校・龍ヶ崎小学校統合整備事業	10
▶ 適応指導教室体制推進事業	11
▶ 中学校部活動指導員配置事業	12
▶ 県産献立「いばっぺごはんの日」実施事業	13
▶ 地域部活動推進事業	14
▶ 中学校英語検定料助成事業	15

### 施策3 若者世代の活躍支援と定住促進【未来創造プロジェクト】

▶ 青少年リーダー育成推進事業	16
▶ たつのこワクワクワーク事業	17
▶ 高校生探究活動支援事業	18
▶ ウェルカムチケット交付事業	19
▶ 若者結婚新生活応援事業	20
▶ 若者・子育て世代賃貸住宅延長補助事業	21

## 政策の柱2 まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり

### 施策1 地域経済の活性化

▶ 街なか元気アップ支援事業	22
▶ 市制施行70周年記念プレミアム付き商品券事業	23
▶ 畑作農業ステップアップ支援事業	24
▶ 新規就農者経営支援事業	25
▶ スマート農業支援事業	26
▶ 企業立地促進奨励事業	27

<b>施策2 多様な働き方と働く場の創出</b>	
▶ 保育士等支援事業	28
▶ 若者世代等就職支援事業	29
▶ 創業支援事業	30

<b>施策3 地域資源を活用した観光まちづくりの推進【魅力創造プロジェクト】</b>	
▶ 観光 PR イベント等開催事業	31
▶ 市制施行 70 周年記念全国コロツケフェスティバル開催事業	32
▶ 伝統芸能伝承事業	33
▶ まちなか再生推進事業	34
▶ 牛久沼活用事業	35

<b>施策4 流通経済大学との連携の推進</b>	
▶ 流通経済大学連携事業（龍・流連携）	36

### **政策の柱3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり**

<b>施策1 支え合う地域福祉の実現</b>	
▶ 生活支援コーディネーター事業	37
▶ 生活支援サポーター活用事業	38
▶ 要支援者移送事業	39
▶ 災害時一時宿泊費助成事業	40

<b>施策2 健康長寿社会の実現【幸せ創造プロジェクト】</b>	
▶ 高齢者補聴器購入支援事業	41
▶ コンディショニングサポートプログラム事業（介護）	42
▶ がん予防・検診受診促進事業	43
▶ 新保健福祉施設建設事業	44

<b>施策3 地域医療体制・感染症対策の強化</b>	
▶ 医療対策事業	45
▶ おたふくかぜ予防接種助成事業	46
▶ 小児インフルエンザ予防接種助成事業	47
▶ HPV ワクチン任意接種助成事業	48
▶ 帯状疱疹ワクチン接種助成事業	49

<b>施策4 社会保障制度の適正な運営</b>	
-------------------------	--

## 政策の柱4 誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり

### 施策1 誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現【魅力創造プロジェクト】

- ▶ マラソン大会開催事業 . . . . . 50
- ▶ スポーツによる自己実現支援事業 . . . . . 51
- ▶ プロスポーツ連携事業 . . . . . 52
- ▶ オリンピック応援事業 . . . . . 53
- ▶ たつのこアリーナ管理事業 . . . . . 54
- ▶ たつのこスタジアム管理事業 . . . . . 55

### 施策2 暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進

- ▶ 文化会館管理事業 . . . . . 56

### 施策3 多様性を認め尊重し合う、共生社会の実現

- ▶ 多文化共生社会構築事業 . . . . . 57

## 政策の柱5 安全・安心が実感できるまちづくり

### 施策1 防災・減災対策の推進

- ▶ 非常災害用備蓄整備事業 . . . . . 58
- ▶ 住宅・建築物耐震改修促進事業 . . . . . 59
- ▶ 水防対策費 . . . . . 60
- ▶ 防災備蓄施設改修事業 . . . . . 61
- ▶ 避難所環境改善事業 . . . . . 62

### 施策2 消防・救命体制の充実

- ▶ 消防施設整備事業 . . . . . 63
- ▶ AED 設置推進事業 . . . . . 64

### 施策3 暮らしの安全・安心の確保

- ▶ 防犯活動事業 . . . . . 65
- ▶ 防犯カメラ等設置事業 . . . . . 66
- ▶ 交通安全施設整備事業 . . . . . 67
- ▶ 通学路安全対策事業 . . . . . 68

## 政策の柱6 機能的で、利便性が高いまちづくり

### 施策1 魅力ある都市拠点の形成【幸せ創造プロジェクト・魅力創造プロジェクト】

- ▶ 若柴長山前南部地区地区計画策定事業 . . . . . 69
- ▶ 森林公園リニューアル事業 . . . . . 70

## 施策2 快適でシームレスな移動環境の構築【幸せ創造プロジェクト】

- ▶ 路線バス昼間割引事業 . . . . . 71
- ▶ 乗合タクシー運行事業 . . . . . 72
- ▶ コミュニティバス運行事業 . . . . . 73
- ▶ 公共交通再編成事業 . . . . . 74

## 施策3 良好な住環境の維持・創出【未来創造プロジェクト】

- ▶ 空家等対策事業 . . . . . 75
- ▶ 空家バンク活用事業 . . . . . 76

## 政策の柱7 環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり

### 施策1 環境負荷の少ない地域社会の形成

- ▶ 自立・分散型エネルギー設備導入促進事業 . . . . . 77
- ▶ 公共施設太陽光発電設備等導入可能性調査事業 . . . . . 78
- ▶ ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス導入促進事業 . . . . . 79
- ▶ PPA モデル導入事業 . . . . . 80

### 施策2 自然環境の保全と環境美化の推進

### 施策3 機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備

- ▶ 幹線道路除草事業 . . . . . 81
- ▶ 道路改良事業 . . . . . 82
- ▶ 市道第1 - 45号線整備事業 . . . . . 83
- ▶ 市道第Ⅱ - 18号線外整備事業 . . . . . 84
- ▶ 市道第1 - 380号線(佐貫3号線)整備事業 . . . . . 85
- ▶ 市道第3 - 373号線外整備事業 . . . . . 86
- ▶ 橋梁維持補修事業 . . . . . 87
- ▶ 下水道事業内水浸水想定区域図策定事業 . . . . . 88

## 政策の柱8(横断的取組) 市民と共に育む持続可能なまちづくり

### 施策1 市民主体のまちづくりの推進

- ▶ 市民活動サポート推進事業 . . . . . 89
- ▶ 新長戸コミュニティセンター建設事業 . . . . . 90

### 施策2 SDGsの推進

- ▶ 龍ヶ崎市 SDGs パートナーシップ制度運用事業 . . . . . 91

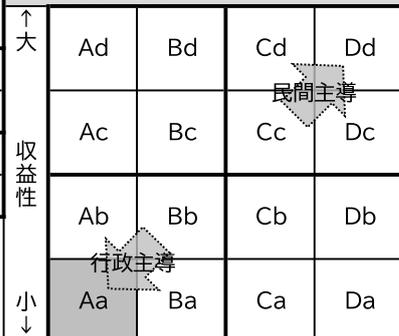
### 施策3 効率的で透明性の高い市政運営

- ▶ 行政経営推進事業 . . . . . 92
- ▶ 申告相談事前予約コールセンター運営費 . . . . . 93
- ▶ ごみ処理広域化推進事業 . . . . . 94
- ▶ 職員のスキル・モチベーションアップ事業 . . . . . 95

<b>施策4 効果的なシティプロモーション【魅力創造プロジェクト】</b>	
▶ 定住促進プロモーション事業	．．．．． 96
▶ 龍ヶ崎ファンクラブ事業	．．．．． 97
▶ 地域活性化起業人派遣事業（地域ブランディング支援）	．．．．． 98
▶ ふるさと龍ヶ崎応援事業	．．．．． 99
<b>施策5 公共施設の「縮充」の推進</b>	
▶ 公共施設再編成事業	．．．．． 100
▶ 大宮小学校跡地活用検討事業	．．．．． 101
<b>施策6 電子自治体の推進</b>	
▶ DX（デジタルトランスフォーメーション）推進事業	．．．．． 102
▶ 道路・下水道台帳デジタル化事業	．．．．． 103
▶ スマートフォン教室開催事業	．．．．． 104
<b>施策7 持続可能な財政運営</b>	
▶ 財政健全化推進事務	．．．．． 105

1 基本情報									
(1) 事業名	保育所等施設整備事業					(2) 担当課	保育課		
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり						
	施策	1	子ども・子育て支援の充実						
	施策の展開方向	1	質の高い幼児教育・保育の確保						
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	令和7年8月にあすなる保育園が認定こども園に移行し、併せて現在の所在地から移転する予定のため、保育及び教育の安定的な提供に向け、園舎の建替えを行う費用を補助します。					 			

2 取組状況											
(1) 取組内容	○令和6年度実施の建設工事は、交付金の内示後スケジュールに遅れが生じ、交付金額を変更。令和6年度は工事進捗率分(75%)を交付 ・就学前教育・保育施設整備交付金 国 1/2 130,578,000円 市 1/4 65,289,000円 ・次世代育成支援対策施設整備交付金 国 1/2 8,854,000円 市 1/4 4,428,000円										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	210,508,000		円	円		円		
		事業費	円	209,149,000		円	円		円		
		人件費	円	1,359,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	2,811		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	139,432,000		円	円		円	
		地方債		円	55,700,000		円	円		円	
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	15,376,000		円	円		円			

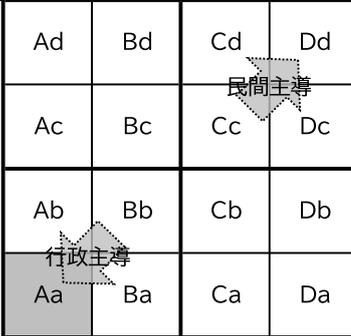
3 事業評価・分析									
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		多額の費用を要する建替え工事を後押しし、園児・職員が安全に健康的に過ごすことができる環境を確保するため。		
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		工事費の対象経費を適正に審査し、国の整備交付金を活用して補助金を交付したため。		
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		補助金を交付することで、子育て支援事業の実施など、充実した保育・教育環境の整備につながるため。		
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		認定こども園に移行し、保育及び教育を安定的に提供することは、すべてのこどもが健全に住み続けられるまちづくりにつながるため。		
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 					
	令和7年度の整備事業完了及び認定こども園として新園舎での事業開始を目指して、補助を継続していく。			←大 行政関与の必要性 小→					

1 基本情報				
(1) 事業名	産後ケア事業		(2) 担当課	こども家庭課
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり	
	施策	1	子ども・子育て支援の充実	
	施策の展開方向	3	すべての子どもが健やかにいきいきと育つ環境づくり	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等		
(6) 事業概要・目的	出産後の母子の心身のケア、育児のサポート等を行い、出産後も安心して子育てができる支援体制の確保を図ります。			 

2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○産後1年未満の母子を対象として事業を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>産後ケア事業費用10回目までを助成</li> <li>産科医療機関等における出産後の母子の心身のケア及び育児のサポートを実施</li> <li>※自己負担額(1~5回目:宿泊型2,500円、日帰り型1,000円、訪問型無料、6~10回目:宿泊型5,000円、日帰り型2,500円、訪問型1,000円、上の子の預かりを希望する場合、1人につき自己負担額3,000円)</li> <li>※医療機関6か所・助産所2か所・茨城県助産師会へ委託</li> <li>りゅうほー、市公式ホームページ、子育てガイドブック、母子健康手帳交付時のチラシ配布、及び保健センター年間予定表にて事業を周知</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	利用件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				85	98	160	118				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	6,365,000 円		6,650,000 円		円		円		
		事業費	3,793,000 円		4,812,000 円		円		円		
		人件費	2,572,000 円		1,838,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		84 円		89 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		1,695,000 円		2,406,000 円		円		円	
地方債		0 円		0 円		円		円			
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		4,670,000 円		4,244,000 円		円		円			

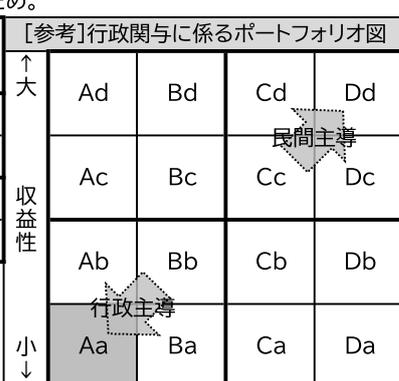
3 事業評価・分析																												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等																				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			出産後、家族からサポートを受けられず利用を希望する方が増えている状況であり、そうした方々が心身の健康を保ち、安心して子育てができる環境を整えることができるため。																				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			市と委託医療機関が連携し、妊娠期から子育て期にかけて切れ目ない支援を実施できているため。																				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			育児の相談をしたり、休養がとれる機会を提供することで身体的、精神的に回復し、安心して子育てができる環境を整えることができるため。																				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			産後のサービスを充実させることで、健康、福祉の向上や住み続けられるまちづくりにつながるため。																				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図																					
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充		<input type="checkbox"/> 内容縮小		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">↑大</td> <td>Ad</td> <td>Bd</td> <td>Cd</td> <td>Dd</td> </tr> <tr> <td>Ac</td> <td>Bc</td> <td>Cc</td> <td>Dc</td> </tr> <tr> <td>Ab</td> <td>Bb</td> <td>Cb</td> <td>Db</td> </tr> <tr> <td>Aa</td> <td>Ba</td> <td>Ca</td> <td>Da</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">←大 行政関与の必要性 小→</p>					↑大	Ad	Bd	Cd	Dd	Ac	Bc	Cc	Dc	Ab	Bb	Cb	Db	Aa	Ba	Ca	Da
	↑大	Ad	Bd	Cd	Dd																							
		Ac	Bc	Cc	Dc																							
Ab		Bb	Cb	Db																								
Aa		Ba	Ca	Da																								
<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合		<input type="checkbox"/> 事業休止																								
		<input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業完了																								
出産後の母親の身体的、精神的負担を軽減し、安心して子育てができる環境を整えるために、継続して実施していく。																												

1 基本情報											
(1) 事業名	児童通所支援事業					(2) 担当課	障がい福祉課				
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり								
	施策	1	子ども・子育て支援の充実								
	施策の展開方向	3	すべての子どもが健やかにいきいきと育つ環境づくり								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	障がい者プラン・障がい福祉計画・障がい児福祉計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	「こども発達センターつぼみ園」に、法に基づく児童発達支援センターとしての機能を持たせ、子どもたちの発達の中核的な拠点として整備します。					 					
2 取組状況											
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年4月に児童福祉法に基づく『児童発達支援センター』へ移行</li> <li>こどもを通所させ療育を行うことに加え、関連機関との連携づくりや援助、助言などの地域支援を行う地域における中核的な支援機関として再スタート</li> <li>心理職の常勤化に伴い、個別療育の受入れ枠を拡大(R5と比較して1.6倍)</li> <li>「保育所等訪問支援事業」を新規事業として開始</li> <li>「相談事業」を新規事業として開始し、発達支援に関する入口としての機能を追加</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	保護者向け児童発達支援評価結果「事業所の支援に満足しているか」	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						60	78				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	24,199,000		円		円		円	
		事業費	円	9,894,000		円		円		円	
		人件費	円	14,305,000		円		円		円	
	市民1人当たりの費用		円	323		円		円		円	
	財源内訳	国・県支出金	円	0		円		円		円	
		地方債	円	0		円		円		円	
		その他	円	9,877,000		円		円		円	
一般財源		円	14,322,000		円		円		円		
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		こども(0-11歳)の人口は減少傾向であるが、支援を必要とする児童は毎年増加しており、発達を専門とする相談窓口として中核的な機能を持つ施設としてニーズが高いため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		民間では配置が困難な専門職を多数配置し、支援体制の充実を進めるとともに、支援が必要なこどもが社会で自立して生活できるよう発達支援の中心となることのできるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		センターへの移行を機に、関係機関と連携を図り、日常生活において不安や心配のあるこどもやその家族に対して、積極的に支援を行っているため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		特別な支援が必要なこどもへ、必要な時に必要な相談及び療育が受けられるよう、幅広い高度な専門性に基づく発達支援・家族支援機能を持っているため。				
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑ 大  収益性  小 ↓	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc			
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db			
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da				
発達に不安がある就学前のこどもの成長をサポートするための本人への発達支援、及びこどもの発達の基盤となる家族への支援のニーズは、対象児童の増加に伴い高くなっており、それに加え、地域支援に対する相談や直接支援の要望が増加している。このため、一部事業については専門職を確保し拡充を図っているが、専門職による個別療育の時間の確保が困難な状況は継続しており、さらなる事業の見直しや職員の増員が課題となっている。											

1 基本情報											
(1) 事業名	産前産後家事支援事業					(2) 担当課	こども家庭課				
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり								
	施策	1	子ども・子育て支援の充実								
	施策の展開方向	3	すべての子どもが健やかにいきいきと育つ環境づくり								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等						(7) SDGsとの関連性	 		
(6) 事業概要・目的	妊娠中又は産後において、妊産婦のいる世帯に家事支援者を派遣し、家事等の援助を行うことにより、こどもを安心して産み育てる環境を整備します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○妊産婦を対象として事業を実施 ・家事支援等サービス(家事支援・育児支援)に係る費用を助成 ※直接児に接する支援は除く ※1日2時間までとし、上限40時間(ただし、多胎妊婦は上限60時間) ※1時間あたり500円(生活保護世帯は無料) ・りゅうほー、市公式ホームページ、母子健康手帳交付時や赤ちゃん訪問時のチラシ配付、保健センター年間予定表、及び子育てガイドブックにて事業を周知										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	利用件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				40	8	55	40				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	1,004,000 円		920,000 円		円		円		
		事業費	68,000 円		200,000 円		円		円		
		人件費	936,000 円		720,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		13 円		12 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		13,000 円		308,000 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		991,000 円		612,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			核家族が多く、家族から家事や育児のサポートを受けられず、母親の身体的、精神的負担が大きくなっているため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			シルバー人材センターや民間事業者に委託することで、市と事業者が連携しながらサービスを提供しているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			利用者の満足度は高いが、申請はするものの利用には至っていないケースも多くあり、その理由を分析し、必要に応じて、利用しやすい環境への改善が必要であるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			家事等に係る負担を軽減し、子育てに専念できる環境を整えることは、健康、福祉の向上や住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd			
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc			
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db			
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da				
母子手帳交付時に無料体験チケットを配付し、利用に関するハードルを下げることで、支援を必要としている方に支援が行き届くようにする。				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報									
(1) 事業名	乳児委託健康診査等事業					(2) 担当課	こども家庭課		
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり						
	施策	1	子ども・子育て支援の充実						
	施策の展開方向	4	子育て世代への経済的支援						
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	1歳6か月児・3歳児健診のほかに、1か月頃の乳児に対する健康診査の費用を助成します。					 			

2 取組状況												
(1) 取組内容	・1か月健康診査に係る費用を助成 ※対象者はすべての1か月児 ※助成額は5,605円で、自己負担額なし ※県外医療機関で受診した場合は、償還払いで対応 ・妊娠届出時に健康診査受診券交付するほか、りゅうほー、市公式ホームページ、子育てガイドブック、及び保健事業年間予定表にて事業を周知											
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	1か月健康診査受診率	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
						95	89					
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	2,370,000		円		円		円		
		事業費	円	1,411,000		円		円		円		
		人件費	円	959,000		円		円		円		
	市民1人当たりの費用		円	32		円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	918,000		円		円		円	
		地方債		円	0		円		円		円	
その他		円	0		円		円		円			
一般財源		円	1,452,000		円		円		円			

3 事業評価・分析									
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		乳児の成長発達の確認及び病気の早期発見や治療のため、保護者の経済的負担を軽減し、すべての乳児が健診を受けられる環境を整えることができるため。		
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		市と委託医療機関が連携し、乳児の健康管理ができているため。		
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		乳児の成長発達の確認及び病気の早期発見や治療につなげることができ、保護者が安心して子育てできる環境を整えることができるため。		
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		経済的支援を行うことで、必要な時期に健康診査を受けられる環境を整えることは、健康、福祉の向上や住み続けられるまちづくりにつながるため。		
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 					
	すべての乳児が必要な時期に健康診査が受けられるよう、経済的支援を継続して実施していく。			←大 行政関与の必要性 小→					

1 基本情報																											
(1) 事業名	子育てスマイルパスポート事業					(2) 担当課	こども家庭課																				
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり																								
	施策	1	子ども・子育て支援の充実																								
	施策の展開方向	5	少子化への対策の強化																								
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性																			
(6) 事業概要・目的	子育て世帯に向けて、民間の企業向け福利厚生サービスを活用した幅広い支援メニューを提供します。					 																					
2 取組状況																											
(1) 取組内容	○対象者への利用ポイント勸奨等 ・ポイント付与通知、サイト未登録者・2,000pt以上保有者あて利用勸奨通知(4回)、市公式ホームページへの記事掲載 ○対象者へのポイント付与 ○ポイント交換商品の充実とポイントシステムの改善 ・交換商品を充実(おむつ・ミルク・5,000ptピッタリ商品) ・商品検索機能を改修 ・アンケートフォームを設置 ○育児オンラインセミナーの開催(赤ちゃんを災害から守る勉強会:参加者数11名)																										
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																
	付与ポイントの使用率		成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績															
					90	67	90	82																			
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																		
	事業費等	総額	15,193,000 円		13,033,000 円		円		円																		
		事業費	8,647,000 円		10,236,000 円		円		円																		
		人件費	6,546,000 円		2,797,000 円		円		円																		
	市民1人当たりの費用		202 円		174 円		円		円																		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円																	
		地方債		0 円		0 円		円		円																	
その他		0 円		0 円		円		円																			
一般財源		15,193,000 円		13,033,000 円		円		円																			
3 事業評価・分析																											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等																			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			子育て世帯への経済的支援を通じて、子育ての負担や不安を軽減することで、安心して楽しく子育てできる環境を提供するため。																			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			「出産・子育て応援パスポート事業」と併用可能なポイントの商品交換サイトの保守管理等を民間へ業務委託することにより、事業費の抑制を図っているため。																			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			市民ニーズが多様化している中で、それぞれのライフスタイルに応じて選択できる商品やサービスの提供は有効であるが、商品ラインナップやポイント設定に課題があるため。																			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			子育て世代のニーズに応じたサービスを提供することは、健康・福祉の向上に結びつけられるため。																			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図																				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">↑大</td> <td>Ad</td> <td>Bd</td> <td>Cd</td> <td>Dd</td> </tr> <tr> <td>Ac</td> <td>Bc</td> <td>Cc</td> <td>Dc</td> </tr> <tr> <td>Ab</td> <td>Bb</td> <td>Cb</td> <td>Db</td> </tr> <tr> <td>Aa</td> <td>Ba</td> <td>Ca</td> <td>Da</td> </tr> </table> 民間主導 行政主導				↑大	Ad	Bd	Cd	Dd	Ac	Bc	Cc	Dc	Ab	Bb	Cb	Db	Aa	Ba	Ca	Da
	↑大	Ad	Bd	Cd	Dd																						
		Ac	Bc	Cc	Dc																						
Ab		Bb	Cb	Db																							
Aa		Ba	Ca	Da																							
<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了																							
積極的な利用勸奨等に努めた結果、ポイント利用率は前年度より上昇したが、目標値に達していない状況である。同システムを利用し、ポイント支給での子育て支援を行っている国の出産・子育て応援給付金が、令和7年度から原則現金支給へと大幅な制度改革が行われることに伴い、当該事業についてもこれに合わせて現金とポイントの選択制とした運用へと変更するため、円滑な事業運営ができるよう、所要の準備等を行う。							←大 行政関与の必要性 小→																				

1 基本情報						
(1) 事業名	地域と学校の連携体制構築事業			(2) 担当課	文化・生涯学習課	
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり			
	施策	2	「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進			
	施策の展開方向	1	確かな学力を育み、信頼される学校づくりの推進			
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	第2次龍ヶ崎市教育プラン		(7) SDGsとの関連性	
(6) 事業概要・目的	学校と地域が相互にパートナーとして連携し子どもたちの成長を支えていくために、コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置した学校)の導入を推進します。					

2 取組状況											
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討会議を4回開催</li> <li>・令和6年度モデル校の馴染小学校にて、学校運営協議会の会議を3回開催</li> <li>・令和6年7月の検討会議にて、令和7年度モデル中学校となる中根台中学校を選定</li> <li>・令和6年11月に、市PTA連絡協議会と市教育委員会合同でCSマイスターによる研修会を実施</li> <li>・令和7年1月に、中根台中学校学校運営協議会委員候補者への説明会を実施</li> <li>・令和7年3月の教育委員会定例会に委員の委嘱、任用に係る議案を上程</li> </ul>										
	(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
学校運営協議会委員のコミュニティ・スクールへの理解度		成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						70	74				
指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	3,743,000		円	円		円		
		事業費	円	146,000		円	円		円		
		人件費	円	3,597,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	50		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金	円	0		円	円		円		
		地方債	円	0		円	円		円		
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	3,743,000		円	円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			保護者や地域住民等が学校運営に参画し、学校と地域が一体となって、子どもたちを育てていくための仕組み作りを行っていくため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			学校に学校運営協議会を設置し、学校と行政(教育委員会)が一定の役割をもって事業を進めていくため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			学校、保護者、地域住民等が議論を交わすことで、より充実した学校運営に寄与することが見込めるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			コミュニティ・スクールを導入することで、地域で子どもたちを育てていくための目標やビジョンを地域住民と学校が共有することができるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善			[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小			↑大 収益性 小↓	Ad	Bd	Cd	Dd	民間主導
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定				Ac	Bc	Cc	Dc	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止				Ab	Bb	Cb	Db	行政主導
<input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業完了			Aa		Ba	Ca	Da		
教職員及び地域の方の認識度及び理解度の向上に努めていく。また、コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置した学校)の新たな設置については、第2次龍ヶ崎市教育プランの見直し時期を踏まえ、モデル校での検証及び検討を行った上で、今後方向性を示していく。						←大 行政関与の必要性 小→					

1 基本情報				
(1) 事業名	教科専科指導員配置事業		(2) 担当課	指導課
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり	
	施策	2	「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進	
	施策の展開方向	1	確かな学力を育み、信頼される学校づくりの推進	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	第2次龍ヶ崎市教育プラン	
(6) 事業概要・目的	各教科に専門の指導員を配置することで、効果的な指導を推進し、学力の向上を図ります。			(7) SDGsとの関連性

2 取組状況

(1) 取組内容	<p>○教科専科指導員(会計年度任用職員)の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校8校(龍ヶ崎小・大宮小・駒柴小・龍ヶ崎西小・松葉小・長山小・駒馬台小・城ノ内小)への配置</li> <li>・学校の実態と教科専科指導員の専門に応じて指導する学年や教科について、学校長と協議して決定</li> </ul> <p>○教科専科指導員の効果的な活用のための学校との協議、指導及び助言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月の勤務報告を基に、適切で効果的な活用を図るための学校との協議、指導及び助言</li> <li>・学校訪問の際に授業参観を実施</li> </ul>
----------	--

(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	授業が良く分かると肯定的に答えた児童生徒の割合	成果	%	目標	実績	目標	実績
				90	82	90	94
	指標名	区分	単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
			目標	実績	目標	実績	

(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	事業費等	総額	22,149,000 円	21,951,000 円	円	円
		事業費	20,902,000 円	20,672,000 円	円	円
		人件費	1,247,000 円	1,279,000 円	円	円
	市民1人当たりの費用		294 円	293 円	円	円
	財源内訳	国・県支出金	0 円	0 円	円	円
		地方債	0 円	0 円	円	円
その他		0 円	0 円	円	円	
一般財源		22,149,000 円	21,951,000 円	円	円	

3 事業評価・分析

(1) 事業評価	評価項目	評価基準	自己評価	判断理由等
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない	専門的な授業を展開することにより、児童の学びが深まっているため。
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない	教科専科指導員が授業を展開することで、学級担任の事務作業の効率化につながり、児童との関わりが増えているため。
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。	<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない	各学校の実態に応じて、必要な教科指導が行われているものの、児童生徒の理解度をさらに高められるよう、方策の検討が必要であるため。
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない	専門的な授業を展開することは、質の高い教育の提供につながるため。	

(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 ↑大 ↓小 ←大 行政関与の必要性 小→
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定	
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止	
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了		
児童生徒の授業の理解度をさらに高めていけるよう方策の検討を行いながら、今後も教科専科指導員の活用を推進していく。				

1 基本情報											
(1) 事業名	小中一貫校施設整備事業					(2) 担当課	教育総務課・管財課				
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり								
	施策	2	「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進								
	施策の展開方向	1	確かな学力を育み、信頼される学校づくりの推進								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	第2次龍ヶ崎市教育プラン				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す「小中一貫教育」を推進するため、適正な学級数が確保できるよう小学校の統合と併せ、義務教育学校の施設整備を行います。					 					
2 取組状況											
(1) 取組内容	○令和9年度の開校に向けた北竜台学園の整備工事 ・工事の早期発注、受注者の決定 R6～7(仮称)長山中学校区義務教育学校整備工事（建築工事/電気設備工事/機械設備工事） 【R6.7.17臨時議会議決、本契約(3件共)】 ・生徒の学習環境や学校運営への影響を考慮した施工計画を作成 ・既存部室棟解体など、本整備に先立つ事前準備工事を実施 仮設駐輪場設置工事【R6.9.30完了】 空調機移設工事【R6.9.13完了】 部室等解体【R6.9.30完了】										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	80,131,000 円		1,762,525,000 円		円		円		
		事業費	75,923,000 円		1,752,456,000 円		円		円		
		人件費	4,208,000 円		10,069,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		1,064 円		23,536 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		508,712,000 円		円		円	
		地方債		59,000,000 円		1,027,300,000 円		円		円	
その他		0 円		215,760,000 円		円		円			
一般財源		21,131,000 円		10,753,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		少子化の進行や児童生徒を取り巻く環境改善等の課題解消を目的に義務教育学校を整備し、義務教育9年間で系統的な教育を行っていくため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		長寿命化計画や施設一体型義務教育学校の整備時期、組合せ等の検討の結果、最も有利となるコスト試算による事業計画となっているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		適正規模適正配置基本方針に沿って、より良い学習環境を整え、公共施設の再編を始め、多くの課題を解消しながらの事業推進が可能のため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		適切な教育環境を維持し、防災機能の強化・施設の安全性を確保することは、包摂的かつ公平で質の高い教育の提供につながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	大 中 小 ↓	Ad	Bd	Cd	Dd	行政関与の必要性 ←大 小→		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc			
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db			
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da				
次年度以降も生徒の学習環境や学校運営への影響を最小限に抑えるとともに、予定通り工事を竣工させることを目標とし、工事監理を行っていく。											

1 基本情報				
(1) 事業名	大宮小学校・龍ヶ崎小学校統合整備事業		(2) 担当課	教育総務課・管財課
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり	
	施策	2	「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進	
	施策の展開方向	1	確かな学力を育み、信頼される学校づくりの推進	
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	第2次龍ヶ崎市教育プラン	
(6) 事業概要・目的	令和7年4月の大宮小学校と龍ヶ崎小学校の統合に向けて、受け入れ校となる龍ヶ崎小学校の施設整備を行います。			 

2 取組状況												
(1) 取組内容	○大宮小学校との統合に向けた、龍ヶ崎小学校の施設整備の実施 ・黒板張替→令和6年度龍ヶ崎小学校教室黒板修繕(R6.9.6完了) ・渡り廊下鉄部塗装修繕→令和6年度龍ヶ崎小学校渡り廊下改修工事(R7.3.14完了) ・空調機改修工事→令和6年度龍ヶ崎小学校空調機設置工事(R7.3.13完了) ・スクールバス駐車場整備工事→令和6年度龍ヶ崎小学校駐車場整備工事(その2)(R7.2.12完了) ・カーテン交換→令和6年度龍ヶ崎小学校カーテン購入(R7.1.24完了) ○令和7年度実施予定工事の実施設計の委託 ・実施設計→令和6年度龍ヶ崎小学校校舎内装等改修工事実施設計業務委託(R6.11.15完了)											
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	44,833,000		円		円		円		
		事業費	円	40,277,000		円		円		円		
		人件費	円	4,556,000		円		円		円		
	市民1人当たりの費用		円	599		円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円		円		円	
		地方債		円	15,200,000		円		円		円	
その他		円	0		円		円		円			
一般財源		円	29,633,000		円		円		円			

3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			少子化による児童生徒数の減少に対応し、適正規模適正配置の基本方針に沿った安全で快適な教育環境を提供するため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			通常の施設維持管理改修に合わせて、大宮小学校との統合に伴う教育環境の質的向上を図っているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			受け入れ校の整備を行うことは、児童生徒の安全確保や教育環境の向上につながり、より良い学習環境の充実化を図ることができるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			老朽化した施設の整備を進めることで、教育環境を改善させていくことは、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図								
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 小↓	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→			
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc				
	事業進捗に遅延が発生しないよう、工事を早期に発注し事業者選定を行っていく。				Ab	Bb	Cb	Db				
					Aa	Ba	Ca	Da				
			民間主導				行政主導					

1 基本情報					
(1) 事業名	適応指導教室体制推進事業		(2) 担当課	教育センター	
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり		
	施策	2	「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進		
	施策の展開方向	2	共生社会に向けた教育活動の充実		
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等			
(6) 事業概要・目的	不登校生徒及び教室での生活に困難さをもつ生徒に対し、校内適応指導教室において教育相談、自立支援、学習支援などのサポートを行います。			(7) SDGsとの関連性	

2 取組状況												
(1) 取組内容	<p>○校内適応指導教室運営員を龍ヶ崎中学校、城西中学校、中根台中学校の3校に配置し、教室担当教職員のサポートの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校内適応指導教室を利用する不登校生徒及び教室での生活に困難さをもつ生徒に対する、個の実態に応じた教育相談、自立支援、学習支援をサポート</li> <li>・教室担当教職員との連携による、教室利用生徒の社会的自立をサポート</li> </ul>											
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	支援によって在籍教室に戻る頻度が増えた生徒の割合		成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
							10	39				
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	6,497,000		円			円			
		事業費	円	1,941,000		円			円			
		人件費	円	4,556,000		円			円			
	市民1人当たりの費用		円	87		円			円			
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円			円		
		地方債		円	0		円			円		
その他		円	0		円			円				
一般財源		円	6,497,000		円			円				

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			教室運営に際し、教職員の空き時間で運用するだけでは担当者が不在の時間ができてしまい、生徒の実態に応じた対応が難しいため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			配置校との連携の下、年間の配置時数を管理しながら計画的に進めているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			教室に担当者が不在の時間が減り、不登校生徒等がいつでも安心して過ごせる場所が学校にできたことで、不登校率が下がりにつつあるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			多様な学びの場を提供することは、質の高い教育の提供につながるため。			
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小								
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定								
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止								
				<input type="checkbox"/> 事業廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了							
運営員を配置した3校において、校内適応指導教室が不登校生徒等の学校での居場所となり、運営員が生徒に寄り添うことで安心して登校できるようになったという報告を受けていることから、令和7年度は未配置の中学校2校にも運営員を配置し、運営を行っていく。											

1 基本情報											
(1) 事業名	中学校部活動指導員配置事業					(2) 担当課	指導課				
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり								
	施策	2	「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進								
	施策の展開方向	3	健康で健全な心身を育む教育の推進								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	第2次龍ヶ崎市教育プラン				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	中学校部活動において、専門的に指導できる指導者を配置することにより、生徒の健康で健やかな心身を育む教育を推進します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○部活動指導員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校4校における部活動指導員を1人ずつ配置し、部活動指導(週6時間以内)を実施</li> <li>※長山中学校(吹奏楽部、令和6年7月末まで)、城西中学校(柔道部)、城ノ内中学校(陸上部、令和6年8月末まで)、龍ヶ崎中学校(バレー部)</li> <li>・専門的な知見と経験を踏まえた指導を実施することにより、生徒のニーズに応えられる環境を整備</li> <li>※城ノ内中学校:県新人大会で男子総合1位、女子総合5位</li> <li>・部活動地域展開及び地域連携を見据えた、部活動指導員1人体制での指導を実施</li> <li>※龍ヶ崎中学校では2月までの勤務時間が259時間、月平均24時間従事。顧問が生徒指導対応や家庭との連絡、教材研究に従事する時間を確保</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	勤務時間以外の在校時間が80時間以上となった該当部活動顧問(教員)の人数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				0	0	0	0				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	2,767,000 円		2,502,000 円		円		円		
		事業費	1,676,000 円		1,223,000 円		円		円		
		人件費	1,091,000 円		1,279,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		37 円		33 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		795,000 円		588,000 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		1,972,000 円		1,914,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		部活動指導員の専門的な指導が効果的であるとともに、教員の働き方改革につながるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		部活動の地域展開及び地域連携に向けて計画が進められており、当該事業との連携や移行に向けて実施方法等を検討していく必要があるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		部活動指導員の専門的な指導が、生徒の技術的向上につながっているため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		専門的な指導で生徒の意欲や技術を向上させることは、質の高い教育の提供につながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 収益性 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
	部活動指導員の活用によって、生徒の技術が向上しているほか、教職員の働き方改革につながっているため、今後も事業を継続していく。また、部活動の地域展開の状況に合わせて、本事業の実施方法等の検討も行っていく。					Ab	Bb	Cb	Db		
Aa						Ba	Ca	Da			
←大 行政関与の必要性 小→											

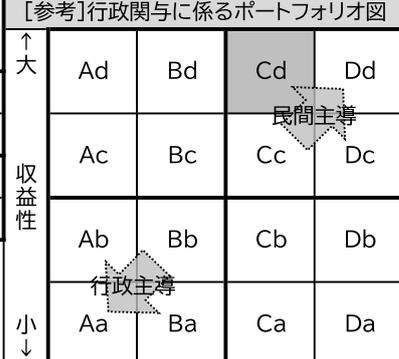
1 基本情報				
(1) 事業名	県産献立「いばっぺごはんの日」実施事業		(2) 担当課	学校給食センター
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり	
	施策	2	「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進	
	施策の展開方向	3	健康で健全な心身を育む教育の推進	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	教育プラン	
(6) 事業概要・目的	学校給食における地場産物の活用推進、地産地消等を学ぶ食育の教材とするため、龍ヶ崎市産をはじめ茨城県産のお米、野菜や肉のみを使った献立の日「いばっぺごはんの日」を実施します。			(7) SDGsとの関連性
				

2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○「いばっぺごはんの日」の年2回実施による、茨城県産の食材のみを使用した給食の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回:5月8日(B献立)、10日(A献立)実施 AB同一献立 12品目中4品が龍ヶ崎市産(米、豚肉、トマト、もやし)</li> <li>・第2回:12月11日(B献立)、13日(A献立)実施 AB同一献立 15品目中2品が龍ヶ崎市産(米、豚肉)</li> <li>・児童生徒に対し、学校給食の満足度を把握するためアンケート調査を実施</li> </ul> <p>※普段の給食よりおいしいと感じている児童生徒の割合 小学生55.2% 中学生30.4% 全体46.6%</p>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	「いばっぺごはんの日」実施回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				2	2	2	2				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
普段の給食よりおいしいと感じる児童・生徒の割合	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			65	72	65	47					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	5,912,000 円		6,289,000 円		円		円		
		事業費	5,678,000 円		6,049,000 円		円		円		
		人件費	234,000 円		240,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		78 円		84 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		5,912,000 円		6,289,000 円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			「いばっぺごはんの日」というコンセプトのもとで、使用する食材が児童生徒にとっての「生きた教材」となるばかりではなく、地場産物の活用推進にもつながるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			地場産物の仕入れや調理、提供までを一括管理し、安全な給食を提供するため、市が事業主体となり、コスト等を踏まえて的確に民間活力を導入しているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			児童生徒が、地域の食に関わる人々へ感謝し、また、食料の生産・流通・消費などを学ぶため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			学校給食に地場産物を積極的に活用し、食育の教材として地産地消等を学ぶことは、質の高い教育の提供などにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 →小	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
	児童生徒における郷土食材に対する意識向上が図れるとともに、地場産物の活用促進にもつながることから、今後も継続的に実施していく。					Ab	Bb	Cb	Db		
Aa						Ba	Ca	Da			

1 基本情報												
(1) 事業名	地域部活動推進事業					(2) 担当課	文化・生涯学習課					
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり									
	施策	2	「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進									
	施策の展開方向	3	健康で健全な心身を育む教育の推進									
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	第2次龍ヶ崎市教育プラン				(7) SDGsとの関連性					
(6) 事業概要・目的	生徒のニーズに対応したスポーツ・文化芸術活動ができる環境を地域に確立するとともに、教員が本務に専念できるように、部活動の地域展開を推進します。											
2 取組状況												
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>龍ヶ崎市地域クラブ活動ガイドライン策定(令和6年5月)</li> <li>NPO法人クラブ・ドラゴンズと業務委託契約を締結し、令和6年8月から令和7年2月まで野球部及びサッカー一部で実証事業を実施</li> <li>使用料手数料検討委員会にて、保護者負担金(会費)について設定(令和7年4月より運用)</li> <li>地域クラブ活動事業実施規則、部活動地域移行事業実施要綱策定(令和7年4月より施行)</li> <li>部活動の地域移行検討会6回実施</li> <li>龍ヶ崎市地域クラブ活動移行推進協議会を3回実施</li> <li>教職員、小6児童、中1・2生徒、保護者、野球・サッカー一部員への説明会を実施(延べ31回、令和7年1月～2月)</li> </ul>											
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	参加生徒・保護者の満足度	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
						70	80					
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	12,931,000		円		円		円		
		事業費	円	6,378,000		円		円		円		
		人件費	円	6,553,000		円		円		円		
	市民1人当たりの費用		円	173		円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	2,956,000		円		円		円	
		地方債		円	0		円		円		円	
その他		円	3,422,000		円		円		円			
一般財源		円	6,553,000		円		円		円			
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等					
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		生徒が専門的な指導者から質の高い指導を受ける機会を提供することと併せて、教職員の働き方改革を推進し、持続可能な学校運営に資するため。					
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		国が示す改革推進期間内に、運動部については、休日の地域展開の方向性を示すことができたが、文化部や平日の移行については、今後さらに推進していく必要があるため。					
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		国が示す改革推進期間(令和5年～令和7年)内に休日の運動部について地域展開を遂行することができたため。					
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		地域展開することで、質の高い新たなスポーツ環境を提供することができたため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc			
	<input type="checkbox"/> 事業統合		<input type="checkbox"/> 事業休止			Ab	Bb	Cb	Db			
<input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業完了		Aa		Ba	Ca	Da				
令和7年10月から、休日すべての運動部で地域展開を実施予定であり、休日の文化部についても、地域展開の方向性を示していく。また、平日の部活動の地域展開については、可能な限り早期の移行を目指して推進していく。なお、令和7年4月からクラブ・ドラゴンズが平日練習も開始し、野球部・サッカー一部で中体連に登録する予定となっている。												

1 基本情報												
(1) 事業名	中学校英語検定料助成事業					(2) 担当課	教育総務課					
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり									
	施策	2	「夢」を持ち「生きる力」を育む教育の推進									
	施策の展開方向	4	新時代に活躍する人材の育成									
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等	第2次龍ヶ崎市教育プラン			(7) SDGsとの関連性					
(6) 事業概要・目的	英語力や学習意欲向上を図るため、実用英語技能検定(英検)を受験した中学生の保護者に検定料を補助します。					 						
2 取組状況												
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・りゅうほー4月後半号及び市公式ホームページに補助制度の概要を掲載</li> <li>・市公式ホームページによくある問い合わせ内容と回答を掲載</li> <li>・龍ヶ崎市立小中学校に対し、保護者への申請の呼びかけを依頼し制度を周知</li> <li>・令和6年度は、中学生延べ403名を対象に2,429,200円を支給</li> </ul>											
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	補助金交付件数		活動	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
					440	431	440	403				
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	3,886,000 円		2,514,000 円		円		円			
		事業費	2,405,000 円		2,434,000 円		円		円			
		人件費	1,481,000 円		80,000 円		円		円			
	市民1人当たりの費用		52 円		34 円		円		円			
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円		
		地方債		0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円				
一般財源		3,886,000 円		2,514,000 円		円		円				
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等					
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		児童生徒の英語力及び学習意欲向上に向け、保護者からのニーズが高いため。					
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 効率的ではない		書類審査で事務に支障を来している場合があるほか、学校長経由の申請の場合、学校にも事務の負担が掛かっているため。					
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		本補助金が英語力及び学習意欲向上にどの程度寄与しているのか、正確な試算が難しいため。					
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		経済的な負担を気にすることなく受験できる環境が整うことで、所得格差に伴う教育の格差是正につながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 収益性 小↓	Ad	Bd	Cd	Dd			
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc			
	事務の効率化のため、電子申請を検討しつつ、児童生徒1人につき年度内2回まで全額補助を継続していく。					Ab	Bb	Cb	Db			
Aa						Ba	Ca	Da				
←大 行政関与の必要性 小→												

1 基本情報											
(1) 事業名	青少年リーダー育成推進事業					(2) 担当課	文化・生涯学習課				
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり								
	施策	3	若者世代の活躍支援と定住促進								
	施策の展開方向	1	青少年の健全育成								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	第2次龍ヶ崎市教育プラン				(7) SDGsとの関連性	 			
(6) 事業概要・目的	子どもたちが非日常の生活文化に親しむ機会を提供し、自分や自分のまちと向き合い新たな自己発見、探究をすることで次世代のリーダーを育成します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	・子ども会事業として小学3年生～6年生の21名が参加し、令和6年8月26日～29日の3泊4日で「放課後PLAYキャンプ野沢温泉村」を実施 ・親子の関係性や新しい自分を発見するためのプログラムとして、自然や食への関心、大切さを学ぶ活動、文化活動、決断力・行動力・意思決定力を身に付ける活動を展開 ・令和6年9月21日に事業実施後の親子振り返り会を行い、自己肯定感の高まりや保護者の子どもに対する考え方の変化を実証										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	参加者の満足度	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				70	100	80	94				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	3,335,000 円		4,691,000 円		円		円		
		事業費	1,075,000 円		2,053,000 円		円		円		
		人件費	2,260,000 円		2,638,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		44 円		63 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		3,335,000 円		4,691,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		非日常の生活や文化に親しむ機会を提供し、自分や自分のまちと向き合うことで、新たな自己発見につなげるとともに、次世代のリーダーを育成するため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		事業実施に当たっては、民間事業者のノウハウを活用した業務委託としたため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		昨年参加した児童にはリーダーシップが、初参加の児童には参加後に意識の変化が見られ、アンケートでも「自分に対する新たな発見があった」と答えた児童が多くいたため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		教育的プログラムの実施とグループ活動を行うことにより、質の高い教育の提供やパートナーシップの醸成につながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	実施後の親子振り返り会やアンケートでも、この事業の目的でもある、新たな自分の発見や自己理解、リーダーシップ育成の面で、親子それぞれに成長の良い機会となっている。今後も民間事業者のノウハウを活用しながら、本市の次世代を担うリーダーの育成に努めていく。										
					←大 行政関与の必要性 小→						

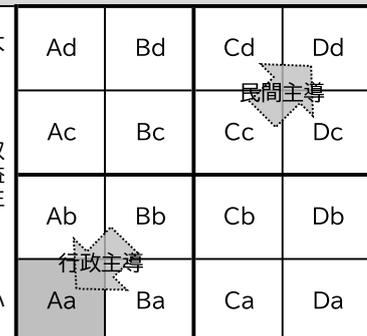
1 基本情報				
(1) 事業名	たつのこワクワクワーク事業		(2) 担当課	まちの魅力創造課
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり	
	施策	3	若者世代の活躍支援と定住促進	
	施策の展開方向	2	若者世代の活躍支援	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等		
(6) 事業概要・目的	市内事業者等と連携し、子どもたち向けの職業体験イベントを開催することにより、本市へのシビックプライドの醸成や子どもたち(若者)の活躍促進につなげます。			 

2 取組状況											
(1) 取組内容	○事業計画の作成 ・8月17日から25日に15事業者、定員250人で計画(2事業者は新規参入) ○事業の周知・募集 ・市公式ホームページ及びSNSや「スクリレ」のほか、市関連施設及び事業所にチラシ・ポスター等を掲示 ○「たつのこワクワクワーク」の開催 ・夏休み(8月19日から25日)に、13事業者、166人で職業体験イベントを実施 ※台風の影響で、8月17日及び18日の体験が中止となったため、市直営で12月21日及び22日に「消防士のお仕事(龍ヶ崎消防署)」を振替で実施										
	(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
職業体験スポット数		活動	箇所	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				15	14	15	14				
指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
参加者数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			250	215	250	221					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	6,065,000 円		6,470,000 円		円		円		
		事業費	3,026,000 円		3,513,000 円		円		円		
		人件費	3,039,000 円		2,957,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		81 円		86 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		3,498,000 円		円		円			
一般財源		6,065,000 円		2,972,000 円		円		円			

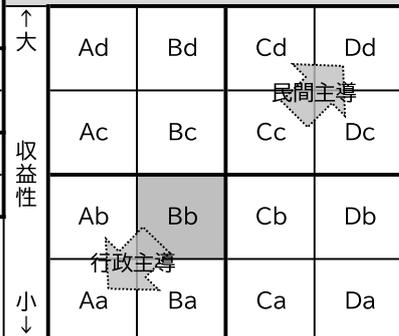
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			体験型イベントで得た経験は、現代の消費者ニーズである「コト消費」「モノ消費」につながっており、数年間の申込推移を鑑みても子育て世代のニーズに沿っているため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			イベント運営の専門知識を有する事業者へ委託し、業務の効率化を図っているが、物価高騰に伴い、事業費等は増加傾向にあるため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			参加者アンケートでの満足度は9割以上と好評であり、事業の目的に則しているため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			学校や日常生活では得られない経験を提供することは、質の高い教育につながり、子どもたちの将来の選択肢を豊かにするため。			
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小								
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定								
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止								
約400人の申込みがあり、参加者アンケートでは満足度が9割以上と高く、人気の高いイベントである。一方、定員は250人であり、落選者が多数出たため、令和7年度は事業者を20事業者程度、定員を300人程度と拡充し、事業を実施していく。併せて、事業費の縮減について検討を行う。				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報											
(1) 事業名	高校生探究活動支援事業					(2) 担当課	企画課				
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり								
	施策	3	若者世代の活躍支援と定住促進								
	施策の展開方向	2	若者世代の活躍支援								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等						(7) SDGsとの関連性	 		
(6) 事業概要・目的	市内高等学校が取り組む探究活動等に対して支援・協力することにより、高校生のまちづくりへの参画機会を創出し、まちへの愛着の醸成を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○包括連携協定を締結した市内4つの高等学校において、各校の教育方針・目標に応じて実施している「総合的な探究の時間」のサポートを主に、高校生が取り組む探究活動を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出前授業を開催し、市の取組の紹介や地域の団体、大学の講師を招いた講義を実施</li> <li>・探究活動の班やグループごとのテーマに応じて、高校生が関係各課等の職員と意見交換をする場を提供</li> <li>・探究活動を進めるにあたり、疑問点について、メールなどで随時受け付け、必要な情報を提供</li> </ul> <p>○地域課題の解決につながる活動を行う際の補助制度要綱を制定(令和7年度より開始)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動アシストTYPE:市内各校の授業において、班、グループなどで活動している団体に、上限3万円を交付</li> <li>・地域活動アクションTYPE:市内に在住又は通学をする高校生複数人で活動する団体に、上限5万円を交付</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	支援に関わった市内の延べ課等数	活動	課等	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						20	27				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
支援について満足又は概ね満足と評価した校数	成果	校	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
					4	4					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	2,957,000		円	円		円		
		事業費	円	0		円	円		円		
		人件費	円	2,957,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	39		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円	円		円	
		地方債		円	0		円	円		円	
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	2,957,000		円	円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			市職員による出前授業や意見交換、地元の方々に関わることは、探究活動の深化や市への興味・愛着の醸成につながるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			市の事業の紹介や高校生と地元の方々との橋渡しとなることは、行政ならではの取組といえるが、出前授業や意見交換などの実施手法に改善の余地があるため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			各校に周知している実施要領に基づき、事業の目的に沿った取組を行っているが、各校の方針に応じたきめ細かな取組の提供に課題があるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			学校の授業だけでは得られない情報に触れ、体験をすることは、探究活動の深化、ひいては質の高い教育の提供につながるため。			
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc			
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db			
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da				
令和5年度まで、各校の要望に応じて市の取組を紹介する出前授業の開催など個別に対応してきたが、令和6年度から「高校生探究活動支援事業」として事業化し、実施要領に基づき、企画課における出前授業のみならず、各課等の職員との意見交換会を開催するなど、一定の成果につなげることができた。令和7年度は、探究活動の深化や地域の活性化につながる取組に対する補助制度を創設し、高校生のさらなる活躍を支援していく。											

1 基本情報												
(1) 事業名	ウェルカムチケット交付事業					(2) 担当課	まちの魅力創造課					
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり									
	施策	3	若者世代の活躍支援と定住促進									
	施策の展開方向	3	若者世代の定住促進									
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	新たに市民になった方などを対象に、本市の居住環境の優位性の認知を図るため、市の公共施設等の優待チケットを配布します。											
2 取組状況												
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転入された方や新婚世帯(U29新婚生活応援補助事業対象者)へウェルカムチケットを交付</li> <li>・ウェルカムチケットの周知・PRとして、市公式ホームページ及び市政情報モニターに掲載するほか、ウェルカムチケットと併せて、チケットの使い方のチラシを窓口で交付</li> <li>・5月から6月にかけて、民間事業者及び龍ヶ崎観光物産協会・物産部会と協議・調整(後に、4店舗(事業所)がサービス店舗として追加)</li> <li>・8月にコロッケクラブ龍ヶ崎に5店舗が加盟し、ウェルカムチケットの対象店舗を拡大</li> <li>・10月にウェルカムチケットをリニューアルし、新たなサービスを提供</li> </ul>											
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	チケットの配布者数		活動	枚	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
					1,950	2,149	3,670	4,036				
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
チケットの使用枚数		成果	枚	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
				750	486	1,500	1,826					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	2,435,000 円		1,959,000 円		円		円			
		事業費	487,000 円		1,000,000 円		円		円			
		人件費	1,948,000 円		959,000 円		円		円			
	市民1人当たりの費用		32 円		26 円		円		円			
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円		
		地方債		0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円				
一般財源		2,435,000 円		1,959,000 円		円		円				
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			転入された方などに、本市の居住環境の優位性の認知を図ることができるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			転入届を受理した際、市役所等の窓口でウェルカムチケットを直接交付しており、郵送料等の抑制につながっているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			ウェルカムチケットが利用されることで、公共施設や市内店舗等の利用促進及び認知度向上に一定程度つながっているものの、より効果的な取組を模索する必要があるため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			転入者や新婚世帯がウェルカムチケットを利用することで、公共施設や市内店舗等を認知し、定住意欲の向上を図ることで、住み続けられるまちにつながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図								
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 小↓	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→			
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc				
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db				
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da					
本市の居住環境の優位性の認知を図るため、引き続き、ウェルカムチケットの交付を継続するとともに、新たなサービス提供について検討していく。												

1 基本情報											
(1) 事業名	若者結婚新生活応援事業					(2) 担当課	まちの魅力創造課				
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり								
	施策	3	若者世代の活躍支援と定住促進								
	施策の展開方向	3	若者世代の定住促進								
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	若者の結婚に伴う新生活を経済的に支援することにより、婚姻及び定住の促進を図ります。					 					
2 取組状況											
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>夫婦いずれかが30歳未満の新婚世帯1組あたり、最大10万円(基本額5万円+加算額5万円)の補助金を交付</li> <li>申請書提出時にアンケートを実施</li> <li>4月に市公式ホームページ及び市公式LINEで情報発信するとともに、婚姻届受付時にチラシを配布</li> <li>4月から5月に市内店舗(スーパー、ドラッグストア等)へ補助制度の広報物掲載を依頼</li> <li>6月に市広報紙「りゅうほう」に掲載、市政情報モニターに掲載</li> <li>9月に市公式LINEで情報発信</li> <li>3月には、次年度に向けた要綱改正</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	補助金交付件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				150	48	70	79				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	6,897,000 円		9,406,000 円		円		円		
		事業費	4,793,000 円		7,887,000 円		円		円		
		人件費	2,104,000 円		1,519,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		92 円		126 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		6,897,000 円		9,406,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		晩婚化の進行は、本市に限らず、全国的課題の一つであり、若者の結婚に伴う新生活を経済的に支援することで、婚姻及び定住の促進を図れるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		市が事業主体であることは妥当であり、補助事業は、対象者の市民税1年間相当分を算出根拠とし、過大な事業費とならないよう考慮しているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		経済的負担から結婚に至らない若者、結婚しても経済的負担を感じる方が一定程度いることが考えられるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		新婚世帯への経済的支援は、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定						
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了						
	令和6年度は事業開始から2年目となり、市公式LINEや市内店舗での広報物掲載など周知を強化し、申請実績が79件と大幅に増加した。今後もライフステージに応じた重層的な支援として、若者が結婚に伴う新生活を安心して始められるよう、引き続き経済的な支援を行っていく。また、令和7年度からは申請手続きの利便性を向上させるため、補助申請と請求手続きを一体化し、窓口への来訪回数を削減するよう改善を図る。										
							行政関与の必要性				

1 基本情報											
(1) 事業名	若者・子育て世代賃貸住宅延長補助事業					(2) 担当課	まちの魅力創造課				
(3) 施策の体系	政策の柱	1	子どもや若者が健やかに育ち、一人ひとりの夢や希望を育むまちづくり								
	施策	3	若者世代の活躍支援と定住促進								
	施策の展開方向	3	若者世代の定住促進								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等							(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	若者子育て世代の定住を促進するため、35歳未満の0～4歳以下の子がいる世帯が賃貸住宅の契約を更新した際に更新料相当額を補助します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月に事業の制度設計を行い、35歳未満の0～4歳以下の子がいる世帯が、現住所の賃貸住宅で契約の更新、または、市内の賃貸住宅へ転居した場合、1世帯あたり、最大7万円(基本額5万円+加算額2万円)の補助金を交付(50世帯分を想定)</li> <li>・5月に補助金交付要綱等を作成、記者会見で情報提供</li> <li>・6月にりゅうほー、市公式ホームページ、LINEでの事業周知及び宅建協会への事業周知</li> <li>・7月から事業開始、アンケートを実施</li> <li>・8月から市政情報モニターに掲載</li> <li>・9月に市公式LINEで情報発信</li> <li>・3月には、次年度に向けた要綱改正</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	補助金交付件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						50	42				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	5,122,000		円	円		円		
		事業費	円	2,964,000		円	円		円		
		人件費	円	2,158,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	68		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円	円		円	
		地方債		円	0		円	円		円	
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	5,122,000		円	円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		若者・子育て世代を対象とした定住促進は、地域の活力や持続可能性を高めるための重要な取組であるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		市が事業主体であることは妥当であり、補助制度導入にあたっては、賃貸住宅更新料相当分を算出根拠とし、適切な事業費として考慮しているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		経済的支援を実施することで、子育て世代の小学校入学前の転出を抑え、本市への定住を促進する一助となっているため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		若者・子育て世代への経済的支援は、住み続けられるまちづくりにつながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 収益性 小↓	Ad	Bd	Cd	Dd		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
	令和6年度から開始した事業であり、周知などさらなる工夫が必要となる点もあるが、ライフステージに応じた重層的な支援として、賃貸住宅の更新費用を支援することで、小学校就学前の世帯に切れ目のない支援を行い、定住促進につなげていく。					Ab	Bb	Cb	Db		
Aa						Ba	Ca	Da			
←大 行政関与の必要性 小→											

1 基本情報												
(1) 事業名	街なか元気アップ支援事業					(2) 担当課	商工観光課					
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり									
	施策	1	地域経済の活性化									
	施策の展開方向	1	商工業・サービス業の振興と中小企業への支援									
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	地域経済の活性化や持続可能な産業及び観光の振興に資するための取り組みを行う、市内の商店会や事業者団体等の方へ向けた「街なか元気アップ支援事業費補助金」を交付します。						 					
2 取組状況												
(1) 取組内容	<p>〇市内の商店会等が実施する、地域経済の活性化や持続可能な産業及び観光の振興を図るための取組の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度の制度改正について、市公式ホームページにより周知</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の影響による事業者支援を削除</li> <li>※補助上限を200万から100万円に見直し</li> <li>※成果指針を図る取組としてイベント等に当たってはアンケート実施を追加等</li> <li>・街なか元気アップ支援事業費補助金の交付件数 5件(4団体へ交付)</li> </ul>											
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	補助金交付件数		活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
							4	5				
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円		3,158,000 円		円		円			
		事業費	円		2,199,000 円		円		円			
		人件費	円		959,000 円		円		円			
	市民1人当たりの費用		円		42 円		円		円			
	財源内訳	国・県支出金		円		0 円		円		円		
		地方債		円		0 円		円		円		
その他		円		2,199,000 円		円		円				
一般財源		円		959,000 円		円		円				
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			地域経済の活性化や持続可能な産業及び観光の振興に資するため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			地元商店会等が自ら企画した取組に対し、補助金の交付により実施を後押しすることで、にぎわいの創出に加え、成功体験を通じてその後の自立した取組が期待されるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			交付要綱に基づき、地域経済の活性化や持続可能な産業及び観光の振興を図る取組が推進されているため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			地元商店会等を支援することにより、地域経済の活性化や持続可能な産業振興を推進していくことは、経済成長につながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定							
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了							
	引き続き、補助金の交付により、市内経済の活性化や持続可能な産業及び観光の振興を推進していくとともに、補助金等の見直しガイドラインに基づき、補助率の適正化を図っていく。											
						←大 行政関与の必要性 小→						

1 基本情報												
(1) 事業名	市制施行70周年記念プレミアム付き商品券事業					(2) 担当課	商工観光課					
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり									
	施策	1	地域経済の活性化									
	施策の展開方向	1	商工業・サービス業の振興と中小企業への支援									
(4) 新規・継続の別	新規		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	プレミアム付き商品券事業を実施し、市民と事業者の経済的支援を図るとともに、地域における消費の喚起を図ります。					 						
2 取組状況												
(1) 取組内容	○プレミアム付き商品券の販売及び換金等の実施 ・発行及び販売を龍ヶ崎市商工会に業務委託 ・発行総額 2億4千万円 ・販売冊数 2万冊(完売) ・購入者数 10,294人 ・換金額 239,256,500円 ・換金率 99.7パーセント											
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	販売冊数		活動	冊	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
							20,000	20,000				
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
換金率		成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
						100	100					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	49,107,000	円		円		円			
		事業費	円	47,428,000	円		円		円			
		人件費	円	1,679,000	円		円		円			
	市民1人当たりの費用		円	656	円		円		円			
	財源内訳	国・県支出金		円	0	円		円		円		
		地方債		円	0	円		円		円		
その他		円	47,428,000	円		円		円				
一般財源		円	1,679,000	円		円		円				
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			当初予定した商品券の発行枚数以上の申込みがありニーズが高いため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			龍ヶ崎市商工会に委託することで、商工会が持つネットワークを活用し、地域の店舗や事業者との連携を図ることができたため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			換金率も高く、地域経済の活性化や消費促進に寄与することができたため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			地域経済の活性化や地域内での消費喚起により地域経済循環を促進することは、住み続けられるまちづくりにつながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図								
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	大 ↑ ↓ 小	Ad	Bd	Cd	Dd	行政主導 ← 民間主導 →			
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc				
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db				
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da					
市民と事業者双方への経済的支援につながり、地域経済活性化の起爆剤となる事業であるが、多額の予算を要することから、継続して実施していくためには、財源の確保が課題となっている。 令和7年度については、国の重点支援地方交付金を活用し、今年度と同様に実施するが、その後については、国の交付金等の動向や社会経済情勢を見極めながら、適切なタイミングで実施を検討していく。												

1 基本情報											
(1) 事業名	畑作農業ステップアップ支援事業					(2) 担当課	農業政策課				
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり								
	施策	1	地域経済の活性化								
	施策の展開方向	2	農業の振興								
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	農業経営の発展を目指す畑作農業者の支援を行い、安定した生産体制を構築することで本市の基幹産業である農業の振興を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○畑作農業ステップアップチャレンジ事業による農業用機械、施設等の導入にかかる費用の一部補助 ・ハウスカーテン更新 補助額:333,000円 作物:トマト ・ハウスカーテン更新 補助額:174,000円 作物:トマト ・配管更新(改修) 補助額:132,000円 作物:トマト ・加温機購入、ハウスカーテン更新等 補助額:1,000,000円 作物:トマト ・ハウス屋根更新 補助額:238,000円 作物:いちご ・農業用ドローン等購入 補助額:1,000,000円 作物:大豆 ・農業用ドローン等購入 補助額:1,000,000円 作物:かぼちゃ ・ハウスガラス更新 補助額:41,000円 作物:いちご 8件 3,918,000円										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	補助金交付件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				10	7	7	8				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	4,943,000 円		5,117,000 円		円		円		
		事業費	3,852,000 円		3,918,000 円		円		円		
		人件費	1,091,000 円		1,199,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		66 円		68 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		4,943,000 円		5,117,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		国や県による支援策は、大規模経営を中心とした施策が主である一方で、本事業は、地域の現状に合わせて独自に中小農業者を支援する施策であるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		適切な補助要件、提出書類を設定することにより、農業者と市双方にとって手続きの負担を軽減しているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		国や県の支援制度について、要件が合致せず活用できない農業者を支援できることから、農業者の意欲向上や経営発展の一助となっているため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		農業者の意欲向上、経営安定を図ることにより、農業振興、生産拡大に寄与することは、産業の基盤づくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	中小農業者の支援は、本市の農業振興に欠かせないものであるため、本事業を継続していく。										
				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報											
(1) 事業名	新規就農者経営支援事業					(2) 担当課	農業政策課				
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり								
	施策	1	地域経済の活性化								
	施策の展開方向	2	農業の振興								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等						(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	農業従事者の確保・自立を促進し、安定した生産構造の構築により、農業の振興を図ります。					 					
2 取組状況											
(1) 取組内容	○農業次世代人材投資資金(経営開始型)の交付【10/10国補事業】 ・交付件数1件、交付額120万円 ○新規就農者支援事業補助金【市単独事業】 ・交付件数2件、交付額180万円(認定農業者90万円×2名) ○事業の周知 ・市公式ホームページや県ホームページ「ReBARAKI」への掲載 ・新農業者フェアinいばらき(令和6年7月27日/ホテルグランド東雲/市内の農家による就農相談を実施) ・就農相談を実施(随時)										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	新規就農者支援補助金交付件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				2	2	2	2				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	4,218,000 円		3,560,000 円		円		円		
		事業費	3,750,000 円		3,000,000 円		円		円		
		人件費	468,000 円		560,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		56 円		48 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		2,250,000 円		1,200,000 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		1,968,000 円		2,360,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		新規就農者が経営を安定させるには、相当程度の期間を要すると思料され、本事業は、自立促進のために就農初期の支援や安定経営につながることを期待されるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		行政の許認可が必要な補助事業であることから市が事業主体となり、県や農業改良普及センター等と連携して実施しているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		就農初期段階の農業者を支援し、安定経営につなげることで、農業者の自立促進、基幹産業の振興を図ることができるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		農業者の自立した安定経営を図ることにより仕事の幅を広げ、就業の充実感、農業の振興や経済成長に寄与することは、働きがいや住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		↑大 Ad Bd Cd Dd Ac Bc Cc Dc 民間主導				
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了		収益性 Ab Bb Cb Db 行政主導 Aa Ba Ca Da ↓小				
	新規就農者支援事業については、長期的な視点により、担い手不足や農業従事者の高齢化を解消するため、今後も継続していく。										←大 行政関与の必要性 小→

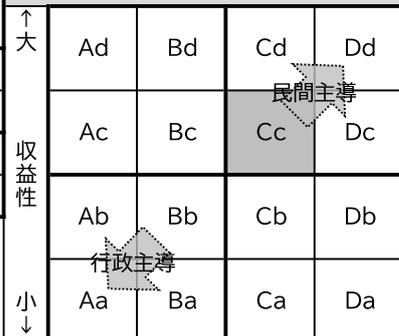
1 基本情報																																
(1) 事業名	スマート農業支援事業					(2) 担当課	農業政策課																									
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり																													
	施策	1	地域経済の活性化																													
	施策の展開方向	2	農業の振興																													
(4) 新規・継続の別	新規		(5) 関連計画等				(7) SDGsとの関連性																									
(6) 事業概要・目的	農業の発展を図る技術のひとつとしてスマート農業が期待されている中、スマート農業の推進を図ることで、省力化や品質の向上など、農業経営の改善を図り儲かる農業の発展に努めます。																															
2 取組状況																																
(1) 取組内容	・営農支援システムの導入を支援 事業活用人数:12名 650,514円 ・農業用ドローン活用を支援 事業活用人数:10名 961,581円 ・センサーによる圃場管理システムの導入を支援 事業活用人数:4名 554,400円																															
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																					
	補助金交付件数		活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																				
							40	26																								
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																					
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																							
	事業費等	総額	円		3,366,000円		円		円																							
		事業費	円		2,167,000円		円		円																							
		人件費	円		1,199,000円		円		円																							
	市民1人当たりの費用		円		45円		円		円																							
	財源内訳	国・県支出金		円		0円		円		円																						
		地方債		円		0円		円		円																						
		その他		円		2,166,000円		円		円																						
一般財源		円		1,200,000円		円		円																								
3 事業評価・分析																																
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等																									
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		農業経営の課題を解決し農業の維持発展が見込めるスマート農業技術の導入を支援することで、新たな世代の農業後継者の育成が期待できるため。																									
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		スマート農業技術の導入促進に向けて補助制度を開始したところであり、農業者の意向を確認しながら、補助対象技術の見直しなど、必要な改善が求められるため。																									
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		新規事業ということもあり、当初の想定より活用者が少ない状況であり、周知等の見直しによる活用率の向上を図ることが必要であるため。																									
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		農業経営の継続性を図るための事業であるとともに、農業者においては持続可能な支援となり、働きがいや基盤の構築につながるため。																									
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図																									
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">↑大</td> <td>Ad</td> <td>Bd</td> <td>Cd</td> <td>Dd</td> </tr> <tr> <td>Ac</td> <td>Bc</td> <td>Cc</td> <td>Dc</td> </tr> <tr> <td>Ab</td> <td>Bb</td> <td>Cb</td> <td>Db</td> </tr> <tr> <td>Aa</td> <td>Ba</td> <td>Ca</td> <td>Da</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">↓小</td> <td colspan="4">←大 行政関与の必要性 小→</td> </tr> </table>				↑大	Ad	Bd	Cd	Dd	Ac	Bc	Cc	Dc	Ab	Bb	Cb	Db	Aa	Ba	Ca	Da	↓小	←大 行政関与の必要性 小→			
	↑大	Ad	Bd	Cd	Dd																											
		Ac	Bc	Cc	Dc																											
		Ab	Bb	Cb	Db																											
Aa		Ba	Ca	Da																												
↓小	←大 行政関与の必要性 小→																															
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了																											
	事業を継続する中で、国のスマート農業の動向や当該事業を活用している農業者の意見等を踏まえながら、支援内容の一部見直しも検討するなど農業経営の維持発展に寄与する支援策として取り組んでいく。																															

1 基本情報											
(1) 事業名	企業立地促進奨励事業					(2) 担当課	商工観光課				
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり								
	施策	1	地域経済の活性化								
	施策の展開方向	3	企業誘致の推進								
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	本市における企業の立地を促進するため、市内において新たに事業を行う企業や増設する既存企業に対し、必要な奨励金を交付することにより、産業の振興及び雇用の拡大を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	・企業立地奨励金の交付4件、雇用人数33人(R6) ・市公式ホームページにより事業を周知										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	企業立地奨励金交付件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				8	3	8	4				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	11,436,000 円		8,884,000 円		円		円		
		事業費	8,864,000 円		6,246,000 円		円		円		
		人件費	2,572,000 円		2,638,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		152 円		119 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
		その他		8,564,000 円		0 円		円		円	
一般財源		2,872,000 円		8,884,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			企業立地を促進するために必要な奨励金を交付することは、本市における産業の振興及び雇用の拡大につながるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			市が事業主体となり、手続等を通して、企業の現状やニーズを把握する機会として活用しているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			企業立地を促進するために必要な奨励金を交付し、企業誘致を推進することにより、雇用の拡大につながるものの、活用に向けた周知方法等の改善が必要であるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			企業立地の促進のため奨励金を交付することは、経済成長や産業の基盤づくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 収益性 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止			Ab	Bb	Cb	Db		
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了		Aa		Ba	Ca	Da			
企業立地を促進するため、引き続き、必要な奨励金を交付することにより産業の振興及び雇用の拡大を図り、本市における企業の持続的発展につなげていく。また、企業へのニーズ調査を実施し、情報収集を行うとともに、周知方法等の改善を図る。											

1 基本情報												
(1) 事業名	保育士等支援事業					(2) 担当課	保育課					
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり									
	施策	2	多様な働き方と働く場の創出									
	施策の展開方向	1	雇用の場の確保と地元就職の促進									
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	保育士等の資格取得に要する修学資金の貸付や市内の保育所等に就労する保育士等への家賃補助を行い、保育人材の確保に努めます。					 						
2 取組状況												
(1) 取組内容	<p>○修学資金貸付け制度の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度からの継続貸付者3名。令和6年度からの新規貸付者2名への貸付を実施</li> <li>令和元年度より市内保育所等に勤務を始めた1名が、5年間の就労要件を満たしたため、貸付金全額の返還を免除</li> </ul> <p>○保育士等家賃補助制度の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>15名への家賃補助を実施(うち市内在住10名)</li> </ul> <p>○保育士等合同就職説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>いばらき保育人材バンクと連携し、市外を含む保育所等との合同就職説明会を開催</li> <li>来場した延べ16人に対し、各保育所等の求人情報を提供</li> </ul>											
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	修学資金貸付け人数		活動	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
					9	6	9	5				
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
保育士等合同就職説明会参加者数		成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
				12	7	12	5					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	7,661,000 円		7,762,000 円		円		円			
		事業費	6,725,000 円		6,803,000 円		円		円			
		人件費	936,000 円		959,000 円		円		円			
	市民1人当たりの費用		102 円		104 円		円		円			
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円		
		地方債		0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円				
一般財源		7,661,000 円		7,762,000 円		円		円				
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			深刻な保育人材不足の中、市独自の施策による保育人材の確保が急務であるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			公私の区分や学校の種別を問わない定額の貸付や家賃補助を実施するためには、市が事業主体となることが妥当であるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			制度の拡充を図りながら施策を展開することで、保育人材の確保につながり、保育士不足の解消が期待されるため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			修学資金の貸付けや家賃補助で就労支援することは、働きがいや住み続けられるまちづくりにつながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		大 小					
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了		行政主導 民間主導					
	現状実施している施策は、市内保育所等に勤務する人材確保の一助となっている。引き続き本事業の実施により、保育人材の確保、保育環境の充実、ひいては住みたいと思われるまちづくりに努めていく。										←大 行政関与の必要性 小→	

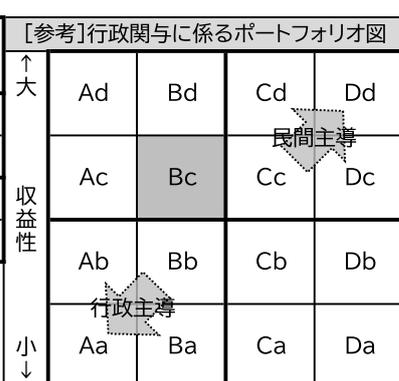
1 基本情報				
(1) 事業名	若者世代等就職支援事業		(2) 担当課	商工観光課
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり	
	施策	2	多様な働き方と働く場の創出	
	施策の展開方向	1	雇用の場の確保と地元就職の促進	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等		
(6) 事業概要・目的	市独自の就職イベントを実施し、若者世代をメインとした市内企業への雇用機会を創出することで、定住人口の維持・増加を図ります。			 

2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○若者世代をメインとした地元就職機会の促進及び支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内高等学校(公立3・私立1)及び流通経済大学の進路状況について、進路担当者からの聞き取りなどにより把握</li> <li>・地元企業をメインとした就職イベントをハローワーク龍ヶ崎と連携して開催</li> <li>開催日等: 令和6年11月9日(土) ニューライフアリーナ龍ヶ崎</li> <li>市内の参加企業数: 28社 参加者数: 61名 採用状況: 選考8名、採用3名</li> </ul> <p>○茨城県やハローワークと連携したPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就職イベントについて、茨城労働局へ情報提供し、公式ホームページ及び公式SNSにて周知</li> <li>・県内のハローワーク12か所、県内の大学及び専門学校30か所、ポリテクセンター茨城へチラシとポスターを掲示</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	就職イベントの開催	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				1	1	1	1				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
就職イベントの参加者数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			50	50	60	61					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	4,133,000 円		4,342,000 円		円		円		
		事業費	2,185,000 円		2,344,000 円		円		円		
		人件費	1,948,000 円		1,998,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		55 円		58 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		4,133,000 円		4,342,000 円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input type="checkbox"/> 必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			地元企業への就職を支援することで、地域のにぎわい創出や定住促進、転出抑制、UIターンにつながるもの、民間企業主催のイベントとの差別化に課題があるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			企画運営について、豊富な経験やノウハウを有する民間事業者へ委託を行うことで、事業効果を高める取組を行っているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			参加企業及び参加者数について目標を設定して取組み、参加企業及び参加者ともに順調に数を伸ばしてきているが、採用数が低調であり、改善が必要であるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			就職イベントにより若者世代をメインとした市内企業への雇用創出を図ることは、働きがいや住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小								
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input checked="" type="checkbox"/> 事業休止								
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了									
令和4年度の事業開始から毎年度、参加企業及び参加者ともに順調に数を伸ばしてきているが、採用が低調となっていることが課題となっている。このため、企業側と求職者側の双方にとって満足できるような就職活動環境の創出につながるよう事業を休止し、これまでの取組の課題整理を行い、あり方を検討していく。				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報									
(1) 事業名	創業支援事業					(2) 担当課	商工観光課		
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり						
	施策	2	多様な働き方と働く場の創出						
	施策の展開方向	2	創業・起業への支援						
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	創業支援等事業計画				(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	インキュベーションオフィスの運営やフリーペーパーの発行、創業スクール等により、創業機運の醸成、起業・創業の促進を図る。また、市独自の補助制度により最大3年間経済的支援を実施します。								

2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○創業支援等事業計画に基づく起業・創業支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎知識の習得を目的に「創業スクール」を計6回開催、30名が受講、うち22名(4回以上受講者)へ修了証書を発行</li> <li>※開催日: プレセミナー8月30日、本スクール9月6日、9月13日、9月20日、9月27日、10月18日</li> <li>・創業機運醸成のため、流通経済大学の学生を対象に「若者起業家発掘セミナー」を11月20日、11月27日に開催、延べ23名が参加、対象者を女性に限定した「女性の創業スクール」を7月20日に開催、13名が参加</li> <li>・创业者の交流会として、「起業家サロン龍ヶ崎」を12月13日に開催、17名が参加</li> <li>・龍ヶ崎起業家情報誌「Match-46」を年2回(令和6年7月、令和7年3月)発行</li> <li>・創業時の経済的支援として、11件(第1年度9件、第2年度1件、第3年度1件)創業促進事業補助金を交付</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	創業スクールの開催回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				6	6	6	6				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
補助金交付件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			21	14	11	11					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	15,593,000 円		13,610,000 円		円		円		
		事業費	12,086,000 円		10,013,000 円		円		円		
		人件費	3,507,000 円		3,597,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		207 円		182 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		6,469,000 円		0 円		円		円			
一般財源		9,124,000 円		13,610,000 円		円		円			

3 事業評価・分析										
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			市内での創業を促進し、職住一体の地域の推進につなげるため。		
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			商工会と連携し役割分担することにより、創業希望者への支援を行っているため。		
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			創業スクールや補助金の交付が、創業及び事業の継続につながっているため。		
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			創業支援事業及び補助金制度の実施は、働きがいや産業の基盤づくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 						
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小							
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定							
	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業完了							
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 事業完了							
創業スクールの受講者数は昨年度と同程度で需要が高いことから、今後も継続していくとともに、令和7年度には、新たに创业者のPRやテストマーケティング等の機会として「創業フェス」を開催する。 また、創業促進事業補助金の補助事業者へはフォローアップ調査を実施し、創業後の課題等の情報収集を図り、サポート体制の充実に努めていく。										

1 基本情報									
(1) 事業名	観光PRイベント等開催事業					(2) 担当課	商工観光課		
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり						
	施策	3	地域資源を活用した観光まちづくりの推進						
	施策の展開方向	1	観光・にぎわいづくりの推進						
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性	 	
(6) 事業概要・目的	関係機関と連携し、本市の観光資源を活用したイベントを開催することにより、交流・関係人口の増加を図ります。								

2 取組状況											
(1) 取組内容	○市観光物産協会と連携した観光PRの実施 ・市内外で開催される各種イベント(MOCOフェス、松戸まつり、シン・いばらきメシ総選挙2024 等)における観光PR ○観光アンバサダーの活動におけるSNSを利用した観光PRの強化 ・市内外に向け観光アンバサダーのInstagramを活用した観光PRを実施(投稿件数 55件 ※R7.3.10現在)										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	PRを実施したイベント等件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				15	25	28	76				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	9,488,000 円		9,046,000 円		円		円		
		事業費	4,345,000 円		5,130,000 円		円		円		
		人件費	5,143,000 円		3,916,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		126 円		121 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		4,344,000 円		0 円		円		円			
一般財源		5,144,000 円		9,046,000 円		円		円			

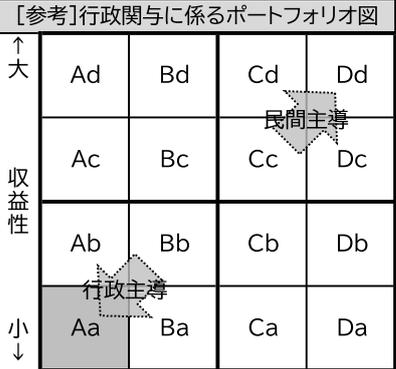
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			市内外のイベント開催や参加に加え、周知PRに欠かせないSNSを活用することで本市の魅力を広く発信し、交流・関係人口の増加やにぎわい創出に資する取組であるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			人件費や物価の上昇が激しい中、SNSを強化・活用して、より広くより多くの方へ本市の観光資源やイベント、物産品等の周知PRを実施し、経費の抑制を図ったため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			市内外のイベント等の開催や参加に加え、SNSを活用した情報発信を強化することで、本市の知名度及び認知度を高め、交流・関係人口の増加やにぎわいの創出に寄与するため			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			関係機関との連携を図りながら、観光PRイベントを開催・参加することによる交流・関係人口の増加は、にぎわいを創出し、住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充			<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託			<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc	
		<input type="checkbox"/> 事業統合			<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db	
	<input type="checkbox"/> 事業廃止			<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da		
観光PRイベントは、交流・関係人口の増加やにぎわいの創出に欠かせない事業であり、また、SNSによる周知も今や観光PRにとって欠かすことができない取組である。今後も関係機関と連携しながら、より魅力的なイベントの開催・参加を行い、SNS等多様なツールを活用し、さらなる本市の知名度及び認知度向上を目指していく。											←大 行政関与の必要性 小→

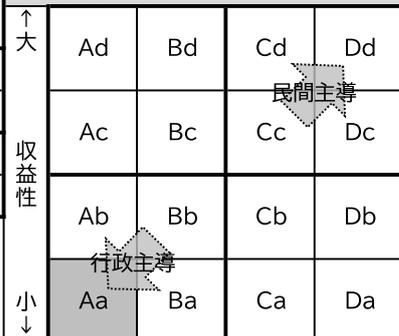
1 基本情報				
(1) 事業名	市制施行70周年記念全国コロッケフェスティバル開催事業		(2) 担当課	商工観光課
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり	
	施策	3	地域資源を活用した観光まちづくりの推進	
	施策の展開方向	1	観光・にぎわいづくりの推進	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等		
(6) 事業概要・目的	本市の観光資源である「龍ヶ崎コロッケ」を活用したイベントを開催し、知名度を高めるとともに、にぎわいを創出し交流人口の増加を図ります。			

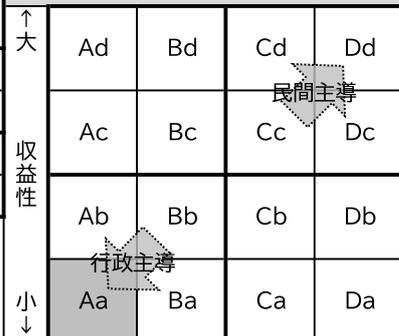
2 取組状況											
(1) 取組内容	○龍ヶ崎市商工会及びコロッケクラブ龍ヶ崎と連携して企画し、実行委員会の決定を受け開催 ・日時:11月24日(日)10時~15時 ・会場:市役所駐車場 ・来場者数:20,000人 ・出店舗数:コロッケ店28店舗 その他飲食店・事業PR等42店舗 ・内容:コロッケNo.1コンテスト、ステージイベント、市内飲食店等による販売・事業PRなど										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	出店イベント件数(市外)	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				5	9	8	21				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
イベント来場者数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			25,000	16,000	30,000	20,000					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	3,229,000 円		5,743,000 円		円		円		
		事業費	813,000 円		3,105,000 円		円		円		
		人件費	2,416,000 円		2,638,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		43 円		77 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		3,229,000 円		5,743,000 円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			本市を代表する観光資源である「龍ヶ崎コロッケ」を活用したイベント開催は、交流人口の増加やまちのにぎわい創出につながるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			龍ヶ崎市商工会及びコロッケクラブ龍ヶ崎と市が連携し、役割分担しながら企画・運営を行っているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			地域資源を活用したイベント等の開催は、本市の認知度を高め、まちに活気を呼び込む取組であるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			誰もが参加可能な地域資源を活用したイベントの開催は、定住意欲の増進が期待され、住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充			<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 ↓小 ←大 →小	Ad	Bd	Cd	Dd	民間主導
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託			<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc	
		<input type="checkbox"/> 事業統合			<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db	行政主導
	<input type="checkbox"/> 事業廃止			<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da		
本市の観光資源である「龍ヶ崎コロッケ」を活用したイベント開催は、交流人口の増加やまちのにぎわい創出を図るために有効であることから、今後も継続的に取り組んでいく。											

1 基本情報																																
(1) 事業名	伝統芸能伝承事業					(2) 担当課	商工観光課																									
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり																													
	施策	3	地域資源を活用した観光まちづくりの推進																													
	施策の展開方向	1	観光・にぎわいづくりの推進																													
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性																								
(6) 事業概要・目的	伝統芸能の保存・伝承を支援し、本市の伝統芸能をPRすることで、にぎわいの創出を図ります。					 																										
2 取組状況																																
(1) 取組内容	○国選択・県指定無形民俗文化財「撞舞」の支援・周知の実施 ・市内外で開催されるイベント等での周知PR ・撞舞保存会の事業運営の体制強化 ・オリジナルPRグッズを開発																															
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																					
	来場者数		成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																				
					5,300	8,000	8,500	8,500																								
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																					
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																							
	事業費等	総額	5,507,000 円		6,787,000 円		円		円																							
		事業費	2,312,000 円		3,510,000 円		円		円																							
		人件費	3,195,000 円		3,277,000 円		円		円																							
	市民1人当たりの費用		73 円		91 円		円		円																							
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円																						
		地方債		0 円		0 円		円		円																						
その他		1,510,000 円		1,915,000 円		円		円																								
一般財源		3,997,000 円		4,872,000 円		円		円																								
3 事業評価・分析																																
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等																								
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			本市を代表する伝統芸能「撞舞」は、国選択・県指定無形民俗文化財に登録されており、貴重な観光資源であるため。																								
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			伝統芸能であるため効率性ばかりを追求できない中、市交付金や協賛金だけに頼らない取組として、オリジナルPRグッズの開発を行い、「自助努力」を促進しているため。																								
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			市内外で開催されるイベント等だけでなく、様々なマスメディアにおいても周知PRを行い、本市のにぎわい創出につながったため。																								
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			市内中学校及び高校における「探究活動」として、活動の機会(配布資料の英訳や会場準備のボランティア活動)を提供したことは、質の高い教育の提につながるため。																								
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図																									
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">↑大</td> <td>Ad</td> <td>Bd</td> <td>Cd</td> <td>Dd</td> </tr> <tr> <td>Ac</td> <td>Bc</td> <td>Cc</td> <td>Dc</td> </tr> <tr> <td>Ab</td> <td>Bb</td> <td>Cb</td> <td>Db</td> </tr> <tr> <td>Aa</td> <td>Ba</td> <td>Ca</td> <td>Da</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">↓小</td> <td colspan="4">←大 行政関与の必要性 小→</td> </tr> </table>				↑大	Ad	Bd	Cd	Dd	Ac	Bc	Cc	Dc	Ab	Bb	Cb	Db	Aa	Ba	Ca	Da	↓小	←大 行政関与の必要性 小→			
	↑大	Ad	Bd	Cd	Dd																											
		Ac	Bc	Cc	Dc																											
Ab		Bb	Cb	Db																												
Aa		Ba	Ca	Da																												
↓小	←大 行政関与の必要性 小→																															
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了																											
	本市の伝統芸能である「撞舞」は、本市の貴重な「観光資源」であり、交流人口の増加及びにぎわいの創出を促進できる事業である。今後も保存・伝承していくためには、撞舞保存会への支援・協力は不可欠であり、その事業の性質から費用の抑制・効率化ばかりを唱えることは難しいものの、交付金・協賛金ばかりに頼らない「自助努力」も行いながら継続的に取り組んでいく。																															

1 基本情報											
(1) 事業名	まちなか再生推進事業					(2) 担当課	商工観光課				
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり								
	施策	3	地域資源を活用した観光まちづくりの推進								
	施策の展開方向	1	観光・にぎわいづくりの推進								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市まちなか再生プラン				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	ワークショップ等を通じて、市民や団体等と地域の魅力を活かした取組を共に考える機会を設け、にぎわいを創出します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○まちなか再生ワークショップの開催(講師 合同会社LOCUS BRIDGE)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマA:まちなか再生に取り組みやすい環境と体制づくり 参加者数:6名 開催日:7月20日、8月24日、9月28日</li> <li>・テーマB「ここにしかない」魅力の形成と多様な交流によるにぎわいの創出 参加者数:15名 開催日:7月20日、8月24日、9月28日</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	開催回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						3	6				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
提案のあった事業件数	成果	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
					3	20					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	2,614,000 円		円		円			
		事業費	円	296,000 円		円		円			
		人件費	円	2,318,000 円		円		円			
	市民1人当たりの費用		円	35 円		円		円			
	財源内訳	国・県支出金		円	0 円		円		円		
		地方債		円	0 円		円		円		
その他		円	0 円		円		円				
一般財源		円	2,614,000 円		円		円				
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		市民自らの意見やアイデアを出し合い地域の課題を共有することにより、具体的な施策を検討することができるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		地域の特性やニーズを把握し、市民や関係団体等との連携を図ることで効果的な施策を検討することができるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		活発な意見交換が行われており、参加者から20のプロジェクトが提案されているため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		まちなか再生についての施策(空き店舗の活用等)を検討し、実現に向けて協議を行っていくことは、将来的な雇用の創出や住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	提案されたプロジェクトの実現に向けて、引き続きワークショップを開催していく。										
				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報											
(1) 事業名	牛久沼活用事業				(2) 担当課	まちの魅力創造課					
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり								
	施策	3	地域資源を活用した観光まちづくりの推進								
	施策の展開方向	2	交流の拠点としての牛久沼の有効活用								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等						(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	交流人口の増加に資する取組を展開し、牛久沼の魅力を高め、交流拠点としての活用を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○牛久沼活用推進協議会会議及び幹事会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・7/3に会議を開催し、令和5年度事業の実績報告、令和6年度事業計画等について協議</li> <li>・5/17、8/9、10/4、11/8、2/7に幹事会を開催し、議案の調整や令和6年度事業計画に基づく事業を実施</li> <li>・牛久沼活用の機運醸成を図るため、3/2に牛久沼の清掃活動を実施</li> </ul> <p>○牛久沼水際線計画研究会及び牛久沼運営協議会を活動実態等を踏まえて解散</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究会は10/18の定例総会において、協議会は書面決議(3/6付通知発送)により、3/31をもって解散を決定</li> </ul> <p>○(旧)道の駅整備予定地の活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上位計画や市議会等からの要望を集約</li> <li>・現状の課題を整理し、活用可能な方向性を提示</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	牛久沼を活用したイベント開催回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				2	2	2	1				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
関係団体等との意見交換会開催回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			3	5	3	8					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	8,176,000 円		11,208,000 円		円		円		
		事業費	306,000 円		2,337,000 円		円		円		
		人件費	7,870,000 円		8,871,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		109 円		150 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		8,176,000 円		11,208,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		市民アンケートや意見交換会において、牛久沼の自然環境などを活かした取組を望む声も多く、中学校などの探究の授業でも牛久沼の活用について取り上げられているため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		牛久沼の活用については、周辺自治体や県、関係団体などと連携して行う必要があり、行政が主体となるべきであるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		牛久沼を観光資源として発展させるために、広域連携組織によって課題解決を図り、事業の実現性を高めることが求められるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		観光・交流拠点としての利活用は、レジャー産業進出による経済成長や認知度向上によるシビックプライドの醸成が期待され、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
				大	Ad	Bd	Cd	Dd			
				中	Ac	Bc	Cc	Dc			
				小	Ab	Bb	Cb	Db			
			小	Aa	Ba	Ca	Da				
			←大 行政関与の必要性 小→								

1 基本情報											
(1) 事業名	流通経済大学連携事業(龍・流連携)					(2) 担当課	まちの魅力創造課				
(3) 施策の体系	政策の柱	2	まちの元気を生み出す産業と交流のあるまちづくり								
	施策	4	流通経済大学との連携の推進								
	施策の展開方向	1	龍・流連携事業の推進								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等						(7) SDGsとの関連性	 		
(6) 事業概要・目的	本市の財産の一つでもある流通経済大学との連携により、教育・文化・スポーツなど、様々な分野の事業を展開し、「大学のあるまち」を築いていくことで、地域の活性化を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○市内小中学校学生派遣事業 ・実施校:小学校11校、中学校5校 参加学生:延べ451名 ○市民大学講座 ・「日本の国防と沖縄の軍事基地」開催日:9月7日(土)、講師:宮平教授(法学部)、受講者:19名 ・「持続可能な物流の実現」開催日:3月1日(土)、講師:大島教授(流通情報学部)、受講生:38名 ・「人工知能から見た人間と現代社会」開催日:3月8日(土)、講師:小川准教授(流通情報学部)、受講者:43名 ○龍・流協定締結20周年記念事業 ・つくばね祭の開催支援及び流通経済大学生と共に「龍・流連携ロゴマーク」を作成 ○学割サービスの展開(加盟店:75店舗/主な業種:飲食店、ガソリンスタンドなど)										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	流经大認知度向上イベント開催回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				2	2	2	2				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
市民大学講座への参加者数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			30	34	30	100					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	7,279,000 円		6,190,000 円		円		円		
		事業費	578,000 円		915,000 円		円		円		
		人件費	6,701,000 円		5,275,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		97 円		83 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		7,279,000 円		6,190,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		大学及び市の双方にとってメリットが期待できる事業であり、事業参加者からも高い評価を得ている。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		本市と流通経済大学との官学連携による事業であり、効率性は高いが、今後、庁内で同様の事業を行っている部署との住み分け等を行っていく必要があるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		流通経済大学の強みを生かした内容且つ市民からの要望を反映した事業を展開しているが、対象者・年代に偏りがあり、思うように認知度向上が図れていないため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		市民の学習意欲を満し、学生には実学の間を提供することで学びの質を高めているほか、「大学のあるまち」ならではの事業を実施し、愛着の育まれる環境を作っているため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	令和6年度に完成した「龍・流連携ロゴマーク」を活用し、さらなる龍・流連携事業の認知度向上を図っていく。また、市民と大学生の交流を促進するため、市内コミュニティセンター等における健康関連事業を拡充していく。										
				←大 行政関与の必要性 小→							

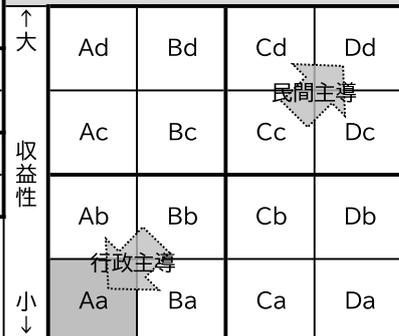
<b>1 基本情報</b>				
(1) 事業名	生活支援コーディネーター事業		(2) 担当課	福祉総務課
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり	
	施策	1	支え合う地域福祉の実現	
	施策の展開方向	1	支え合う地域福祉の推進	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画	
(6) 事業概要・目的	日常生活で支援を必要とする高齢者に、生活支援・介護予防サービスを提供するため、サービスのコーディネート機能を有する事業主体と連携して、生活支援体制の充実を図ります。			(7) SDGsとの関連性
				

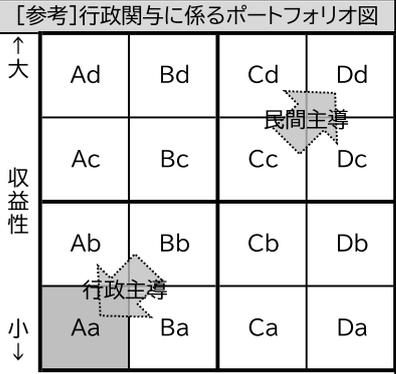
<b>2 取組状況</b>											
(1) 取組内容	○(社福)龍ヶ崎市社会福祉協議会への業務委託により実施 ・生活支援コーディネーターを配置 ・高齢者のニーズや地域資源の状況把握を行う協議体への参加 ・高齢者等の居場所づくりを目的にサロン活動を行っている団体を把握 ・高齢者地域ふれあいサロン等の開設に関する相談対応・助言 ・「医療・介護・障がい生活情報サイト」等を活用した活動の普及啓発 ・地域で支え合う体制づくりを推進することを目的とした交流会等を実施										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	第2層協議体の設置箇所数	活動	箇所	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				4	4	13	13				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	13,200,000 円		9,027,000 円		円		円		
		事業費	10,239,000 円		8,707,000 円		円		円		
		人件費	2,961,000 円		320,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		175 円		121 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	5,913,000 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		7,287,000 円		9,027,000 円		円		円			

<b>3 事業評価・分析</b>											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		住み慣れた地域で、高齢者がいつまでも元気で暮らすことができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援などを包括的に確保できる体制を構築するため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		地域福祉活動を行っている社会福祉協議会に業務委託することにより、外郭団体と連携した運営がなされているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		地域による互助を推進するために協議体を設立することができており、今後も取り組み内容を推進していく必要があるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		生活支援コーディネーターを配置することで、様々な社会資源と住民がつながり、健康、福祉の向上につながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充			<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託			<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc	
		<input type="checkbox"/> 事業統合			<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db	
	<input type="checkbox"/> 事業廃止			<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da		
地域で共に支え合う体制づくりを推進していくため、引き続き、生活支援コーディネーターを配置し、地域での助け合いを推進していく。											←大 行政関与の必要性 小→

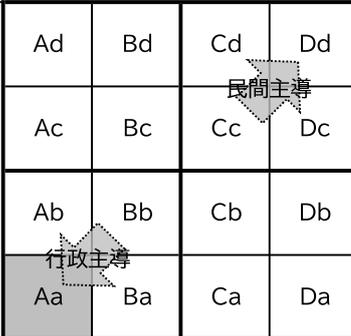
1 基本情報									
(1) 事業名	生活支援サポーター活用事業					(2) 担当課	福祉総務課		
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり						
	施策	1	支え合う地域福祉の実現						
	施策の展開方向	1	支え合う地域福祉の推進						
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等	龍ヶ崎市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画			(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	家事支援を必要としている市民と生活支援サポーター養成研修修了者をマッチングさせることにより、市民が必要としている家事支援のサービスを提供します。					 			

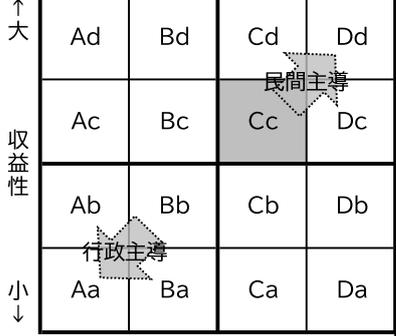
2 取組状況											
(1) 取組内容	ONPO法人ユーアンドアイへの業務委託 ・龍ヶ崎市生活支援サポートセンターを運営 ・生活支援サポーターのフォローアップ研修を実施 ・生活支援サポーターと家事支援を必要とする高齢者等をマッチングし、令和7年1月末現在、延べ96件の家事支援を実施 ○生活支援のための、市独自のルールによる人材確保 ・生活支援サポーターを増やすため、サポーター養成研修を実施し、受講した8名のうち、2名が新たにサポーターとして登録										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	生活支援サポーター登録者数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				20	12	25	12				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
家事支援依頼件数	成果	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			80	67	120	96					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	4,278,000 円		2,364,000 円		円		円		
		事業費	2,018,000 円		2,124,000 円		円		円		
		人件費	2,260,000 円		240,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		57 円		32 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	1,166,000 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		3,112,000 円		2,364,000 円		円		円			

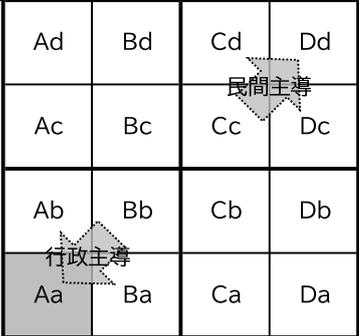
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			介護保険法に基づく生活支援体制整備事業として実施するものであり、高齢者が居宅で自立した生活が営めるよう援助活動を行う取組であるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			助け合い・支え合い活動を実施しているNPO法人に委託することで、外部団体と連携した運営がなされているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			高齢者等が居宅で自立した生活が営まれるよう援助活動を行う取組であるものの、サポーターの確保や利用しやすい環境整備が必要であるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			市民が必要としている家事支援のマッチング、サービス提供は、健康、福祉の向上につながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	引き続き、サポートセンターを運営し、支援を必要としている市民に必要な支援が提供できるように民間事業所と連携しながら、事業を進めていく。また、希望者に対応できるサポーターを増やすため、養成研修やフォローアップ研修修了者に登録奨励を行っていく。			←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報												
(1) 事業名	要支援者移送事業				(2) 担当課	福祉総務課						
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり									
	施策	1	支え合う地域福祉の実現									
	施策の展開方向	1	支え合う地域福祉の推進									
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	地域福祉計画			(7) SDGsとの関連性						
(6) 事業概要・目的	移動制約者の移動手段の拡充を図るため、社会福祉協議会と連携した移送サービスを提供します。											
2 取組状況												
(1) 取組内容	○当該事業の開始及び実施に対する社会福祉協議会への補助の実施 ・専任嘱託職員人件費 ・事業の開始に向けたカーナビゲーションやドライブレコーダーの設置費 ・車両維持費、車検費用等											
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	利用回数(延べ)	成果	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
						60	29					
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	3,084,000		円		円		円		
		事業費	円	3,004,000		円		円		円		
		人件費	円	80,000		円		円		円		
	市民1人当たりの費用		円	41		円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円		円		円	
		地方債		円	0		円		円		円	
その他		円	0		円		円		円			
一般財源		円	3,084,000		円		円		円			
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			既存の地域公共交通施策(コミュニティバス、乗合タクシーなど)では賅えない市外医療機関への通院目的の利用を補完する手段であるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			社会福祉協議会が運営することで、ボランティアの確保等がスムーズに行えるほか、今後一層需要が見込まれる移動制約者の移動手段の確保に柔軟に対応できるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			特に通院が困難な市民が利用できる手段であるが、利用条件の基準を満たさないものの利用を希望する市民もいるものと思われ、条件緩和も含めて検証の必要があるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			市外医療機関への通院に困っていた移動制約者を支援することは、健康、福祉の向上につながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 								
	既存の地域公共交通施策では手の届かない支援を実施することができており、補助事業とすることにより市職員の負担も抑制されている。利用件数が目標に届いていないが、利用登録者の入院や市内医療機関への転院等によるものが主な理由であり、利用拡大の余地があることから、現状を維持しながら、利用条件の緩和等の検討を行っていく。											
				←大 行政関与の必要性 小→								

1 基本情報																											
(1) 事業名	災害時一時宿泊費助成事業					(2) 担当課	福祉総務課																				
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり																								
	施策	1	支え合う地域福祉の実現																								
	施策の展開方向	1	支え合う地域福祉の推進																								
(4) 新規・継続の別	新規		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性																			
(6) 事業概要・目的	火災により市内の住宅に引き続き居住することが困難となった世帯に対し、罹災後に一時的に避難するための宿泊施設利用に要する費用の経済的支援を行います。					 																					
2 取組状況																											
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・罹災後に、罹災した世帯員に対し当該制度を案内</li> <li>・罹災者のうち、宿泊施設を利用した申請者に対する補助金を支給</li> </ul>																										
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																
					目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績															
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																
					目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績															
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																		
	事業費等	総額	円		192,000 円		円		円																		
		事業費	円		32,000 円		円		円																		
		人件費	円		160,000 円		円		円																		
	市民1人当たりの費用		円		3 円		円		円																		
	財源内訳	国・県支出金		円		0 円		円		円																	
		地方債		円		0 円		円		円																	
その他		円		0 円		円		円																			
一般財源		円		192,000 円		円		円																			
3 事業評価・分析																											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等																			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			火災により住まいを失い、親族や友人・知人等の協力を得にくい罹災者のセーフティーネットであるため。																			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			民間が実施する性質のものではなく市が行うべき制度であり、申請者に寄り添った制度設計としているため。																			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			火災による住居喪失への緊急対応策であり、罹災者の負担を軽減する経済的支援となっているため。																			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			生活立て直しの基盤拠点となる仮住まいの確保に資する制度であり、市民福祉の向上につながるため。																			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図																				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">↑大</td> <td>Ad</td> <td>Bd</td> <td>Cd</td> <td>Dd</td> </tr> <tr> <td>Ac</td> <td>Bc</td> <td>Cc</td> <td>Dc</td> </tr> <tr> <td>Ab</td> <td>Bb</td> <td>Cb</td> <td>Db</td> </tr> <tr> <td>Aa</td> <td>Ba</td> <td>Ca</td> <td>Da</td> </tr> </table>				↑大	Ad	Bd	Cd	Dd	Ac	Bc	Cc	Dc	Ab	Bb	Cb	Db	Aa	Ba	Ca	Da
	↑大	Ad	Bd	Cd	Dd																						
		Ac	Bc	Cc	Dc																						
Ab		Bb	Cb	Db																							
Aa		Ba	Ca	Da																							
<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了																							
火災により住まいを失った方々で親族等に身を寄せることが困難な方へのセーフティーネットとして、仮住まいの確保を支援する本制度は有用なものである。本制度の利用者は火災の罹災者に限られるが、後始末や各種手続き等で大きな経済的負担が見込まれる中、金額は些少であっても必要性が高いものと認識しており、本制度を継続して運用していく。							↓小 ←大 行政関与の必要性 小→																				

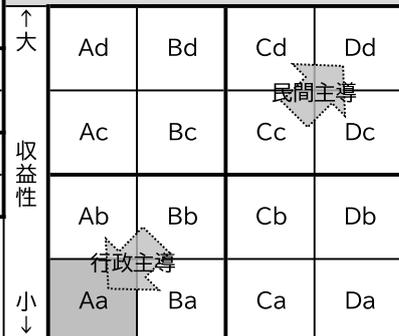
1 基本情報											
(1) 事業名	高齢者補聴器購入支援事業					(2) 担当課	福祉総務課				
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり								
	施策	2	健康長寿社会の実現								
	施策の展開方向	1	市民の健康寿命の延伸								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	補聴器購入費用の一部を助成し、認知症の予防、健康寿命の延伸、医療費の抑制を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○高齢者の社会参加を促進することを目的に、補聴器の購入費用を一部助成 ・助成人数:申請125人 助成:121人 ※4名は購入取りやめ ・市公式ホームページ、市広報紙を活用して周知										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	助成制度利用人数	活動	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						100	121				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	4,002,000		円	円		円		
		事業費	円	3,602,000		円	円		円		
		人件費	円	400,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	53		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円	円		円	
		地方債		円	0		円	円		円	
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	4,002,000		円	円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			補聴器は大変高額であり、購入費を助成することで、高齢者の経済的負担を軽減するため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			申請者の負担軽減を重視し、助成額を差し引いた金額を店舗に支払う代理受領の方法としているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			補助制度があることをきっかけに、高齢者が難聴の早期診断を受け、必要な方が早期装用することにより、認知症の予防等につながっていくため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			補聴器の早期装用により、社会参加機会が増え、認知症予防等につながっていくことは、健康、福祉の向上につながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	引き続き助成を行い、高齢者が難聴の早期診断を受け適切な対応をとることで、認知症予防等につなげていく。			行政関与の必要性 ←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報												
(1) 事業名	コンディショニングサポートプログラム事業(介護)					(2) 担当課	健康増進課					
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり									
	施策	2	健康長寿社会の実現									
	施策の展開方向	1	市民の健康寿命の延伸									
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等							(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	高齢者の加齢に伴う運動機能低下の予防・改善を図ることを目的に講座を開催し、参加した高齢者の日常生活の質の向上を目指します。											
2 取組状況												
(1) 取組内容	○広報紙を通じて、65歳以上の市民を対象にした、肩や膝等の痛みの原因を改善するためのストレッチを中心としたコンディショニング講座の参加者を募り、全4回の講座を開催 ・第1回コンディショニング講座(8/23、8/30 参加人数32名) 参加者満足度 93.8% ・第2回コンディショニング講座(3/7、3/14 参加申込人数40名) 参加者満足度 100%											
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	参加して良かったと思う講座参加者の割合	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
						60	94					
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	2,286,000		円			円			
		事業費	円	448,000		円			円			
		人件費	円	1,838,000		円			円			
	市民1人当たりの費用		円	31		円			円			
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円			円		
		地方債		円	0		円			円		
その他		円	0		円			円				
一般財源		円	2,286,000		円			円				
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等					
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		健康志向の高まりにより、高齢者の健康に関する運動講座に対するニーズが高く、運動機会を創出することで、日常生活の質の向上にもつながるため。					
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		専門的な知見を有する民間事業者に委託することにより、参加者の満足度が高い事業展開ができてきているものの、費用対効果等の検証が必要であるため。					
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		健康づくりの新たなコンテンツづくりの一端として、また、参加者の健康意識の向上や生活習慣の改善が期待できるため。					
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		高齢者が自立して健康的に過ごせる取組を行うことで、地域住民の健康意識を高めるとともに、地域全体の活力につながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定							
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了							
	コンディショニングを多くの方に実践してもらうために、講座参加者からの意見等を考慮しながら、引き続き講座の開催等を行っていく。											

1 基本情報											
(1) 事業名	がん予防・検診受診促進事業					(2) 担当課	健康増進課				
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり								
	施策	2	健康長寿社会の実現								
	施策の展開方向	3	健康づくり基盤の強化								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市第3次健康増進・食育計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	検診予約体制整備、胃内視鏡検査及びリスク検査実施により、検診環境の充実を図ります。また、未受診者勧奨を行い受診率向上を目指します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査と併せて、がん検診を受診できる集団健診の利便性を受診者に伝えるとともに、個別の受診勧奨を実施</li> <li>・かかりつけ医で特定健診に該当する検査を行っている市民を特定健診受診者とみなす「かかりつけ医からの診療情報提供事業」の活用促進</li> <li>・節目年齢(41歳、51歳)の健診対象者の負担金無料化を継続実施</li> <li>・家庭訪問、受診勧奨通知送付、過去の受診歴等に基づく効果的な未受診者への勧奨方法の検討し、個別の受診勧奨を実施</li> <li>・コールセンターやLINEでの予約体制の随時周知を実施</li> <li>・医療機関における胃内視鏡検診受診者の増加を目指した取組を実施</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	特定健康診査未受診者に対し勧奨通知を発送し、その後健康診査を受診した人の割合	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				17	18	19	17				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
胃がん検診受診率	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			11	6	11	6					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	3,837,000 円		4,095,000 円		円		円		
		事業費	2,901,000 円		3,136,000 円		円		円		
		人件費	936,000 円		959,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		51 円		55 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		444,000 円		345,000 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		3,393,000 円		3,750,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		胃がん医療機関検診を実施することで、開腹手術を3回以上実施している方などバリウム検査適応外の方に、内視鏡検査による検診ができるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		コールセンターやLINEでも検診予約を行い、窓口業務の負担軽減を図っているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		検診予約方法の多様化や受診行動につながる受診勧奨など、受診しやすい検診環境整備に努めているものの、受診率の向上につなげていないため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		がん検診を受診することで、がんの早期発見・早期治療を推進し、健康、福祉の向上につながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定						
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了						
	胃がんは、がんによる死亡原因の上位に位置し、早期発見、早期治療を促進するため、引き続き胃がん医療機関検診の周知啓発に努めていく。										

1 基本情報				
(1) 事業名	新保健福祉施設建設事業		(2) 担当課	管財課
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり	
	施策	2	健康長寿社会の実現	
	施策の展開方向	3	健康づくり基盤の強化	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	新保健福祉施設整備基本構想2020	
(6) 事業概要・目的	健康づくりや子育ての総合的な支援、福祉機能を集約し、「市民が生涯にわたり健康で安心して暮らし続けるための支援拠点」となることを基本理念とする新保健福祉施設を整備します。			(7) SDGsとの関連性
				

2 取組状況											
(1) 取組内容	・庁内で組織した検討会議を複数回開催し、工事の進捗情報、グループアドレス等新しい働き方の取組、備品の選定等を協議・報告 ・附属機関等へ報告しながら着実に進め、3月に工事・備品の配置を完了 ・多世代交流センター(3階部分)の指定管理者について、3者の応募の中から、指定管理者選定委員会の審査を経て、アクティオ㈱に決定										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	584,102,000 円		879,762,000 円		円		円		
		事業費	577,946,000 円		869,533,000 円		円		円		
		人件費	6,156,000 円		10,229,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		7,753 円		11,748 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		1,709,000 円		26,906,000 円		円		円	
		地方債		450,200,000 円		583,700,000 円		円		円	
その他		64,648,000 円		161,000,000 円		円		円			
一般財源		67,545,000 円		108,156,000 円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			保健センターは、経年劣化が進み、大規模改修が必要な時期に差し掛かっているほか、母子保健、児童福祉及び介護福祉など各分野で機能強化・事業の拡充が求められるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			新施設の建設により、保健センターと本庁舎の狭隘性が解消され、相談や事務スペースが充実することにより、行政サービスの向上が期待できるため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			保健センターは、大規模改修の時期を迎え、敷地も大部分が借地となっており、新施設整備は、目的に即しているだけでなく、トータルでの歳出削減効果も見込めるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			母子保健サービスと子ども子育てサービスを同一施設で提供することに加え、多世代交流空間を設けることは、健康、福祉の向上や住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小								
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定								
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止								
新施設建設が完了し4月から本格稼働を迎えるが、今後運営していく中で課題も出てくるのが想定される。それらを整理し適切な運営につなげていくことが重要である。				←大 行政関与の必要性 小→							

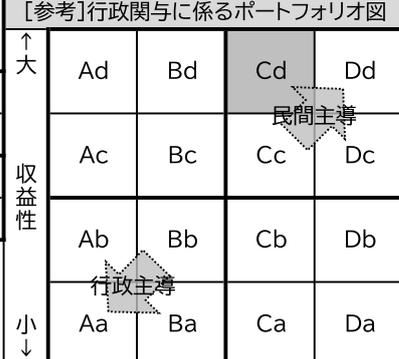
1 基本情報											
(1) 事業名	医療対策事業					(2) 担当課	医療対策課				
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり								
	施策	3	地域医療体制・感染症対策の強化								
	施策の展開方向	1	地域医療体制の充実								
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	休日・夜間における小児救急患者の医療(小児救急医療輪番制)を確保する等、市内の医療体制の充実を図ります。					 					
2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○小児救急医療輪番制構成市町村と協力し、休日・夜間の小児重症救急医療の確保のため、協力医療機関を財政的に支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成6市町村(龍ヶ崎市・牛久市・稲敷市・河内町・美浦村・阿見町)</li> <li>・協力4医療機関(龍ヶ崎済生会病院・東京医科大学茨城医療センター・つくばセントラル病院・牛久愛和総合病院)</li> </ul> <p>○市内医療機関において休日診療(休日当番医)を実施</p> <p>○病院群輪番制構成市町村と協力し、休日・夜間の重症救急医療の確保のため、協力医療機関を財政的に支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・構成5市町村(龍ヶ崎市・牛久市・稲敷市・河内町・美浦村)</li> <li>・協力4医療機関(龍ヶ崎済生会病院・牛久愛和総合病院・美浦中央病院・つくばセントラル病院)</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	市内休日診療(休日当番医)医療機関数(1日あたり)	活動	医療機関	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				2	2	2	2				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	94,805,000 円		89,764,000 円		円		円		
		事業費	93,012,000 円		87,926,000 円		円		円		
		人件費	1,793,000 円		1,838,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		1,258 円		1,199 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		124,000 円		124,000 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		94,681,000 円		89,640,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		休日や夜間における小児救急医療輪番制や休日診療(休日当番医)により、市民が安心して受診できる機会を確保することは不可欠であるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		小児救急医療輪番制・病院群輪番制は、構成市町村が稲敷地域の4病院に委託、休日診療は龍ヶ崎市医師会に業務委託し、地域と連携した事業実施となっているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		輪番制・休日診療のいずれも、急な診療に対応できる体制をとっており、取組内容が機能しているため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		近隣市町村や地域の病院と協力して、夜間や休日であっても受診できる環境を整えることで、健康・福祉の向上につながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定						
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了						
	いわゆる「医師の働き方改革」施行に伴い、時間外の診療についてはその体制を維持することが難しくなっているが、市民が安心して緊急・救急医療にかけられる環境は堅持しなくてはならない。このため、医師の労働環境を守りながらも、時間外の診療体制を引き続き維持していく。										
						←大 行政関与の必要性 小→					

1 基本情報											
(1) 事業名	おたふくかぜ予防接種助成事業					(2) 担当課	医療対策課				
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり								
	施策	3	地域医療体制・感染症対策の強化								
	施策の展開方向	2	予防接種・感染症対策の強化								
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	任意接種であるおたふくかぜ予防接種費用の助成により、保護者の経済的負担を軽減し、高い接種率を維持します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○おたふくかぜ予防接種費用の助成 ・おたふくかぜ予防接種接種者数(319件) 市内委託医療機関:1歳児 265件、2~5歳児 35件 償還払い:1歳児 18件、2~5歳児 1件 ・定期予防接種通知、市公式ホームページ、保健事業年間予定表、子育てガイドブックを活用して周知										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	おたふくかぜ予防接種接種率(1歳以上2歳未満)	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				95	74	75	82				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	4,491,000 円		2,981,000 円		円		円		
		事業費	1,763,000 円		2,101,000 円		円		円		
		人件費	2,728,000 円		880,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		60 円		40 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		4,491,000 円		2,981,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		接種費用を助成して保護者の経済的負担を軽減することにより、接種率の向上につなげ、小児の集団感染を防止するため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		利用者の利便性を重視し、医療機関による個別接種を実施しており、市外医療機関での接種は償還払いの対応としているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		小児の集団感染防止につながり、子育て世代の支援にもなっているものの、接種率の伸びにつながっていないため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		接種率向上を図ることは集団感染の防止が期待でき、健康、福祉の向上につながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 ↓小 ←大 →小	Ad	Bd	Cd	Dd		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止			Ab	Bb	Cb	Db		
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了		Aa		Ba	Ca	Da			
国の審議会において、定期接種化についても検討が行われていることから、これらの動向を踏まえながら、継続して事業を実施していく。また、接種率向上のため、周知・啓発を強化していく。											

1 基本情報																											
(1) 事業名	小児インフルエンザ予防接種助成事業					(2) 担当課	医療対策課																				
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり																								
	施策	3	地域医療体制・感染症対策の強化																								
	施策の展開方向	2	予防接種・感染症対策の強化																								
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性																			
(6) 事業概要・目的	小児インフルエンザ予防接種費用の助成により、保護者の経済的負担を軽減し、高い接種率を維持します。																										
2 取組状況																											
(1) 取組内容	○小児インフルエンザ予防接種費用の助成 ・小児インフルエンザ予防接種接種者(延べ3,448件) 市内委託医療機関:3,248件 償還払い:200件 ・定期予防接種通知、市公式ホームページ、保健事業年間予定表、子育てガイドブックを活用して周知																										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																	
	小児インフルエンザ予防接種接種率	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																
				50	23	25	27																				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																		
	事業費等	総額	6,505,000 円		7,547,000 円		円		円																		
		事業費	4,401,000 円		4,430,000 円		円		円																		
		人件費	2,104,000 円		3,117,000 円		円		円																		
	市民1人当たりの費用		86 円		101 円		円		円																		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円																	
		地方債		0 円		0 円		円		円																	
その他		0 円		0 円		円		円																			
一般財源		6,505,000 円		7,547,000 円		円		円																			
3 事業評価・分析																											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等																				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		接種費用を助成して保護者の経済的負担を軽減することにより、接種率の向上につなげ、小児の集団感染を防止するため。																				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		利用者の利便性を重視し、医療機関による個別接種を実施しており、市外医療機関での接種は償還払いの対応としているため。																				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		小児の集団感染防止につながり、子育て世代の支援にもなっているものの、接種率の伸びにつながっていないため。																				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		接種率向上を図ることは集団感染の防止が期待でき、健康、福祉の向上につながるため。																				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 現状維持		<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図																				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">↑大</td> <td>Ad</td> <td>Bd</td> <td>Cd</td> <td>Dd</td> </tr> <tr> <td>Ac</td> <td>Bc</td> <td>Cc</td> <td>Dc</td> </tr> <tr> <td>Ab</td> <td>Bb</td> <td>Cb</td> <td>Db</td> </tr> <tr> <td>Aa</td> <td>Ba</td> <td>Ca</td> <td>Da</td> </tr> </table> 行政主導 行政主導				↑大	Ad	Bd	Cd	Dd	Ac	Bc	Cc	Dc	Ab	Bb	Cb	Db	Aa	Ba	Ca	Da
	↑大	Ad	Bd	Cd	Dd																						
		Ac	Bc	Cc	Dc																						
Ab		Bb	Cb	Db																							
Aa		Ba	Ca	Da																							
<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了																							
接種率向上のため、周知・啓発を強化しながら、継続して事業を実施していく。また、近隣自治体の状況を踏まえた、効果的方法を検討していく。																											
←大 行政関与の必要性 小→																											

1 基本情報											
(1) 事業名	HPVワクチン任意接種助成事業					(2) 担当課	医療対策課				
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり								
	施策	3	地域医療体制・感染症対策の強化								
	施策の展開方向	2	予防接種・感染症対策の強化								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等							(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	男性のHPVワクチン予防接種の費用助成により、接種者の経済的負担の軽減と接種機会の確保を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○男性のHPVワクチン予防接種費用の助成 ・男性のHPVワクチン予防接種接種者(延べ60件) 市内委託医療機関:60件 償還払い:0件 ・市広報紙、市公式ホームページ、保健事業年間予定表、市公式LINEを活用して周知										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	男性HPV予防接種接種率	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						1	1				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	1,659,000		円	円		円		
		事業費	円	939,000		円	円		円		
		人件費	円	720,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	22		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円	円		円	
		地方債		円	0		円	円		円	
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	1,659,000		円	円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			接種費用を助成して保護者の経済的負担を軽減することにより、接種率の向上につなげ、男女ともにHPVの感染を防止するため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			利用者の利便性を重視し、医療機関による個別接種を実施しており、市外医療機関での接種は償還払いの対応としているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			HPVの感染防止につながり、子育て世代の支援にもなっているものの、まだ接種者が少ないため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			接種率向上を図ることは男女間の感染の防止が期待でき、健康、福祉の向上につながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 収益性 小↓	Ad	Bd	Cd	Dd	民間主導	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
	<input type="checkbox"/> 事業統合		<input type="checkbox"/> 事業休止			Ab	Bb	Cb	Db	行政主導	
<input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業完了		Aa		Ba	Ca	Da			
国の審議会において、定期接種化についても検討が行われていることから、これらの動向を踏まえながら、継続して事業を実施していく。また、接種率向上のため、周知・啓発を強化していく。											
						←大 行政関与の必要性 小→					

1 基本情報											
(1) 事業名	带状疱疹ワクチン接種助成事業					(2) 担当課	医療対策課				
(3) 施策の体系	政策の柱	3	共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり								
	施策	3	地域医療体制・感染症対策の強化								
	施策の展開方向	2	予防接種・感染症対策の強化								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等							(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	带状疱疹ワクチン接種費用の助成により、接種者の経済的負担の軽減と接種機会の確保を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○带状疱疹予防接種費用の助成 ・带状疱疹予防接種接種者(延べ1,844件) 市内委託医療機関:生ワクチン157件、不活化ワクチン1,598件 償還払い:生ワクチン5件、不活化ワクチン84件 ・市広報紙、市公式ホームページ、保健事業年間予定表、市公式LINEを活用して周知										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	带状疱疹予防接種接種率	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						3	3				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	19,442,000		円	円		円		
		事業費	円	17,524,000		円	円		円		
		人件費	円	1,918,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	260		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円	円		円	
		地方債		円	0		円	円		円	
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	19,442,000		円	円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		接種費用を助成して市民の経済的負担を軽減することにより、接種機会を確保することで、疾病の発症及び合併症を予防し、医療費の削減につながるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		利用者の利便性を重視し、医療機関による個別接種を実施しており、市外医療機関での接種は償還払いの対応としているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		生ワクチン、不活化ワクチンのいずれも、有効性が確認されており、個人の状況に応じ、選択できるように、両ワクチンを助成することで、接種機会の確保につながるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		接種率向上を図ることは疾病の発症及び合併症の予防が期待でき、健康、福祉の向上につながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 収益性 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止			Ab	Bb	Cb	Db		
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了		Aa		Ba	Ca	Da			
令和7年度から一部の年齢を対象に、定期接種化されることに伴い、任意接種の対象年齢等の見直しも視野に入れつつ、事業を実施していく。また、接種率向上のため、周知・啓発を強化していく。											

1 基本情報											
(1) 事業名	マラソン大会開催事業					(2) 担当課	スポーツ推進課				
(3) 施策の体系	政策の柱	4	誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり								
	施策	1	誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現								
	施策の展開方向	1	スポーツ・運動を通じた生きがいづくり								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	全てのスポーツの基礎である「走る」ことへのきっかけづくりや、楽しみながらチームの絆づくりを促すとともに、市民の健康増進や運動実施率向上を目的としてリレーマラソン大会を実施します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○リレーマラソン大会の開催(3月1日) ・5月21日に事業実施計画についてスポーツ協会です承 ・5月末に行程表作成(5月末) ・7月末に交通規制・公園利用の調整を実施 ・10月～1月にかけて売店等出店者を調整(大会当日は5店舗出店) ・10月8日に運営業務委託契約を締結 ・12月17日～2月11日にかけて参加者を募集(参加申込者合計810人) ・1月28日に交通規制周知看板を設置 ・当日、親子ラン68組、ジュニアラン153人、リレーマラソンの部76組、招待チーム7組が参加										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	参加者数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				1,000	514	800	810				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	9,197,000 円		8,269,000 円		円		円		
		事業費	3,041,000 円		2,595,000 円		円		円		
		人件費	6,156,000 円		5,674,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		122 円		110 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		2,795,000 円		2,075,000 円		円		円			
一般財源		6,402,000 円		6,194,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		市民に対して「走る」ことへのきっかけづくりや仲間・チームで楽しみながら、絆を深める機会を創出するとともに、市民の運動実施率向上を図るため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		スポーツ振興くじ助成を活用し、大幅にコストが抑制できているものの、民間主催の大会も増加しており、市が事業主体であることの妥当性も含め、あり方の検討が必要なため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		リレーマラソン大会の開催は、市内外から多くの参加者や民間企業を呼び込むことができ、市民の健康増進及びまちの活性化につながるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		市民や民間企業がスポーツに親しみ、気軽に参加できるスポーツイベントであり、健康の向上や住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
				大 ↑ 収益性 ↓ 小							
				←大 行政関与の必要性 小→							
				今大会については、親子ラン(小学1～3年生)、ジュニアラン(小学4～6年生までの個人種目)、リレーマラソンの部(中学生以上)で開催したが、次回大会については、運営主体を龍ヶ崎市スポーツ協会から市に変更し、今後更なる参加者を増やしていくために、大会内容の見直しや民間主導による大会運営も可能かどうかも含めて検討していく。							

1 基本情報				
(1) 事業名	スポーツによる自己実現支援事業		(2) 担当課	スポーツ推進課
(3) 施策の体系	政策の柱	4	誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	施策	1	誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現	
	施策の展開方向	1	スポーツ・運動を通じた生きがいづくり	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画	
(6) 事業概要・目的	投げる動作をツールとした運動プログラム「放課後PLAYパーク投げる大作戦」を実施し、こどもたちの運動有能感・自己成長力の醸成を図ります。			 

2 取組状況												
(1) 取組内容	○放課後PLAYパーク投げる大作戦の実施 ・仕様書の作成及び実施内容を考案し、4月24日に契約に向けた執行手続を実施 ・5月22日に、令和6年度スポーツによる自己実現支援事業業務委託契約を締結 ・5月23日から参加者募集を行い、6月15日に事前説明会を開催 ・6月～9月にかけて全10回のプログラムを実施 ※身体測定会(6月22日・9月14日)、プロ野球イースタン・リーグ茨城シリーズの場を活用した成果報告会(始球式・終球式)を実施(9月8日) ・10月5日に牛久市と合同で振り返り会を開催											
	(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
		運動能力に自信を持たせた参加者割合(こども)	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
					80	92	85	100				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	運動有能感や自己肯定感に対する満足度(保護者)	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
				80	84	85	92					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	4,002,000 円		3,723,000 円		円		円			
		事業費	1,430,000 円		1,485,000 円		円		円			
		人件費	2,572,000 円		2,238,000 円		円		円			
	市民1人当たりの費用		53 円		50 円		円		円			
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円			
		地方債	0 円		0 円		円		円			
その他		117,000 円		986,000 円		円		円				
一般財源		3,885,000 円		2,737,000 円		円		円				

3 事業評価・分析																																	
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等																									
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			現代社会においてこどもたちを取り巻く社会環境や生活様式の変化などによって、運動する機会の減少や自由な発想で物事を考える機会が減少しているため。																									
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			スポーツ振興くじを活用してコストが抑制できており、プロ野球イベントの活用など、市が事業主体であることに一定の妥当性はあるが、民間移行等への検討も必要であるため。																									
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			本プログラムを通して、運動する楽しさや、自由な発想を持って自分なりの答えを見つけ出す等のプログラムを行うことで、運動有能感や自己肯定感を高められているため。																									
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			本プログラムを通して、運動有能感や自己肯定感が高められ、健康の向上や住み続けられるまちづくりにつながるため。																									
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図																										
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">↑大</td> <td>Ad</td> <td>Bd</td> <td>Cd</td> <td>Dd</td> </tr> <tr> <td>Ac</td> <td>Bc</td> <td>Cc</td> <td>Dc</td> </tr> <tr> <td>Ab</td> <td>Bb</td> <td>Cb</td> <td>Db</td> </tr> <tr> <td>Aa</td> <td>Ba</td> <td>Ca</td> <td>Da</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">↓小</td> <td colspan="4">←大 行政関与の必要性 小→</td> </tr> </table>					↑大	Ad	Bd	Cd	Dd	Ac	Bc	Cc	Dc	Ab	Bb	Cb	Db	Aa	Ba	Ca	Da	↓小	←大 行政関与の必要性 小→			
	↑大	Ad	Bd	Cd	Dd																												
		Ac	Bc	Cc	Dc																												
Ab		Bb	Cb	Db																													
Aa		Ba	Ca	Da																													
↓小	←大 行政関与の必要性 小→																																
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了																												
	昨年度から本事業を実施して以降、参加者からの口コミによる効果もあり、参加定員20名をはるかに上回る33名の申込があった。プログラムの分析結果を踏まえて、今後も出来るだけ多くのこどもたちにこの取組を理解してもらい、様々な機会で開催していくなど、取組の可能性を検討しながら事業を継続していくとともに、民間への移行など、事業のあり方についても検討していく。																																

1 基本情報											
(1) 事業名	プロスポーツ連携事業				(2) 担当課	スポーツ推進課					
(3) 施策の体系	政策の柱	4	誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり								
	施策	1	誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現								
	施策の展開方向	3	スポーツによるにぎわいづくり								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	プロスポーツと連携し、大規模・独自性のあるスポーツイベントを開催することにより、市内外から多くの方々を呼び込み、交流人口の増加及び地域活性化を図ります。					 					
2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○産学官連携によるスポーツイベントの開催(北海道×茨城県プロジェクト)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロ野球イースタンリーグ茨城シリーズを9月8日にTOKIWAスタジアム龍ヶ崎で開催(観客数1,979人)。</li> <li>※場外イベント:賑わいや関係人口の創出に向けた取組として、企業PRブースの出展(観戦チケットを購入することが出展条件)や肘検診、飲食店等のブースを出店(出店数 10店舗)</li> <li>・放課後PLAYパーク「投げる大作戦」の成果報告会を実施</li> </ul> <p>○プロスポーツ連携事業(市民DAYの開催等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月25日に茨城アストロプラネッツBCリーグ公式戦市民デーを開催</li> <li>・10月19日に鹿島アントラーズフレンドリータウンデイズ「龍ヶ崎の日」を開催</li> <li>・12月14日に茨城ロボッツ「龍ヶ崎市PRデー」を開催</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	イースタンリーグ観戦者数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				2,000	1,493	2,000	1,979				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	4,070,000 円		2,629,000 円		円		円		
		事業費	1,031,000 円		1,510,000 円		円		円		
		人件費	3,039,000 円		1,119,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		54 円		35 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		43,000 円		円		円			
一般財源		4,070,000 円		2,586,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		様々なプロスポーツの公式戦の試合を開催することで、幅広い世代のニーズに応えた事業の実施を行っているため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		様々なプロスポーツの公式戦の試合については、プロスポーツチームが主催しているため、コストの面で抑制できており効率的・効果的に事業が執行できているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		様々なプロスポーツの公式戦の試合×場外イベントの開催で本市の認知度向上、交流人口・関係人口の増加などが見込めることから地域活性化に寄与しているため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		様々なプロスポーツの公式戦の試合に合わせ、交流人口や関係人口の創出につながる取組を行うことは、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
	今後においても交流人口、関係人口の増加を見込める様々なプロスポーツの公式戦の試合に合わせて、様々なプロスポーツや関係機関と連携し、シティブロモーションによる本市の認知度向上に努めるとともに、多くの来場者に来てもらえるような事業の展開を図っていく。					Ab	Bb	Cb	Db		
Aa						Ba	Ca	Da			
←大 行政関与の必要性 小→											

1 基本情報											
(1) 事業名	オリンピック応援事業				(2) 担当課	スポーツ推進課					
(3) 施策の体系	政策の柱	4	誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり								
	施策	1	誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現								
	施策の展開方向	3	スポーツによるにぎわいづくり								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等						(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	世界最大級のイベントであるオリンピックを観戦する場の提供により、スポーツの魅力を発信するとともに、同大会に出場する本市にゆかりのあるスポーツ選手を、市民が一丸となり応援することで、シビックプライドの醸成を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○スポーツライミング 檜崎智亜選手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別奨励金交付式実施(7月4日交付) 当市ゆかり(ふるさと大使)のオリンピック出場者へ交付</li> <li>オリンピック出場壮行会実施(7月4日実施) 選手激励、特別奨励金授与、ふるさと大使任命</li> <li>パブリックビューイング実施(中止) 決勝(8月9日)で実施を予定していたが、決勝戦進出前敗退により中止</li> <li>オリンピック出場報告会実施(9月27日実施) 選手激励及びオリンピックでの結果報告</li> </ul> <p>○陸上競技(やり投げ) 齊藤真理菜選手</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別奨励金交付(8月9日)</li> <li>オリンピック出場報告会実施(11月6日実施) 選手激励及びオリンピックでの結果報告、ふるさと大使任命</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	パブリックビューイング観戦者数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						450	0				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	4,084,000		円	円		円		
		事業費	円	2,325,000		円	円		円		
		人件費	円	1,759,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	55		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円	円		円	
		地方債		円	0		円	円		円	
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	4,084,000		円	円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			スポーツ最高の舞台であるオリンピック出場における選手の応援・激励は、市民が一丸となって応援できる機会の創出につながるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			壮行会やパブリックビューイングを実施することにより、多くのメディアに取り上げられ、本市のPRや交流人口の増加につながるため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			パブリックビューイング等を通じて、本市にゆかりのある選手の活躍を行政と市民が一丸となって応援する機会を提供することで、市に愛着や誇りを持つきっかけとなるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			行政と市民が連携・協力し応援することで、オリンピックで良い結果を得るという目標を共有し、パートナーシップの強化につながるため。			
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 小↓	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc			
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db			
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 事業完了		Aa	Ba	Ca	Da			
次回のオリンピックにおいても、本市にゆかりのある選手が出場する場合には、行政・市民が一丸となって応援できるパブリックビューイングの実施や、壮行会等による選手のメディア露出の機会を創出し、スポーツの魅力を感じてもらうとともに、シビックプライドの醸成につながるような取組を企画し、実施に向けて検討を行う。											

1 基本情報																											
(1) 事業名	たつのこアリーナ管理事業					(2) 担当課	スポーツ推進課																				
(3) 施策の体系	政策の柱	4	誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり																								
	施策	1	誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現																								
	施策の展開方向	4	スポーツ環境の充実																								
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等	龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画				(7) SDGsとの関連性																			
(6) 事業概要・目的	ニューライフアリーナ龍ヶ崎(たつのこアリーナ)の施設を常に良好な状態に保ち、長寿命化を図るため、計画的な改修を行います。																										
2 取組状況																											
(1) 取組内容	○計画的な施設の改修等の実施 ・温水ヒーター更新工事(令和7年2月実施) ・中水用加圧給水ポンプ交換工事(令和7年3月実施) ・メインアリーナ・サブアリーナカーテン購入(令和6年9月購入) ○たつのこアリーナの管理業務(経常業務) ・防火設備定期点検(令和7年1月実施)、建築物定期調査(令和7年3月実施) ・防犯カメラ・電話交換設備・券売機リース、有酸素トレーニングマシンリース等を実施																										
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																
	利用者数		成果	千人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績															
					211	210	211	211																			
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																		
	事業費等	総額	164,537,000 円		52,696,000 円		円		円																		
		事業費	162,511,000 円		50,298,000 円		円		円																		
		人件費	2,026,000 円		2,398,000 円		円		円																		
	市民1人当たりの費用		2,184 円		704 円		円		円																		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円																	
		地方債		102,500,000 円		20,600,000 円		円		円																	
その他		0 円		0 円		円		円																			
一般財源		62,037,000 円		32,096,000 円		円		円																			
3 事業評価・分析																											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等																			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			施設に不具合が生じた際には、施設の一部を休止することとなり、施設の利用に制限が生じることから、計画的な改修等を実施し、施設利用の促進につなげるため。																			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			市と指定管理者が役割を分担して管理することにより、効率的な管理運営が図られたため。																			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			利用しやすい施設とし、施設の機能を向上させることによって、スポーツ・運動による利用促進を図るため。																			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			誰もが利用しやすい施設となるよう、施設の機能向上に努めることは、住み続けられるまちづくりにつながるため。																			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図																				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">↑大</td> <td>Ad</td> <td>Bd</td> <td>Cd</td> <td>Dd</td> </tr> <tr> <td>Ac</td> <td>Bc</td> <td>Cc</td> <td>Dc</td> </tr> <tr> <td>Ab</td> <td>Bb</td> <td>Cb</td> <td>Db</td> </tr> <tr> <td>Aa</td> <td>Ba</td> <td>Ca</td> <td>Da</td> </tr> </table> 行政主導 民間主導				↑大	Ad	Bd	Cd	Dd	Ac	Bc	Cc	Dc	Ab	Bb	Cb	Db	Aa	Ba	Ca	Da
	↑大	Ad	Bd	Cd	Dd																						
		Ac	Bc	Cc	Dc																						
Ab		Bb	Cb	Db																							
Aa		Ba	Ca	Da																							
<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了																							
利用者が継続的に施設を利用することができ、市民の健康増進に寄与するため、計画的な改修等を実施し、スポーツ環境の充実を図っていく。							←大 行政関与の必要性 小→																				

1 基本情報				
(1) 事業名	たつのこスタジアム管理事業		(2) 担当課	スポーツ推進課
(3) 施策の体系	政策の柱	4	誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	施策	1	誰もが楽しめる生涯スポーツ社会の実現	
	施策の展開方向	4	スポーツ環境の充実	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市第3次スポーツ推進計画	
(6) 事業概要・目的	TOKIWAスタジアム龍ヶ崎(たつのこスタジアム)の施設を常に良好な状態に保ち、長寿命化を図るため、計画的な改修を行います。			

2 取組状況											
(1) 取組内容	○計画的な施設の改修等の実施 ・スコアボード更新工事(令和7年4月完了) ・公募型プロポーザルを実施し、魅力ある設備にリニューアル ・内外野グラスライン改修工事(令和7年1月完了) ○危険(不具合)箇所等を把握し、速やかに改修等の安全措置を実施										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	利用者数	成果	千人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				14	12	14	12				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	93,260,000 円		5,208,000 円		円		円		
		事業費	92,169,000 円		2,970,000 円		円		円		
		人件費	1,091,000 円		2,238,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		1,238 円		70 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
		地方債		57,000,000 円		0 円		円		円	
その他		16,000,000 円		0 円		円		円			
一般財源		20,260,000 円		5,208,000 円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			施設に不具合が生じた際には、施設の一部を休止することとなり、施設の利用に制限が生じることから、計画的な改修等を実施し、施設利用の促進につなげるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			市と指定管理者が役割を分担して管理することにより、効率的な管理運営が図られたため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			利用しやすい施設とし、施設の機能を向上させることによって、スポーツ・運動による利用促進を図るため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			誰もが利用しやすい施設となるよう、施設の機能向上に努めることは、住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充			<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託			<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc	
		<input type="checkbox"/> 事業統合			<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db	
	<input type="checkbox"/> 事業廃止			<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da		
利用者が継続的に施設を利用することができ、市民の健康増進に寄与するため、計画的な改修等を実施し、スポーツ環境の充実を図っていく。											

1 基本情報																											
(1) 事業名	文化会館管理事業				(2) 担当課	文化・生涯学習課																					
(3) 施策の体系	政策の柱	4	誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり																								
	施策	2	暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進																								
	施策の展開方向	2	暮らしを豊かにする文化芸術活動の促進																								
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等	第2次龍ヶ崎市教育プラン			(7) SDGsとの関連性																				
(6) 事業概要・目的	大昭ホール龍ヶ崎(文化会館)利用者の快適性・安全性の向上と施設の長寿命化を図るため、老朽化した設備を計画的に改修します。						 																				
2 取組状況																											
(1) 取組内容	○設備の計画的改修 ・大ホール舞台幕開閉装置更新工事(老朽化した開閉装置を更新) ・大ホール2階・ホワイエ空調設備更新工事(老朽化した空調設備更新工事) ○その他、緊急に改修・修繕を要する設備への対応 ・自動ドア緊急修繕工事(経年劣化による故障箇所を修繕) ・大ホール音響設備緊急修繕(経年劣化による故障設備を修繕)																										
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																
	利用者数		成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績															
					120,000	74,126	120,000	96,606																			
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																		
	事業費等	総額	52,100,000 円		72,934,000 円		円		円																		
		事業費	46,334,000 円		67,020,000 円		円		円																		
		人件費	5,766,000 円		5,914,000 円		円		円																		
	市民1人当たりの費用		692 円		974 円		円		円																		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円																	
		地方債		31,300,000 円		44,300,000 円		円		円																	
その他		8,446,000 円		3,498,000 円		円		円																			
一般財源		12,354,000 円		25,136,000 円		円		円																			
3 事業評価・分析																											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等																				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		利用者の安全安心のため、また、有料で施設・設備を貸出していることから、料金に見合った快適な利用ができる施設・設備の改修・修繕が求められるため。																				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		比較的小規模な改修、改善は指定管理者が担い、その他の改修、改善は市が主体となり計画的に進めているため。																				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		耐用年数が超過している施設・設備があり、大規模修繕を必要とする不具合の発生確率が高くなっており、大きな不具合の発生を抑える必要があるため。																				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		文化芸術活動の拠点として生涯学習を提供する重要な役割を担っており、質の高い教育や住み続けられるまちづくりにつながるため。																				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図																				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">↑大</td> <td>Ad</td> <td>Bd</td> <td>Cd</td> <td>Dd</td> </tr> <tr> <td>Ac</td> <td>Bc</td> <td>Cc</td> <td>Dc</td> </tr> <tr> <td>Ab</td> <td>Bb</td> <td>Cb</td> <td>Db</td> </tr> <tr> <td>Aa</td> <td>Ba</td> <td>Ca</td> <td>Da</td> </tr> </table> ←大 行政関与の必要性 小→				↑大	Ad	Bd	Cd	Dd	Ac	Bc	Cc	Dc	Ab	Bb	Cb	Db	Aa	Ba	Ca	Da
	↑大	Ad	Bd	Cd	Dd																						
		Ac	Bc	Cc	Dc																						
		Ab	Bb	Cb	Db																						
Aa		Ba	Ca	Da																							
<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了																							
今後も優先順位を付け、計画的に改修や修繕を行い、予防保全等に努めていく。																											

1 基本情報				
(1) 事業名	多文化共生社会構築事業		(2) 担当課	地域づくり推進課
(3) 施策の体系	政策の柱	4	誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	施策	3	多様性を認め尊重し合う、共生社会の実現	
	施策の展開方向	2	多文化共生社会の構築	
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等		
(6) 事業概要・目的	多文化共生社会の実現に向け、多様性を認め尊重し合い、外国籍の市民が安心して暮らせるための環境整備に努めます。			

2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○市公式ホームページに「りゅうがさきおやくだちカード」サイトを公開                  ・当市の主な行政情報(12課57項目)を「やさしい日本語」をベースとして作成                  ・作成した情報を4か国語(英語、ベトナム語、タガログ語、中国語簡体)に翻訳                  ・翻訳した行政情報をPDF化し「りゅうがさきおやくだちカード」サイトに掲載                  ○「りゅうがさきおやくだちカード」の配布開始                  ・「りゅうがさきおやくだちカード」サイトへの2次元コードを印刷した「りゅうがさきおやくだちカード」3,000枚を作成し、市民窓口課、出張所、市民窓口ステーション、地域づくり推進課、各コミュニティセンターにて、令和7年3月10日から配布を開始</p>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	カード作成枚数	活動	枚	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						3,000	3,000				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	4,458,000		円	円		円	円	
		事業費	円	1,181,000		円	円		円	円	
		人件費	円	3,277,000		円	円		円	円	
	市民1人当たりの費用		円	60		円	円		円	円	
	財源内訳	国・県支出金	円	0		円	円		円	円	
		地方債	円	0		円	円		円	円	
その他		円	0		円	円		円	円		
一般財源		円	4,458,000		円	円		円	円		

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			本市で安心して生活ができるように、市が外国籍市民をサポートすることで、暮らしやすさを感じてもらい、共生社会の実現へとつなげていくことができるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			行政情報を「やさしい日本語」に作り直したうえで4か国語で翻訳をしているが、翻訳のみを委託し、事業費を抑制しているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			情報取得の入口をわかりやすくすることで「りゅうがさきおやくだちカード」サイトへのアクセス性が高まり、多くの外国籍市民の利用が期待できるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			言語の違いにかかわらず、必要な情報を得ることができ、皆が安心して生活することができるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		大 収益性 小	Ad	Bd	Cd	Dd
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了			Ac	Bc	Cc	Dc
								Ab	Bb	Cb	Db
						Aa		Ba	Ca	Da	
提供情報の内容の更新を行いながら、併せて、外国籍市民のニーズを把握し、内容の拡充に努めていく。											←大 行政関与の必要性 小→

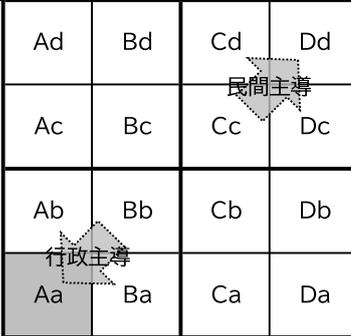
1 基本情報						
(1) 事業名	非常災害用備蓄整備事業			(2) 担当課	防災安全課	
(3) 施策の体系	政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり			
	施策	1	防災・減災対策の推進			
	施策の展開方向	1	防災力・減災力の強化			
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市地域防災計画		(7) SDGsとの関連性	
(6) 事業概要・目的	災害発生時に備え、茨城県地震被害想定調査報告書(平成30年12月)に基づき、5,200人が3日間生活するための備蓄食糧や備蓄品の充実に努めます。					

2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○備蓄品更新計画の更新                  ・消費期限の迫る備蓄食料等を確認し、期限が迫っているものについては、防災意識の向上等を目的に 防災訓練参加者や学校などへ供与しているほか、福祉の観点から生活困窮者や子ども食堂などへ供与                  ・地震災害時の避難者見込である5,200人分の備蓄食料品及び飲料水を確保                  ○備蓄品更新計画に基づく、備蓄食糧及び飲料水購入契約を締結</p>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	避難者(5,200人)が3日間(9食分)生活できる備蓄食糧充足率	活動	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				100	100	100	100				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
食物アレルギー対応備蓄食の配備率	活動	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			100	100	100	100					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	7,271,000 円		7,871,000 円		円		円		
		事業費	3,453,000 円		3,955,000 円		円		円		
		人件費	3,818,000 円		3,916,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		97 円		105 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		7,271,000 円		7,871,000 円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			本市における地震災害時の避難者見込み数は5,200人であり、その備蓄食糧及び飲料水の確保は不可欠であるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			備蓄食料品は備蓄更新計画に基づいて計画的に購入しており、納品時の配備先を選定することにより、納品時間の短縮を図ったため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			備蓄更新計画に基づいて、災害発生時に備え、被害想定される避難者(5,200人)が3日間(9食分)生活できる食料品の備蓄が必要であるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			全ての備蓄食料品のアレルギー対応品の備蓄は、住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		大 収益性 小	Ad	Bd	Cd	Dd
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了			Ac	Bc	Cc	Dc
								Ab	Bb	Cb	Db
						Aa		Ba	Ca	Da	
備蓄更新計画を更新し、その計画に基づいて、備蓄食料及び飲料水を適正購入していく。なお、配備先については、購入年度ごとの配備を進め、適正な管理を図っていく。											
←大 行政関与の必要性 小→											

1 基本情報									
(1) 事業名	住宅・建築物耐震改修促進事業					(2) 担当課	都市計画課		
(3) 施策の体系	政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり						
	施策	1	防災・減災対策の推進						
	施策の展開方向	1	防災力・減災力の強化						
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市耐震改修促進計画、龍ヶ崎市地域防災計画				(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	旧耐震基準の自己居住用住宅に対する耐震診断、耐震改修等事業費用を助成をすることにより、木造住宅の耐震化を促進します。また、危険性のあるブロック塀の撤去費用等を助成することにより、大規模地震による人的被害の削減を図ります。								

2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○木造住宅耐震化及び危険ブロック塀等撤去補助制度の周知、PR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月に市広報紙へ掲載したほか、市公式ホームページにも掲載</li> <li>・5月、8月、11月に防災連絡協議会、市主催のイベントなどにおける周知、PR活動を実施</li> <li>・8月に茨城県が主催する耐震診断士養成講習会において、耐震改修促進事業のチラシを配布</li> <li>・9月に龍ヶ崎、龍ヶ崎西、大宮地区へ耐震改修促進事業のチラシを回覧</li> <li>・耐震診断費補助の見直しを行い、診断士派遣事業へ制度変更を実施</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	補助金交付件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				10	2	10	1				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	1,837,000 円		1,779,000 円		円		円		
		事業費	200,000 円		100,000 円		円		円		
		人件費	1,637,000 円		1,679,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		24 円		24 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	150,000 円		75,000 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		1,687,000 円		1,704,000 円		円		円			

3 事業評価・分析										
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			地震等の災害が近年激化していることから、市民の生命・財産を守るために不可欠であるため。		
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			国も木造住宅の耐震化に力を入れており、国と県の補助が活用できることから、市の負担額を抑えて事業を実施できているため。		
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			昨今の社会情勢を鑑みても、木造住宅の耐震化や危険ブロック塀の撤去は急務であり、必要な方が早期に活用できるよう補助制度の周知方法の改善が必要であるため。		
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			旧耐震基準の住宅の耐震化や危険ブロック塀等の撤去を行うことは、市民の生命・財産を守ることに加え、住み続けられるまちづくりにつながるため。		
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 						
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小							
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定							
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止							
				<input type="checkbox"/> 事業廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了						
				今後も災害がいつ発生するか分からない中で、市民の生命・財産を守るためにも当該事業は継続していく。また、今年度、耐震診断費補助制度の見直しを行い、申請者の費用負担、診断士の手配にかかる手間を軽減し、制度活用の促進を図るため、耐震診断士を派遣する事業へと制度変更を行ったことから、改めて、新制度の周知を図っていく。						

1 基本情報											
(1) 事業名	水防対策費				(2) 担当課	防災安全課					
(3) 施策の体系	政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり								
	施策	1	防災・減災対策の推進								
	施策の展開方向	1	防災力・減災力の強化								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市地域防災計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	令和5年6月の大雨災害をはじめ、今後は中小河川の越水によるリスクも大いに想定されるため、河川の越水を迅速かつ効果的に防ぐ資機材として「水のう」及び「止水板」を配備するとともに、実践的訓練を実施し防災力の向上に努めます。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○水のう・止水板の購入 ・大型水のう6本、簡易型止水板34枚を購入、配備 ○水のう・止水板の展開訓練 ・R6.8.25に「大型水のう展張訓練」を開催 ・訓練参加者200人(うち消防署員35人、龍ヶ崎市消防団150人、市職員等15人)										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	水のう・止水板の展開訓練の実施回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						1	1				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	13,365,000		円	円		円		
		事業費	円	7,771,000		円	円		円		
		人件費	円	5,594,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	178		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円	円		円	
		地方債		円	0		円	円		円	
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	13,365,000		円	円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			水防資機材を保有することで災害時の応急対策が整えられるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			市が主体となり防災関係機関と連携を図り、災害対応にあたるのが妥当と考えられるため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			消防署及び消防団の協力のもと、その活用方法などの訓練を実施し共有することで、災害時の迅速かつ効果的な対応が可能となるため。			
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			水防資機材の配備により、いつ起こるかかわからない災害に備えることで、市民が安全で安心して住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 →小		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc			
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db			
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da				
今年度の取組により水防資機材の配備は完了したため、今後はその使用・活用方法について、消防署を初め、災害時に水防団となる消防団への展張訓練を実施していく。											

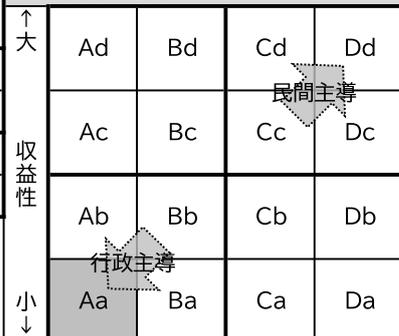
1 基本情報											
(1) 事業名	防災備蓄施設改修事業					(2) 担当課	防災安全課				
(3) 施策の体系	政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり								
	施策	1	防災・減災対策の推進								
	施策の展開方向	1	防災力・減災力の強化								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市地域防災計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	「パーティション Tent」及び「段ボールパレット」等の災害備蓄品を集中管理し、災害時に市民の避難状況に応じた適切な物資の配給、及び災害時の受援拠点として活用するため、旧学校給食センター第一調理場を防災備蓄倉庫として改修します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○防災備蓄倉庫への改修工事 ・旧学校給食センター第一調理場を防災備蓄倉庫とする改修を完了 ○保管する備蓄品の検討 ・防災備蓄倉庫へ集中保管する備蓄品について検討し、防災資機材移管作業計画を作成 ○防災備蓄品の移動・集中管理 ・防災資機材移管作業計画に基づき、旧長戸小学校体育館に保管している感染症対策備蓄品を備蓄防災倉庫へ移設するとともに、備蓄品を災害発生時の迅速な物資の運搬に資するため、パレット上に配置・受援施設として、受援物資配置スペースを確保										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	防災備蓄倉庫改修	活動	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						100	100				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
感染症対策備蓄品の適正管理	活動	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
					100	100					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	25,786,000		円		円		円	
		事業費	円	18,513,000		円		円		円	
		人件費	円	7,273,000		円		円		円	
	市民1人当たりの費用		円	344		円		円		円	
	財源内訳	国・県支出金	円	0		円		円		円	
		地方債	円	0		円		円		円	
その他		円	18,513,000		円		円		円		
一般財源		円	7,273,000		円		円		円		
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		災害発生時の避難所開設時における避難者のプライバシー確保及び感染症予防のための備蓄品を迅速に運搬できるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		旧学校給食センター第一調理場を防災備蓄倉庫へ改修したことにより、事業費の抑制に加え、専用搬入口の活用により、安全且つ効率的に必要な物資の運搬ができるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		災害時に必要となる物資を一括管理することにより、災害発生時には物資の搬出及び受援物資の受け入れも可能となるため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		避難所で必要となる感染症対策備蓄品等の適正管理により、発生が予測できない災害に備えることで、市民が安全で安心して住み続けられるまちづくりにつながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	受援施設の物資拠点として位置付けし、災害時における国や県からの物資調達支援体制の構築を図っていく。										

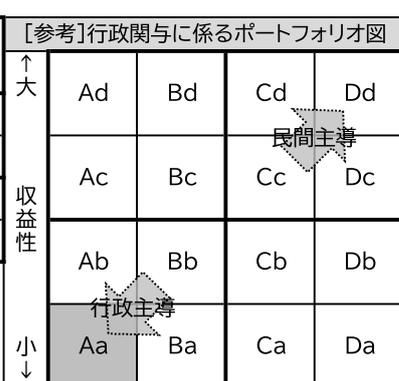
1 基本情報											
(1) 事業名	避難所環境改善事業					(2) 担当課	防災安全課				
(3) 施策の体系	政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり								
	施策	1	防災・減災対策の推進								
	施策の展開方向	1	防災力・減災力の強化								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市地域防災計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	災害時(特に水害)に避難所として使用する、龍ヶ崎中学校体育館柔剣道場にエアコンを整備し、避難所環境の改善を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○エアコンの設置工事 ・龍ヶ崎中学校体育館柔剣道場へのエアコン設置工事を完了										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	柔剣道場における避難所開設訓練の実施回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						1	0				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	68,812,000		円	円		円		
		事業費	円	62,898,000		円	円		円		
		人件費	円	5,914,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	919		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円	円		円	
		地方債		円	62,800,000		円	円		円	
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	6,012,000		円	円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		避難所の生活環境を整えることで、避難者の健康維持を図るとともに、安心して過ごしてもらうため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		高台となっている場所にある避難所の環境を整えることで、様々な災害における対応が可能となるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		避難所環境を整えることは、災害関連死の防止や健康維持に役立つため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		災害時に安心して避難できる場所があることは、避難者の安心を確保し、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充			<input type="checkbox"/> 内容縮小	大 中 小 ↓	Ad	Bd	Cd	Dd	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託			<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc	
	各小中学校施設の維持・再編の検討状況等を踏まえながら、避難所環境の整備・管理を適正に行っていく。						Ab	Bb	Cb	Db	
Aa							Ba	Ca	Da		
←大 行政関与の必要性 小→											

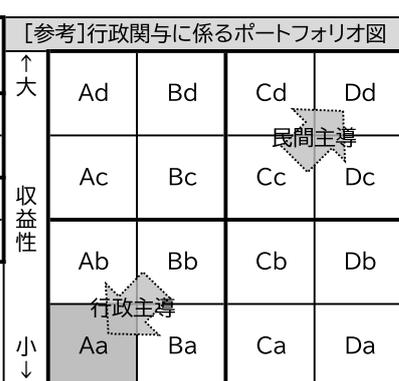
1 基本情報											
(1) 事業名	消防施設整備事業					(2) 担当課	防災安全課				
(3) 施策の体系	政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり								
	施策	2	消防・救命体制の充実								
	施策の展開方向	1	消防団を中核とした地域防災力の向上								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等							(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	老朽化した消防団車両を計画的に更新します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○消防団車両の計画的更新 ・龍ヶ崎市消防団車両更新計画に基づき、更新時期を過ぎた消防車両を故障等の不具合が発生する前に2台更新 ※更新した車両は、第5分団第5部(管轄地区:上泉)、第6分団第1部(管轄地区:薄倉)の車両										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	小型動力ポンプ付積載車の更新台数	活動	台	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				4	4	2	2				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	52,850,000 円		33,076,000 円		円		円		
		事業費	47,707,000 円		27,801,000 円		円		円		
		人件費	5,143,000 円		5,275,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		702 円		442 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
		地方債		44,100,000 円		23,300,000 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		8,750,000 円		9,776,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			火災現場で車両の故障等の不具合が発生する前に、老朽化した車両を更新することは、不可欠であるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			購入後20年の経過を目安に、老朽化した消防車両の計画的な更新を図っているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			老朽化した車両で火災現場において活動するには限界が生じており、消防車両の更新が急務となっているため。			
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			更新時期を過ぎた消防団車両を不具合が発生する前に更新し、複雑多様化した様々な災害への対応と団員の安全確保を図ることは、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止			Ab	Bb	Cb	Db		
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了		Aa		Ba	Ca	Da			
消防車両の更新時期はメーカー推奨値では15年としているが、購入後20年を目安に、老朽化した消防団車両の計画的な更新を図っていく。											

1 基本情報				
(1) 事業名	AED設置推進事業		(2) 担当課	防災安全課
(3) 施策の体系	政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり	
	施策	2	消防・救命体制の充実	
	施策の展開方向	2	安心の救命体制の充実	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等		
(6) 事業概要・目的	市民が心肺停止状態になった際に、その場に居合わせた方がAEDを利用できるようにするため、公共施設とコンビニエンスストアへAEDを設置します。			 

2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○公共施設及びコンビニエンスストアへのAED設置</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リース契約により機器を更新</li> <li>※公共施設75台(予備機1台含む。)、コンビニエンスストア26台の計101台設置(令和7年3月末時点)</li> <li>※昨年度設置台数より1台増加分は、教育総務課に配備(学校機関等への貸出用として)</li> <li>○AEDを利用しやすい環境の整備</li> <li>・公共施設の再編成やコンビニエンスストアの開店、閉店の際に速やかな再配置(設置又は撤去)を実施</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	不特定多数の市民が集まる公共施設のAED設置割合	活動	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				100	100	100	100				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
市内コンビニエンスストアのAED設置割合	活動	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			100	100	100	100					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	4,132,000 円		7,080,000 円		円		円		
		事業費	3,196,000 円		2,844,000 円		円		円		
		人件費	936,000 円		4,236,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		55 円		95 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		4,132,000 円		7,080,000 円		円		円			

3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			AED設置環境の整備は、救命率の向上に資するため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			現在、市で配置するAEDはすべてリース契約で設置しており、維持管理等はリース会社で行っているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			市内の公共施設・コンビニエンスストアへAEDを適切に配備・設置することで、その場に居合わせた人がAEDを利用できる環境を提供するため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			市内の公共施設・コンビニエンスストアへのAED設置は、救命率向上や市民の安心につながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 								
	現在、市内公共施設・コンビニエンスストアにはAEDを設置し、リース契約により更新を行っている。今後も継続し、公共施設の再編・コンビニの閉店等の際は、AEDを適切に配備していく。			←大 行政関与の必要性 小→								

1 基本情報											
(1) 事業名	防犯活動事業					(2) 担当課	防災安全課				
(3) 施策の体系	政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり								
	施策	3	暮らしの安全・安心の確保								
	施策の展開方向	1	地域の防犯体制の充実								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等						(7) SDGsとの関連性	 		
(6) 事業概要・目的	防犯サポーターを配備し、関係団体と協力して防犯活動を行っていくことにより、地域の安全・安心の向上を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○防犯活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・13名の防犯サポーターにより、児童の登下校の見守りや青色防犯パトロール車両による市内パトロールを実施</li> <li>・防犯サポーターの知識向上のため、青パト講習会の受講や警察署と協力して実施する交通安全教室に参加</li> </ul> <p>○啓発活動の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・竜ヶ崎警察署や竜ヶ崎地区防犯協会、龍ヶ崎市防犯連絡員協議会と協力して啓発活動を実施</li> <li>・※春の地域安全キャンペーン(サプラスクエア サプラ)、中学生1日防犯連絡員活動(各中学校)、秋の地域安全キャンペーン(常陽銀行)、防犯キャンペーン(スポーツクラブルネサンス)、HBS拡大運営委員会(松葉小学校)、歳末地域安全キャンペーン(龍ヶ崎市役所)など</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	防犯に関する啓発イベントの実施回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				3	10	10	10				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	10,887,000 円		11,405,000 円		円		円		
		事業費	3,484,000 円		3,813,000 円		円		円		
		人件費	7,403,000 円		7,592,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		145 円		152 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		10,887,000 円		11,405,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			地域が一体となり、見守り活動やパトロールなどの防犯活動を実施することにより、地域防犯力の向上を図ることができるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			竜ヶ崎警察署や竜ヶ崎地区防犯協会、龍ヶ崎市防犯連絡員協議会などの防犯団体が相互に連携することで地域の防犯力向上が図られているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			犯罪が多様化・巧妙化する中で、地域に根差した地道な活動により、地域のつながりが向上し、防犯に寄与しているため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			地域に根差した防犯活動によって、犯罪の抑止・未然防止を図ることは、住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	引き続き、竜ヶ崎警察署をはじめとする各防犯関係団体と連携しながら、地域の防犯力向上に努めていく。また、各種SNSや青パトを活用した広報活動により、防犯に関する情報を発信するとともに、防犯キャンペーン等を開催し、市民の防犯意識の高揚を図っていく。			←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報											
(1) 事業名	防犯カメラ等設置事業					(2) 担当課	防災安全課				
(3) 施策の体系	政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり								
	施策	3	暮らしの安全・安心の確保								
	施策の展開方向	1	地域の防犯体制の充実								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等							(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	安全で安心なまちづくりを推進するために、防犯カメラを運用し、地域の安全・安心の向上を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○街頭防犯カメラの保守 ・録画用SDカードを交換 ・長山コミュニティセンター及び城内コミュニティセンターの記録用HDD交換修繕 ○防犯カメラ等の活用促進 ・わかさ自治会に対し、1基分の補助金交付を決定										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	地域団体へ補助金を交付した防犯カメラ台数	活動	台	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				3	6	5	1				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	18,000,000 円		5,884,000 円		円		円		
		事業費	12,545,000 円		1,648,000 円		円		円		
		人件費	5,455,000 円		4,236,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		239 円		79 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	2,400,000 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		1,206,000 円		0 円		円		円			
一般財源		14,394,000 円		5,884,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		街頭防犯カメラの保守や地域団体への防犯カメラ設置補助金の交付は、防犯・犯罪抑止の効果が期待され、地域の防犯及び安全・安心なまちづくりを推進するものであるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		自主防犯活動の補完として、地域団体が設置する防犯カメラへ補助金を交付することにより、コストを抑えながら地域の防犯力強化が図られているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		龍ヶ崎警察署と協議し、効果が期待できる箇所へ設置した街頭防犯カメラについて、保守を行うことで、防犯・犯罪抑止の一助となっているため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		防犯カメラ設置によって犯罪抑止効果を生むことは、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	街頭防犯カメラについては、設置から年数が経過しているものがあるため、計画的に機器の更新を行っていく。 また、地域団体への補助金交付については、防犯カメラの設置を希望している団体はあるものの、設置費用の負担が大きく、設置に至らないケースがあることから、補助金上限額の見直しを含めた要綱の改正を検討していく。										
				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報						
(1) 事業名	交通安全施設整備事業				(2) 担当課	道路公園課
(3) 施策の体系	政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり			
	施策	3	暮らしの安全・安心の確保			
	施策の展開方向	2	交通安全環境の向上			
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	舗装維持修繕計画			(7) SDGsとの関連性
(6) 事業概要・目的	交通事故を未然に防ぐため、カーブミラーやガードレールなどの交通安全施設を整備するなど、交通危険箇所の解消や交通事故防止の安全対策に努めます。					

2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○交通危険箇所の解消による交通事故の防止を目的とした交通安全施設の整備                  ・舗装維持修繕計画の対象となった路線の調査結果に応じて、対象路線等を決定し、区画線設置工事を実施                  ・地域からの要望や点検結果等に基づき、カーブミラー新設や区画線再設置を行うほか、防護柵、転落防止柵及び交通安全施設を整備</p>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	区画線の引き直し延長	活動	m	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				11,000	17,000	16,500	0				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
カーブミラーの新規設置数	活動	基	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			30	36	30	18					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	50,106,000 円		13,609,000 円		円		円		
		事業費	49,170,000 円		12,650,000 円		円		円		
		人件費	936,000 円		959,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		665 円		182 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		50,106,000 円		13,609,000 円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			交通安全施設は、道路利用者が安全に道路を通行することを目的として設置しており、特に区画線は、劣化箇所が市内全域に分布しているため、市民からの再設置要望も多いため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			道路管理者が整備する交通安全施設の中でも、区画線は費用負担が少なく広範囲に設置することができるため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			区画線は、費用負担が少なく広範囲に設置することができるため、費用対効果が高く、その他の交通安全施設についても、事故を事前に防ぐ等の効果があるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			交通危険箇所の解消を目的とした交通安全施設の整備は、こどもから年配の方まで幅広い層に対する安心で安全な道路環境の提供につながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 →小	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab		Bb	Cb	Db			
<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了		Aa	Ba		Ca	Da				
交通安全施設は、交通事故を未然に防ぐために必要不可欠なものと考えている。 また、区画線に関しては、劣化箇所が広域であり、市民からの要望も多いことから、費用対効果の向上を図るため、中心線から設置していく。											

1 基本情報												
(1) 事業名	通学路安全対策事業					(2) 担当課	道路公園課					
(3) 施策の体系	政策の柱	5	安全・安心が実感できるまちづくり									
	施策	3	暮らしの安全・安心の確保									
	施策の展開方向	2	交通安全環境の向上									
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等							(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	教育委員会、警察など関係機関と連携し、交通安全施設を整備することにより、通学路の交通危険箇所の解消を図り、交通事故防止に資する安全対策に努めます。											
2 取組状況												
(1) 取組内容	・通学路の安全を確保するため、スクールゾーンやグリーンベルト等の路面標示を設置											
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	グリーンベルト設置	活動	m	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
						760	760					
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	10,782,000		円		円		円		
		事業費	円	9,823,000		円		円		円		
		人件費	円	959,000		円		円		円		
	市民1人当たりの費用		円	144		円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	4,856,000		円		円		円	
		地方債		円	0		円		円		円	
その他		円	0		円		円		円			
一般財源		円	5,926,000		円		円		円			
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等					
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		スクールゾーンやグリーンベルト等の路面標示を設置することで、通行する車両に対し注意喚起を行うことができ、通学路の安全通行につながるため。					
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		幅員が限られている既設道路に対しては、路面標示等による視覚的な対策を行うことで、広範囲に対策することができ、費用負担も少ないため。					
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		スクールゾーンやグリーンベルト等の路面標示は、交通量が多く、幅員が狭い場所などの構造物の設置が困難である箇所においても、視覚的に注意を促すことができるため。					
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		通学路の安全対策の実施は、車両が歩行者に注意を払うことにつながり、児童だけでなく高齢者にも安全で安心な環境となり、住み続けられるまちづくりにつながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 収益性 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	民間主導		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc			
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止			Ab	Bb	Cb	Db	行政主導		
<input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業完了		Aa		Ba	Ca	Da				
通学路の安全対策については、交通を未然に防ぐものとして必要不可欠であり、現在、路面標示による対応を進めている。今後も教育委員会、警察など関係機関と連携し、それぞれの事案に応じた通学路の安全対策に努めていく。												
						←大 行政関与の必要性 小→						

1 基本情報												
(1) 事業名	若柴長山前南部地区地区計画策定事業					(2) 担当課	都市計画課					
(3) 施策の体系	政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり									
	施策	1	魅力ある都市拠点の形成									
	施策の展開方向	2	活力と雇用を生み出す産業拠点の形成									
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	都市計画マスタープラン				(7) SDGsとの関連性					
(6) 事業概要・目的	圏央道にアクセスする幹線道路沿道での土地利用を促進し、企業誘致による地域経済の活性化や雇用促進を図ります。											
2 取組状況												
(1) 取組内容	○若柴長山前南部地区における地区計画の策定 ・素案を作成し、茨城県関係各課と随時協議を実施 ・6/29に住民説明会を実施(参加者24名) ・条例に基づく原案を縦覧(8/9~8/22) ・都市計画法に基づく縦覧(12/6~12/20) ・市都市計画審議会への諮問及び答申(2/21)											
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	地区計画策定面積	活動	ha	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
						11	11					
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	7,546,000		円		円		円		
		事業費	円	3,630,000		円		円		円		
		人件費	円	3,916,000		円		円		円		
	市民1人当たりの費用		円	101		円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円		円		円	
		地方債		円	0		円		円		円	
その他		円	0		円		円		円			
一般財源		円	7,546,000		円		円		円			
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			圏央道にアクセスする幹線道路沿道での土地利用を促進し、企業誘致による地域経済の活性化や雇用促進を図るため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			地区計画の都市計画決定は、市が決定権者となっているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			本地区における、企業誘致による地域経済の活性化を図るためには、地区計画の都市計画決定が必要であるため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			都市計画決定により、新たな工場等の立地が可能となり、働く場所の確保や市の経済成長につながるため。					
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図								
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	大 収益性 小	Ad	Bd	Cd	Dd	行政主導 民間主導			
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc				
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db				
<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da					
地区計画を策定したことにより、今年度で本事業は完了となった。今後は、地区計画のパンフレット等の作成や都市計画図等への反映を行っていくとともに、併せて、地区計画の適正な運用を図っていく。												
				←大 行政関与の必要性 小→								

1 基本情報												
(1) 事業名	森林公園リニューアル事業					(2) 担当課	道路公園課					
(3) 施策の体系	政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり									
	施策	1	魅力ある都市拠点の形成									
	施策の展開方向	3	にぎわいのある交流拠点の整備									
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等				(7) SDGsとの関連性					
(6) 事業概要・目的	Park-PFI制度を活用し、老朽化している施設の再整備を行い、市内外からの来園者を増やし、にぎわいの創出、交流人口の増加を図ります。また、森林公園用地の取得を行います。					 						
2 取組状況												
(1) 取組内容	○龍ヶ崎市森林公園再整備の実施 ・公募設置管理制度「Park-PFI」を用いた事業を推進 ・選定された事業者との実施協定に基づいた工事・整備状況の確認及び連絡、調整 ・特定公園施設の譲渡契約を締結(議会での可決) ・一部施設の完成に伴い、令和6年7月13日、第一弾がオープン。同年10月12日、第二弾がオープン ・令和7年3月22日グランドオープン ・にぎわい創出のためのイベントを実施 ・関係課と連携し、リニューアルオープンに向けたPRを実施 ・森林公園用地の売買契約を締結(議会での可決)											
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
					目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
					目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	13,140,000 円		675,213,000 円		円		円			
		事業費	9,633,000 円		669,619,000 円		円		円			
		人件費	3,507,000 円		5,594,000 円		円		円			
	市民1人当たりの費用		174 円		9,017 円		円		円			
	財源内訳	国・県支出金		0 円		154,350,000 円		円		円		
		地方債		0 円		417,500,000 円		円		円		
その他		0 円		40,160,000 円		円		円				
一般財源		13,140,000 円		63,203,000 円		円		円				
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			Park-PFIを活用した公園整備により公園の魅力が向上し、地域の交流拠点として利用者数の増加及びにぎわいの創出につながるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			公園整備をPark-PFI制度を活用して実施し、民間活力及びアイデアを最大限に活用したため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			公園整備を実施するに当たり、「公募設置等指針」を作成して事業者選定を行ったことにより、当公園の魅力を最大限に発揮できることが期待されるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			公園施設の一部に県産材(木材)の活用や、子どもから大人まで楽しめる公園整備を実施することは、産業の発展や住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 								
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小									
	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定										
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止								<input checked="" type="checkbox"/> 事業完了	
令和7年3月22日のグランドオープンにより、本事業は完了となった。今後は、市内外からの来園者の増加に伴う交流人口の増加や、交流拠点となる公園の推進及び維持管理のため、管理・運営事業者と連携・協力し、にぎわいが創出される魅力ある公園づくりを推進していく。				←大 行政関与の必要性 小→								

1 基本情報																											
(1) 事業名	路線バス昼間割引事業					(2) 担当課	都市計画課																				
(3) 施策の体系	政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり																								
	施策	2	快適でシームレスな移動環境の構築																								
	施策の展開方向	1	基幹公共交通の利便性向上と活性化																								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市地域公共交通計画				(7) SDGsとの関連性																				
(6) 事業概要・目的	関東鉄道株式会社が運行する路線バスを対象とし、昼間(午前8時から午後5時まで)の時間帯に市内で乗降した場合に運賃上限を210円とする「昼間割引」を継続し、路線バスの利用促進を図ります。					 																					
2 取組状況																											
(1) 取組内容	○制度の周知・利用促進 ・市公式ホームページ及びコミュニティバスリーフレットへ当制度について掲載 ・市内小学校(4校)を対象としたモビリティマネジメントを実施 ○制度継続に向けての協議 ・関東鉄道株式会社と適宜協議を行い、次年度の継続について了承																										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																	
	路線バス(昼間割引)利用者数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																
				143,780	150,020	144,670	144,286																				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績																	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																		
	事業費等	総額	3,890,000 円		5,240,000 円		円		円																		
		事業費	3,500,000 円		5,000,000 円		円		円																		
		人件費	390,000 円		240,000 円		円		円																		
	市民1人当たりの費用		52 円		70 円		円		円																		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円																		
		地方債	0 円		0 円		円		円																		
その他		0 円		0 円		円		円																			
一般財源		3,890,000 円		5,240,000 円		円		円																			
3 事業評価・分析																											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等																				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		過度な自家用車依存からの転換や環境負荷の低減を図り、公共交通の将来に向けた持続可能性の確保に寄与するため。																				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		バスの運行を民間交通事業者が担い、本市が財政的支援を行うことで、事業者との役割分担が明確になり、かつ地域住民にとって利便性の高い移動手段が確保されているため。																				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		民間交通事業者が社会情勢や需要を踏まえながら路線バスを運行し、地域住民の移動手段の確保につながっているため。																				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		地域住民の移動環境を向上させ、住みやすいまちづくりにつながっているほか、民間交通事業者との協定に基づく事業であり、パートナーシップの推進が図られているため。																				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図																				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">↑ 大</td> <td>Ad</td> <td>Bd</td> <td>Cd</td> <td>Dd</td> </tr> <tr> <td>Ac</td> <td>Bc</td> <td>Cc</td> <td>Dc</td> </tr> <tr> <td>Ab</td> <td>Bb</td> <td>Cb</td> <td>Db</td> </tr> <tr> <td>Aa</td> <td>Ba</td> <td>Ca</td> <td>Da</td> </tr> </table> 行政主導 民間主導 行政主導				↑ 大	Ad	Bd	Cd	Dd	Ac	Bc	Cc	Dc	Ab	Bb	Cb	Db	Aa	Ba	Ca	Da
	↑ 大	Ad	Bd	Cd	Dd																						
		Ac	Bc	Cc	Dc																						
Ab		Bb	Cb	Db																							
Aa		Ba	Ca	Da																							
<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了																							
地域住民にとって利用しやすい移動手段の確保、また地域公共交通の利用促進など、住み続けられるまちづくりの一助とするため、利用状況や社会情勢を注視しながら、事業者の協力の下、当制度の継続を図っていく。							↓ 小																				
							←大 行政関与の必要性 小→																				

1 基本情報									
(1) 事業名	乗合タクシー運行事業					(2) 担当課	都市計画課		
(3) 施策の体系	政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり						
	施策	2	快適でシームレスな移動環境の構築						
	施策の展開方向	2	コミュニティバスと乗合タクシーの運行						
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市地域公共交通計画				(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	乗合タクシーの運行により、地域住民の移動の足の確保、過度な自家用車利用からの脱却等を含めた利用しやすい地域公共交通システムを目指します。					 			

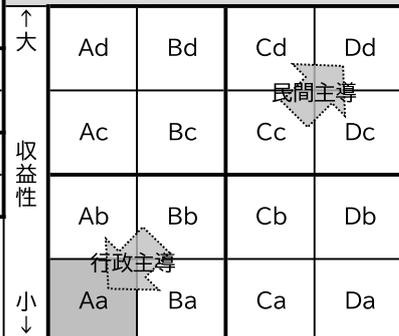
2 取組状況											
(1) 取組内容	○利用状況の分析 ・月次報告書を基に、利用状況を分析 ○利用促進 ・市公式ホームページ及び広報紙等へ当制度について掲載 ・市内小学校(4校)を対象としたモビリティマネジメントを実施 ・地域公共交通シンポジウムにおいて当事業を紹介										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	乗合率(2人以上)	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				30	22	30	26				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
年間登録者数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			300	265	300	279					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	6,732,000 円		9,696,000 円		円		円		
		事業費	4,316,000 円		8,017,000 円		円		円		
		人件費	2,416,000 円		1,679,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		89 円		129 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		2,367,000 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		6,732,000 円		7,329,000 円		円		円			

3 事業評価・分析									
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等		
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		利用者の多くは高齢者であり、今後の高齢化の進行が予想される中、通院や買い物といった日常生活の支援のほか、地域間交流の促進や生きがいの創出に寄与するため。		
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		民間交通事業者との協定に基づく事業であるほか、運行実績に応じて補償金を支払う仕組みとなっており、人的・財政的負担の軽減が図られているため。		
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		市全域を運行エリアとしているほか、自宅までの送迎が可能であり、コミュニティバス等の停留所への移動が難しい方へのセーフティネットとしての役割を担っているため。		
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		乗合タクシーは自宅まで送迎可能であり、移動制約者へのセーフティネットとしての役割を担っており、住み続けられるまちづくりにつながるため。		
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 					
	今後も市内における交通空白地域の解消、また高齢者等の移動手手段の確保を目的として運行を継続していく。 また、令和7年4月の地域公共交通再編後に、他の地域公共交通との統合も視野に、課題整理や情報収集を図っていく。								
				←大 行政関与の必要性 小→					

1 基本情報											
(1) 事業名	コミュニティバス運行事業					(2) 担当課	都市計画課				
(3) 施策の体系	政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり								
	施策	2	快適でシームレスな移動環境の構築								
	施策の展開方向	2	コミュニティバスと乗合タクシーの運行								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市地域公共交通計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	コミュニティバスについて、安全・安心で快適に利用できる環境を整備するとともに、地域住民の移動の足の確保、過度な自家用車利用からの脱却等を含めた利用しやすい地域公共交通システムを目指します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○利用状況の分析 ・運行事業者からの月次報告書を確認し、利用状況を分析 ○利用促進 ・市公式HP及び市広報紙に、利用案内を掲載 ・市内小学校(4校)を対象としたモビリティマネジメントを実施 ○公共交通ネットワークの再編成 ・令和7年4月再編の運行計画案を作成(4~6月) ・地域公共交通協議会において、再編案を了承(6月) ・再編内容の周知、各種事務手続き、リーフレットの配布等を実施(随時)										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	モビリティマネジメント等の実施回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				12	12	12	14				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
コミュニティバス利用者数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			212,000	213,820	220,000	217,933					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	184,202,000 円		179,232,000 円		円		円		
		事業費	181,319,000 円		177,290,000 円		円		円		
		人件費	2,883,000 円		1,942,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		2,445 円		2,393 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		2,761,000 円		2,337,000 円		円		円			
一般財源		181,441,000 円		176,895,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		利用者の多くは高齢者であり、今後も高齢化の進行が予想される中、地域間交流の促進や生きがいの創出に寄与するため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 効率的ではない		民間委託により事業費の抑制に努めているが、令和元年9月の再編により事業費が大きく膨らみ、運行経費の削減や効率性の向上など、持続可能性の確保が課題であるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		地域住民の日常生活を支える移動手段として、年間延べ約20万人が利用しているため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		地域住民の移動を支える手段として、住み続けられるまちづくりや、デジタル技術の活用による技術革新の基盤づくりにもつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input checked="" type="checkbox"/> 内容縮小	大 収益性 小	Ad	Bd	Cd	Dd	行政主導 民間主導		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc			
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db			
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da				
運行経費の削減や効率性の確保を目的として、利用の少ないコミュニティバス枝線の運行を終了するほか、利用実績に応じた運行時間の設定などを含めた運行計画の再編を令和7年4月に実施する。 再編実施以降についても、利用実績や利用者・地域住民等からの意見・要望等の情報収集・分析を継続的に行いながら、引き続き、持続可能で利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を図っていく。											
←大 行政関与の必要性 小→											

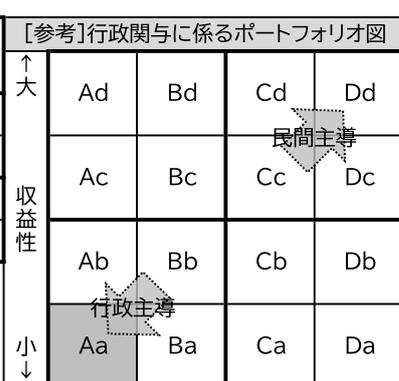
1 基本情報				
(1) 事業名	公共交通再編成事業		(2) 担当課	都市計画課
(3) 施策の体系	政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり	
	施策	2	快適でシームレスな移動環境の構築	
	施策の展開方向	3	新たな公共交通ネットワークの構築	
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市地域公共交通計画	
(6) 事業概要・目的	コミュニティバス等の現状分析やAIオンデマンド交通実証実験の結果を検証し、令和7年4月1日からのコミュニティバス等の再編準備及びAIオンデマンド交通の本格運行に向けた検討を進めます。			

2 取組状況												
(1) 取組内容	○AIオンデマンド交通実証実験結果の検証 ・利用実績や満足度、運行経費などを踏まえ、事業の有用性を整理 ○コミュニティバス等の現状分析 ・利用実績やこれまでの課題を踏まえ、一部路線の運行終了を決定 ・持続可能性に配慮した運行計画案を作成し、地域公共交通協議会に付議(4~6月) ○運行開始に向けた準備 ・協議の証明書の提出や道路使用・占用許可の申請を実施 ・市民等を対象とした地域公共交通シンポジウムを開催(2/16) ・市公式ホームページ及び市広報紙等へ再編関連記事を掲載											
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	住民向け説明会の開催	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
						20	14					
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	4,795,000		円		円		円		
		事業費	円	0		円		円		円		
		人件費	円	4,795,000		円		円		円		
	市民1人当たりの費用		円	64		円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円		円		円	
		地方債		円	0		円		円		円	
その他		円	0		円		円		円			
一般財源		円	4,795,000		円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			令和元年9月再編により生じた課題のほか、刻々と変化するニーズ等への的確に対応し、持続可能で利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を図るため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			コミュニティバスの現状分析のほか、AIオンデマンド交通の実証実験結果等を総合的に勘案して作成した新たな運行計画では、一定の運行経費の削減が図られているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			再編案の検討当初から課題として掲げていた運行経費の削減が図られるほか、民間交通事業者にも配慮しながら、地域の需要に応じた効率的な交通手段が提供されるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			日常生活を支える移動手段として果たす役割は大きく、地域公共交通全体として住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小								
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止								
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 事業完了									
令和7年4月に、市東部地域におけるAIオンデマンド交通の本格運行と、それを踏まえたコミュニティバスの全体的な見直しを軸とした地域公共交通の再編を行うことで、本事業は完了とする。 今後は、コミュニティバス、AIオンデマンド交通、乗合タクシーの各地域公共交通により、利用者数や移動ニーズの把握等を行いながら、引き続き持続可能で利便性の高い地域公共交通ネットワークの構築を図っていく。				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報				
(1) 事業名	空家等対策事業		(2) 担当課	まちの魅力創造課
(3) 施策の体系	政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり	
	施策	3	良好な住環境の維持・創出	
	施策の展開方向	2	空家等対策の推進	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市空家等対策計画、龍ヶ崎市都市計画マスター	
(6) 事業概要・目的	空家等の発生抑止や活用、適正な管理がされていない空家等の解消を促進します。			 

2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○空家にさせないための講演会等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・空家の発生を予防するために生前整理講演会を4回開催(合計97人参加)</li> <li>○適切な管理が行われていない空家等の所有者等への情報提供及び改善協力要請</li> <li>・文書による適正管理依頼、面会や電話による改善要請を実施(改善件数:51件、改善率:66.2%)</li> <li>○管理不全空家等・特定空家等の認定及び所有者等に対する措置</li> <li>・管理不全空家等に17件を新規に認定し措置を実施</li> <li>・特定空家等に4件を追加で認定し措置を実施</li> <li>○空家等対策推進協議会と連携した空家等対策の実施</li> <li>・空家等対策推進協議会(8月20日と2月13日に開催)の意見を参考に空家等対策を実施</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	生前整理講演会の開催回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				3	3	4	4				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	10,827,000 円		12,578,000 円		円		円		
		事業費	230,000 円		271,000 円		円		円		
		人件費	10,597,000 円		12,307,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		144 円		168 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		10,827,000 円		12,578,000 円		円		円			

3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			空家等対策により、適正な管理が行われていない空家等が改善されるほか、空家等の発生も予防され、安全で安心な生活の確保及び生活環境の保全が図られるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input type="checkbox"/> 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			一部の業務において民間と連携しているが、さらに委託等ができる業務がないか検証が必要のため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			法や本市の空家等対策計画に基づき、空家等の適正管理、利活用が図られ、空家等対策が推進されているため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			空家等の適正管理、既存の住宅ストック(空家)の活用により移住・定住を図ることは、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 								
	今後も空家等の増加が見込まれることから、空家等の所有者等への措置を強化していくとともに、空家にさせないための取組を拡充していく。また、空家等の利活用や民間活力の導入等についても検討していく。			←大 行政関与の必要性 小→								

1 基本情報				
(1) 事業名	空家バンク活用事業		(2) 担当課	まちの魅力創造課
(3) 施策の体系	政策の柱	6	機能的で、利便性が高いまちづくり	
	施策	3	良好な住環境の維持・創出	
	施策の展開方向	2	空家等対策の推進	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市空家等対策計画、龍ヶ崎市都市計画マスター	
(6) 事業概要・目的	空家バンク制度を活用することにより、空家の管理不全予防につなげるとともに、移住・定住を促進します。			(7) SDGsとの関連性

2 取組状況											
(1) 取組内容	○空家バンク物件登録数・成約数 ・登録27件(空家22件、空地5件)、成約15件(空家12件、空地3件) ○空家バンク活用促進事業補助金の交付 ・家財処分1件、改修工事で3件の補助金を交付 ○空家バンクの周知 ・市広報紙や市公式ホームページへの掲載、LINE配信、固定資産税納税通知書へのチラシ同封のほか移住フェア参加により情報を発信 ○住まいのお悩み相談会の開催 ・茨城県宅地建物取引業協会との共催により、不動産相談会をサブラで2回開催(合計37組参加)										
	(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度
空家バンク活用促進事業補助金交付件数		活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				2	5	3	4				
指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
住まい相談会等の開催回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			1	1	2	2					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	9,227,000 円		9,462,000 円		円		円		
		事業費	1,513,000 円		1,550,000 円		円		円		
		人件費	7,714,000 円		7,912,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		122 円		126 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	756,000 円		530,000 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		8,471,000 円		8,932,000 円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			空家等を早期に解消し、管理不全の予防につなげるとともに、既存の住宅ストック(空家)の活用により移住・定住が図られているため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			専門家である宅地建物取引業協会と連携して取り組んでいるため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			SNS(市公式LINE、X、Facebook)活用による周知や継続的な広報、空家にさせないための啓発活動等により、順調に登録及び成約が進んでいるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			既存の住宅ストック(空家)の活用により移住・定住を図ることは、住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		大 収益性 小	Ad	Bd	Cd	Dd
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了			Ac	Bc	Cc	Dc
								Ab	Bb	Cb	Db
								Aa	Ba	Ca	Da
						←大 行政関与の必要性 小→					

1 基本情報				
(1) 事業名	自立・分散型エネルギー設備導入促進事業		(2) 担当課	生活環境課
(3) 施策の体系	政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり	
	施策	1	環境負荷の少ない地域社会の形成	
	施策の展開方向	1	カーボンニュートラルの実現に向けた対策の推進	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市環境基本計画	
(6) 事業概要・目的	住宅等における再生可能エネルギーの導入促進を図るため、蓄電システムの設置費用に対する補助金を交付します。			(7) SDGsとの関連性
				

2 取組状況											
(1) 取組内容	○蓄電システム設置費用に対する補助金の交付 ・補助金額:100,000円/件(市補助50,000円+県補助50,000円) ・補助件数:30件										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	補助金交付件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				50	50	30	30				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	7,042,000 円		5,964,000 円		円		円		
		事業費	4,159,000 円		3,007,000 円		円		円		
		人件費	2,883,000 円		2,957,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		93 円		80 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		1,650,000 円		1,500,000 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		5,392,000 円		4,464,000 円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			近年の地球温暖化や気候変動への対策として、家庭における節電への関心が向上しており、それに伴って本事業への需要が高まっているため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			茨城県による家庭用蓄電池設置補助事業への補助金交付制度を利用することにより、本市の負担を軽減した事業運営ができていているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			家庭への蓄電システムの普及は、地球温暖化や気候変動への対策として、温室効果ガス削減及び災害時のレジリエンス強化に寄与するため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			家庭への蓄電池の設置は、再生可能エネルギーの普及や気候変動による自然災害への対策につながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充			<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 小↓	Ad	Bd	Cd	Dd	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託			<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc	
	本事業は、地球温暖化対策としての再生可能エネルギーの普及促進に寄与するとともに、気候変動に伴う自然災害の激化に対して、災害時のレジリエンス強化にも寄与することから、継続して実施する必要がある。令和7年度においても、茨城県による補助事業が継続して実施される予定であることから、茨城県と連携して事業を実施していく。						Ab	Bb	Cb	Db	
Aa							Ba	Ca	Da		
											←大 行政関与の必要性 小→

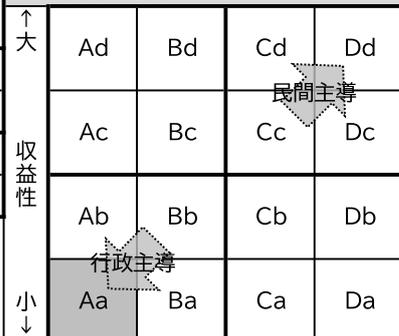
1 基本情報				
(1) 事業名	公共施設太陽光発電設備等導入可能性調査事業		(2) 担当課	生活環境課
(3) 施策の体系	政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり	
	施策	1	環境負荷の少ない地域社会の形成	
	施策の展開方向	1	カーボンニュートラルの実現に向けた対策の推進	
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市地球温暖化防止実行計画(事務事業編)	
(6) 事業概要・目的	2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、本市が所有する公共施設への太陽光発電設備導入に向けた調査を行います。			 

2 取組状況												
(1) 取組内容	<p>○龍ヶ崎市公共施設への太陽光発電設備等導入調査業務の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査対象32施設について、20施設を優先導入施設に抽出</li> <li>優先導入施設について、発電量の推計、需給シミュレーションの実施、自家消費量の推計等により、最も効率的な太陽光発電設備容量等を設定</li> <li>優先導入施設について、評価を行い、最優先導入施設10施設を選定</li> <li>最優先導入施設等について、最も適した導入手法を比較検討し、導入手法等を取りまとめ</li> <li>最優先導入施設等について導入設備の設置場所・配置・目安出力・導入効果等に、初期投資額を加えた導入基本計画(案)を施設別に作成</li> <li>2030年度の削減目標に向けて、12施設に新たに設備を導入する年次計画案を作成</li> </ul>											
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	調査施設数	活動	施設	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
						32	32					
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	12,169,000		円		円		円		
		事業費	円	10,890,000		円		円		円		
		人件費	円	1,279,000		円		円		円		
	市民1人当たりの費用		円	163		円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	8,000,000		円		円		円	
		地方債		円	0		円		円		円	
その他		円	0		円		円		円			
一般財源		円	4,169,000		円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			市の事務事業で排出する温室効果ガスの削減目標(2013年度を基準として2030年度には46%削減する)の達成に向けた取組として、重点的な取組の一つであるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			最優先導入施設等への最も適した導入手法(PPA方式、リース方式、公設公営方式)の比較検討を行い、導入手法の取りまとめを行っているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			今後、本市の事務事業により排出する温室効果ガスの削減に向けて、優先して太陽光発電設備等を導入する公共施設が明確になったため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			温室効果ガスを排出しない太陽光発電設備等の導入は、気候変動対策につながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		大 ↑ ↓ 小	Ad	Bd	Cd	Dd
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了			Ac	Bc	Cc	Dc
								Ab	Bb	Cb	Db
						Aa		Ba	Ca	Da	
本市公共施設に太陽光発電設備等を導入する方向性について、関係課と共有を図り、取組を進めていく。											

1 基本情報				
(1) 事業名	ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス導入促進事業		(2) 担当課	生活環境課
(3) 施策の体系	政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり	
	施策	1	環境負荷の少ない地域社会の形成	
	施策の展開方向	1	カーボンニュートラルの実現に向けた対策の推進	
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市環境基本計画	
(6) 事業概要・目的	住宅における温室効果ガスの排出削減を図るため、ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの新築などの費用に対する補助金を交付します。			(7) SDGsとの関連性
 				

2 取組状況												
(1) 取組内容	○ネット・ゼロ・エネルギー・ハウスの新築費用等に対する補助金の交付 ・補助金額:200,000円/件 ・補助件数:3件											
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	補助金交付件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
						10	3					
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	1,081,000		円			円			
		事業費	円	601,000		円			円			
		人件費	円	480,000		円			円			
	市民1人当たりの費用		円	14		円			円			
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円			円		
		地方債		円	0		円			円		
その他		円	0		円			円				
一般財源		円	1,081,000		円			円				

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			地球温暖化の要因とされる温室効果ガス排出削減に向けた取組が世界規模で求められているため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			補助金申請・審査手続がマニュアル化され、効率的な事務執行がなされているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			家庭部門における温室効果ガス排出削減に寄与しているため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			温室効果ガス排出削減を図る取組であることから、気候変動対策につながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小								
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定								
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止								
本事業は、地球温暖化対策として、家庭部門における温室効果ガスの排出削減に寄与することから、継続して実施していく。 なお、令和6年度においては、補助金の交付件数が3件にとどまり、予算の上限である10件に達しなかったことから、引き続き制度の周知・広報に努め、普及促進を図っていく。				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報																											
(1) 事業名	PPAモデル導入事業						(2) 担当課	管財課																			
(3) 施策の体系	政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり																								
	施策	1	環境負荷の少ない地域社会の形成																								
	施策の展開方向	1	カーボンニュートラルの実現に向けた対策の推進																								
(4) 新規・継続の別	新規		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性																			
(6) 事業概要・目的	市役所北側駐車場に、民間事業者がカーポートタイプの太陽光パネルを設置し、そこから発電される電力を買い取り使用することで、CO2排出量の削減を図り、市庁舎の脱炭素化を推進します。						 																				
2 取組状況																											
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>PPA契約(太陽光発電設備を用いた電力需給契約書)締結(令和6年12月12日)</li> <li>工事打合せ(令和7年1月~3月)</li> <li>工事着工時期を確定(令和7年4月から)</li> <li>令和7年7月からの稼働開始予定</li> </ul>																										
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																
					目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績															
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																
					目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績															
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度																		
	事業費等	総額	円		1,679,000 円		円		円																		
		事業費	円		0 円		円		円																		
		人件費	円		1,679,000 円		円		円																		
	市民1人当たりの費用		円		22 円		円		円																		
	財源内訳	国・県支出金		円		0 円		円		円																	
		地方債		円		0 円		円		円																	
その他		円		0 円		円		円																			
一般財源		円		1,679,000 円		円		円																			
3 事業評価・分析																											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等																			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			再生可能エネルギーを活用することで、脱炭素社会の実現に寄与することができるため。																			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			太陽光発電設備の設置に係る工事や費用等は民間事業者が負担し、発電された電力を市が買い取るため。																			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			太陽光発電設備が令和7年6月の完成に向けて進行しており、再生可能エネルギーの活用が見込まれるため。																			
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			再生可能エネルギーを活用することで、CO2排出量を削減でき、地球温暖化対策につながるため。																				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図																				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		<table border="1"> <tr> <td rowspan="4">↑大</td> <td>Ad</td> <td>Bd</td> <td>Cd</td> <td>Dd</td> </tr> <tr> <td>Ac</td> <td>Bc</td> <td>Cc</td> <td>Dc</td> </tr> <tr> <td>Ab</td> <td>Bb</td> <td>Cb</td> <td>Db</td> </tr> <tr> <td>Aa</td> <td>Ba</td> <td>Ca</td> <td>Da</td> </tr> </table>				↑大	Ad	Bd	Cd	Dd	Ac	Bc	Cc	Dc	Ab	Bb	Cb	Db	Aa	Ba	Ca	Da
	↑大	Ad	Bd	Cd	Dd																						
		Ac	Bc	Cc	Dc																						
Ab		Bb	Cb	Db																							
Aa		Ba	Ca	Da																							
<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了																							
令和7年6月に太陽光発電設備が完成し、本庁舎電力の一部を再生可能エネルギーで補うことで、脱炭素化を推進していく。							↓小 ←大 行政関与の必要性 小→																				

1 基本情報									
(1) 事業名	幹線道路除草事業					(2) 担当課	道路公園課		
(3) 施策の体系	政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり						
	施策	3	機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備						
	施策の展開方向	1	機能に応じた道路網の整備						
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等							(7) SDGsとの関連性
(6) 事業概要・目的	道路利用者の視界を良好に保ち、交通事故を防止するとともに良好な景観を維持するため、幹線道路の除草を実施します。								

2 取組状況											
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校付近の除草回数を2回から3回へ増やして実施</li> <li>施設管理事務所(直営)で行っている除草作業の一部を外部委託により実施</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	除草面積	活動	㎡	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						13,000	16,700				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	114,383,000		円			円		
		事業費	円	113,104,000		円			円		
		人件費	円	1,279,000		円			円		
	市民1人当たりの費用		円	1,527		円			円		
	財源内訳	国・県支出金	円	0		円			円		
		地方債	円	0		円			円		
その他		円	0		円			円			
一般財源		円	114,383,000		円			円			

3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			市民より除草についての要望が多く、安全で快適に利用できる道路環境を維持していくため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			除草業務の一部を業務委託することにより、現場職員の高齢化・減少問題が解決でき、また道路・公園補修業務に専念することで、早急な補修業務が実現できるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			小中学校付近の除草回数を増やすことで、視界を良好に保ち、交通事故を防止することができるため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			道路除草の実施は、利用者の視界を良好に保ち、交通事故を防止するとともに良好な景観の維持に貢献することから、住み続けられるまちづくりにつながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 								
	今後も現場職員の高齢化が進んでいくため、除草作業の外部委託について継続して実施していく。			行政関与の必要性								

1 基本情報				
(1) 事業名	道路改良事業		(2) 担当課	道路公園課
(3) 施策の体系	政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり	
	施策	3	機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備	
	施策の展開方向	1	機能に応じた道路網の整備	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	舗装維持修繕計画	
(6) 事業概要・目的	生活道路の安全・快適性などを確保するため、道路排水が不良な路線、幅員の狭い路線などを改良します。			 

2 取組状況

(1) 取組内容	○地域からの要望や舗装修繕計画などにに基づき実施 ・道路改良工事:市道第1-2号線(若柴町地内) ・舗装工事:市道第3-110号線(板橋町地内) ・舗装修繕工事:市道第2-241号線(泉町地内)、市道第8-120号線(松ヶ丘1丁目地内)、市道第6-124号線(川原代町地内)、市道第8-271号線外(白羽1丁目地内)、市道第7-311号線(久保台4丁目地内)、市道第7-37号線(長山6丁目地内)、市道第4-126号線(宮淵町地内)
----------	---

(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	道路改良延長	活動	m	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				400	520	450	166				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
舗装修繕延長	活動	m	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			2,300	3,231	1,830	2,143					

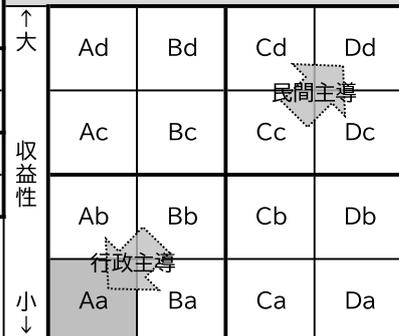
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	事業費等	総額	171,251,000 円	145,790,000 円	円	円
		事業費	168,991,000 円	141,554,000 円	円	円
		人件費	2,260,000 円	4,236,000 円	円	円
	市民1人当たりの費用		2,273 円	1,947 円	円	円
	財源内訳	国・県支出金	0 円	0 円	円	円
		地方債	151,100,000 円	127,400,000 円	円	円
その他		1,381,000 円	264,000 円	円	円	
一般財源		18,770,000 円	18,126,000 円	円	円	

3 事業評価・分析

(1) 事業評価	評価項目	評価基準	自己評価	判断理由等
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない	安全で快適な道路空間は市民生活に不可欠なものであるため。
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない	市道を対象としており、要望や舗装修繕計画などにに基づき、優先順位を設定しながら実施しているため。
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない	現地踏査や舗装の健全度調査などの結果に基づき実施しているため。
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない	道路事業は市民の住環境に関わるものであり、住み続けられるまちづくりにつながるため。

(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定	
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止	
		<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了	
本事業は交通の円滑化や安全性の向上のほか、生活環境の改善につながるものであり、継続して実施していく。なお、本事業で実施している舗装修繕工事について、令和7年度からは「道路舗装修繕事業」として取り扱う。				

1 基本情報												
(1) 事業名	市道第1-45号線整備事業					(2) 担当課	道路公園課					
(3) 施策の体系	政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり									
	施策	3	機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備									
	施策の展開方向	1	機能に応じた道路網の整備									
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	市道第1-45号線(県道八代庄兵衛新田線から牛久市遠山町方面を結ぶ道路。若柴町地内)について、拡幅し安全で快適な道路を整備します。					 						
2 取組状況												
(1) 取組内容	・不動産鑑定評価 ・道路用地の取得 ・取得した道路用地の分筆登記及び所有権移転登記											
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	事業進捗率		活動	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
					24	24	29	23				
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	7,310,000 円		10,198,000 円		円		円			
		事業費	6,764,000 円		6,921,000 円		円		円			
		人件費	546,000 円		3,277,000 円		円		円			
	市民1人当たりの費用		97 円		136 円		円		円			
	財源内訳	国・県支出金		2,500,000 円		2,074,000 円		円		円		
		地方債		3,900,000 円		4,200,000 円		円		円		
その他		271,000 円		0 円		円		円				
一般財源		639,000 円		3,924,000 円		円		円				
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			安全で快適な道路空間は市民生活に不可欠なものであるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			市道の拡幅事業であるとともに、測量・設計に基づき必要となった道路用地について、不動産鑑定業務を行い、適正な単価で買収しているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			令和8年度実施予定の工事に向けて、必要な道路用地の取得を実施しているため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			道路事業は市民の住環境に関わるものであり、住み続けられるまちづくりにつながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		↑大 収益性 ↓小 Ad Bd Cd Dd Ac Bc Cc Dc Ab Bb Cb Db Aa Ba Ca Da ←大 行政関与の必要性 小→					
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了		民間主導 行政主導					
	交付金を活用するとともに、牛久市と連携を図りながら事業を推進していく。											

1 基本情報											
(1) 事業名	市道第Ⅱ-18号線外整備事業					(2) 担当課	道路公園課				
(3) 施策の体系	政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり								
	施策	3	機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備								
	施策の展開方向	1	機能に応じた道路網の整備								
(4) 新規・継続の別	新規		(5) 関連計画等	舗装維持修繕計画			(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	市道第Ⅱ-18号線外(泉町方面とつくばの里工業団地を結ぶ道路)について、老朽化した道路舗装を修繕します。						 				
2 取組状況											
(1) 取組内容	・市道第Ⅱ-18号線:L=134.2m ・市道第2-252号線:L=110.0m										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	舗装修繕延長	活動	m	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						70	244				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	50,959,000		円	円		円		
		事業費	円	49,280,000		円	円		円		
		人件費	円	1,679,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	680		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	5,913,000		円	円		円	
		地方債		円	6,000,000		円	円		円	
その他		円	87,000		円	円		円			
一般財源		円	38,959,000		円	円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			安全で快適な道路空間は市民生活に不可欠なものであるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			市道の舗装修繕事業であるとともに、舗装修繕計画に基づき、交付金を活用しながら実施しているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			舗装の健全度調査の結果に基づき実施しているため。			
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			道路事業は市民の住環境に関わるものであり、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小								
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止								
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了									
国土強靱化関連道路整備事業へ統合し、国の交付金などの採択に応じて、効率的かつ効果的に推進していく。				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報									
(1) 事業名	市道第1-380号線(佐貫3号線)整備事業					(2) 担当課	道路公園課		
(3) 施策の体系	政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり						
	施策	3	機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備						
	施策の展開方向	1	機能に応じた道路網の整備						
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等				(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	道路ネットワークの拡充などを図るため、市道第1-380号線(都市計画道路佐貫3号線、県道八代庄兵衛新田線とカントリーラインの交差点から佐貫方面を結ぶ道路)を整備します。						 		

2 取組状況												
(1) 取組内容	・道路改良工事(B-3工区):L=80m ※建設発生土は工事間流用した。 ・道路改良工事(C工区):L=379.8m(令和7年度に繰越) ・橋梁製作工事(上部工):一式 ・橋梁(下部工)工事の委託:一式											
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	事業進捗率		活動	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
					54	51	66	66				
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	368,426,000 円		321,496,000 円		円		円			
		事業費	365,075,000 円		317,260,000 円		円		円			
		人件費	3,351,000 円		4,236,000 円		円		円			
	市民1人当たりの費用		4,890 円		4,293 円		円		円			
	財源内訳	国・県支出金		129,201,000 円		59,641,000 円		円		円		
		地方債		212,500,000 円		241,900,000 円		円		円		
その他		9,098,000 円		148,000 円		円		円				
一般財源		17,627,000 円		19,807,000 円		円		円				

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			道路ネットワークの拡充などは、道路利用者の利便性に繋がるとともに、地域間交流を活性化し、地域経済の向上を図るものであるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			都市計画道路の整備事業であるとともに、建設発生土は茨城県との調整により工事間流用し、事業費の抑制を図っているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			測量・設計を基に計画的に工事などを実施しているため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			道路事業は市民の住環境に関わるものであり、住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定		大 収益性 小	Ad	Bd	Cd	Dd
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了			Ac	Bc	Cc	Dc
								Ab	Bb	Cb	Db
						Aa		Ba	Ca	Da	
国交付金等の財源の確保に努めながら、道路の供用開始に向けて、事業計画を推進していく。											←大 行政関与の必要性 小→

1 基本情報												
(1) 事業名	市道第3-373号線外整備事業					(2) 担当課	道路公園課					
(3) 施策の体系	政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり									
	施策	3	機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備									
	施策の展開方向	1	機能に応じた道路網の整備									
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等	舗装維持修繕計画			(7) SDGsとの関連性					
(6) 事業概要・目的	市道第3-373号線外(つくばの里工業団地周辺の道路)について、老朽化した道路舗装を修繕します。					 						
2 取組状況												
(1) 取組内容	・市道第3-373号線:L=930m											
(2) 指標	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	舗装修繕延長		活動	m	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
							1,000	930				
	指標名		区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円		72,257,000 円		円		円			
		事業費	円		69,300,000 円		円		円			
		人件費	円		2,957,000 円		円		円			
	市民1人当たりの費用		円		965 円		円		円			
	財源内訳	国・県支出金		円		7,124,000 円		円		円		
		地方債		円		58,800,000 円		円		円		
その他		円		76,000 円		円		円				
一般財源		円		6,257,000 円		円		円				
3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			安全で快適な道路空間は市民生活に不可欠なものであるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			市道の舗装修繕工事であるとともに、舗装修繕計画に基づき、交付金を活用しながら実施しているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			舗装の健全度調査の結果に基づき実施しているため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			道路事業は市民の住環境に関わるものであり、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図								
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 小↓	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→			
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc				
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db				
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da					
国土強靱化関連道路整備事業へ統合し、国の交付金などの採択に応じて、効率的かつ効果的に推進していく。												

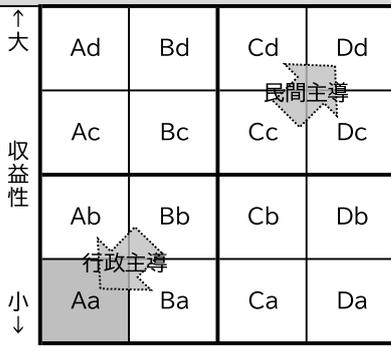
1 基本情報									
(1) 事業名	橋梁維持補修事業					(2) 担当課	道路公園課		
(3) 施策の体系	政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり						
	施策	3	機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備						
	施策の展開方向	1	機能に応じた道路網の整備						
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	橋梁長寿命化計画				(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	事故の防止に努めるとともに、大規模修繕・改修に至らないよう、計画的に長寿命化を図り、安全な道路環境の提供に努めます。					 			

2 取組状況											
(1) 取組内容	○橋梁の維持、補修(補修工事2橋、工事設計2橋) ・健全度をもとに修繕対象の優先順位を設定し、損傷が深刻となる前に修繕を行う予防保全型修繕を実施 ・橋梁の長寿命化及びコスト削減を推進 ・日常点検として、目視による道路パトロールで安全性を確認 ※危険性がある場合は、通行制限や損傷箇所を補修										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	修繕設計した橋梁の数	活動	橋	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				2	2	2	2				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
修繕した橋の数	活動	橋	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
					2	2					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	141,065,000 円		154,944,000 円		円		円		
		事業費	138,805,000 円		151,987,000 円		円		円		
		人件費	2,260,000 円		2,957,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		1,872 円		2,069 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		52,770,000 円		71,225,000 円		円		円	
		地方債		74,300,000 円		67,100,000 円		円		円	
その他		5,080,000 円		8,617,000 円		円		円			
一般財源		8,915,000 円		8,002,000 円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			橋の維持・補修は市民生活及び産業活性の要となるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			工事費の積算を(一財)茨城県建設技術公社に委託したことで、業務の効率化が図れたため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			橋梁長寿命化計画に沿って維持補修を行う必要があるため。			
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			計画に沿った橋梁の維持・補修を行い、住民及び地元企業の交通の確保をすることは、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 ↓小	大 中 小	Ad	Bd	Cd	Dd	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定				Ac	Bc	Cc	Dc	
	橋梁については重要なインフラに位置付けられているが、単純な改修だけでなく、集約・撤去なども視野に入れつつライフサイクルコストを考慮し、適正な橋梁の維持管理に努めていく。						Ab	Bb	Cb	Db	
Aa							Ba	Ca	Da		
											←大 行政関与の必要性 小→

1 基本情報											
(1) 事業名	下水道事業内水浸水想定区域図策定事業					(2) 担当課	下水道課				
(3) 施策の体系	政策の柱	7	環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり								
	施策	3	機能的な都市インフラと暮らしを支える生活インフラの維持・整備								
	施策の展開方向	3	汚水処理施設の計画的な維持管理								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	公共下水道全体計画、公共下水道事業計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	下水道事業における雨水排水区全体を対象に、内水浸水のシミュレーションを行い、内水浸水想定区域図を作成します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○内水浸水想定区域図の作成 ・排水モデル区の作成、調整(モデルの流出係数、流達時間、水路障害等の設定)、降雨モデルを作成 ・浸水シミュレーションを実施(完成モデルに対して下水道計画降雨、既往最大降雨、想定最大降雨等を入力し、解析) ・解析結果に基づく内水浸水想定区域図を作成										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	浸水シミュレーションによる解析実施数	活動	排水区	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				10	10	10	10				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	12,046,000 円		16,672,000 円		円		円		
		事業費	10,098,000 円		16,192,000 円		円		円		
		人件費	1,948,000 円		480,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		160 円		223 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		4,554,000 円		8,096,000 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		7,492,000 円		8,576,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		市民の生命・財産、安全・安心を確保するに当たり、浸水リスク情報を早期に明示することが求められるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		市民の安心・安全の確保は市が主体的に実施することが不可欠であり、専門的技術・知見を持った民間事業者への委託により、効率的で効果的な事業執行がなされているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		実測調査のデータと作成したモデル区の流達状況等を検証することにより、降雨に対し、実態に即した解析を行い、浸水想定区域図を作成しているため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		市民の生命・財産、安全・安心の確保は、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	大 収益性 小	Ad	Bd	Cd	Dd	行政主導 民間主導		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc			
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db			
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da				
内水浸水想定区域図の作成により、今年度で本事業は完了となった。今後は、作成した内水浸水想定区域図により、内水浸水リスクを明示・周知するとともに、内水ハザードマップ作成のための基礎情報として、関係部署とのデータ共有を図っていく。											
←大 行政関与の必要性 小→											

1 基本情報											
(1) 事業名	市民活動サポート推進事業					(2) 担当課	地域づくり推進課				
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	1	市民主体のまちづくりの推進								
	施策の展開方向	2	市民自らが考え、行動する、活発な市民活動の促進								
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	市民活動初期の支援として、新規設立団体へのスタート活動の支援や、市民活動拡充期の支援として、団体へのジャンプアップ活動の支援を行うなど、活発な市民活動を促進するため、市民活動団体に対する財政的支援を行います。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○市民活動初期を支援する「スタートダッシュ支援(設立補助)」と、市民活動拡充期に行う事業を支援する「ジャンプアップ支援(事業補助)」の2種類で構成する、新たな補助金制度「市民活動サポート補助金」の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・申請手引き(募集要項)を作成及び配布</li> <li>・募集を開始し、申請書を受付</li> <li>・事業等の内容を調査及び審査</li> <li>・補助金の交付を決定</li> <li>・事業等の実施状況を確認</li> <li>・実績報告を受付</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	スタートダッシュ支援の申請件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				3	2	3	2				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
ジャンプアップ支援の申請件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			4	4	6	2					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	5,904,000 円		6,205,000 円		円		円		
		事業費	1,073,000 円		611,000 円		円		円		
		人件費	4,831,000 円		5,594,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		78 円		83 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		5,904,000 円		6,205,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		社会貢献を目的に自主的活動を行う団体に対し、経費の一部を補助することにより、市民活動の活性化を支援する制度であり、市民主体のまちづくりの推進につながるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		申請手続の簡素化を図ることで、申請団体のハードルが下がり、行政側の事務負担も軽減したため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		団体に一定の自己負担を求め、自ら収入源を確保することにより、補助終了後の事業の継続性を高めることで、市民自らが考え・行動する活発な市民活動につながっているため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		市民の地域活動参加の促進や、相互に協力し合う環境づくりを図ることで、住み続けられるまちづくりにつながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止			Ab	Bb	Cb	Db		
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了		Aa	Ba	Ca	Da				
市民活動団体や活動を行いたいと考えている市民に対して支援する制度であるが、3年ごとに制度の見直しを予定していることから(令和9年度の中期事業計画に反映が必要)、現在の課題解消や新たな方向性等について、市民協働推進委員会への協議を行いながら、引き続き市民活動参加の促進や活動の活性化を図っていく。											

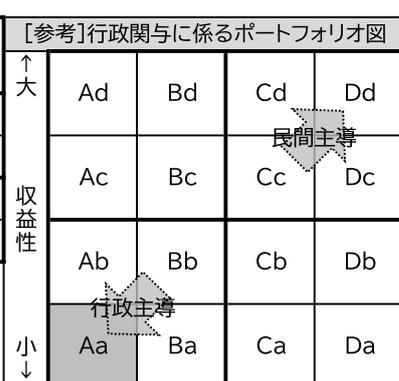
1 基本情報											
(1) 事業名	新長戸コミュニティセンター建設事業					(2) 担当課	地域づくり推進課				
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	1	市民主体のまちづくりの推進								
	施策の展開方向	3	地域における市民活動の活性化								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等							(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	長戸地区において、地域活動の拠点や防災拠点となる新たなコミュニティセンターを整備します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○新長戸コミュニティセンター建設工事の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9月議会での本契約を目指し管財課と協議したうえで6月に起工、7月末に入札を予定していたが建築工事の入札が不調</li> <li>・入札不調後は、コミュニティ協議会への経緯説明及び地元住民への周知を行ったうえで、入札不調の要因を分析するため、入札参加資格者へのアンケート調査等を実施</li> <li>・分析結果を踏まえ、市場価格を再調査し、実勢価格に応じた単価の入れ替えを行うなど内容の見直しを図り、2月に再入札を実施し仮契約締結</li> </ul> <p>○新長戸コミュニティセンターを活用した健康長寿社会の構築に向けた取組の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建設工事の不調によるスケジュール変更に伴い、次年度に再調整</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	26,083,000 円		162,435,000 円		円		円		
		事業費	22,265,000 円		157,800,000 円		円		円		
		人件費	3,818,000 円		4,635,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		346 円		2,169 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	17,000,000 円		124,400,000 円		円		円		
その他		362,000 円		20,000,000 円		円		円			
一般財源		8,721,000 円		18,035,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		高齢化が著しい長戸地区において、福祉避難所としての機能を有するコミュニティセンターへ建替えるとともに、施設の老朽化や駐車場不足等の課題を解消するため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		設計業務については、専門の民間事業者に委託するとともに、関係課とも協議を行い進めているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		地元住民の意見を反映させた設計とし、進捗状況等を地元住民へ丁寧に説明しながら進めており、次年度の建設工事に向けて、計画的な事業遂行となっているため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		地域住民との協働のまちづくりや地域防災の拠点施設となるコミュニティセンターを建設することは、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	令和7年度については、新長戸コミュニティセンター整備工事の着工を予定しているが、これまで同様、長戸コミュニティ協議会を中心に地元住民への周知説明を丁寧に、令和8年度春頃には供用開始となるよう事業を進めていく。なお、市道第3-309号線整備事業については令和8年度の施工を予定している。										
				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報				
(1) 事業名	龍ヶ崎市SDGsパートナーシップ制度運用事業		(2) 担当課	企画課
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり	
	施策	2	SDGsの推進	
	施策の展開方向	1	SDGsによるまちづくり	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等		
(6) 事業概要・目的	SDGsパートナーシップ制度の運用やパートナーの継続的募集、パートナー間連携の場を創出するなど、市全体でSDGsの推進に取り組みます。			 

2 取組状況											
(1) 取組内容	○SDGsパートナーシップ制度の効果的な運用 ・パートナーとして登録する企業等を対象に、マッチングによる連携強化や事例共有を目的としたイベントを開催(2回) ・SDGsフェアにおいて、パートナー企業等によるワークショップ、パネル展示等を実施(8企業等) ・市広報紙によるパートナー登録募集記事掲載(2回) ・市広報紙によるパートナーの取組やパートナー同士の連携事業を紹介(2回) ・パートナーに向けて、パートナーが開催するイベント情報や協力要請など様々な情報提供メールを配信(13回) ・市内の企業等が集まる機会に出向き、制度の周知PRを行うことにより登録を促進										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	龍ヶ崎市SDGsパートナー登録件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				75	57	80	76				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
龍ヶ崎市SDGsパートナー同士による連携事業数	成果	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			4	6	8	16					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	2,236,000 円		3,314,000 円		円		円		
		事業費	132,000 円		37,000 円		円		円		
		人件費	2,104,000 円		3,277,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		30 円		44 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		2,236,000 円		3,314,000 円		円		円			

3 事業評価・分析												
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			2030年の目標達成に向けて、パートナー企業等と連携しながら、SDGsの周知・啓発や事業展開等を加速化させていくため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			市が橋渡し役を担うことで、パートナー同士がつながり、民間資金やアイデアを活用した多様な連携事業が実現できているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			市主催イベント等への協力やパートナー同士の連携事業が創出され、SDGsの推進につながっているが、市民団体等の登録が伸び悩んでおり、方法改善が必要であるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			民間企業等と一体となって市全体でSDGsを推進していく事業であり、情報発信やパートナー個々の取組、多様な連携事業の創出により、17のゴールすべてにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	民間主導		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc			
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止			Ab	Bb	Cb	Db	行政主導		
<input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業完了		Aa		Ba	Ca	Da				
2030年のSDGs達成に向け、パートナーシップ制度を通じて、様々な関係機関と連携・協力しながら取り組んでいかなければならないと考えている。これまでの取組が実を結び、連携事業は大幅に増加していることから、この取組をさらに拡げていくため、今後も、中小企業や市民団体等、多様なパートナーの登録につながる働きかけを行っていくとともに、パートナー同士の連携を生み出す取組を継続し、一丸となってSDGsを推進していく。					←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報											
(1) 事業名	行政経営推進事業					(2) 担当課	企画課				
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	3	効率的で透明性の高い市政運営								
	施策の展開方向	1	事務事業の見直し								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等						(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	PDCAサイクルに基づく最上位計画の進行管理を行うとともに、事務事業の見直し等を進め、効果的・効率的な行政経営を推進します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○事務事業の見直し推進 ・着手中項目のデータベース化により進捗管理を効率化 ・個人提案の募集によるさらなる見直しの機運醸成 ○補助金等の適正化 ・評価手法を確立し、見直しガイドラインを策定 ・外部評価に基づき今後の方向性を決定し、改善事項を設定(方向性:廃止14件、縮小8件、統合6件) ○外郭団体の今後のあり方検討 ・将来の役割や人員等に基づく市の関与のあり方を明確にする「外郭団体のあり方に関する基本方針」を策定 ・まちづくり・文化財団の今後の方向性に係る協議、検討										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	見直し方針が決定した項目数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				20	56	53	54				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
新規見直し提案数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
					15	10					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	2,016,000 円		5,933,000 円		円		円		
		事業費	68,000 円		2,336,000 円		円		円		
		人件費	1,948,000 円		3,597,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		27 円		79 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		2,016,000 円		5,933,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			見直しの取組により、事務事業の効果検証を実施するため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			事務事業に対するスリム化そのものを目的とする事業であるため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			各事業所管課の視点による見直し方針に基づき進捗管理を実施しており、計画的に進めていくことで、効果的・効率的な行政経営につながっていくため。			
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			見直しの実施により、庁内事務量の適正化やさらなる生産性向上が図られ、職員のワークライフバランスの実現や働き方改革の促進が期待できるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input checked="" type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab		Bb	Cb	Db			
<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了		Aa	Ba		Ca	Da				
引き続き本市行政運営のさらなる効率化・全体最適化が求められる一方、新たな政策や行政需要に対応できる財源確保のため、これまで以上にコスト削減を意識した見直し手法を検討し実効性を高めていく。											
						←大 行政関与の必要性 小→					

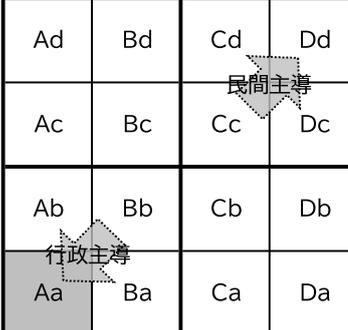
1 基本情報											
(1) 事業名	申告相談事前予約コールセンター運営費					(2) 担当課	税務課				
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	3	効率的で透明性の高い市政運営								
	施策の展開方向	3	民間サービスの活用								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等							(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	税の申告相談を事前予約制にすることにより、申告相談者の待機時間の大幅な短縮や申告会場の混雑緩和を図ります。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○申告相談事前予約制の実施 ・予約方法は電話予約・市公式LINE予約の2通り設定 ・電話予約は電話2台、人材派遣2名体制で午前9時から午後5時までコールセンターを設置 ・派遣期間は、令和7年1月23日から令和7年3月14日まで ・市公式ホームページ、りゅうほー、市公式LINE、X(旧Twitter)等にて市民へ周知										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	事前予約者数(コールセンター分)	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						990	1,320				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	2,246,000		円	円		円		
		事業費	円	967,000		円	円		円		
		人件費	円	1,279,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	30		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円	円		円	
		地方債		円	0		円	円		円	
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	2,246,000		円	円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		申告相談者の待ち時間を大幅に削減ができるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		LINE予約だけでなくコールセンターを設置しており、いずれの方法でもスムーズに予約申込ができるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		コールセンター及びLINEで予約を受けることにより、混雑緩和や申告相談者の待ち時間を大幅に削減することができるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		コールセンターやLINEでの予約制にすることにより安心して申告相談を受けられ、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	予約制を導入したことにより、申告相談者の待機時間の短縮及び混雑緩和が図られ、市民からも好評であったため、コールセンターの自動音声化などさらなる市民サービスの向上に努めながら、継続して実施していく。										
				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報											
(1) 事業名	ごみ処理広域化推進事業					(2) 担当課	生活環境課				
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	3	効率的で透明性の高い市政運営								
	施策の展開方向	4	行政サービスの広域化の推進								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市環境基本計画、龍ヶ崎市ごみ処理基本計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	持続可能で安定的な廃棄物処理体制を確保するため、一般廃棄物の広域処理や処理施設の集約化に向けた調査・検討を関係自治体と連携して行います。					 					
2 取組状況											
(1) 取組内容	○茨城県ごみ処理広域化ブロック6会議での基礎調査の実施 ・ごみ処理の現状及びごみ処理広域化に向けての課題を整理 ・広域化のメリット・デメリット、整備パターン別の経済性を比較検討 ・最適なごみ処理広域化の組み合わせ及びその手法について検討										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	5,013,000		円	円		円		
		事業費	円	1,736,000		円	円		円		
		人件費	円	3,277,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	67		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金	円	0		円	円		円		
		地方債	円	0		円	円		円		
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	5,013,000		円	円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			「茨城県ごみ処理広域化計画」が示す広域化の方針と整合性があるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			ごみ処理の広域化及び施設を集約化することで、スケールメリットにより効率性及び経済性に優位であるため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			人口減少によるごみ量の減少から、効率的なごみ処理が求められており、広域化及び施設の集約化は、安定的なごみ処理体制の構築に貢献するため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			ごみ処理の広域化及び施設の集約化により、処理施設の効率的な運用が可能となり、エネルギー消費量の低減や温室効果ガス排出量の削減につながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充			<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託			<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc	
		<input type="checkbox"/> 事業統合			<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db	
	<input type="checkbox"/> 事業廃止			<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da		
「ごみ処理広域化に向けた調査報告書」に基づき、引き続き茨城県ごみ処理広域化ブロック6会議(龍ヶ崎市・牛久市・稲敷市・阿見町・利根町・河内町・美浦村)で協議を進めていく。											
						←大 行政関与の必要性 小→					

1 基本情報				
(1) 事業名	職員のスキル・モチベーションアップ事業		(2) 担当課	人事行政課
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり	
	施策	3	効率的で透明性の高い市政運営	
	施策の展開方向	5	人材の確保と育成	
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	第3次龍ヶ崎市民人材育成基本計画	
(6) 事業概要・目的	人材育成基本計画により進行管理を行いながら、計画の着実な実行を目指し、職員の能力向上及び組織力の向上に繋がる研修の実施や職員研修の受講機会の拡大を図ります。			(7) SDGsとの関連性
				

2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○人材育成基本計画改定プロジェクト会議の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全2回、計画の実施主体である課長級職員を対象とし、組織の再編成や人材マネジメントの重要性などについて話し合い、人材育成とは何か自ら考える機会を提供</li> </ul> <p>○ファンリテーション研修、クリエイティブ人材育成研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全2回、会議等を円滑に進行するためのスキル、伝わりやすい話し方や合意形成の手法等を習得する機会を提供</li> <li>・全8回、役職に関わらず、積極的に政策提案ができる職員を育成することを目的とし、最終回には自ら考えた政策をプレゼンする機会を提供</li> </ul> <p>○専門実務研修の受講機会拡大の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各業務のスキルや専門知識を習得するセミナー等への参加を推進し、個人のレベルアップ機会を提供</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	職員研修の延べ受講者数	活動	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				250	359	250	176				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	3,855,000 円		3,912,000 円		円		円		
		事業費	2,218,000 円		2,233,000 円		円		円		
		人件費	1,637,000 円		1,679,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		51 円		52 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
地方債		0 円		0 円		円		円			
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		3,855,000 円		3,912,000 円		円		円			

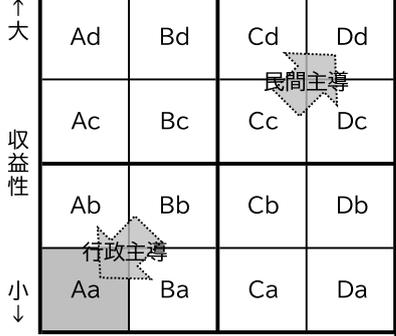
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			限られた人員で組織パフォーマンスの維持・向上を図り、効率よく行政を運営していく必要があり、人材育成及び職員資質の向上に資する意識改革が求められるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			研修については必要最小限の内容に絞り、目的が散漫にならないようにしたため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input type="checkbox"/> 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			研修の効果については、その有効性がすぐに結果として結び付かない部分もあることから、経過を見ながら、見直しや考え方の修正を行っていく必要があるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			職員に学びの機会を与えることは、新たな柔軟な発想への転換となるほか、市民サービス向上の推進となり、働きがいにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充			<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 小↓	Ad	Bd	Cd	Dd	民間主導
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託			<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc	
			<input type="checkbox"/> 事業統合				<input type="checkbox"/> 事業休止	Ab	Bb	Cb	Db
		<input type="checkbox"/> 事業廃止			<input type="checkbox"/> 事業完了		Aa	Ba	Ca	Da	
マネジメントの重要性や役割の認識・理解促進という職員一人ひとりの意識醸成は、地道ながら今後も必要不可欠と考える。また、若年層の離職が問題視される中、仕事へのやりがい、意欲や情熱の向上につながるような研修もまた必要である。 令和7年度の第4次人材育成基本計画の策定を見据えながら、市民目線に立った健全な組織、納得性の高い市政運営を目指し、継続性を持って取り組んでいく。											
						←大 行政関与の必要性 小→					

1 基本情報											
(1) 事業名	定住促進プロモーション事業					(2) 担当課	まちの魅力創造課				
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	4	効果的なシティプロモーション								
	施策の展開方向	1	定住促進などに向けたプロモーション活動の展開								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等						(7) SDGsとの関連性	 		
(6) 事業概要・目的	定住促進のために、市内外にターゲットを絞った効果的なプロモーション活動を行います。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○市内外でのプロモーション活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年9月28日及び12月20日にサプラを会場に住まいの相談会を開催</li> <li>令和6年12月7日から8日に、JOIN移住フェア2024に出展し、本市の居住環境の優位性等をPR</li> <li>○りゅうほー、子育て情報誌への広告掲載</li> <li>9月にクルールいばらき版(9・10月号)、10月にあんふあん千葉版(11月号)へ広告掲載</li> <li>・りゅうほーに若者・子育て世代向けの補助金情報(6月)、特集「龍ヶ崎で暮らす」を年2回掲載(11月、3月)</li> <li>○PR冊子「#龍ヶ崎で暮らす」リニューアル</li> <li>・本市が目指す「子どもの笑顔が続くまち」の魅力が伝わるPR冊子を令和6年12月にリニューアル</li> <li>※情報発信では、市民インタビューを掲載し、市民の推奨意欲向上を図るとともに、市民のリアルな声を反映</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	イベント開催回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				3	3	3	3				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
若者・子育て世代向け情報誌等への広告掲載回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			4	4	5	6					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	7,345,000 円		7,279,000 円		円		円		
		事業費	2,358,000 円		4,322,000 円		円		円		
		人件費	4,987,000 円		2,957,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		97 円		97 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		7,345,000 円		7,279,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		人口減少が進む中で、居住環境の優位性をプロモーションすることで、人口流出を抑制し、人口減少を緩やかにする取組であるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		データを踏まえ、市外でエリアを絞って効率的に活動を行っており、PR冊子の制作や広告掲載については民間に委託し、業務負荷を軽減しているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		エリアやターゲットを絞ったプロモーションの展開に伴い、特に、0～14歳の若者・子育て世代が転入超過傾向にあるため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		定住促進に取り組みつつ、推奨意欲と愛着を高めることは、人口減少の中でも住み続けられるまちの維持、向上につながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定						
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了						
	人口減少が進む中で、持続可能なまちづくりには、市民の愛着醸成と推奨意欲向上が急務であることから、市民の声を反映したプロモーションを行っている。また、転入転出先の分析を行い、適切なターゲティングにより、プロモーション効果の最大化に努めていく。										
						←大 行政関与の必要性 小→					

1 基本情報											
(1) 事業名	龍ヶ崎ファンクラブ事業					(2) 担当課	まちの魅力創造課				
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	4	効果的なシティプロモーション								
	施策の展開方向	2	関係人口の創出								
(4) 新規・継続の別	継続		(5) 関連計画等					(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	本市にゆかりのある方が、市からの情報提供や交流により、龍ヶ崎を知り・訪れ・魅力を発信することで、本市の認知度を高めるとともに、市との関わりを強めながら継続して応援してもらえるよう取り組みます。					 					
2 取組状況											
(1) 取組内容	○会員募集キャンペーン ・市内市外でのイベント等に参加し、会員募集キャンペーンを実施 ○市公式ホームページ及び龍ヶ崎ファンクラブ公式LINE等での情報発信 ・公式LINEで毎月3回程度、本市の出来事を発信 ・本市の資源を題材にしたクイズイベントを会員向けに3回実施 ○会員向けの民間事業者サービスの運用 ・事業者登録制度を構築し、5月から対象店舗を募集 ・7月1日から会員向けサービスの運用を開始										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	会員募集キャンペーン	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
					4	3	7				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
龍ヶ崎ファンクラブ会員数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			800	721	1,000	966					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	2,561,000 円		2,821,000 円		円		円		
		事業費	457,000 円		503,000 円		円		円		
		人件費	2,104,000 円		2,318,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		34 円		38 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		2,561,000 円		2,821,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			人口減少が進む中で、関係人口やファン獲得は、本市のまちづくりに対して参画意欲の高い担い手を増やす取組であるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			市が直接運営することで、事業費を抑制しながら執行できている、協力事業者制度を新たに設けることで、事業費を増やさず、会員サービスを拡充したため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			市外に居住する方に情報を届け、認知度向上を図ることが可能な制度であり、市に関わってもらう手段の一つとなっているため。			
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			人口減少が進む中で、関係人口やファン獲得は、まちづくりの担い手を増やし、住み続けられるまちの推進につながるため。				
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図							
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd	←大 行政関与の必要性 小→		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc			
	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業完了		Ab	Bb	Cb	Db			
<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da				
新たな会員獲得に向けた事業周知・PRに取り組むとともに、会員の来訪につながる取組を推進していく。また、令和7年度は会員数1,000人達成と記念イベントの開催を契機に、会員が本市に訪れたいと思えるような契機とする。											

1 基本情報				
(1) 事業名	地域活性化起業人派遣事業(地域ブランディング支援)		(2) 担当課	秘書広聴課
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり	
	施策	4	効果的なシティプロモーション	
	施策の展開方向	3	シビックプライドを向上させるシティプロモーションの展開	
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等		
(6) 事業概要・目的	民間人材が持つノウハウを市政に取り入れることにより、市全体のブランディング力の強化及び地域経済の好循環を生み出すための取組を促進します。			 

2 取組状況												
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域活性化起業人を活用(ブランド力向上のための提案及びアドバイス)</li> <li>・地域資源調査及びマーケティング調査を実施</li> <li>・市事業へのブランディングやデザインアドバイスのほか、ワークショップを開催</li> <li>・関係団体(商工会・観光物産協会など)を対象に地域ブランディングセミナーを開催</li> <li>・関係団体とのヒアリングを実施</li> <li>・地域ブランディング事業方針策定・庁議付議</li> </ul>											
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	ブランディングに関するセミナー及びワークショップの開催回数	活動	回	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
						5	6					
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績		
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度			
	事業費等	総額	円	5,757,000		円		円		円		
		事業費	円	2,800,000		円		円		円		
		人件費	円	2,957,000		円		円		円		
	市民1人当たりの費用		円	77		円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円		円		円	
		地方債		円	0		円		円		円	
その他		円	0		円		円		円			
一般財源		円	5,757,000		円		円		円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			リーディングプロジェクトの一つ「効果的なシティプロモーション」の積極的な展開には、本市固有の資源や魅力、特徴を有効活用する地域ブランディングが重要であるため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			市民・民間企業・市が密接に連携し、長期的で統一感を持った地域ブランディングを推進することが必要であり、国の地域活性化起業人制度を活用したため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			地域活性化起業人制度を活用し、民間企業から派遣された地域活性化起業人からのノウハウや知見を取り入れ、本市の地域ブランディング事業方針を策定したため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			地域ブランディングを推進し、本市のイメージアップ・認知度向上を図り、シビックプライドの醸成や交流人口の増加などにより、住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小								
	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定									
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止								
「地域活性化起業人派遣事業」で得た提案等を参考に本市の地域ブランディング事業方針を策定により、今年度で本事業は完了となった。今後は、本市の地域固有の魅力(資源・特徴)であり、市民に親しみがある市名にも入る「龍」を本市の地域ブランディングの中心に置くことが肝要である。新たに構築するブランドシンボルを有効活用し、市民・民間の参画意欲を高めながら、「地域ブランディング推進事業」を展開していく。				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報											
(1) 事業名	ふるさと龍ヶ崎応援事業					(2) 担当課	商工観光課				
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	4	効果的なシティプロモーション								
	施策の展開方向	4	ふるさと納税制度の活用促進								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	ふるさと納税推進計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	ふるさと納税制度を活用し、市産品などの返礼品を通じて、本市の認知度向上及び関係人口の創出を図ります。					 					
2 取組状況											
(1) 取組内容	○ふるさと納税(令和6年度:355,966,000円[前年比140.3%]) ・中間管理事業者を変更(合同会社LOCUS BRIDGE) ・各ポータルサイトにおける返礼品ページの構成を見直し(アイコン・本文等、検索エンジンでの上位表示対策) ・新規返礼品を開発(既存事業者の返礼品数増加、新規事業者を確保) ・ターゲットを絞った寄附者へのアプローチ(検索連動型広告を実施・イベント参加) ・各種情報発信ツール(ホームページ・SNS)を活用した制度周知 ○企業版ふるさと納税(令和6年度:4,600,000円[前年比皆増]) ・ポータルサイトを導入(2サイト) ・企業への周知活動(国主催のマッチングイベントへの参加、企業訪問を実施)										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	ふるさと龍ヶ崎応援寄附金の受入額	成果	千円	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				250,000	253,647	400,000	355,966				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
企業版ふるさと納税の受入額	成果	千円	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			10,000	0	10,000	4,600					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	116,018,000 円		179,741,000 円		円		円		
		事業費	113,212,000 円		176,864,000 円		円		円		
		人件費	2,806,000 円		2,877,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		1,540 円		2,400 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		3,954,000 円		3,605,000 円		円		円			
一般財源		112,064,000 円		176,136,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		本市の財源確保や産業振興に資する事業であるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		寄附者管理やポータルサイトの運用、寄附受領証明書の発行など、業務委託により実施しており、効率的な執行がされているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		ふるさと納税の寄附額については、年々増加傾向となっており、取組内容が妥当なものとなっていると判断できるため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input type="checkbox"/> 寄与している <input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		持続可能な行政運営や産業振興を図るものであり、返礼品の開発等を通じて、地元企業等の産業基盤の構築につながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図				
	<input type="checkbox"/> 見直し		<input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託		<input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定						
	<input type="checkbox"/> 廃止		<input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止		<input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了						
	ふるさと納税については、本市の財源としても貴重なものとなっており、且つ、返礼品を通じて産業振興にもつながる取組でもあることから、引き続き取組を行っていく。また、企業版ふるさと納税についても、ふるさと納税と同じく、財源確保の観点からも、寄附額を増やしていくための取組を検討し、実施していく。										
						←大 行政関与の必要性 小→					

1 基本情報											
(1) 事業名	公共施設再編成事業						(2) 担当課	管財課			
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	5	公共施設の「縮充」の推進								
	施策の展開方向	3	施設配置・総量の最適化								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	公共施設等総合管理計画					(7) SDGsとの関連性			
(6) 事業概要・目的	公共施設をマネジメントし、「早期決断・早期実行」していくことにより、公共施設が担うべき必要性の高い機能を確保しつつ、財政状況の悪化を回避して、施設配置・総量の最適化を図ります。						 				
2 取組状況											
(1) 取組内容	<p>○旧城南中学校の跡地活用 ・5月10日に公募を開始。選定委員会の審査(3者)を経て、11月に大和ハウス工業(株)茨城支店を優先交渉権者に決定し、今後仮契約を予定</p> <p>○松葉小学校・長山小学校の跡地活用方策の検討 ・庁内での行政需要・公共的需要の活用提案は無かったが、茨城県から松葉小学校敷地への保健所移転の要望があり、地元協議会と複数回協議を重ね、9月に松葉地区住民説明会を開催し保健所移転を決定</p> <p>・松葉・長山ともに地元協議会と跡地活用について協議を継続</p> <p>○その他跡地 ・大徳町地内(292㎡)、白羽1丁目地内(981.58㎡)の土地を売却</p>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	公共施設の施設数	活動	施設	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				84	86	86	87				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	3,113,000 円		6,441,000 円		円		円		
		事業費	775,000 円		207,000 円		円		円		
		人件費	2,338,000 円		6,234,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		41 円		86 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	4,000 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		3,109,000 円		6,441,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		厳しい財政状況下であっても行政サービスの水準を保つためには、未利用財産の売却による歳入の確保や公共施設再編成による財政負担の縮減・平準化が求められるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		公共施設の跡地活用の検討に当たっては、公共施設の総量削減を念頭に、民間事業者等による活用を積極的に進めていくことが必要であるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		財政状況等を踏まえ、中長期の視点で公共施設の在り方を検討、実行していくことや、必要な情報を市民と共有することは、既存ストックのマネジメント強化につながるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		公共施設の跡地活用を推進することで、地域課題の解決やにぎわいの創出につながり、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	学校跡地の活用は、地元住民の理解を得ることが重要であることから、引き続き、継続した対話を行いながら、民間活用等も視野に住み続けられるまちづくりに寄与する跡地活用を検討していく。										
				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報											
(1) 事業名	大宮小学校跡地活用検討事業					(2) 担当課	管財課				
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	5	公共施設の「縮充」の推進								
	施策の展開方向	3	施設配置・総量の最適化								
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	公共施設等総合管理計画				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	大宮ふるさと協議会や公共施設等マネジメント推進委員会などから意見を聴取しながら、地域の実情に即した活用方法を検討します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティセンター新築又は既存校舎の改修のコストを概算で算出</li> <li>・避難所機能の継続等の庁内需要を念頭に地元協議会に説明</li> <li>・引き続き活用方法を検討し、地元協議会との協議を継続</li> </ul>										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
				目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	1,679,000		円	円		円		
		事業費	円	0		円	円		円		
		人件費	円	1,679,000		円	円		円		
	市民1人当たりの費用		円	22		円	円		円		
	財源内訳	国・県支出金		円	0		円	円		円	
		地方債		円	0		円	円		円	
その他		円	0		円	円		円			
一般財源		円	1,679,000		円	円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		厳しい財政状況下であっても行政サービスの水準を保つためには、未利用財産の売却による歳入の確保や公共施設再編成による財政負担の縮減・平準化が求められるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		公共施設の跡地活用の検討に当たっては、公共施設の総量削減を念頭に、民間事業者等による活用を積極的に進めていくことが必要であるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		財政状況等を踏まえ、中長期の視点で公共施設の在り方を検討、実行していくことや、必要な情報を市民と共有することは、既存ストックのマネジメント強化につながるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		公共施設の跡地活用を推進することで、地域課題の解決やにぎわいの創出につながり、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小		↑大 収益性 ↓小	Ad	Bd	Cd	Dd		
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定			Ac	Bc	Cc	Dc		
	学校跡地の活用は、地元住民の理解を得ることが重要であることから、引き続き、継続した対話を行いながら、住み続けられるまちづくりに寄与する跡地活用を検討していく。					Ab	Bb	Cb	Db		
Aa						Ba	Ca	Da			
←大 行政関与の必要性 小→											

1 基本情報											
(1) 事業名	DX(デジタルトランスフォーメーション)推進事業					(2) 担当課	デジタル都市推進課				
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	6	電子自治体の推進								
	施策の展開方向	1	デジタルトランスフォーメーションの推進体制の構築								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	第5次情報化推進プラン				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、効果的・効率的な行政経営を目指します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	ODX(デジタルトランスフォーメーション)の推進 ・昨年度試験導入を行った自治体専用ビジネスチャットツールを本格導入し、情報伝達、共有の迅速化を実現 ・他自治体等で多くの導入実績があるノーコードツールを試験導入。今までの紙やExcel等での管理からデータベース化し、集約等を簡易化 ・「公務員専用AIマサルくん」について、「龍ヶ崎市生成AI利用ガイドライン」を基に、業務に導入 ・LINEによるオンライン手続を拡充し、コミュニティセンターの予約、飼い犬の手続き、税の申告相談の予約等を新たに導入 ・DXへの意識醸成のため、階層別職員研修にてデジタル人材育成研修を実施										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	職員からのDX発案件数	活動	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						15	13				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	4,676,000 円		6,074,000 円		円		円		
		事業費	0 円		0 円		円		円		
		人件費	4,676,000 円		6,074,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		62 円		81 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		4,676,000 円		6,074,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		多様化・複雑化する市民ニーズに応え、市民の利便性を向上するとともに、将来を見据え、限られた人員で質の高い行政サービスの提供を継続していくため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		デジタルを活用した業務改善の取り組みであり、事業スリム化につながるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		「業務効率化を目指す」という視点で、デジタルを活用した業務改善に向けた全庁的な取組を推進しているため。				
SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		見直しにおける事務量の適正化やデジタル技術の活用により庁内の生産性向上を図ることは、ワークライフバランスの実現や働きがいにつながるため。					
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 内容拡充 <input type="checkbox"/> 外部委託 <input type="checkbox"/> 事業統合 <input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 方法改善 <input type="checkbox"/> 内容縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 事業休止 <input type="checkbox"/> 事業完了	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	引き続き、デジタル技術活用による業務改善への取組を推進し、行政運営の全体最適化を目指すことにより、行政サービスの持続や向上を目指していく。										
				←大 行政関与の必要性 小→							

1 基本情報										
(1) 事業名	道路・下水道台帳デジタル化事業					(2) 担当課	都市計画課・道路公園課・下水道課			
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり							
	施策	6	電子自治体の推進							
	施策の展開方向	3	行政手続のオンライン化							
(4) 新規・継続の別	新規	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市第5次情報化推進プラン、龍ヶ崎市統合型G					(7) SDGsとの関連性		
(6) 事業概要・目的	道路及び下水道台帳のデジタル化を実施し、施設マネジメントの効率化を図るとともに、業務執行の省力化やオープンデータ化を通じて、市民や民間事業者へのサービス向上に努めます。						 			

2 取組状況											
(1) 取組内容	○道路台帳図及び下水道台帳図のデジタル化 ・道路台帳図及び下水道台帳図、点検情報のデジタル化を実施 ・道路管理システム及び下水道管理システムを構築 ○オープンデータ化 ・道路台帳図及び下水道台帳情報を搭載した公開型システムを構築 ・令和7年4月1日より、スマートフォン、PCに対応したホームページを公開										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	公開システムのアクセス数	成果	件	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						200	-				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
来庁者数の減少割合	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
					95	-					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	円	163,755,000		円			円		
		事業費	円	158,400,000		円			円		
		人件費	円	5,355,000		円			円		
	市民1人当たりの費用		円	2,187		円			円		
	財源内訳	国・県支出金	円	79,200,000		円			円		
		地方債	円	0		円			円		
その他		円	0		円			円			
一般財源		円	84,555,000		円			円			

3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価			判断理由等			
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない			道路及び下水道施設の危険個所の早期発見等には効率的な施設マネジメントが不可欠であり、また、従来の紙台帳による対応は市民や事業者の利便性が低いため。			
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない			道路及び下水道管理所管課の共同発注で事業のスリム化を図るとともに、国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用し、市の財政負担を抑えた事業としているため。			
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない			デジタル化・管理システムの導入により、施設マネジメントが効率化され迅速な対応が可能となるとともに、オープンデータ化により、民間事業者の負担が軽減されるため。			
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない			デジタル化及び管理システムの導入により、効率的な施設マネジメントが実施され、持続可能なインフラの維持に貢献することで、住み続けられるまちづくりにつながるため。			
(2) 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 							
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小								
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止								
	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 事業完了									
道路台帳図、下水道台帳図のデジタル化、及びこれらの公開型システムの構築により、今年度で本事業は完了となった。今後は、新たな地図情報のデジタル化を促進し、オープンデータ化することで、市民や事業者の利便性の向上を図っていく。											

1 基本情報											
(1) 事業名	スマートフォン教室開催事業					(2) 担当課	デジタル都市推進課				
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	6	電子自治体の推進								
	施策の展開方向	4	デジタルデバйд対策								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	龍ヶ崎市第5次情報化推進プラン				(7) SDGsとの関連性				
(6) 事業概要・目的	デジタルデバйд対策の一環として、初心者向けの内容のほか、本市公式LINEの使い方、e-TAXの使い方といった応用編など、幅広いユーザーを対象としたスマートフォン教室を開催します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○デジタルデバйд解消に向けた市民向けスマートフォン教室開催(計22回) ・基本講座をコミュニティセンター11か所で計16回(各1~2回)開催 内容:スマートフォンの電源の入れ方、ボタンの操作方法、インターネット閲覧方法等初心者向け ・応用講座を市役所で計6回開催 内容:スマートフォンを使った税の申告方法										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	延べ参加者数	成果	人	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
				200	256	200	173				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
参加者満足度	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
			75	90	90	93					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	2,260,000 円		2,638,000 円		円		円		
		事業費	0 円		0 円		円		円		
		人件費	2,260,000 円		2,638,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		30 円		35 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金	0 円		0 円		円		円		
		地方債	0 円		0 円		円		円		
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		2,260,000 円		2,638,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		デジタルデバйд対策は国のデジタル田園都市国家構想の中にも位置付けられている取組であり、行政のオンライン化を推進していく中で不可欠であるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		委託先事業者による国庫補助の活用により、事業費を負担することなく効率的な執行が図られているため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		誰もがデジタルの恩恵を受けるためには、スマートフォンへの苦手意識を無くしていく必要があるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		誰もがデジタル化の恩恵を享受できるようになることは、不平等をなくすことにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持			<input type="checkbox"/> 方法改善	[参考]行政関与に係るポートフォリオ図					
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充			<input type="checkbox"/> 内容縮小	↑大 収益性 小↓	Ad	Bd	Cd	Dd	
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託			<input type="checkbox"/> 終期設定		Ac	Bc	Cc	Dc	
		<input type="checkbox"/> 事業統合			<input type="checkbox"/> 事業休止		Ab	Bb	Cb	Db	
	<input type="checkbox"/> 事業廃止			<input type="checkbox"/> 事業完了	Aa		Ba	Ca	Da		
開催実績や国による補助金メニューの活用を検討し、需要にあった教室を継続して開催していく。						←大 行政関与の必要性 小→					

1 基本情報											
(1) 事業名	財政健全化推進事業						(2) 担当課	財政課			
(3) 施策の体系	政策の柱	8	市民と共に育む持続可能なまちづくり								
	施策	7	持続可能な財政運営								
	施策の展開方向	1	中期的な視点による財政運営								
(4) 新規・継続の別	継続	(5) 関連計画等	第3次中期財政計画					(7) SDGsとの関連性	 		
(6) 事業概要・目的	中期的な視点から課題を的確に捉え、持続可能な財政運営に取り組む。また、予算編成等の分かりやすい情報発信に努め、市民の理解と協力を得るとともに、透明性及び説明責任を確保します。										
2 取組状況											
(1) 取組内容	○予算要求基準の見直し ・公会計システムのシーリング、枠配分機能及び導入する上での運用方法の検証を実施 ・令和7年度当初予算編成では、物価高等による物件費の上昇が見込まれたことから、シーリングの導入は見送り ○財務書類作成早期化及び活用の推進 ・固定資産台帳への資産登録等の遅れ、データ取込みの不具合等から、9月末までの財務書類作成及び公表、施設別・事業別財務書類は未作成(令和5年度の決算財務書類は、令和7年3月末に完了) ・施設別・事業別財務書類作成、財政指標等算出は、令和6年度決算財務書類作成時の継続課題										
(2) 指標	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
	経常収支比率	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
						90	93				
	指標名	区分	単位	令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度	
積立金残高比率	成果	%	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	
					35	38					
(3) コスト情報	項目/年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		
	事業費等	総額	1,247,000 円		1,279,000 円		円		円		
		事業費	0 円		0 円		円		円		
		人件費	1,247,000 円		1,279,000 円		円		円		
	市民1人当たりの費用		17 円		17 円		円		円		
	財源内訳	国・県支出金		0 円		0 円		円		円	
		地方債		0 円		0 円		円		円	
その他		0 円		0 円		円		円			
一般財源		1,247,000 円		1,279,000 円		円		円			
3 事業評価・分析											
(1) 事業評価	評価項目	評価基準			自己評価		判断理由等				
	必要性	・市民ニーズや社会状況の変化を踏まえ、事業を実施していく必要性があるか。			<input checked="" type="checkbox"/> 必要がある <input type="checkbox"/> 概ね必要がある <input type="checkbox"/> 必要ない		主要事業へ優先的、重点的に予算を配分するには、財務書類から算出される財政指標の活用、社会経済情勢等を踏まえた一般財源等の見積もりによる財源確保が求められるため。				
	効率性	・市が事業主体であることが妥当であり、民間委託導入や事業スリム化等により事業費等が抑制され、効率的執行がされているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 効率的である <input type="checkbox"/> 概ね効率的である <input type="checkbox"/> 効率的ではない		公会計システムの導入により、職員の財務書類に関するノウハウが蓄積され、将来的に財務書類を有効活用した予算編成により、予算の透明性・妥当性の確保につながるため。				
	有効性	・事業の目的に対して、取組内容が適切に設定されており、有効なものになっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 有効である <input type="checkbox"/> 概ね有効である <input type="checkbox"/> 有効ではない		施設マネジメントや統廃合、事務事業評価に財務書類の指標に基づく分析が必要であるため。				
	SDGsへの寄与 ※1-(7)参照	・取組内容や成果が、関連するSDGsの17のゴール達成に向けて寄与するものとなっているか。			<input checked="" type="checkbox"/> 寄与している <input type="checkbox"/> 概ね寄与している <input type="checkbox"/> 寄与していない		SDGsに関連する主要事業に対し、財源の確保により予算を重点的・優先的に配分しており、事業による効果と財政健全化により、住み続けられるまちづくりにつながるため。				
(2) 今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 方法改善		[参考]行政関与に係るポートフォリオ図 						
	<input type="checkbox"/> 見直し	<input type="checkbox"/> 内容拡充	<input type="checkbox"/> 内容縮小								
	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 外部委託	<input type="checkbox"/> 終期設定								
		<input type="checkbox"/> 事業統合	<input type="checkbox"/> 事業休止								
		<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 事業完了		人口減少や少子高齢化などを受け、厳しい歳入環境が想定され、また、物価高による物件費の上昇など、今後、急速な財政の硬直化も懸念されるため、一般財源等の見積もりによる財源確保が不可欠である。 また、財務書類を活用した施設別のセグメント分析の実施と、分析結果に基づく事業予算の重点化・効率化の推進に向け、財務書類の活用について継続して取り組んでいく。						



## 地域幸福度 (Well-Being) アンケート調査結果抜粋 (5段階評価)

政策の柱	施策	内容	設問	全く あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらとも 言えない	ある程度 あてはまる	非常に あてはまる	総計	全く あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらとも 言えない	ある程度 あてはまる	非常に あてはまる	好評	不評
1 子どもが 健やかに育 ち、一人ひと りの夢や希望 を育むまちづ くり	(1) 子ども・ 子育て支援の 充実 【未来創造プ ロジェクト】	子育てしやすいまちであると感じ る市民の割合 (18歳～49歳)	私の暮らしている地域では、子ど もたちがいきいきと暮らせる。 【10～40歳代】	62	99	131	134	13	439	14.1%	22.6%	29.8%	30.5%	3.0%	33.5%	36.7%
		小学校入学前の子どもたちへの教 育内容・施設への満足度 (18歳～ 49歳)	私の暮らしている地域では、子育 て支援・補助が手厚い。 【10～40歳代】	104	101	144	81	9	439	23.7%	23.0%	32.8%	18.5%	2.1%	20.5%	46.7%
	(2) 「夢」を 持ち「生きる 力」を育む教 育の推進 【未来創造プ ロジェクト】	小中学校の教育内容・施設への満 足度 (18歳～49歳)	私の暮らしている地域では、教育 環境 (小中高校) が整っている。 【10～40歳代】	47	76	120	173	23	439	10.7%	17.3%	27.3%	39.4%	5.2%	44.6%	28.0%
		若者が健全に育つ環境や若者の活 動を支援する機会・サービスの満 足度 (18歳～39歳)	私の暮らしている地域には、若者 が活躍しやすい雰囲気がある。 【10～30歳代】	65	54	66	17	3	205	31.7%	26.3%	32.2%	8.3%	1.5%	9.8%	58.0%
	(3) 若者世代 の活躍支援と 定住促進 【未来創造プ ロジェクト】	若者が健全に育つ環境や若者の活 動を支援する機会・サービスの満 足度 (18歳～39歳)	私の暮らしている地域には、若者 が活躍しやすい雰囲気がある。 【10～30歳代】	65	54	66	17	3	205	31.7%	26.3%	32.2%	8.3%	1.5%	9.8%	58.0%
		龍ヶ崎の魅力を勧める意欲 (推奨 意欲) (18歳～39歳) ※NPS	私は、この町内 (集落) に対して 愛着を持っている。 【10～40歳代】	43	45	45	56	16	205	21.0%	22.0%	22.0%	27.3%	7.8%	35.1%	42.9%
2 まちの元 気を生み出す 産業と交流の あるまちづく り	(1) 地域経済 の活性化	商店街への支援や商業の活性化へ の満足度	私の暮らしている地域は、日常の 買い物にまったく不便がない。	137	285	224	456	166	1,268	10.8%	22.5%	17.7%	36.0%	13.1%	49.1%	33.3%
	(2) 多様な働 き方と働く場 の創出	就労支援や企業誘致など雇用創 出への満足度	私の暮らしている地域では、やり たい仕事を見つけやすい。	369	461	358	72	8	1,268	29.1%	36.4%	28.2%	5.7%	0.6%	6.3%	65.5%
		市の物足りないところ、嫌いなと ころとして「多種多様な働く場が ない」と回答した割合	私の暮らしている地域では、適切 な収入を得るための機会がある。	327	466	364	105	6	1,268	25.8%	36.8%	28.7%	8.3%	0.5%	8.8%	62.5%

政策の柱	施策	内容	設問	全く	あまり	どちらとも	ある程度	非常に	総計	全く	あまり	どちらとも	ある程度	非常に	好評	不評
				あてはまらない	あてはまらない	言えない	あてはまる	あてはまる		あてはまらない	あてはまらない	言えない	あてはまる	あてはまる		
3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり	(1) 支え合う地域福祉の実現	お年寄りが生活しやすい施設・サービスへの満足度（65歳～）	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい。 【60歳代以上】	15	88	235	165	6	509	2.9%	17.3%	46.2%	32.4%	1.2%	33.6%	20.2%
		障がいのある人が生活しやすい施設・サービスへの満足度	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい。	81	226	604	333	24	1,268	6.4%	17.8%	47.6%	26.3%	1.9%	28.2%	24.2%
		地域での支え合いやボランティア活動への満足度	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである。	120	334	429	343	42	1,268	9.5%	26.3%	33.8%	27.1%	3.3%	30.4%	35.8%
	(2) 健康長寿社会の実現 【幸せ創造プロジェクト】	健康診査などの受けやすさや健康づくりのしやすさへの満足度	私の暮らしている地域は、医療機関が充実している。	131	280	294	492	71	1,268	10.3%	22.1%	23.2%	38.8%	5.6%	44.4%	32.4%
		お年寄りが生活しやすい施設・サービスへの満足度（65歳～）	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい。 【60歳代以上】	15	88	235	165	6	509	2.9%	17.3%	46.2%	32.4%	1.2%	33.6%	20.2%
	(3) 地域医療体制・感染症対策の強化	病院等の数と夜間・休日等の医療サービス体制への満足度	私の暮らしている地域は、医療機関が充実している。	131	280	294	492	71	1,268	10.3%	22.1%	23.2%	38.8%	5.6%	44.4%	32.4%
4 誰もが自分らしく、生きがいを持って暮らせるまちづくり	(2) 暮らしを豊かにする生涯学習・文化芸術活動の推進	芸術や文化に触れ親しむ機会・施設への満足度	私の暮らしている地域は、文化・芸術・芸能が盛んで誇らしい。	283	397	426	153	9	1,268	22.3%	31.3%	33.6%	12.1%	0.7%	12.8%	53.6%
		生きがいづくりや趣味を楽しむ機会・場所への満足度	私の暮らしている地域には、新たな事に挑戦・成長するための機会がある。	321	417	434	89	7	1,268	25.3%	32.9%	34.2%	7.0%	0.6%	7.6%	58.2%
	(3) 多様性を認め尊重し合う、共生社会の実現	男女の平等意識、性の差を感じずに活躍できる環境への満足度	私の暮らしている地域には、女性が活躍しやすい雰囲気がある。	223	340	559	139	7	1,268	17.6%	26.8%	44.1%	11.0%	0.6%	11.5%	44.4%

政策の柱	施策	内容	設問	全く	あまり	どちらとも	ある程度	非常に	総計	全く	あまり	どちらとも	ある程度	非常に	好評	不評
				あてはまらない	あてはまらない	言えない	あてはまる	あてはまる		あてはまらない	あてはまらない	言えない	あてはまる	あてはまる		
5 安全・安心が実感できるまちづくり	(1) 防災・減災対策の推進	台風や地震など自然災害対策への満足度	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。	92	230	525	383	38	1,268	7.3%	18.1%	41.4%	30.2%	3.0%	33.2%	25.4%
	(2) 消防・救命体制の充実	火災への安全対策や万が一の場合の救急救助体制への満足度	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている。	92	230	525	383	38	1,268	7.3%	18.1%	41.4%	30.2%	3.0%	33.2%	25.4%
	(3) 暮らしの安全・安心の確保	犯罪や非行防止などの治安対策への満足度	私の暮らしている地域は、防犯対策（交番・街灯・防犯カメラ・住民の見守り等）が整っており、治安がよい。	208	338	406	294	22	1,268	16.4%	26.7%	32.0%	23.2%	1.7%	24.9%	43.1%
		交通安全対策への満足度	私の暮らしている地域では、歩道や信号が整備されていて安心である。	130	236	295	514	93	1,268	10.3%	18.6%	23.3%	40.5%	7.3%	47.9%	28.9%
6 機能的で、利便性が高いまちづくり	(2) 快適でシームレスな移動環境の構築【幸せ創造プロジェクト】	市内の公共交通機関での移動の利便性への満足度	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる。	345	395	223	252	53	1,268	27.2%	31.2%	17.6%	19.9%	4.2%	24.1%	58.4%
		都心など市外への公共交通機関での移動の利便性への満足度	私の暮らしている地域では、公共交通機関で、好きな時に好きなところへ移動ができる。	345	395	223	252	53	1,268	27.2%	31.2%	17.6%	19.9%	4.2%	24.1%	58.4%
	(3) 良好な住環境の維持・創出【未来創造プロジェクト】	街並みの美しさへの満足度	私の暮らしている地域には、自慢できる都市景観がある。	306	382	305	224	51	1,268	24.1%	30.1%	24.1%	17.7%	4.0%	21.7%	54.3%

政策の柱	施策	内容	設問	全く あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらとも 言えない	ある程度 あてはまる	非常に あてはまる	総計	全く あてはまらない	あまり あてはまらない	どちらとも 言えない	ある程度 あてはまる	非常に あてはまる	好評	不評
7 環境にやさしく、誰もが快適に暮らせるまちづくり	(1) 環境負荷の少ない地域社会の形成	再生可能エネルギーの活用など環境負荷低減の取組への満足度	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである。	102	217	517	387	45	1,268	8.0%	17.1%	40.8%	30.5%	3.5%	34.1%	25.2%
		ごみ収集サービスや資源リサイクルへの満足度	私の暮らしている地域では、リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みが盛んである。	102	217	517	387	45	1,268	8.0%	17.1%	40.8%	30.5%	3.5%	34.1%	25.2%
	(2) 自然環境の保全と環境美化の推進	空気のきれいさや緑の豊かさなどの自然環境への満足度	私の暮らしている地域には、自慢できる自然景観がある。	214	269	309	370	106	1,268	16.9%	21.2%	24.4%	29.2%	8.4%	37.5%	38.1%
		市の良いところ、好きなところとして「豊かな自然がある」と回答した割合	私の暮らしている地域では、身近に自然を感じることができる。	62	119	257	596	234	1,268	4.9%	9.4%	20.3%	47.0%	18.5%	65.5%	14.3%
8 市民と共に育む持続可能なまちづくり	(1) 市民主体のまちづくりの推進	まちづくりに気軽に参加できる機会への満足度	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである。	120	334	429	343	42	1,268	9.5%	26.3%	33.8%	27.1%	3.3%	30.4%	35.8%
		市民活動への支援や参加できる機会への満足度	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである。	120	334	429	343	42	1,268	9.5%	26.3%	33.8%	27.1%	3.3%	30.4%	35.8%
	(3) 効率的で透明性の高い市政運営	市役所の仕事ぶりへの満足度	私の暮らしている地域の行政は、地域のことを真剣に考えていると思う。	236	329	399	283	21	1,268	18.6%	25.9%	31.5%	22.3%	1.7%	24.0%	44.6%
	(4) 効果的なシティプロモーション	龍ヶ崎をよくする活動に参加したい意欲（参画意欲）※NPS	私の暮らしている地域では、地域活動（自治会・地域行事・防災活動等）への市民参加が盛んである。	120	334	429	343	42	1,268	9.5%	26.3%	33.8%	27.1%	3.3%	30.4%	35.8%

地域幸福度 (Well-Being) アンケート調査結果抜粋 (11段階評価)

政策の柱	施策	内容	設問	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	総計	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	幸せ	不幸せ
3 共に支え合い、誰もが健康に暮らせるまちづくり	(2) 健康長寿社会の実現 【幸せ創造プロジェクト】	幸福感の高い高齢者の割合	現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。【60歳代以上】	5	6	10	20	20	80	39	78	122	48	81	509	1.0%	1.2%	2.0%	3.9%	3.9%	15.7%	7.7%	15.3%	24.0%	9.4%	15.9%	49.3%	27.7%

# 令和6年度 デジタル田園都市 国家構想交付金 実績報告

(R7.8.8行政経営評価委員会)



交付金の概要



事業の概要



令和6年度の取組



KPIの目標と実績



今後の展開

健康スポーツ部スポーツ推進課

# 「スポーツクライミングの まち龍ヶ崎」推進事業



スポーツクライミングが地域の魅力となり、  
誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ



## 交付金の概要



## 事業の概要



## 令和6年度の取組



## KPIの目標と実績



## 今後の展開



スポーツライミングが地域の魅力となり、  
誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ



# デジタル田園都市国家構想交付金

各地方公共団体による自主的・主体的な取組について、分野横断的な支援により強力に後押しすることを目的とした国の交付金

デジタル実装タイプ

地方創生推進タイプ

地方創生拠点整備タイプ



本事業で活用しているタイプ  
(最長3年間の単年度採択)

※ 採択基準、交付上限額、補助率、事業計画期間などを見直し、現在は「新しい地方経済・生活環境創生交付金」の第2世代交付金に位置づけられている。

- 目指す将来像及び課題の設定等、自立性、デジタル社会の形成への寄与、官民協働、地域間連携、政策施策間連携等の要素を有する事業
- 具体的なKPI（重要業績評価指標）を設定し、PDCAサイクルを整備することが必要であり、事業年度毎に効果検証を実施
- 地域再生法に基づく法律補助の交付金であり、内閣総理大臣から認定を受けた地域再生計画に記載された事業



交付金の概要



事業の概要



令和6年度の取組



KPIの目標と実績



今後の展開

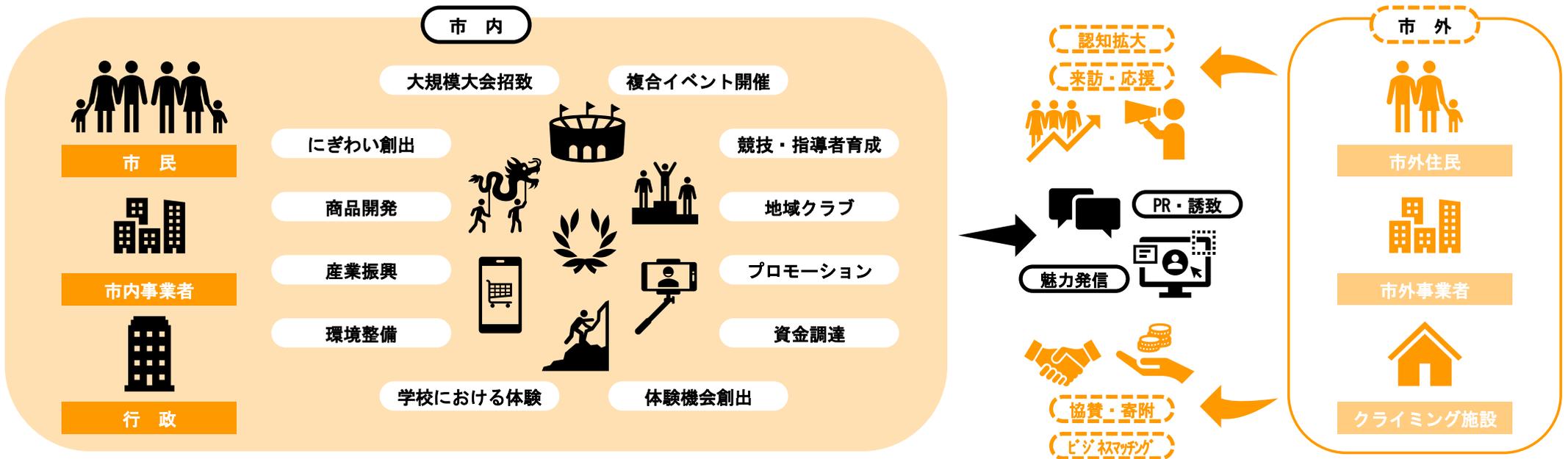


スポーツライミングが地域の魅力となり、  
誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ



# スポーツクライミングのまち龍ヶ崎

若者の「転出抑制」や「定住促進」が全国的に喫緊の課題とされている中、本市においては、日本クライミング界の先駆者である野口さんや日本クライミング界を牽引する第一人者のひとりである檜崎選手という、本市ならではの恵まれた人的資源に着目し、「スポーツクライミング」を、「撞舞」や「龍ヶ崎コロッケ」と並ぶ、まちづくりのコンテンツの一つとして捉え、地域の活性化につなげることを目指す。





交付金の概要



事業の概要



令和6年度の取組



KPIの目標と実績



今後の展開



スポーツライミングが地域の魅力となり、  
誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ



# 基本構想策定審議会の設置・運営

スポーツクライミングのまち龍ヶ崎基本構想策定審議会条例を令和6年6月定例会に上程して、基本構想の調査審議をする審議会を設置。

学識経験者3名

地域関係団体代表など5名

スポーツクライミングの知見を有する方2名

公募の市民2名

計12名で組織

第1回

基本構想の将来像・ビジョン

【主な意見】

- ・いつまでに何をするのかを明確にする必要があり、推進主体、組織づくりが重要である。
- ・まずはハードを整えてソフトは柔軟に対応していくのがいいのではないか(ハードの公設は難しい。)
- ・大会やイベント等との連携や他分野とのコラボなどによる市民への意識づけが必要ではないか。

第2回

個別アクション・ロードマップ

【主な意見】

- ・トップアスリートや地域おこし協力隊などの外部の力を活用するのはどうか。
- ・シンボリックな印象を持つ大規模大会の実施は、産業振興にもつながると考える。
- ・若者から高齢者まで、幅広い世代がスポーツクライミングに触れることができる状態にするのが良い。

第3回

基本構想全体版(案)

【主な意見】

- ・恒常的にぎわいを生み出す長期の視点でのアプローチ、普及振興がどれだけ広がるかが重要である。
- ・地域住民が大会に参画(みる、する、支える)する工夫をする必要がある。
- ・これまで知らなかった人にも興味を持ってもらえるような施策を考える必要がある。

第4回

諮問に対する答申

慎重審議の結果、概ね妥当なものと認められた。

【付帯意見】

- ・多様な主体と連携し、より多くの市民等が自発的に参加しながら実行することが必要不可欠である。
- ・オリンピックとの連携、市民や企業等の意見が反映される環境づくりに努めて、事業を推進されたい。
- ・将来にわたる財政負担を伴う施設整備を行う場合には、市民との合意形成を十分図ること。
- ・環境の変化や時代の潮流に即時に対応するため、定期的に事業の見直しを図ること。



# ワークショップ、アンケート、3C調査・分析

**ワークショップ** 有識者や関係者、庁内関連課職員を集め、スポーツクライミングの推進を通じてどのような「まち」を目指すのか、などについて意見交換を実施。

### 教育・学習

学校における部活など

小中学生手作りウォール作成

クライミング体操の普及

市民が集まるイベントで体験会

### 産業振興

コロケ型のホールド作成

ホールドのキーホルダー販売

### プロモーション

まいりゅうのチョークボール

「壁を越える」受験お守り作成

壁にボルダリングアート

スポーツクライミング推進PV

コミュニティバスのラッピング

クライミング友好・姉妹都市

### にぎわい創出

競技大会・メガイイベント誘致

誰もが楽しめる大会づくり

市民が出場できる大会

クライミングフェス開催

### 競技者支援

強化選手の合宿地誘致

海外遠征費用のサポート

クライマーの雇用支援

ルートセッターの育成

### 環境整備

学校体育館へのウォール設置

クライミング移住者向けの支援

民間と連携した施設の活用

インストラクターの派遣

**アンケート** 2024. 12. 4-12. 22の期間にアンケートを実施し、1,105人(市内在住者95%)の方々が回答。

Q1. スポーツクライミングの認知・体験

知っているが  
体験したことがない

78%

Q2. スポーツクライミングの興味・関心

興味がある

77%

Q3. スポーツクライミングを知ったきっかけ

龍ヶ崎市出身選手の活躍  
オリンピック

Q4. スポーツクライミングの印象

楽しそう・達成感が得られそう  
トップ選手在住で親しみがある

Q5. アリーナのボルダリング施設の認知

知っている

68%

Q6. スポーツクライミングの体験の頻度

月に1回以上

11%

Q7. スポーツクライミングを体験しない理由

機会がない

Q8. 市の取組の認知・参画意欲

今後、取組に  
関わってみたい

35%

Q9. スポーツクライミングの活用可能分野

こどもへの機会提供  
龍ヶ崎市のブランディング

Q10. ご意見自由記述

オリンピックと連携した大会やイベント開催、  
本市の独自性のPR、子どもたちに夢や目標を与える  
等の取組を継続することでまちの活性化に期待

**3C調査・分析** 3C(市場・競合・自市)調査を踏まえて、SWOT(強み・弱み・機会・脅威)分析を行い、注力すべきテーマを整理。

### 内部環境

### 強み

### 弱み

市場規模・人口・認知度の高まり

野口さん、檜崎さんの存在

初級者が手軽に楽しめるウォールの存在

次の担い手となる若い世代の転出超過

若者を誘引する場や観光コンテンツ不足

省スペースで楽しむ、エンタメ性も高い

強みを生かし、機会を有効活用するテーマ

教育・学習

スポーツクライミングを学び・体験できる機会づくり

機会を有効活用し、弱みを強みに変えるテーマ

産業振興

スポーツクライミングと連携した地域産業の活性化

周辺地域における注目の高まり

環境整備

スポーツクライミングの環境づくり

強みを生かし、ほかの地域と差別化を図り、環境変化に対応するテーマ

弱みを強みに近づける改善策を講じる必要があるテーマ

プロとしての収入確保が困難

にぎわい創出

スポーツクライミングによる交流人口の呼び込み

競技者支援

次世代トップクライマーの育成支援・体制構築

ほかの地域において同取組を実施

プロモーション

スポーツクライミングのまちに係る市内外の認知促進

外部環境

機会

脅威

# 基本構想の策定(R7.3)

## スポーツライミングのまち龍ヶ崎基本構想

### ビジョン

スポーツライミングが地域の魅力となり、誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ

スポーツライミングを通して生まれる多様なつながりや、市民参画によってシビックプライドや活力が醸成される好循環が生まれ、新たな地域の魅力として市の持続的な発展につなげていきます。

### コンセプト

スポーツライミングのトップ選手の活躍が地域を元気にする

スポーツライミングのまちとして知られ、市外から人が訪れる

スポーツライミングの次世代への挑戦を支える環境がある

スポーツライミングに親しみを持っている

### テーマ

### アクション

教育・学習

学校連携・体験会開催

産業振興

地域の名物等との連携

プロモーション

市内外向けプロモーション

にぎわい創出

大会誘致・開催

競技者支援

アスリート支援

環境整備

環境整備・人材確保・資金調達

スポーツライミングのまち龍ヶ崎の推進に向け、基本構想のビジョン・コンセプト・テーマを軸に、各アクションの効果的な実施に取り組んでいく。

# キックオフイベントの開催

「AKIYO'S DREAM with RYUGASAKI」をニューライフアリーナ龍ヶ崎で開催し、令和7年3月15・16日の2日間、小学3年生から中学3年生まで、他県のみならず外国からもエントリーがあり、222名が出場。



出場者の声

龍ヶ崎開催、観客の応援が嬉しかった。

大会の中で成長することができた。

自分に自信がついた大会になった。



アンケート

89%の方が大会に満足と回答

86%の方がまた参加したいと回答

74%の市民がこの取組に関わってみたいと回答

若者だけでなく中高年にも広めていきたい。

クライミングができる場やコンテンツが増えたら嬉しい。

龍ヶ崎ならではの魅力で可能性を大いに秘めていると思う。





交付金の概要



事業の概要



令和6年度の取組



KPIの目標と実績



今後の展開



スポーツライミングが地域の魅力となり、  
誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ



# KPIの進捗状況

	事業開始前	令和6年度	令和7年度	令和8年度	採択期間後 目標値
KPI① 地域の人口・世帯数	75,156人	▲230人 (74,926人)	▲200人 (74,726人)	▲150人 (74,576人)	74,576人
		▲715人 (74,441人)	-	-	
KPI② スポーツイベントの参加者数	5,141人	+250人 (5,391人)	+500人 (5,891人)	+750人 (6,641人)	6,641人
		+1,670人 (6,811人)	-	-	
KPI③ たつのこアリーナボルダリングウォール利用者数	2,862人	+500人 (3,362人)	+200人 (3,562人)	+200人 (3,762人)	3,762人
		▲283人 (2,579人)	-	-	
KPI④ 事業に参画する団体数	0団体	+10団体 (10団体)	+10団体 (20団体)	+10団体 (30団体)	30団体
		+15団体 (15団体)	-	-	

※ 上段は国交付金を申請した際の目標値、下段は各年度の実績値



# KPI①の考察

	事業開始前	令和6年度	令和7年度	令和8年度	採択期間後 目標値
KPI① 地域の人口・世帯数	75,156人	▲230人 (74,926人)	▲200人 (74,726人)	▲150人 (74,576人)	74,576人
		▲715人 (74,441人)	-	-	

※ 上段は国交付金を申請した際の目標値、下段は各年度の実績値

この事業は、まちづくりの事業分野として国庫補助の採択を受けており、KPIの設定にあたっては、「地域の人口・世帯数」を総合的なアウトカムとして設定することが原則とされている。当市では、近年約300人ずつ常住人口が減少しており、この事業の評価指標として、その減少数を緩やかにすることを目標に設定した。しかしながら、令和6年度は事業開始年度ということもあり、転出抑制や定住人口の増加などに寄与するほどの段階には至っていないと考えられる。



# KPI②の考察



スポーツ分野のコンテンツを活用したまちづくりに関する事業であることから、市で参加者数の把握が可能なスポーツイベントに参加した方の数をKPIとして設定した。なお、令和5年度と比較して参加者数が増えた主なスポーツイベントは、スポーツレクリエーションまつり、野球のイースタンリーグ、リレーマラソン大会であった。また、市との共催で初めて行ったAKIYO'S DREAM with RYUGASAKIに1,146名が参画したことは、このKPIの大幅な増加に寄与したといえる。



# KPI③の考察



スポーツライミングを基点としてまちづくりを推進する事業であることから、本市の総合運動公園の施設の一つである、たつのこアリーナに設置しているボルダリングウォールの利用者数をKPIとして設定した。令和5年度は、本市在住の檜崎選手がパリオリンピックに内定したこともあってか、一般利用の数が例年より多かった。令和6年度は、一般利用の数が例年並みであったことや基本構想策定段階で市民にこの事業が浸透していなかったため、減少に転じたと考えられる。



# KPI④の考察

	事業開始前	令和6年度	令和7年度	令和8年度	採択期間後 目標値
KPI④ 事業に参画する団体数	0団体	+10団体 (10団体)	+10団体 (20団体)	+10団体 (30団体)	30団体
		+15団体 (15団体)	-	-	

※ 上段は国交付金を申請した際の目標値、下段は各年度の実績値

まちづくりを推進するにあたっては、多様な主体が関わり合いながら取り組んでいくことが重要であることから、地元団体や関連企業などが参画した数をKPIとして設定した。令和6年度は、基本構想策定審議会やワークショップ、キックオフイベントを通じて、多くの方に「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」に携わっていただいた。今後は、行政からのアプローチだけでなく、自発的にこの事業に関わる方、関わりたいと思う方を増やしていくことが必要である。



交付金の概要



事業の概要



令和6年度の取組



KPIの目標と実績



今後の展開



スポーツライミングが地域の魅力となり、  
誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ



# 基本構想におけるロードマップ



## 令和7年度【市内浸透段階】

- ・市内への普及に向けて、体験機会の増加や、象徴的な大会が実現されている。
- ・市内の関係者とも協体制が構築されており、連携したプロモーションがなされている。
- ・各アクションについて実現性が精査され、アクションの実現に向けた計画が整理されている。
- ・環境整備に向けた要件の整理・誘致に向けた活動を検討している。

## 令和8年度【機運上昇段階】

- ・スポーツライミングのまちとして、大規模大会が実施されており、多くの関係者がかかわる注カイベントとなっている。
- ・市内における認知度は高まっており、応援する機運が生まれている。
- ・市外のプロモーションにもスポーツライミングが活用されている。
- ・スポーツライミングをきっかけとした移住者が生まれている。

## 令和9年度以降【運用段階】

- ・全国から「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」として認知され、住民がスポーツライミングに親しみや誇りを持ち、スポーツライミングを活用した自発的な取組が広がっている。

### テーマ

### アクション

教育・学習	学校連携 体験会開催
にぎわい創出	大会誘致・開催
産業振興	地域の名物等との連携
プロモーション	市内外向けプロモーション
競技者支援	アスリート支援
環境整備	環境整備 人材確保 資金調達

学校連携協議・調整	一部連携	連携拡充
体験会企画検討	体験会の開催数・対象年代の拡大	
招致活動	招致活動	
企画・開催	企画・開催	
大会と連携	大会と連携	大会と連携
連携・制度検討		連携・制度運用
方針検討	コンテンツ作成・発信	
施設・拠点方針検討	方針検討	制度運用
制度検討・企業版ふるさと納税確保	検討結果に応じて実施	
	人材要件の検討・募集	採用
	制度検討・企業版ふるさと納税確保	



# 令和7年度に優先的に取り組む事業

官民連携調整会議



事業の全体方針を共有する会議体及び各事業の具体案を検討する分科会を設置・運営し、ステークホルダーと合意形成を図りながら、効果的な事業展開につなげるとともに、本事業への参画意欲を醸成する。

教育・学習事業



幅広い世代の方にスポーツライミングを体験してもらい関心を持つことにつなげ、学校における体験機会の導入や興味を持った方が定期的に体験できる施策について、ソフト・ハード両面での検討を行う。

プロモーション事業



スポーツライミングへの関心が低い層をターゲットに、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の取組を知るきっかけとして、デジタル・アナログ両面のタッチポイントから認知度の向上につなげる。

にぎわい創出事業



令和6年度に実施したAKIYO'S DREAM with RYUGASAKIをベースとしたイベントを開催し、それに併せてプロモーション、体験会、特産物の提供などを行い、市内外に広くこの事業の取組をPRする。

環境整備・資金調達事業



本市に合った形の施設整備の在り方について、多角的な視点で実現可能性を踏まえた検討を行うとともに、事業の継続性や自走化に必要な資金調達手法の確立に向けた検討を行う。

## 事業の効果・評価

基本構想の策定やキックオフイベントの開催により、事業を推進していく上での指針を示すことができたこと、一部KPIの上昇につながったことは、一定の効果があったといえる。今後は、各アクションの事業を具体化・実施し、本事業が目指す姿や中長期的なKPIの達成に向けた取組が必要となる。



基本構想策定過程においていただいた意見や附属機関の意見を踏まえながら、本事業における取組が地域の魅力となり、誇りと活力あるまちへとつながるよう、一層の推進を図っていく。



交付金の概要



事業の概要



令和6年度の取組



KPIの目標と実績



今後の展開

報告は、

スポーツライミングが地域の魅力となり、  
誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ  
以上となります。



# 「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」 基本構想



スポーツクライミングが地域の魅力となり、  
誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ

©Shinta Ozawa

# 本市の目指す姿と取り組み

本市では子育て世代をはじめとした若者の「転出抑制」や「定住促進」が喫緊の課題となっている中で、若者を呼び込みまちが活性化するコンテンツが必要となっています。

## 龍ヶ崎市が目指す姿

- ✓2022年12月に、最上位計画「龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030」を策定し、本市のあるべき姿として「**Creation -ともに創るまち・龍ヶ崎-**」を掲げています。
- ✓その中で、本市が抱える課題への的確な対応や、「住み続けたいまち」の構築に向けて、特に重要となる施策を「未来」「魅力」「幸せ」の3つのリーディングプロジェクトとして位置付け、「若者世代の定住促進」や「誰もが楽しめるスポーツ社会の実現」などの施策について、重点的かつ優先的に取組を進めています。

## 課題

- ✓人口減少、特に若者の流出が顕著な状況となっており、**大学卒業や就職を機に、特に20代の流出が大きく、直近の令和5年度では、年間200人以上の転出超過**の状況となっています。
- ✓市街地における人口の空洞化や空地・空家の発生といった「**都市のスポンジ化**」が懸念されており、**人口減少社会に対応した都市構造への転換**が求められています。

## 若者を呼び込む取り組み(現状)

- ✓若者や子育て世代を対象とした移住支援金の交付など**経済的な支援**に取り組んでいます。
- ✓森林公園のリニューアルや保健福祉棟多世代交流センターの整備など**若者に響く魅力アップ**が進んでいる。
- ✓プロスポーツチームや流通経済大学との連携など、トップアスリートを含めた**高いレベルのスポーツに触れる環境**が整っています。

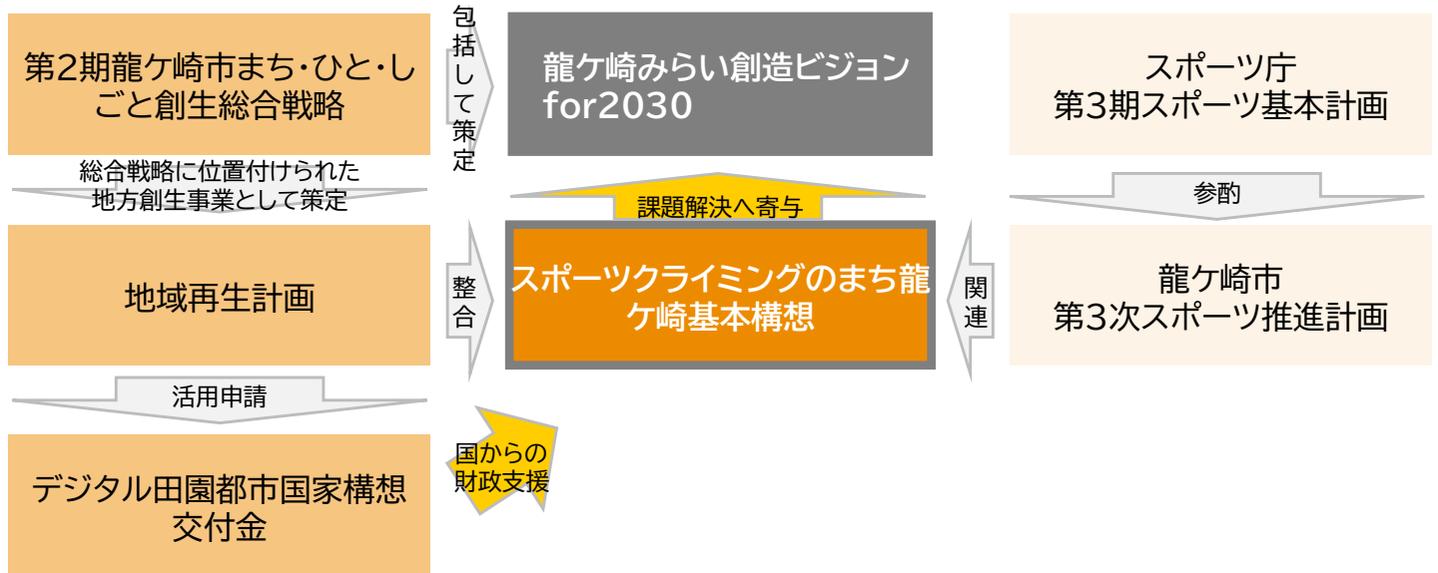
## 若者を呼び込む本市の取り組み(提案)

**オリンピック、トップクライマーが身近に存在する恵まれた環境が本市にはあります。そこで、“スポーツクライミング“を一つのコンテンツとしてまちを活性化させ、若者を誘引することを目指します。**

# 基本構想の位置付けと構想策定アプローチ

本事業は、龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030に包括された第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付ける地方創生の取り組みを推進するものです。

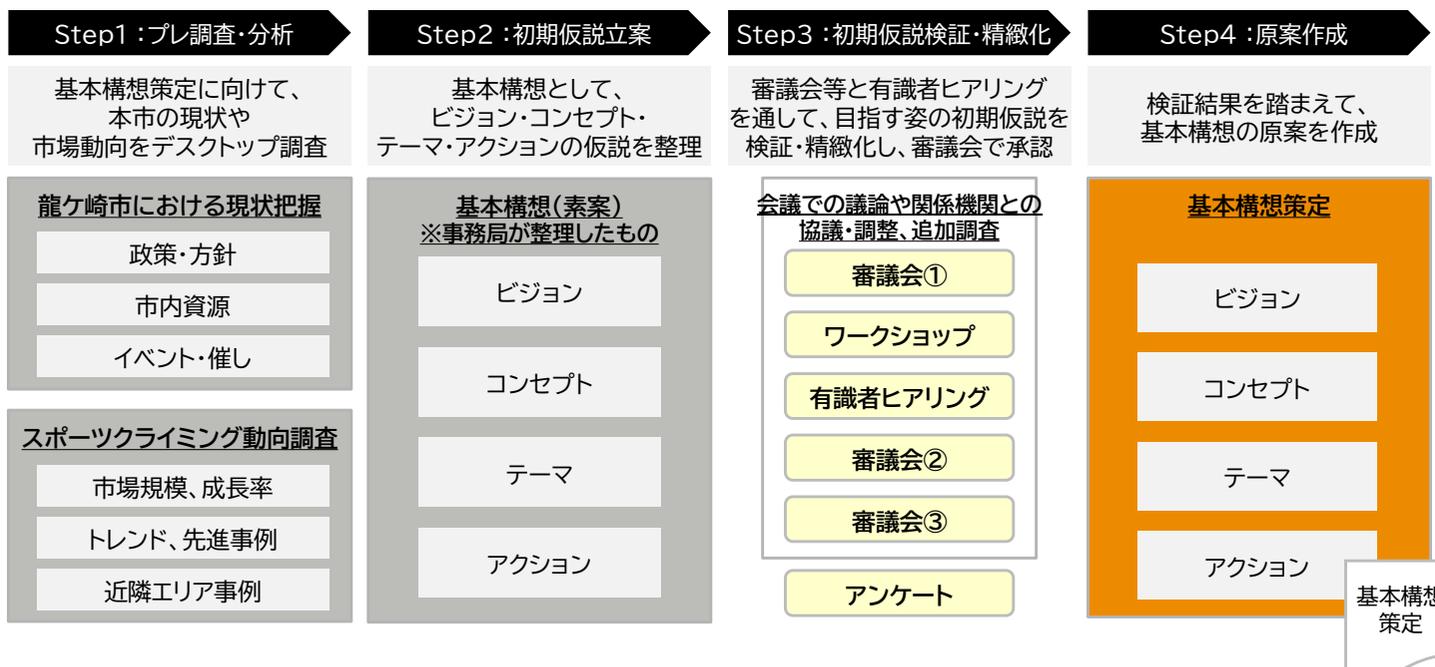
- 本事業は龍ヶ崎みらい創造ビジョンfor2030で課題と位置付けている若者世代の転出超過やシビックプライド醸成などの課題解決の促進を目指し、デジタル田園都市国家構想交付金の採択を受けているため、採択の要件となっている地域再生計画と整合を図っています。  
※デジタル田園都市国家構想交付金は、まち・ひと・しごと地方創生総合戦略に位置付けられた取組を後押しする制度です。



調査・分析結果から導出した目指す姿の仮説を基に、審議会やヒアリング等を通して基本構想の策定を行いました。

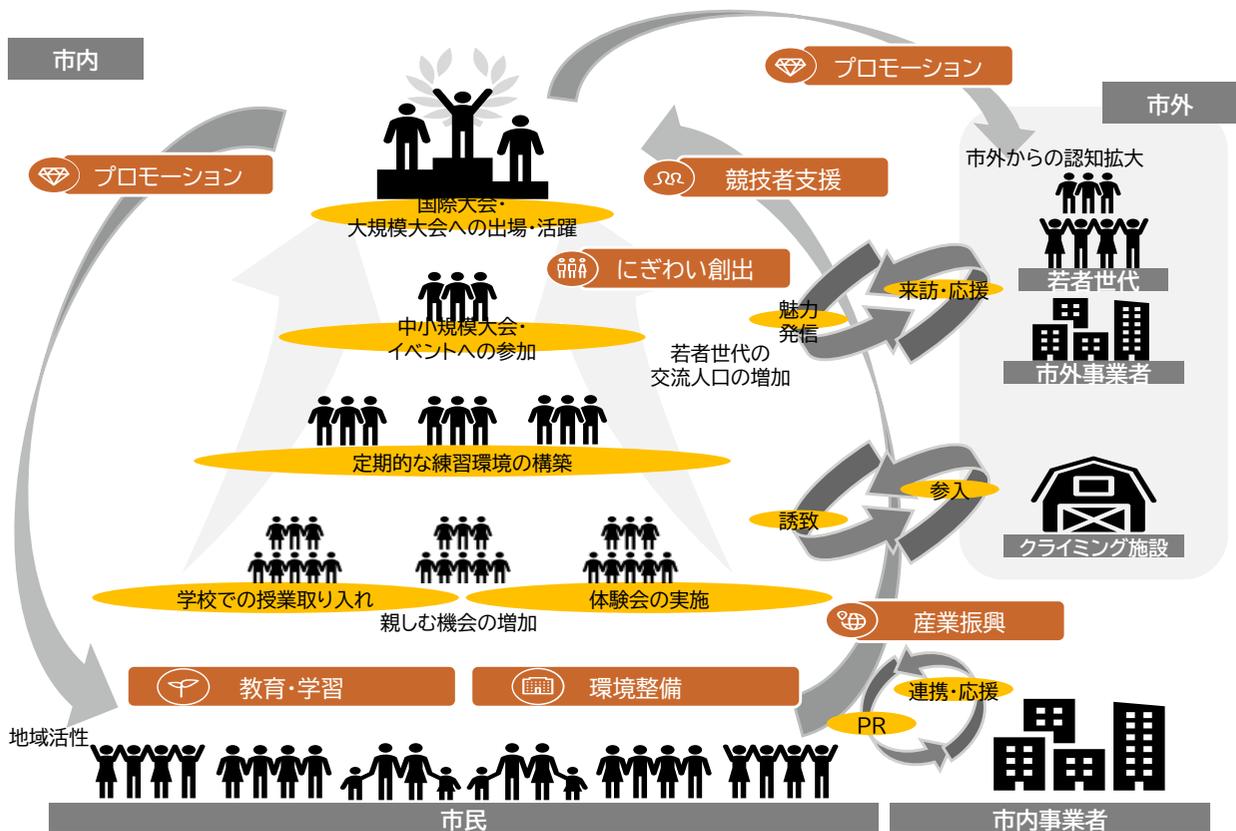
## 基本構想作成のポイント

- 本市の現状や市場動向の調査結果を基に、スポーツクライミングのまちとして目指す姿の初期仮説を作成し、**関係者の想いや実現性に関するご意見を踏まえた精緻化を行う**ことで、基本構想を作成します。



# 「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」の将来像

市民がスポーツクライミングに親しみをもち、選手の活躍や特徴のある取り組みにより、地域活性化や認知度の向上、交流人口の増加に繋がる好循環の実現に向けて、仕組みと環境を整備していきます。



## ビジョン スポーツクライミングが地域の魅力となり、誇りと活力にあふれるまち龍ヶ崎へ

### 4つのコンセプト

- ① スポーツクライミングのトップ選手の活躍が地域を元気にする
 

トップ選手の存在は夢と希望を与え、その活躍は一体感や誇りを生み出す力を持っています。そのため、トップ選手・次世代クライマーを応援する環境と、選手も応え、積極的に地元貢献する好循環を目指します。
- ② スポーツクライミングのまちとして知られ、市外から人が訪れる
 

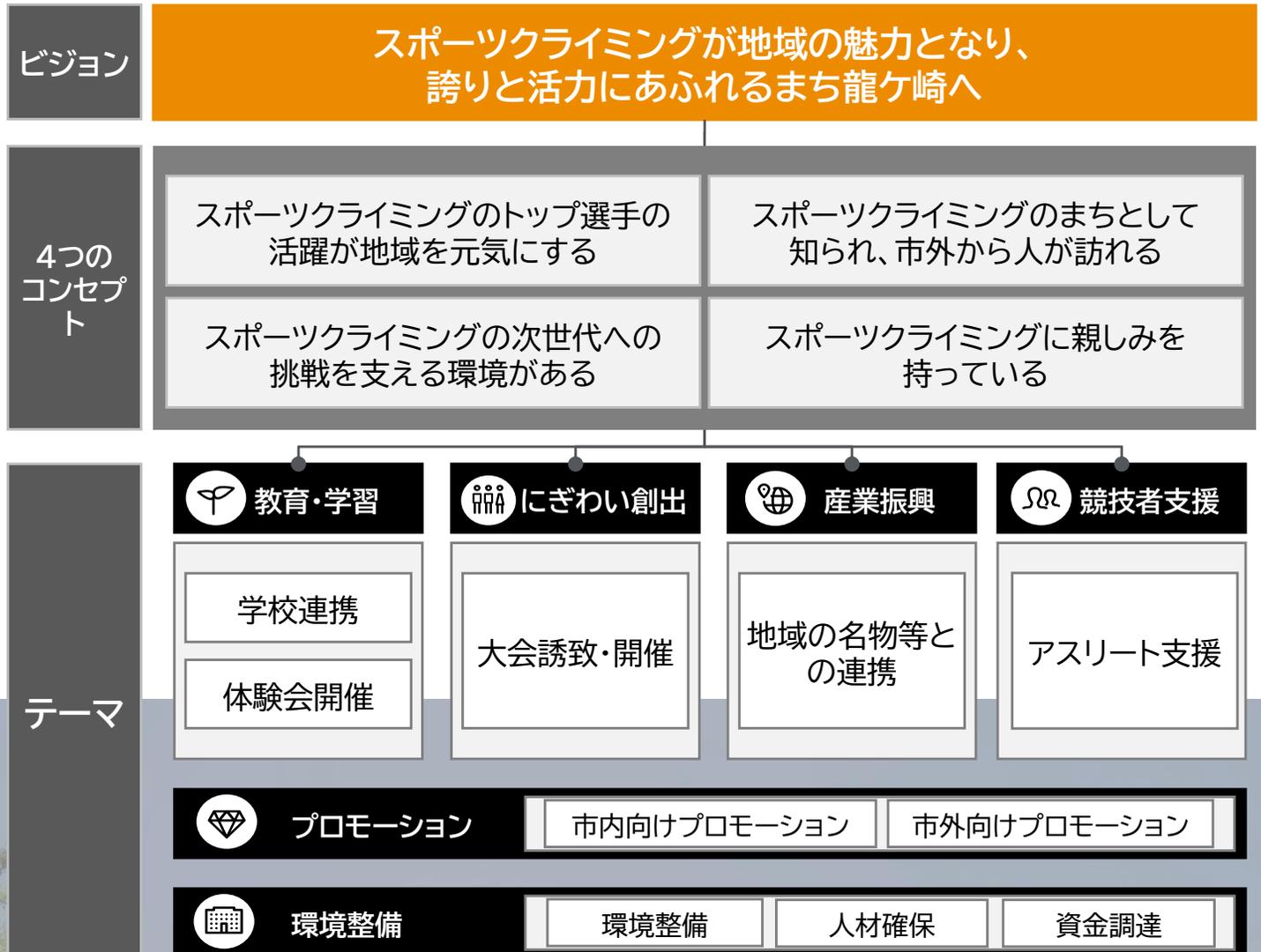
選手の活躍や特徴あるイベント等を通して「スポーツクライミングのまち龍ヶ崎」が市内外から認知され、若者世代を中心とした交流人口の増加や、自発的に魅力が発信される取り組みを推進します。
- ③ スポーツクライミングの次世代への挑戦を支える環境がある
 

意欲の高い次世代を担う子どもたちなどの挑戦を支える環境づくりに努めます。
- ④ スポーツクライミングに親しみを持っている
 

幅広い層の市民が体験や応援を通してスポーツクライミングの魅力に触れ、親しみを感じる機会を創出します。

# 基本構想の全体像

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の実現に向け、6つの注力するテーマに整理するとともに、10のアクションを設定し、施策を展開します。



# 基本構想の位置付けと構想策定アプローチ（1/2）

各アクションの実行を通じて、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」を推進します

## ① 学校連携

### 目的

スポーツライミングの普及促進を図るとともに、多様なスポーツ体験の機会を提供します。また、意欲の高い子どもの活動機会の確保に取り組みます。

### 施策概要

教育機関等におけるスポーツライミングの体験・学習の機会を創出します。（授業導入・キャリア教育・ウォール設置・定期的な練習会等）

## ② 体験会開催

### 目的

スポーツライミングを身近に感じ、関心を高める機会として体験会を開催します。また、幅広い世代の交流機会につなげます。

### 施策概要

幅広い年代が集まる市内のイベントやにぎわいの場と連携し、スポーツライミング体験会を開催します。

## ③ 大会の誘致・開催

### 目的

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」として象徴的なにぎわいイベントの開催等により交流人口の拡大と地域経済の活性化及び関心度を高めます。

### 施策概要

大規模大会(World Cup、JAPAN CUP等)や市民が出場できる大会等の誘致・開催や、スポーツライミングと親和性の高いコンテンツとのかけ合わせイベントを行います。

## ④ 地域の名物等との連携

### 目的

大会・イベントでの出店により、地域経済の活性化を図るとともに魅力を発信します。また、スポーツライミングと地域の名物を掛け合わせた商品開発等により相乗効果を生み出します。

### 施策概要

にぎわいイベント等を活用した地域の名産品等のプロモーションやスポーツライミングに関連した商品開発を促進します。

## ⑤ 市内に向けたプロモーション

### 目的

市内の「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の認知度を高めるとともに、興味喚起を図り、本事業への参画意欲を高めます。

### 施策概要

スポーツライミング推進のシンボルとして、市内活動やイベント、情報発信等に活用可能なコンテンツを作成します。

# 基本構想の位置付けと構想策定アプローチ（2/2）

各アクションの実行を通じて、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」を推進します

## ⑥ 市外に向けたプロモーション

### 目的

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」として、本市ならではのコンテンツを作成・発信し、認知度を高めるとともに、本市のファン化や来訪意欲の創出につなげます。

### 施策概要

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」と市の魅力を組み合わせたコンテンツを作成し広く発信します。

## ⑦ アスリート支援

### 目的

アスリートの郷土愛の醸成や市外からの移住を促進します。また、多様な人々の本事業への連携・協力意向の醸成に取り組みます。

### 施策概要

トップ選手や次世代アスリートを対象とした資金・PR・就業等の援助等により、まちづくりにおける連携・協力意向を醸成します。また、市民とアスリートの交流機会を創出します。

## ⑧ スポーツライミング環境整備

### 目的

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」として、事業を展開する上で、求められる拠点や体制を様々な視点から検証し、持続可能な環境整備の方向性を検討します。

### 施策概要

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」に必要な環境整備の実現性を検討します。また、本市におけるスポーツライミング競技団体の組織化を目指します。

## ⑨ 人材確保

### 目的

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」事業の推進に必要な様々な特徴を持つ人材を確保し、持続可能な運営体制を整備します。

### 施策概要

国の制度等を活用し、「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続的な推進に求められる人材を確保します。

## ⑩ 資金調達

### 目的

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」事業の持続可能な運営に向け、財源の確保に努めます。

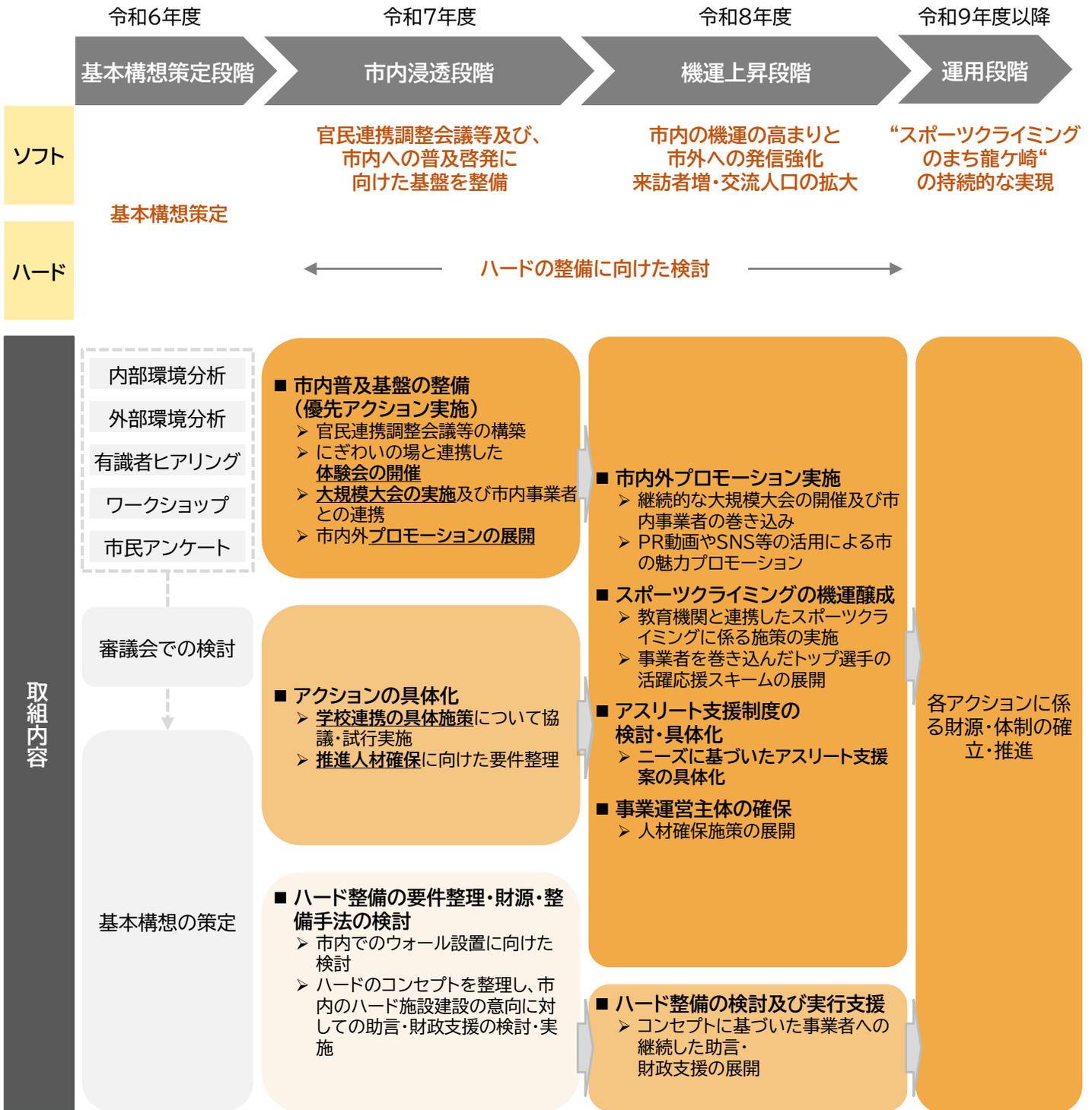
### 施策概要

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の持続可能な事業運営に向けた財源確保手法を整理します。

# 本事業の今後の計画

「スポーツライミングのまち龍ヶ崎」の実現に向け、普及啓発に向けた基盤整備に注力しながら、事業を推進します。

▼ ジャパンカップ等の実施 ▼ ワールドカップ等の実施



凡例: 実行 計画 検討



## 実施の背景

— 行政運営に求められているもの —

多様化する市民ニーズと社会経済情勢の変化による「新たな行政需要や政策課題への対応」  
厳しい財政状況下における、将来推計（収支ギャップ）を踏まえた「着実な歳出削減」

## 目的

- ・ 限られた財源の中で、戦略的に再配分を可能とする**新たな財源（原資）の創出**
- ・ **実効性の高い行財政改革**を推進、選択と集中による**行政機能の最適化**

▶ これまで以上に「**大胆な**」事務事業の見直しを行う



## 取組方針

- ・ 一定規模の成果獲得を主眼に置いた選定基準により、対象事業（36事業）を抽出
- ・ 大胆な見直しを推進するための「**政策的視点**」等に基づく**事業検証シート**の作成（事業所管課）
- ・ 事業検証シートに基づく企画課及び財政課、事業所管課との方向性検討・協議  
行政経営評価委員会への意見聴取（令和7年11月予定）

**令和8年度以降の予算へ反映**

# 令和7年度 事務事業の見直しに係る取組について

(令和7年度第1回龍ヶ崎市行政経営評価委員会 資料)

## 令和7年度 事務事業の見直し 事業検証シート

### ○基本情報

事業名称			
所管課		事業区分	
関連計画			

### ○事業概要

概要			
目的			

### ○事業実績

事業費	内訳	R5		R6		人件費(千円)	正職員	R5		R6	
		予算額(千円)	決算額(千円)	国県支出金(千円)	地方債(千円)			その他(千円)	一般財源(千円)	執行率(%)	会計年度

指標に対する評価	1 指標名					
	単位	R2	R3	R4	R5	R6
目標値						
実績値						
2 指標名						
単位	R2	R3	R4	R5	R6	
目標値						
実績値						
達成状況の検証						

### ○『行革的』見直しの視点に対する評価(事務事業の見直しガイドライン参照)

① 事務事業の必要性 <真に必要なサービス・取組であるか>	
② 提供・運営手法の効率性 <市が直接実施しなければならないか、より効率的な実施方法はないか>	
③ サービス水準と受益者負担 <過剰なサービス・取組となっていないか、利用者が固定化されていないか>	
④ 事業の持続可能性 <将来にわたってサービスが維持できるか>	

### ○大胆な取組実現に向けた『政策的』見直しの視点に対する評価

⑤ 事業廃止・縮小の可否 <廃止または縮小できない理由があるか>	
ア 既に役割を終えていないか	
イ 廃止・縮小に伴い想定される市民等への影響	
ウ 廃止・縮小する場合の条件、考慮すべき事項	
⑥ 事業実施の優先度 <今、取り組むことが最善であるか>	
ア 市の戦略(政策的)的に優先すべき取組であるか	
イ 他施策(事業)との関連性、獲得できる(見込める)効果	
ウ 現状のニーズを適切に把握し、反映されている事業であるか	
エ 実施時期は適切であるか(国県施策との整合・他自治体の事例等を踏まえて)	

## ≪行革的見直しの視点≫

- ① 事務事業の必要性  
<真に必要なサービス・取組であるか>
- ② 提供・運営手法の効率性  
<市が直接実施しなければならないか、より効率的な実施方法はないか>
- ③ サービス水準と受益者負担  
<過剰なサービス・取組となっていないか、利用者が固定化されていないか>
- ④ 事業の持続可能性  
<将来にわたってサービスが維持できるか>

## ≪政策的見直しの視点≫

- ⑤ 廃止、縮小の可否  
<廃止・縮小できない理由があるか>
  - ・既に役割を終えていないか
  - ・廃止、縮小に伴う市民等への影響はあるか
  - ・廃止、縮小する場合の条件を明確化できるか
- ⑥ 事業の優先度  
<今、取り組むことが最善であるか>
  - ・市の戦略(政策的)的に優先すべき取組であるか
  - ・他施策に対する関連性(波及効果)は見込めるか
  - ・市民ニーズを適切に把握できているか
  - ・実施時期は適切であるか  
(国県施策との整合性、他自治体の先行事例状況 等)

令和7年度 事務事業見直し 対象事業一覧

≪見直し対象事業の選定基準≫

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中期事業計画（令和7～11年度：ソフト事業）及び 令和7年度主要事業アクションプラン（令和7年度～9年度：ソフト事業）に掲載している事業のうち、             <ul style="list-style-type: none"> <li>① 継続事業（令和6年度以前からの実施実績があり、令和9年度以降も実施予定である事業）</li> <li>② 当該事業における市の財源（一般財源）割合 …… 50%以上</li> <li>③ 令和8年度予算見込額における一般財源規模 …… 300万円以上</li> </ul> </li> </ul>	<p>➡ 見直し対象事業 …… 36事業</p> <p>(予算規模：778,470千円)</p>
---	--

No.	課等名	事業名	事業及び主な支出概要	R8見込額	うち 一般財源
1	商工観光課	ふるさと龍ヶ崎応援事業	ふるさと納税制度の活用	312,500	312,500
2	医療対策課	医療対策事業	休日当番医、小児救急輪番制、病院群輪番制の実施 済生会病院、東京医科大学茨城医療センターの運営費を補助	90,489	90,489
3	保険年金課	医療福祉事業（単独分）	県の基準を超えて市独自に医療機関受診費を補助（マル福）	77,960	77,960
4	商工観光課	企業立地促進奨励事業	工場等を新設・増設した企業等に対し、企業立地促進奨励金を交付 （取得した土地家屋の固定資産税相当額分）	30,905	30,905
5	こども家庭センター	リフレッシュ保育運営事業	0～3歳の子どもを一時的に預けられる場所を提供	25,849	23,224
6	商工観光課	創業支援事業	創業スクール終了証の交付を受けた創業者等に対し、創業促進事業補助金を交付	16,280	16,280
7	まちの魅力創造課	若者・子育て世代住宅取得支援事業	子育て世代を対象とした住宅取得費を補助	27,099	14,949
8	指導課	教科専科指導員配置事業	授業を単独で指導できる教科専科指導員を配置 児童生徒の基礎的な知識・技能の定着と学力を向上	23,625	23,625
9	医療対策課	带状疱疹ワクチン接種助成事業	定期予防接種対象外の方の予防接種費を助成	14,414	14,414
10	こども家庭センター	子育てスマイルバスポート事業	1～6歳の子どもへ5,000円相当のポイントを支給	13,265	13,265
11	防災安全課	防犯カメラ等設置事業	既設カメラの更新・修繕 住民自治組織等における防犯カメラ設置費を補助	10,838	10,838
12	保育課	保育士等支援事業	保育士等に対する修学資金貸付及び家賃の補助	10,644	10,644
13	指導課	AIドリル活用推進事業	家庭学習での端末利用による学習支援	8,415	8,415
14	まちの魅力創造課	若者結婚新生活応援事業	新婚生活をスタートする若者を経済的に支援し、婚姻・定住を促進	7,555	7,555
15	まちの魅力創造課	若者・子育て世代賃貸住宅延長補助事業	子育て世代の定住促進を図るべく、賃貸住宅更新費を補助	7,060	7,060
16	教育センター	さわやか相談員配置事業	児童生徒が抱える問題への早期対応・解決を目的とした相談員を小中学校へ派遣	6,593	6,593
17	商工観光課	観光PRイベント等開催事業	観光PRイベントの開催	6,139	6,139
18	防災安全課	移動無線システム更新事業	IP無線のリース・簡易無線電波利用料	5,726	5,726
19	都市計画課	乗合タクシー運行事業	乗合タクシーの運行	7,845	5,471
20	福祉総務課	高齢者補聴器購入支援事業	高齢者補聴器購入費を補助	5,433	5,433
21	農業政策課	畑作農業ステップアップ支援事業	畑作経営の多角化やブランド化、新たな作物の導入等に係る機械や施設の導入費を補助	5,000	5,000
22	農業政策課	スマート農業支援事業	AI・ICTなどの先端技術を活用した農業技術の導入費を補助	5,000	5,000
23	都市計画課	路線バス昼間割引事業	市内路線バスの利用促進 午前8時～午後5時までの間、210円を上限とする割引制度を運用	5,000	5,000
24	防災安全課	AED設置推進事業	AEDリース契約の更新	4,885	4,885
25	指導課	子どもが主役！魅力ある学校づくり推進事業	本市学校教育の核である「龍の子人づくり学習」の充実 地域人材を生かした体験活動の実施等、特色ある教育活動を支援	4,850	4,850
26	まちの魅力創造課	たつのこワクワクワーク事業	子ども向け仕事体験イベントの開催	4,721	4,721
27	学校給食センター	県産献立「いばっぺごはんの日」実施事業	学校給食での地産産物の活用及び地産地消を学ぶための食育を推進	7,324	4,619
28	医療対策課	小児インフルエンザ予防接種助成事業	生後6か月から中学3年生までの方の接種費を補助	4,523	4,523
29	下水道課	公営企業会計業務支援事業	予算・決算・消費税申告等項営業会計全般にわたる支援業務委託	4,510	4,510
30	防災安全課	非常災害用備蓄整備事業	備蓄品の更新	4,479	4,479
31	防災安全課	防犯活動事業	防犯サポーター制度の運用及び青バト車両のリース	3,306	3,306
32	教育総務課	中学校英語検定料助成事業	英検受験料を補助	3,270	3,270
33	福祉総務課	要支援者移送事業	社会福祉協議会が実施する移送サービス事業費を補助 （専任嘱託職員人件費、車両維持費、車検費用等）	3,245	3,245
34	教育センター	適応指導教室体制推進事業	不登校生徒等に対する学習支援等を実施する適応指導教室推進員の配置	3,226	3,226
35	健康増進課	がん予防・検診受診促進事業	検診予約体制の整備、胃内視鏡検査及びリスク検査実施により検診環境を充実	3,497	3,025
36	商工観光課	街なか元気アップ支援事業	市内の経済の活性化や持続可能な産業及び観光振興事業費の補助	3,000	3,000